

長崎歴史文化博物館

年報

平成 26 年度



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

平成 26 年度

目次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 基本理念	6
3. 事業方針	7
4. 展示企画事業	
(1) 企画展	8
(2) 常設展	56
5. 調査研究事業	
(1) 長崎学調査研究プロジェクト	69
(2) 調査研究活動	71
(3) 資料修理修復事業	73
(4) 資料の管理	76
6. 長崎学・生涯学習支援事業	
(1) 事業概要	78
(2) 一般向け事業	78
(3) 学校向け事業	80
(4) 子ども向け事業	82
(5) レファレンス事業	84
(6) 博物館実習	84
(7) 研修の受け入れ	85
(8) 伝統工芸体験工房	86
7. 地域連携事業	
(1) 事業概要	87
(2) 移動博物館	87
(3) イベント実施	87
(4) ボランティア活動	92
8. 広報マーケティング	
(1) 広報ツール	95
(2) 営業活動	115
9. 利用状況	
(1) 来館者統計	116
(2) 主な出来事と来館者	117
(3) 貸館・貸室	117
10. 収支	118
11. 組織	
(1) 職員	120
(2) 友の会	122
12. 施設概要	
(1) 建築概要	123
(2) 施設平面図	124
13. 関連法規	125
14. 利用案内	170

ごあいさつ

平成 26 年度年報発刊にあたって



平成 27 年の 11 月には、開館満 10 周年を迎えることとなります。調査研究活動、展示・教育活動という博物館の重要な機能は、それぞれの基礎・方向性が固まってきており、その情報発信、地域還元にも職員が一丸となって努力して参りました。しかし、博物館には「完成」という言葉はないものと思っております。「うちの博物館は多くの皆様から良い評価をいただくようになり、かなりのレベルになったように思います。」などと「完成感覚」を持つことには十分に注意する必要があります。新陳代謝が止まれば、博物館はデッド・ミュージアムになってしまうからです。

平成 26 年度も、そうした考え方のもとに博物館の運営・経営に当たってまいりました。10 年近く経験してようやく“新たなチャレンジ、さらなる進化”を目指すことの重要性を確認することができたように思います。長崎では、2015 年 7 月に「明治産業革命遺産」が世界遺産に登録され、2016 年に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界文化遺産に登録が見込まれております。当博物館がこれらに関連する資料の調査研究等を通して、例えば平成 27 年 2 月から 4 月にかけて開催した特別企画展「聖母が見守った奇跡」にみられるような展示内容に高い評価を得られたことは、今後一層のレベルアップを図るうえで大きな励みになりました。「完成感覚」を戒めながら、タイミング、時代の変化や人々のニーズの多様化に的確に対応し、次々と新しい計画にチャレンジしていかなければならないと考えさせられる 1 年でした。

博物館の運営・経営は一瞬も立ち止まっていることは許されませんし、時代を先取りした計画を立案し、それを実現していかなければならないと思っております。

平成 26 年度の当博物館全体の運営・経営を振り返りますと、人々の価値観がますます多様化し、多文化志向の中で、博物館はそのことを前提にしたマネジメントという点で、課題を残したように思います。不特定多数の博物館利用者を十把一絡げの、いわゆるマス発想で対応することはなかったのかどうかということ。個別化している利用者のニーズに応えられたのかどうか、外国人に対する展示の外国語表示はどうだったのか、高齢者、女性、障がい者などが参加できるような選択メニューが多彩に用意されていたのかどうか、こうしたことなど数多くの課題にチャレンジしなければならぬと反省させられます。まだまだパーソナル発想、on-demand 発想による運営・経営の充実強化が課題であり、その実現が求められることを全体で共有しなければと思っております。

きたる平成 27 年度は、今年度までの課題を着実に解決していくことは勿論、絶えざる上昇志向をもち、非来館者への利用働きかけ、博物館施設のデッド・スペースの有効活用に関する強化方策、学校団体の常設展見学に対する広報・営業の強化、ターゲットごとに生涯学習プログラムを充実することや、青少年の歴史教育の重要性に鑑み、歴史好きでイノヴェーティブな人材を育成する「博物館達人制度」、世界文化遺産に関連する青少年の交流事業などの実現のための準備にとりかからなければと考えております。さらにこれも今年度まで積み残しになっておりました長崎学の調査研究について、これまでの成果を集約しつつ新たな方向性を打ち出したいと準備中であります。即ち、平成 28 年度に、長崎学研究体制を本格的に整備するため、「長崎学研究センター」を起ち上げるための準備であります。大学や他の博物館等との共同研究、企画展や教育事業の共同開催、他の関連施設等との交流強化、世界文化遺産関連の調査研究を加えた長崎学の調査研究内容の進化・深化、拡充強化を図り、学会や地域等への情報発信を可能にするため、平成 27 年度中に推進体制を整備したいと思っております。

この 1 年間、特別企画展や教育活動など、当博物館の事業に深いご理解とご支援を賜りました企業、マスコミ各社、文化団体や各種団体・施設、大学、学校、地域の皆様、多くの来館者の皆様に心から感謝を申し上げます。今後も「進化する博物館」を力強く推進して参りますので、一層のご指導・ご支援をお願い申し上げます。本年報に対してましてもご指摘、ご意見、そしてご指導を賜れば幸いに存じます。

館長 大堀 哲

沿革

平成 10 年 (1998)

11 月 18 日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

平成 11 年 (1999)

12 月 15 日 「諏訪の森部会」最終提言

平成 12 年 (2000)

11 月 30 日 諏訪の森の再整備について（基本方針）公表

平成 13 年 (2001)

1 月 15 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想専門家会議設置（3 月報告書提出）

11 月 14 日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結

11 月 16 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想（案）公表

12 月 27 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想策定

平成 14 年 (2002)

2 月 22 日 （株）乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結

2 月 28 日 黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

平成 15 年 (2003)

7 月 19 日 起工式

平成 16 年 (2004)

10 月 15 日 長崎歴史文化博物館条例公布

平成 17 年 (2005)

4 月 1 日 （株）乃村工藝社を指定管理者として指定

5 月 博物館仮事務所開設

7 月 1 日 大堀哲（日本ミュージアム・マネジメント学会会長）初代館長に就任

7 月 5 日 長崎歴史文化博物館事業発表会

8 月 30～31 日 建設工事、展示工事竣工

9 月 1 日 博物館事務所開設式

11 月 3 日 開館記念式典

開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催（11 月 3 日～1 月 9 日）

12 月 12 日 入場者数 10 万人突破

平成 18 年 (2006)

8 月 14 日 入場者数 50 万人達成

10 月 20 日 開館 1 周年記念式典

開館 1 周年記念特別展「ローマを夢みた美少年」開催（10 月 21 日～12 月 13 日）

平成 19 年 (2007)

6 月 23 日 入場者数 100 万人達成

11 月 3 日 開館 2 周年

日蘭修好 159 周年・開館 2 周年記念特別展「勝海舟と幕末長崎」開催（11 月 3 日～12 月 9 日）

平成 20 年 (2008)

8 月 7 日 入場者数 150 万人達成

10 月 31 日 開館 3 周年記念式典

列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催（11 月 1 日～1 月 12 日）

平成 21 年 (2009)

7 月 8 日 指定管理者選定委員会

- 8月14日 入場者数 200 万人達成
- 10月5日 行啓 皇太子殿下
- 11月3日 開館 4 周年
日蘭通商 400 年記念「阿蘭陀と NIPPON」展開催（10月31日～1月11日）

平成 22 年 (2010)

- 1月9日 「長崎奉行所・龍馬伝館」開催（～平成 23 年 1 月 10 日）
- 5月2日 入場者数 250 万人達成
- 10月11日 入場者数 300 万人達成
- 11月3日 開館 5 周年
開館 5 周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催（11月19日～1月10日）
- 11月15日 中国福建博物院と友好館協定締結
- 11月18日 開館 5 周年記念式典

平成 23 年 (2011)

- 2月11日 「長崎奉行所・大河ドラマ館」開催（～10月30日）
- 7月8日 入場者数 350 万人達成
- 10月1日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 1 回 館長サミット in 長崎開催（会場：出島交流会館）
- 11月3日 開館 6 周年
日中国交正常化 40 周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立 15 周年記念特別展「孫文・梅屋庄吉と長崎」開催（10月1日～3月25日）

平成 24 年 (2012)

- 4月1日 常設展示リニューアルオープン
- 9月12日 入館者数 400 万人達成
- 11月3日 開館 7 周年
日中国交正常化 40 周年 長崎県・福建省友好県省締結 30 周年記念「中国福建博物院展」開催（10月6日～11月30日）

平成 25 年 (2013)

- 3月22日 中国湖北省 3 館（辛亥革命武昌起義記念館、辛亥革命博物館、中山艦博物館）との友好交流協定締結
- 3月23日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 2 回 館長サミット in 長崎開催（会場：長崎歴史文化博物館）
- 3月30日 長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館 社会連携協定締結
- 7月31日 御成 秋篠宮殿下・眞子内親王殿下
- 10月17日 入場者数 450 万人達成
- 11月3日 開館 8 周年
国重要文化財指定記念特別展「対馬藩と朝鮮通信使」開幕（10月26日～12月15日）

平成 26 年 (2014)

- 3月1日 福建博物院交流事業 特別講演会「清朝陶磁をめぐる日中交渉」開催
- 3月21日 東日本大震災復興祈念 福島桜「絆千年桜」植樹
- 3月25日 韓国釜山博物館との交流協定締結
- 4月26日 旧香港上海銀行長崎支店記念館 / 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム開館
- 4月27日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 3 回館長サミット in 長崎開催（会場：長崎歴史文化博物館）
- 5月24日 特別展「ここがスゴイ！明治日本の産業革命遺産と長崎」開幕（5月24日～6月29日）
- 11月3日 開館 9 周年
長崎大学・長崎歴史文化博物館 包括連携協定締結
- 12月10日 入館者数 500 万人達成

平成 27 年 (2015)

- 2月19日 「信徒発見」150 周年記念事業・世界遺産推薦記念特別展「聖母が見守った奇跡」開幕（2月19日～4月15日）

2

基本理念

(1) 長崎歴史文化博物館の基本方針

1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。

2) 長崎学研究の拠点となる博物館

県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・活用を図るため、さらなる研究体制を強化し、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。

3) 開かれた博物館

子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史や文化に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。

4) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、博物館関連学会との連携を推進する。とりわけ、オランダ・ライデン国立民族学博物館との新たな交流展開とともに中国・福建省福建博物院との交流を本格化させる。

5) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。

6) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を活かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

(2) 行動指針

1) これまでの実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。

2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、これまでの教育研究グループから研究グループを独立させ、研究体制を確立させる。このことを通じて資料の収集整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、県・市学芸員、教員、外来研究員と当館研究員との共同研究を実施し成果を上げる。

3) 集客目標を達成するため、「中国福建博物院展」をはじめ、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。

4) 博物館施設の有効活動やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

3 事業方針

(1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

1) 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域との連携展を実施するとともに、館長ミュージアムトーク、さらに研究員による長崎学講座等の多彩な教育普及プログラムを充実し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

2) 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設の有効活用を推進する。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

3) 調査研究体制の強化と研究成果の創出・情報発信

長崎学の調査研究の充実を図るため、研究及び教育普及グループ研究員、県市学芸員、外来研究員等との柔軟かつ機能的な共同研究体制を本格的にスタートさせ、長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2) 博物館の目的・使命に沿った取り組みの推進

1) 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、ティーチャーズルームの活性化、スクールパートナーズ、研修会などを通して、教員の博物館活用リテラシーの向上を図ることに努める。また、収蔵資料の複製品等の教育利用貸し出しなどを通じて、学校教育の充実に寄与する。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座の計画や沿革授業についてもさらに充実を図る。

2) 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客の増加に努める。また、利用者満足にさらに配慮し、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして学習成果が活かせる環境づくり、その定着化と拡大に努める。

(4) 県内の中核博物館としての取り組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本ミュージアム・マネジメント学会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進する。さらに、博物館の国際化の重要性に鑑み、オランダのほか、中国、韓国等アジア地域の連携博物館の確保に向け取り組む。

(5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間の2期目3年目となる本年度は、その運営の在り方、事業内容、組織としての効率的な取り組み方を含め、課題・問題を明確にし、その解決方策を探りつつ、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。

1 企画展

伊藤若冲と京の美術～細見コレクションの精華～

1. 展示概要

細見美術館（京都市・岡崎）のコレクションの中から、奇想の画家・伊藤若冲の絵画、東山や祇園祭を描いた遊楽図や祭礼図、源氏物語などを題材とした物語絵画、茶陶・茶の湯釜、琳派の絵画などを厳選し、日本美術の多彩な魅力を紹介した。

開催期間：平成26年3月21日（金）～5月11日（日）
51日間 ※休館日 4月15日（火）

開場時間：午前10時～午後6時

観覧料：大人1,200円（1,000円）・高大学生800円（600円）・小中学生400円（300円）

主催：長崎歴史文化博物館・KTNテレビ長崎・細見美術館

協賛：長崎バスグループ・大和ハウス工業・トヨタカローラ長崎・JTB九州長崎支店

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・西日本新聞社・長崎新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞西部本社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎商工会議所・長崎県美術協会・長崎県医師会・長崎県PTA連合会・長崎県公立高等学校PTA連合会・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・表千家同門会長崎県支部・茶道裏千家淡交会長崎支部・長崎いけばな連盟（順不同）

展示点数：91点

総入場者数：14,075名（1日平均275名）



2. 展示構成

第1室 都に遊ぶ ～名所遊楽と祭礼の世界～

第2室 都の美意識Ⅰ ～王朝のみやび～

第3室 都の美意識Ⅱ ～茶の湯の心～

第4室 若冲と都の絵師 ～華ひらく個性～

3. 関連行事

○講演会

「細見コレクションと伊藤若冲」

日時：3月21日（金）14：00～15：30

会場：1階ホール

講師：細見良行氏（細見美術館館長）

参加者：108名



「京で活躍した長崎の絵師たち」

日時：4月20日（日）14：00～15：30

会場：1階ホール

講師：植松有希（当館研究員）

参加者：106名

○関連講演会

「伊藤若冲と京の美術～細見コレクションの精華～」

日時：4月19日（土）14：00～15：30

会場：アクロス福岡 セミナー室2



講師：植松有希（当館研究員）

参加者：80名

協力：小原流長崎支部

場所：1階エントランスホール

○ワークショップ

「宝もの」の扱い方

日時：3月30日（日）、4月13日（日）

14:00～15:30

講師：植松有希、小熊佐智子（当館研究員）

会場：2階立山亭

参加者：[3/30] 8名・[4/13]12名

「京焼の絵付けの実演」

日時：4月26日（土）～4月27日（日）

10:00～17:00

実演者：廣田友理氏

場所：1階エントランスホール



○その他

「小原流琳派調いけばな」

日時：4月26日（土）～4月29日（火・祝）、

5月1日（木）～5月6日（火・祝）

4. 展示リスト

	作品名	作者	材質	員数	時代	展示期間	
						前期	後期
都に遊ぶ—名所遊樂と祭礼の世界—						前期	後期
1	東山名所図屏風		紙本金地著色	4曲1双	桃山時代		○
2	洛外図屏風		紙本著色	6曲1隻	江戸前期		○
3	賀茂社競馬図屏風		紙本金地著色	8曲1隻	江戸前期		○
4	祇園祭礼図屏風		紙本著色	6曲1双	江戸前期		○
5	東山四条河原遊樂図屏風		紙本著色	6曲1隻	江戸前期		○
6	四条河原図巻		紙本著色	1巻	江戸前期		○場面替
7	遊樂図扇面		紙本著色	4枚	江戸前期		○
8	遊樂図高坏		陶製著色	1基	江戸前期		○
9	桜幔幕蒔絵重箱		木製漆塗	1合	江戸前期		○
10	菊花蒔絵十種香箱		木製漆塗	1具	江戸中期		○
11	若松楓蒔絵提重		木製漆塗他	1基	江戸後期		○
12	薬玉図	土佐光孚	紙本著色	1幅	江戸後期		○
13	合せ貝		著色	2対	江戸後期		○
14	やすらい祭り・牛祭図屏風	浮田一蕙	紙本著色	6曲1双	江戸後期	右隻	左隻
15	ちょうちょう踊り図屏風	小沢華嶽	紙本著色	6曲1隻	江戸後期		○
16	賀茂競馬図屏風		紙本金地著色	6曲1双	江戸末期		○
都の美意識 I - 王朝のみやび -						前期	後期
17	○貫之集下断簡 石山切	藤原定信 筆	彩箋墨書	1幅	平安後期	○	×
18	◎明恵上人仮名消息（井上尼宛）	明恵高弁 筆	紙本墨書	1幅	鎌倉時代	○	×
19	時代不同歌合絵巻断簡		紙本墨画	1幅	鎌倉末期	○	×
20	◎山王靈験記絵巻		紙本著色	1巻	室町時代	×	○
21	撫子図屏風		紙本金地著色	6曲1隻	江戸前期		○
22	忍草下絵和歌巻断簡「あさがすみ」	本阿弥光悦 書 俵屋宗達 下絵	紙本墨書 金銀泥下絵	1幅	江戸前期		○
23	水葵下絵和歌色紙	本阿弥光悦 書 宗達派 下絵	紙本墨書・雲母刷	1幅	江戸前期		○
24	和歌短冊	本阿弥光悦	紙本著色	1幅	江戸前期		○
25	歌仙絵	小野通女	紙本著色	1幅	慶長2年（1597）		○
26	歌仙絵「源順」	岩佐又兵衛	紙本著色	1幅	江戸前期		○
27	歌仙図色紙「藤原仲文」	俵屋宗達	紙本著色	1幅	江戸前期		○
28	伊勢物語かるた	伝 葛岡宣慶 書	紙本著色・紙本墨書	1具のうち	江戸前期		○
29	伊勢物語図	野崎真一	絹本著色	4枚	江戸末～明治中期		○
30	伊勢物語図扇面「河内越」	神坂雪佳	紙本著色	1幅	大正末～昭和初		○
31	源氏物語図屏風「総角」	岩佐又兵衛	紙本金地著色	6曲1隻	江戸前期		○
32	源氏物語図色紙		紙本著色	10面のうち	江戸前期		○場面替

33	狭衣物語絵巻断簡 (藤)		紙本着色	1幅	江戸前期	○	×
34	狭衣物語絵巻断簡 (山吹)		紙本着色	1幅	江戸前期	○	×
35	清少納言観雪図	鈴木守一	絹本着色	1幅	江戸後期	×	○
36	四季花木図屏風	冷泉為恭	紙本淡彩	6曲1隻	江戸後期	×	○
37	小倉山蒔絵硯箱		木製漆塗	1合	江戸前期		○
38	定家詠月次花鳥蒔絵重硯箱		木製漆塗	1合	江戸前期		○
39	定家詠月次花鳥図	野崎真一	絹本着色	4枚	江戸末～明治中期		○

都の美意識Ⅱ - 茶の湯の心 -

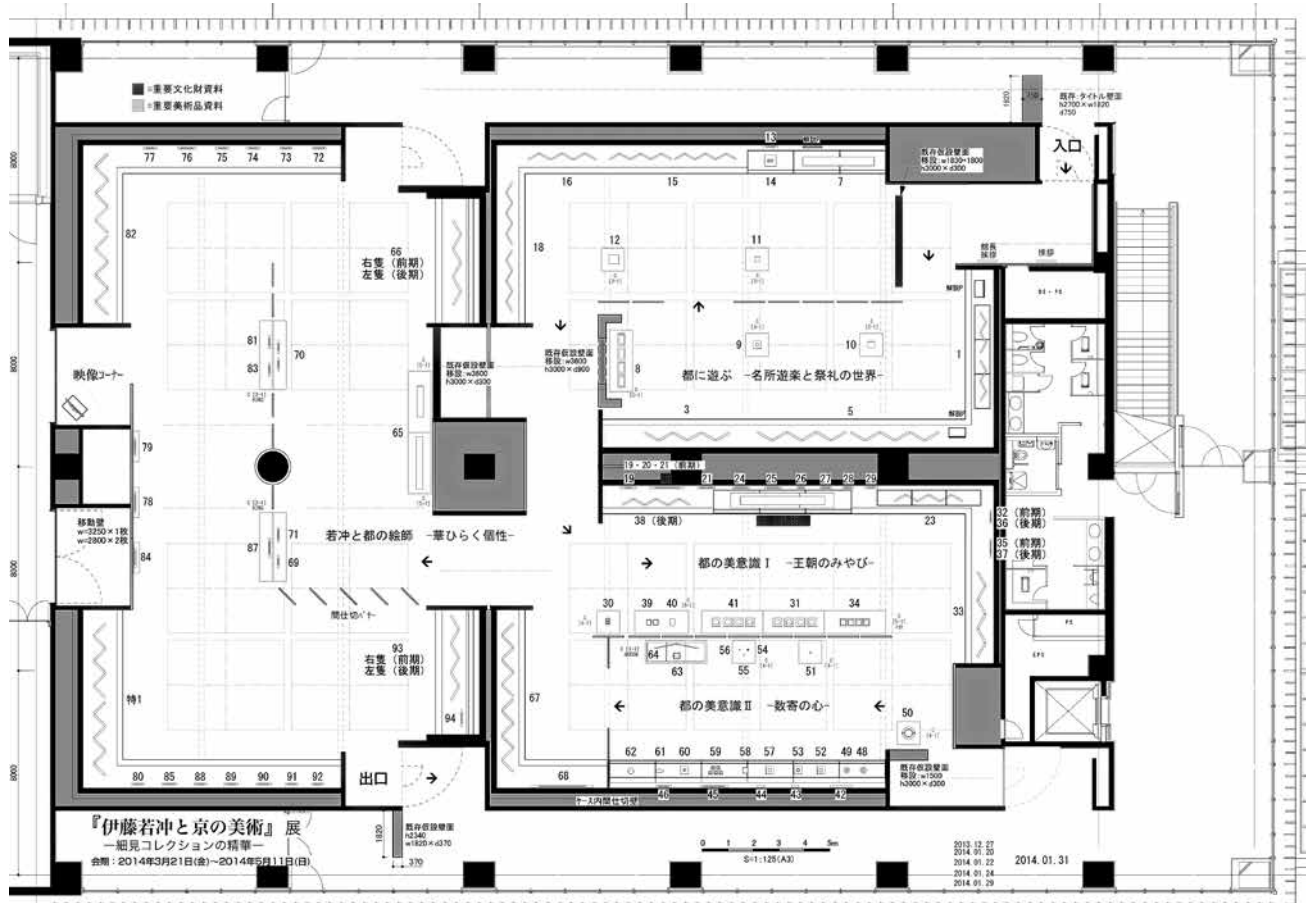
							前期	後期
40	墨蹟	蘭溪道隆 筆	紙本墨画	1幅	鎌倉時代		○	
41	墨蹟 一行書	大休正念 筆	紙本墨画	1幅	鎌倉時代		○	
42	墨蹟 「日杲々風颯々」	春屋妙葩 筆	紙本墨画	1幅	南北朝時代		○	
43	○豊臣秀吉自筆書状 (いわ宛)	豊臣秀吉	紙本墨書	1幅	天正16 (1588)	○	×	
44	利休消息「釜の文」	千利休	紙本墨書	1幅	桃山時代		○	
45	芦屋松藤図真形釜		鉄製鑄造	1口	室町時代		○	
46	桜図肩衝釜		鉄製鑄造	1口	桃山時代		○	
47	龍宝山鉄風炉		鉄製鑄造	1口	桃山時代		○	
48	志野茶碗 銘「弁慶」		施釉陶器	1口	桃山時代		○	
49	瀬戸黒茶碗 銘「鳴門」		施釉陶器	1口	江戸前期		○	
50	黒織部杵形茶碗		施釉陶器	1口	江戸前期		○	
51	志野宝珠形香合		施釉陶器	1合	桃山時代		○	
52	織部菊兜香合		施釉陶器	1合	桃山時代		○	
53	織部分銅形香合		施釉陶器	1合	桃山時代		○	
54	信楽水指 銘「赤富士」		施釉陶器	1口	江戸中期		○	
55	鏤絵馬図角皿	尾形乾山	施釉陶器	1枚	江戸中期		○	
56	鏤絵牡丹唐草文向付	尾形乾山	施釉陶器	5客	江戸中期		○	
57	色絵唐子図筆筒	尾形乾山	施釉陶器	1口	江戸中期		○	
58	七宝舟形釣花入		有線七宝	1口	江戸前期		○	
59	七宝八角水指		有線七宝	1合	江戸中～後期		○	
60	七宝手付菓子盆		有線七宝	1口	江戸中～後期		○	
61	七宝風炉先屏風		有線七宝 (釘隠)	1隻	江戸前期		○	

若冲と都の絵師 - 華ひらく個性 -

							前期	後期
62	平家納経	俵屋宗達原画 田中親美模	紙本金銀泥着色	2巻	大正時代		○	
63	四季草花図屏風	「伊年」印	紙本金地着色	6曲1双	江戸前期		○	
64	四季草花桜楓図屏風	「伊年」印	紙本着色	6曲1双	江戸前期	右隻	左隻	
65	墨竹図	尾形光琳	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
66	秋草図团扇	「成乙」印	紙本金地着色	1幅	江戸中期		○	
67	四季草花図	神坂雪佳	絹本着色	2幅	大正後期		○	
68	御所人形図	神坂雪佳	絹本着色	1幅	大正時代		○	
69	若竹に小禽図	円山応挙	絹本着色	1幅	寛政7年 (1795)		○	
70	月下草虫図	松村景文	絹本着色	1幅	江戸後期		○	
71	江口君図	松村景文 田中訥言	紙本着色	1幅	江戸後期		○	
72	楚蓮香図	山口素絢	絹本着色	1幅	文化6年 (1809)		○	
73	児島湾真景図	池大雅	絹本着色	1幅	江戸中期		○	
74	富士望見図	青木木米	紙本墨画淡彩	1幅	文政7年 (1824)		○	
75	雪中雄鶏図	伊藤若冲	紙本着色	1幅	江戸中期		○	
76	糸瓜群虫図	伊藤若冲	絹本着色	1幅	江戸中期		○	
77	風竹図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
78	仔犬に箒図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
79	花鳥図押絵貼屏風	伊藤若冲	紙本墨画	6曲1双	江戸中期		○	
80	海老図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
81	伏見人形図	伊藤若冲	紙本着色	1幅	江戸中期		○	
82	萬歳図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
83	虻に双鶏図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
84	群鶏図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	寛政8年 (1796)		○	
85	里芋図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	
86	関羽像	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期		○	

87	踏歌図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期	○
88	宝珠に槌図	伊藤若冲	紙本墨画	1幅	江戸中期	○
89	遊鶏図押絵貼屏風	若演	紙本墨画	6曲1双	江戸後期	右隻 左隻
90	釣瓶に鶏図	若演	紙本墨画	1幅	江戸後期	○
91	鶏図押絵貼屏風	伊藤若冲	紙本墨画	6曲1双	寛政9(1797)年	○

5. 展示図面



全西展 | 伊藤若冲と京の美術

細見コレクションの精華

Ito Jakuchu and the Fine Arts of Kyoto
—Masterpieces of the Hosomi Collection—

2014年3月21日(金)~5月11日(日)
長崎歴史文化博物館

観覧時間：(年表)10時~19時(入館は20分前まで)
観覧日：4月12日(土)~19日(日)※4月12日は休館日
観覧料：数量が大人1,000円(中学生以下500円)※高校生以下500円
小学生以下300円(2歳以下は無料)※2歳以下は無料

主催：長崎歴史文化博物館・NPO法人長崎・長崎県美術館
協賛：長崎県庁・長崎県立美術館・長崎県立歴史博物館・長崎県立近代美術館・長崎県立美術館
協賛：長崎県立美術館・長崎県立歴史博物館・長崎県立近代美術館・長崎県立美術館
協賛：長崎県立美術館・長崎県立歴史博物館・長崎県立近代美術館・長崎県立美術館

2014.12.27
2014.01.29
2014.01.22
2014.01.14
2014.01.29

ここがスゴイ！明治日本の産業革命遺産と長崎

1, 展示概要

平成 25 年に「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が世界遺産の政府推薦案件に決定したことを記念し開催した自主企画展。三菱重工業長崎造船所やグラバー園、端島（軍艦島）など、長崎に残る産業革命の足跡とともに、ゆかりの資料をひもとき「明治日本の産業革命遺産」の魅力を紹介した。

開催期間：平成 26 年 5 月 24 日（土）～ 6 月 29 日（日）
6 月 17 日（火）休館【36 日間】

観覧料：大人 800 円（640 円）・高校生以下無料

主催：『ここがスゴイ！明治日本の産業革命遺産と長崎』展実行委員会（長崎歴史文化博物館・三菱重工株式会社・長崎県・長崎市・グラバー園）

協賛：十八銀行・親和銀行・長崎三菱自動車販売株式会社・長崎バスグループ・軍艦島観光船協議会（やまさ海運・高島海上交通・シーマン商会・アイランド号・軍艦島コンシェルジュ）

後援：経済産業省・文化庁・観光庁・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞長崎支局・毎日新聞社・読売新聞西部本社・KTN テレビ長崎・NIB 長崎国際テレビ・NCC 長崎文化放送・NBC 長崎放送・NHK 長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎商工会議所・長崎県校長会・長崎県高等学校長協会・長崎県私立中学高等学校協会・長崎県 PTA 連合会・長崎県公立高等学校 PTA 連合会・長崎県学童保育連絡協議会・長崎県医師会・長崎県歯科医師会・長崎県タクシー協会・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会

協力：鹿児島県・福岡県・佐賀県・中間市・荒尾市・萩市・釜石市・端島閉山 40 周年記念事業実行委員会・公益財団法人明治村・新日鐵住金株式会社八幡製鉄所・軍艦島模型製作者（阿久井喜孝氏）

総入場者数：8,895 名（1 日平均 247 名）

2, 展示構成

- 1 章 近代産業のはじまり
- 2 章 人やモノを運ぶ船を造る
- 3 章 エネルギー源の石炭
- 4 章 産業の米・鉄鋼
- 5 章 九州・山口と関連地域の産業革命遺産



○体験コーナー「炭坑マンになろう」

池島炭坑の坑内作業服・防塵マスク・ヘルメット・安全灯・無線機・保安靴など

3, 関連行事

○シンポジウム

日時：6 月 1 日（日）13:30～15:40

会場：1 階ホール



■基調講演

「古写真に見る明治日本の産業革命遺産と長崎」

講師：姫野順一氏（長崎大学名誉教授）

■コメント

「長崎の居留地・外国人と産業革命遺産」

講師：ブライアン・バークガフニ氏（長崎総合科学大学教授）

「三菱と明治日本の近代化について」

講師：横川清氏（長崎三菱造船所史料館長）

■パネルディスカッション

「長崎にとっての産業革命遺産とは何か」

パネリスト：姫野順一氏、ブライアン・バークガフニ氏、横川清氏

司会：岡本健一郎（当館研究員）

参加者：105 名

○特別講演会

「端島の歴史」

日 時：6月22日（日）10：00～11：30

会 場：1階ホール・3階企画展示室

講 師：加地英夫氏（長崎・端島会代表、端島閉山四十周年記念事業実行委員会委員長）

参加者：70名



○軍艦島上陸ツアー

日 時：6月8日（日）8：30～16：30

会 場：軍艦島、軍艦島資料館、小菅修船場跡ほか

講 師：岡本健一郎（当館研究員）

協 力：アイランド号

参加費：4,500円

参加者：19名



○産業革命遺産ガイドツアー

日 時：6月7日（土）11：00～12：00（グラバー園）・14：00～15：00（当館企画展示室）

講 師：横山精士氏（グラバー園学芸員）・岡本健一郎（当館研究員）

参加費：1,000円

参加者：7名



○展示解説

日 時：5月24日（土）～6月29日（日）14：00

○クイズラリー

日 時：5月24日（土）～6月29日（日）

全問正解者：228名

4、展示リスト

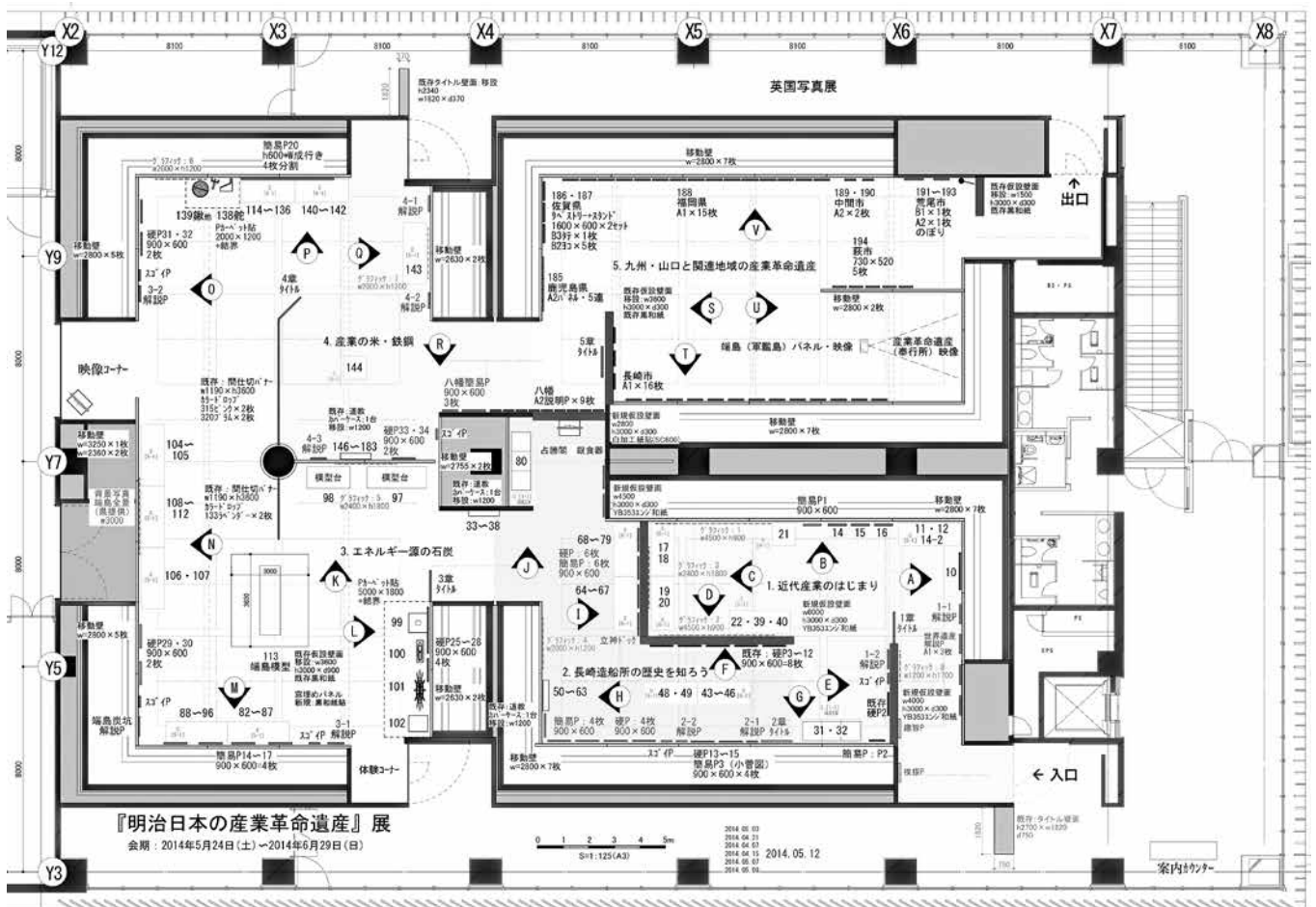
番号	資料名	年代	所蔵先	点数
1章 近代産業のはじまり				
1-1 はじまりは長崎海軍伝習所				
1	長崎海軍伝習所之図（複製）	1927年（昭和2）	財団法人鍋島報効会原蔵・長崎歴史文化博物館	1点
2	Uittreksel uit het dagboek van W. J. Каттенディーケ日誌提要（「長崎海軍伝習所の日々」）	1860年	長崎歴史文化博物館	1冊
3	献貢阿蘭陀蒸気船スームヒンク真上ヨリ見取図（観光丸平面図）	明治初期写	長崎歴史文化博物館	1枚
4	長崎製鉄所風景図	1858～1861年	長崎歴史文化博物館	1点
5	Vijf Jaren in Japan (1857-1863) 1 ポンペ「日本における五年間／日本滞在看聞記」	1857～1863年	長崎歴史文化博物館	1点
6	長崎東山手風景図	1858～1861年	長崎歴史文化博物館	1点
7	出島図	1858～1861年	長崎歴史文化博物館	1点
8	製鉄所分間絵図 志賀九郎助	1864年（元治1）	長崎歴史文化博物館	1枚
9	製鉄所模型		長崎歴史文化博物館	1点
10	轆轤盤細工所（工場）模型		長崎歴史文化博物館	1点
11	ハルデス愛用 銅製手あぶり火鉢		三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1点
12	ハルデス煉瓦（こんにゃく煉瓦）		三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	
1-2 時代をリードした人びと（グラバーと岩崎彌太郎）				
13	肖像写真（岩崎彌之助とグラバー）／倉場富三郎写真帖 上野撮影局（長崎市）	台紙：明治24～25年	長崎歴史文化博物館	1点
14	グラバー遺品 洋服		長崎歴史文化博物館	1点
15	岩崎彌太郎使用 下駄		三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1点
2章 人やモノを運ぶ船を造る				
2-1 小菅修船場は何をした工場？				
16	小菅揚架船明細表	1871年（明治4）～1883年（同16）	長崎歴史文化博物館	
17	小菅船渠写真（ソロバンドック）		長崎歴史文化博物館	1点
18	VIEWS OF JAPAN 風景写真（長崎 小菅造船場）内田九一撮影		長崎歴史文化博物館	1点

19	小菅船渠写真（ソロバンドック）	1877年（明治10）	長崎歴史文化博物館	1点
20	昭和七年頃の小菅船渠	1932年（昭和7）	長崎歴史文化博物館	1点
2-2 長崎造船所の歴史を知ろう				
21	浜田元吉を造船局附属に申付の通牒 兵部省より長崎県宛	1871年（明治4）6月13日	長崎歴史文化博物館	1通
22	覚（本木昌造造船局通弁辞令）		長崎歴史文化博物館	1通
23	工部省時代の鬼瓦	1871年（明治4）～1885年（同18）	三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1点
24	工部省長崎工作局工場掛 辞令	1881年（明治14）12月17日	三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1通
25	工部省長崎工作局工場掛 辞令	1882年（明治15）9月16日	三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1通
26	長崎工作分局第一次報告書 明治4年4月～明治10年6月	1871年（明治4）4月～1877年（明治10）6月	長崎歴史文化博物館	1冊
27	三菱マークの鬼瓦		三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1点
28	鋼製ランカシャーボーラー図	1899年（明治32）8月	長崎歴史文化博物館	1点
29	絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（一）事務所及造缶場	1924年（大正13）11月6日	長崎歴史文化博物館	1点
30	絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（二）クレンシッパ鋳物工場機械工場タルビン工場ジヤイヤントクレン	1912年（大正1）以降	長崎歴史文化博物館	1点
31	絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（三）立神造船工場ドック ガントリクレンノ一部	1912年（大正1）以降	長崎歴史文化博物館	1点
32	絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（四）造船台及ガントリクレンノ一部	1912年（大正1）以降	長崎歴史文化博物館	1点
33	絵葉書・長崎三菱造船所	1909年（明治42）以降	長崎歴史文化博物館	1点
34	絵葉書・三菱長崎造船所造機工場	1909年（明治42）以降	長崎歴史文化博物館	1点
35	絵葉書・三菱造船株式会社長崎造船所 鮑ノ浦造機工場全景	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
36	絵葉書・浦上天主堂 造船工場全景 三菱造船株式会社長崎造船所	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
37	絵葉書・造機工場全景 唐寺崇福寺 三菱造船株式会社長崎造船所	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
38	絵葉書・立神第二ドックと鮑の浦中央発電所	1897年（明治30）以降	長崎歴史文化博物館	1点
39	絵葉書・三菱造船所鮑の浦の景	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
40	絵葉書・Engine Works at Akunoura, Mitsubishi Dockyard & Engine Works, Nagasaki	1909年（明治42）以前	長崎歴史文化博物館	1点
41	立神修船場置礎式ノ記證（仏文）（局長渡辺嵩蔵）	1875年（明治8）12月18日	長崎歴史文化博物館	1枚
42	立神修船場諸建築概算，外 長崎工作分局	1878年（明治11）7月24日	長崎歴史文化博物館	1冊
43	長崎工作分局所轄立神修船場囲込地所買入ノ略図ノ「庶務課地理掛事務簿 地籍之部 第二」	1879年（明治12）9月～12月	長崎歴史文化博物館	2枚
44	立神第二船渠工事写真「清国軍艦と清国人、船舶進水等、グラバー、おツルさん、岩崎久弥、弥之助等」倉場富三郎写真帖	1895年（明治28）～1896年（同29）	長崎歴史文化博物館	1点
45	立神第一船渠ノ風景写真「長崎三菱造船所立神及小菅工場」薛写真館（長崎市）		長崎歴史文化博物館	1点
46	絵葉書・三菱長崎造船所立神工場ガントリクレン	1912年（大正1）以降	長崎歴史文化博物館	1点
47	絵葉書・三菱長崎造船所第三船渠へ日郵太洋丸入渠セントスルノ光景	1912年（大正1）以降	長崎歴史文化博物館	1点
48	絵葉書・長崎三菱第三ドックとミネソタ号	1905年（明治38）以降	長崎歴史文化博物館	1点
49	絵葉書・長崎三菱第三ドック	1905年（明治38）以降	長崎歴史文化博物館	1点
50	占勝閣 銀食器		三菱重工業株式会社長崎造船所	1式
51	進水絵葉書・防護巡洋艦「矢矧」	1911年（明治44）10月3日進水	長崎歴史文化博物館	1点
52	進水絵葉書・金剛型巡洋戦艦	1913年（大正2）12月1日進水	長崎歴史文化博物館	1点
53	進水絵葉書・戦艦「日向」	1917年（大正6）1月27日進水	長崎歴史文化博物館	1点
54	進水絵葉書・軽巡洋艦「多摩」	1920年（大正9）2月10日進水	長崎歴史文化博物館	1点
55	進水絵葉書・駆逐艦「矢風」	1920年（大正9）4月10日進水	長崎歴史文化博物館	1点
56	進水絵葉書・軽巡洋艦「木曾」	1920年（大正9）12月14日進水	長崎歴史文化博物館	1点
57	進水絵葉書・駆逐艦「秋風」	1920年（大正9）12月14日進水	長崎歴史文化博物館	1点
58	進水絵葉書・駆逐艦「夕風」	1921年（大正10）5月28日進水	長崎歴史文化博物館	1点

59	進水絵葉書・戦艦「土佐」	1921年（大正10）12月18日進水	長崎歴史文化博物館	1点
60	進水絵葉書・重巡洋艦「羽黒」	1928年（昭和3）3月24日進水	長崎歴史文化博物館	1点
61	進水絵葉書・重巡洋艦「三隈」	1934年（昭和9）5月31日進水	長崎歴史文化博物館	1点
62	進水絵葉書・重巡洋艦「利根」	1937年（昭和12）11月21日進水	長崎歴史文化博物館	1点
63	進水絵葉書・貨客船「地洋丸」	1907年（明治40）12月7日進水	長崎歴史文化博物館	1点
64	進水絵葉書・貨客船「諏訪丸」	1914年（大正3）3月29日進水	長崎歴史文化博物館	1点
65	進水絵葉書・貨客船「伏見丸」	1914年（大正3）6月28日進水	長崎歴史文化博物館	1点
66	進水絵葉書・貨物船「津山丸」	1916年（大正5）7月11日進水	長崎歴史文化博物館	1点
67	進水絵葉書・客船「浅間丸」	1928年（昭和3）10月30日進水	長崎歴史文化博物館	1点
68	進水絵葉書・客船「龍田丸」	1929年（昭和4）4月12日進水	長崎歴史文化博物館	1点
3章 エネルギー源の石炭				
3-1 長崎湾の島が日本の産業を支えた～高島炭坑と端島炭坑～				
69	高島石炭積出免状 喜福丸	1833年（天保4）	長崎歴史文化博物館	1通
70	高島鉱業所二子坑地形図 縮尺五千分之一	昭和期	長崎歴史文化博物館	1枚
71	要用書類 長崎県	1879年（明治12）～1883年（同16）	長崎歴史文化博物館	1冊
72	第五課事務簿 鑛山ノ部ノ三菱合資会社より高島炭坑鉱区訂正願	1896年（明治29）	長崎歴史文化博物館	1冊
73	高島炭坑之鳥瞰（尾浜付近）	1891年（明治24）	長崎歴史文化博物館	1点
74	高島炭坑の様子ノ「高島炭坑～オツルさん」倉場家写真集	明治時代後期	長崎歴史文化博物館	1点
75	高島炭坑中ノ島裏手写真 薛写真館（長崎市）		長崎歴史文化博物館	1点
76	絵葉書・長崎港ニ於ケル汽船石炭積込ノ景	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
77	絵葉書・長崎港ニ於ケル汽船石炭積込ノ景	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
78	絵葉書・長崎港ニ於ケル石炭揚ノ光景	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
79	絵葉書・三菱高島鑛業所 二子坑表海岸	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
80	二子立坑 坑内坑道立体模型		長崎市高島石炭資料館	1点
81	二子工場地帯 全体配置図（400分の1）		長崎市高島石炭資料館	1点
82	石炭・燃石		長崎市高島石炭資料館	
83	夕顔丸 模型		長崎市高島石炭資料館	1点
84	夕顔丸舵輪		三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1点
85	合資会社三菱社高島炭坑の金庫		三菱重工業株式会社長崎造船所史料館	1点
86	端島坑業出炭請負条約 長崎県ノ編	1876年（明治9）	長崎歴史文化博物館	1冊
87	第五課事務簿 廢坑ノ部 明治27年ノ端島炭坑鉱区訂正願	1894年（明治27）	長崎歴史文化博物館	1冊
88	端島より中ノ島を望む 高島炭坑	明治初期頃	長崎歴史文化博物館	1点
89	絵葉書・長崎港外端島炭坑工場（其一）	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
90	絵葉書・長崎港外端島炭坑納屋	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
91	端島坑外図 縮尺1,000分の1	1952年（昭和27）3月	長崎歴史文化博物館	1枚
92	借区坑業明細書（端島）	1874年（明治7）～1876年（同9）	個人蔵	6枚
93	炭礦日誌	1878年（明治11）11月～	個人蔵	1冊
94	雑記（端島炭坑）	1878年（明治11）1月～3月	個人蔵	1冊
95	概況案内 端島礦 三菱鉱業株式会社高島鉱業所	1959年（昭和34）7月	個人蔵	1冊
96	端島 模型（200分の1）東京電機大学 阿久井喜孝研究室 製作	現代	博物館明治村	1点
3-2 採掘から港まで、輸送の大動脈～三池炭鉱				
97	絵葉書・（三池名勝）笹林公園より東方工場地帯の一望	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
98	絵葉書・（三池名勝）笹林公園より公會堂、電話局、附近を望む	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
99	絵葉書・（三池名勝）笹林公園より北西方を望む	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
100	絵葉書・（三池名勝）笹林公園より黒崎公園の遠望	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
101	絵葉書・（三池名勝）三池港B船積橋	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点

102	絵葉書・(三池名勝) 三池港A船積橋	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
103	絵葉書・(三池名勝) 四ッ山炭鉱より雲仙岳を望む	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
104	絵葉書・(三池名勝) 宮の浦坑	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
105	絵葉書・(熊本百景) 三角港全景〔其一〕	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
106	絵葉書・三角西港	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
107	絵葉書・三角港駅付近ノ景	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
108	絵葉書・三角港修築光景(工費二百四十五万円)	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
109	石炭運搬船の舵		南島原市口之津歴史民俗資料館	1点
110	石炭荷揚道具(鉄・荷揚ばら)		南島原市口之津歴史民俗資料館	2点
111	三井クラブ瓦		南島原市口之津歴史民俗資料館	1点
112	三池炭礦港務事務所 辞令	1889年(明治22)・1908年(明治41)・1909年(明治42)	南島原市口之津歴史民俗資料館	3点
113	庶務課決議簿 地籍ノ部 三池礦山局買上用地ノ件	明治22年	長崎歴史文化博物館	1冊
4章 産業の米・鉄鋼				
4-1 反射炉とは何か				
114	反射炉見取図		長崎歴史文化博物館	1枚
4-2 近代製鉄のはじまり釜石				
115	橋野三番高炉模型		釜石市・鉄の歴史館	1点
4-3 国家プロジェクト八幡製鐵所				
116	絵葉書・(筑前八幡) 八幡市街ノ一部	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
117	絵葉書・(筑前八幡) 製鐵所卷山海岸之景	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
118	絵葉書・(筑前八幡) 製鐵所中央機鐘ノ光景	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
119	絵葉書・(筑前八幡) 製鐵所平爐工場	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
120	絵葉書・(筑前八幡) 製鐵所洗炭工場	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
121	絵葉書・(鐵都 八幡名勝) 八幡市役所全景	1928年(昭和3)9月21日	長崎歴史文化博物館	1点
122	絵葉書・(鐵都 八幡名勝) 製鐵所大谷貯水池	1928年(昭和3)9月21日	長崎歴史文化博物館	1点
123	絵葉書・(鐵都 八幡名勝) 製鐵所中央機關	1928年(昭和3)9月21日	長崎歴史文化博物館	1点
124	絵葉書・(鐵都 八幡名勝) 製鐵所東門附近	1928年(昭和3)9月21日	長崎歴史文化博物館	1点
125	絵葉書・近來美化せる八幡市役所より製鐵所遠望	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
126	絵葉書・東洋一の豪壯を誇る八幡製鐵所本事務所の正面	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
127	絵葉書・製鐵所散炭工場	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
128	絵葉書・製鐵所製銅工場平爐	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
129	絵葉書・製鐵所軌條工場	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
130	絵葉書・(鐵都 八幡名勝) 製鐵所鎔鑪	1928年(昭和3)9月21日	長崎歴史文化博物館	1点
131	絵葉書・製鐵所厚板工場	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
132	絵葉書・製鐵所分塊工場	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
133	絵葉書・製鐵所高架タンク	1930年(昭和5)9月3日	長崎歴史文化博物館	1点
134	絵葉書・製鐵所鎔鑪	昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点
135	絵葉書・鎔鑪鑄床	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
136	絵葉書・事務所	明治末期～大正中期	長崎歴史文化博物館	1点
137	絵葉書・九州鐵道沿線之名所	大正中期～昭和初期	長崎歴史文化博物館	1点

5, 展示図面



山崎歴史文化博物館

ぜひ見たい！

**明治日本の
産業革命遺産と
長崎**

世界遺産推薦特別展
2014 5/24(土)→6/29(日)

長崎歴史文化博物館 3階企画展示室

※観覧時間(午前10時30分～午後7時) (入館は午後6時30分まで) ※休館日(6月17日(火)) ※観覧料(前売り) 640円(当日) ※高校生以下無料 (11歳以下は有料) ※特別企画展、特別展示、特別上映、特別イベント、特別展示、特別上映、特別イベント、特別展示、特別上映、特別イベント

【主催】(公財)山崎歴史文化博物館 実行委員会 長崎県立文化博物館 三菱重工株式会社 長崎県庁 長崎市庁 長崎県庁

【協賛】長崎十八銀行 ○ 秋和銀行 ○ 長崎三菱自動車販売株式会社

【協力】長崎県庁 長崎県立文化博物館 長崎県立美術館 長崎県立歴史博物館 長崎県立産業技術館 長崎県立産業技術センター 長崎県立産業技術センター 長崎県立産業技術センター 長崎県立産業技術センター 長崎県立産業技術センター 長崎県立産業技術センター

【問い合わせ】山崎歴史文化博物館 電話 090-3007 長崎県立文化博物館 電話 095-841-8400 FAX 095-816-8477 http://www.renk.jp

シルクロード文化観光ウィーク in 長崎“墨彩新象”～現代中国工筆絵画展

1, 展示概要

平成 25 年に「シルクロード：長安-天山回廊の交易路網」がユネスコの世界文化遺産に登録されたことを記念し開催した絵画展。中国工筆画家 20 名による中国文化を体現した作品を紹介した。

開催期間：平成 26 年 7 月 4 日（金）～ 7 月 10 日（木）
【7 日間】

観覧料：無料

主催：東京中国文化センター、河南省美術家協会、
中国国家観光局駐日本代表処

共催：長崎県、一般社団法人長崎県観光連盟、
長崎歴史文化博物館

協力：中国銀聯国際東京駐在員事務所、中国東方航空、人民日報海外版日本月刊

後援：中国人民共和国駐日本国大使館、中華人

民共和国駐長崎総領事館、新華社日本総局、日本外務省、日本国土交通省観光庁、日本政府観光局（JNTO）、長崎市、公益社団法人日本中国友好協会、日中友好議員連盟、社団法人日中協会、一般財団法人日本中国文化交流協会、一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会、日本華僑華人文芸芸術界聯合会

総入場者数：671 名（1 日平均 96 名）

2, 関連行事

○長崎・中国画家交流会

日時：7 月 4 日（金）14：00～17：00

会場：1 階エントランス

出演者：中国絵画団 団長馬嶺氏他 21 名

長崎県美術協会・水彩連盟長崎支局・日本水彩画会長崎支部会員：22 名



4, 展示リスト

	姓名	作品名	点数	法量
1	馬嶺	高原鼓手	1	45 × 61cm
2		英吉沙人	1	45 × 61cm
3		收穫	1	45 × 61cm
4		狩手	1	45 × 61cm
5		唐人詩意図——塞下曲	1	135 × 80cm
6		唐人詩意図——没蕃故人	1	135 × 80cm
7		套馬図一	1	184 × 76cm
8		套馬図二	1	184 × 76cm
9		舞馬系列一	1	100 × 80cm
10		舞馬系列二	1	100 × 80cm
11	楊健生	秋の童話	1	173.6 × 98cm
12		童年歌謡	1	173 × 97cm
13		彤彤系列七	1	172.8 × 47.2cm
14		彤彤系列八	1	172 × 47.3cm
15		彤彤系列九	1	170 × 47cm
16		彤彤系列十一	1	170 × 48cm
17		高原情系列一	1	170.9 × 46.5cm
18		高原情系列二	1	171 × 46.7cm
19		高原情系列四	1	171 × 46.5cm
20		高原情系列六	1	171 × 46.5cm
21	陳政	刀馬人	1	106 × 78cm
22		律動	1	168 × 33.5cm
23		律動	1	168 × 33.5cm
24		律動	1	168 × 33.5cm
25		律動	1	168 × 33.5cm

26	陳政	律動	1	168 × 33.5cm
27		律動	1	168 × 33.5cm
28		刀馬人	1	52 × 31.5cm
29		刀馬人	1	52 × 31.5cm
30		刀馬人	1	52 × 31.5cm
31	刀馬人	1	52 × 31.5cm	
32	陳文利	巢	1	136 × 68cm
33		霜降	1	180 × 96cm
34		山村農家	1	180 × 96cm
35		金風	1	180 × 97cm
36		意古図	1	180 × 97cm
37		素心長存	1	136 × 68cm
38		月影	1	180 × 96cm
39		自得山中趣	1	180 × 96cm
40		風清香自遠	1	180 × 96cm
41		喬枕石	太行林局	1
42	雲山溪居図		1	233 × 118cm
43	井底深秋		1	233 × 118cm
44	無題		1	233 × 122cm
45	太行清秋		1	233 × 122cm
46	無題		1	233 × 123cm
47	西山蒼翠		1	233 × 123cm
48	溪山四時佳		1	233 × 123cm
49	太行清秋		1	233 × 123cm
50	岱宗降瑞図		1	233 × 123cm
51	溪山祥雲	1	233 × 114cm	

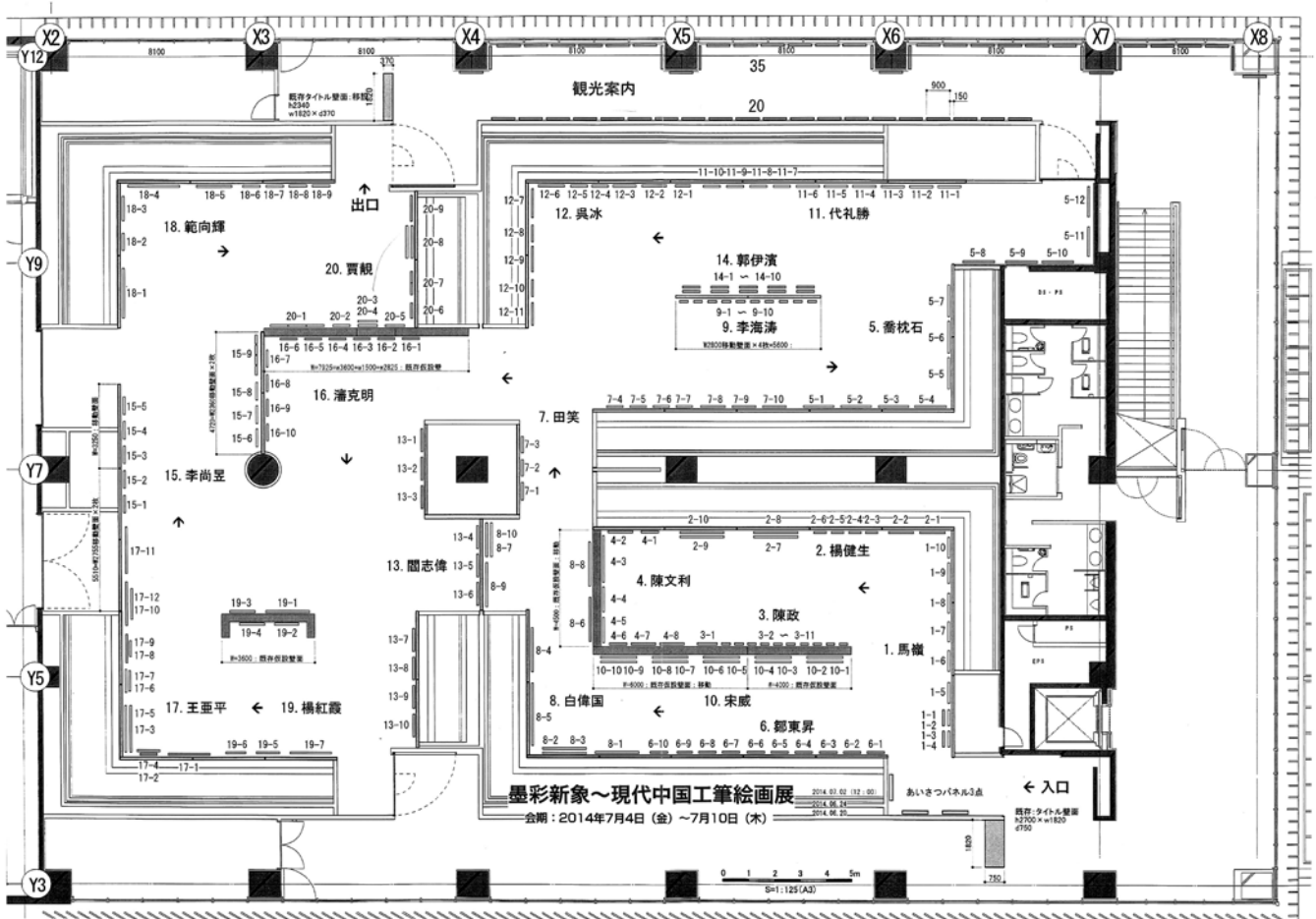
52	喬枕石	太行雄秀圖	1	233 × 118cm
53	鄒東昇	工筆人物	1	136 × 68cm
54		工筆人物	1	136 × 68cm
55		工筆人物	1	136 × 68cm
56		工筆人物	1	136 × 68cm
57		工筆人物	1	136 × 68cm
58		工筆人物	1	136 × 68cm
59		工筆人物	1	136 × 68cm
60		工筆人物	1	136 × 68cm
61		工筆人物	1	180 × 60cm
62		工筆人物	1	180 × 60cm
63	田笑	弘一大法師像	1	143 × 69cm
64		魯迅先生像	1	131 × 64cm
65		初雪	1	131 × 64cm
66		陳垣先生	1	131 × 64cm
67		落花無聲	1	131 × 64cm
68		聽禪	1	131 × 64cm
69		蔡元培先生像	1	131 × 64cm
70		梨花賦	1	155 × 95cm
71		倚風無語淡生香	1	170 × 90cm
72		秋風吟	1	170 × 90cm
73	白偉國	暮色清悠	1	170 × 90cm
74		醉花倚	1	170 × 45cm
75		花開く時	1	170 × 45cm
76		愛蓮說詩意	1	170 × 90cm
77		晨露	1	240 × 80cm
78		静かな午後	1	170 × 90cm
79		清香	1	130 × 65cm
80		留得秋色伴秋聲	1	170 × 90cm
81		竹園清趣	1	170 × 90cm
82		雪野	1	130 × 65cm
83	李海濤	花花世界系列一	1	136 × 34cm
84		花花世界系列二	1	136 × 34cm
85		花花世界系列三	1	136 × 34cm
86		花花世界系列四	1	136 × 34cm
87		花花世界系列五	1	136 × 34cm
88		花花世界系列六	1	136 × 34cm
89		花花世界系列七	1	136 × 34cm
90		花花世界系列八	1	136 × 34cm
91		花花世界系列九	1	136 × 34cm
92		花花世界系列十	1	136 × 34cm
93	宋威	春深	1	140 × 35.5cm
94		微翠	1	35.5 × 140cm
95		仲夏	1	140 × 35.5cm
96		熏風	1	35.5 × 140cm
97		麗日	1	35.5 × 140cm
98		秋涼	1	35.5 × 140cm
99		乍寒	1	35.5 × 140cm
100		快雪	1	35.5 × 140cm
101		聽雨	1	140 × 35.5cm
102		清明	1	140 × 35.5cm
103	代禮勝	花鳥系列之一	1	180 × 90cm
104		花鳥系列之二	1	180 × 90cm
105		花鳥系列之三	1	180 × 90cm
106		花鳥系列之四	1	180 × 90cm
107		花鳥系列之五	1	136 × 65cm
108		花鳥系列之六	1	136 × 65cm
109		花鳥系列之七	1	136 × 65cm
110		花鳥系列之八	1	136 × 65cm
111		花鳥系列之九	1	180 × 90cm
112		花鳥系列之十	1	180 × 90cm
113	吳冰	花語	1	93.3 × 60cm
114		記憶	1	162 × 97cm
115		出水芙蓉	1	155 × 90cm
116		清涼夏日	1	130 × 63cm
117		思接千載	1	130 × 64cm
118		紅妝	1	171 × 101cm
119	清韻	1	176 × 112cm	

120	吳冰	花窓	1	130 × 65cm
121		月色初白	1	148 × 98cm
122		夏の夢	1	130 × 66cm
123	閻志偉	荷香	1	157 × 88cm
124		寂	1	165 × 88cm
125		凝	1	165 × 88cm
126		佇	1	165 × 88cm
127		夜·空	1	165 × 88cm
128		彼·此	1	165 × 88cm
129		錦·灰	1	165 × 88cm
130		春暖	1	165 × 88cm
131		疑是秋風	1	165 × 88cm
132		静·觀	1	165 × 88cm
133	應是瑤池旧相識	1	155 × 80cm	
134	郭伊濱	鵝卵石系列	1	69 × 69cm
135		鵝卵石系列	1	69 × 69cm
136		鵝卵石系列	1	69 × 69cm
137		鵝卵石系列	1	69 × 69cm
138		花鳥系列	1	69 × 69cm
139		花鳥系列	1	69 × 69cm
140		花鳥系列	1	69 × 69cm
141		花鳥系列	1	69 × 69cm
142		花鳥系列	1	69 × 69cm
143		花鳥系列	1	69 × 69cm
144	李尚昱	双喜圖	1	136 × 68cm
145		双寿圖	1	136 × 68cm
146		白頭偕老	1	136 × 68cm
147		戴勝圖	1	136 × 68cm
148		一路榮華	1	136 × 68cm
149		高樓圖	1	136 × 68cm
150		竹報平安	1	136 × 68cm
151		幽谷珍禽	1	136 × 68cm
152		四條屏	1	136 × 36 × 4
153		潘克明	童年的歌系列一	1
154	童年的歌系列二		1	132 × 66cm
155	童年的歌系列三		1	132 × 66cm
156	童年的歌系列四		1	132 × 66cm
157	童年的歌系列五		1	132 × 66cm
158	童年的歌系列六		1	132 × 66cm
159	花之韻系列之一		1	132 × 66cm
160	花之韻系列之二		1	132 × 66cm
161	花之韻系列之三	1	132 × 66cm	
162	花之韻系列之四	1	132 × 66cm	
163	王垂平	游園驚夢	1	137 × 163cm
164		春秋	1	45 × 66cm
165		立春	1	97 × 180cm
166		韶光	1	57 × 88cm
167		晨露	1	105 × 180cm
168		輕風	1	80 × 89cm
169		月色溶溶液	1	78 × 78cm
170		子時	1	42 × 62cm
171		棋罷指猶涼	1	73 × 110cm
172		摹孫位《高逸圖》卷	1	45.2 × 168.7cm
173	範向輝	烏撒·東山の上	1	110 × 180cm
174		烏撒·七月	1	55 × 120cm
175		不問溪深逐水流	1	65 × 193cm
176		如蓮時光	1	72 × 66cm
177		独自等待	1	174 × 93cm
178		浮生不知處	1	80 × 200cm
179		素翎遺雪	1	60 × 136cm
180		一年春事都來幾	1	138 × 68cm
181		淡泊風前	1	138 × 68cm
182		煙波江上	1	138 × 70cm
183	楊紅霞	世事何需覓	1	140 × 70cm
184		等待	1	92.5 × 170cm
185		女兒·春	1	116 × 93cm
186		小溪	1	97.5 × 98.5cm
187		雀之語	1	136 × 98cm

188		有信息了	1	178 × 91cm
189	楊紅霞	芝麻開花節節高	1	187 × 77cm
190		小憩	1	76 × 161cm
191		心儀敦煌 (組画)	3	28 × 69cm
192	賈靚	夏	1	60 × 67cm
193		秋	1	26 × 75cm

194		春	1	26 × 74cm
195		惠風	1	38 × 75cm
196	賈靚	藏跡心事	1	33 × 60cm
197		蕾絲系列 (組画)	2	30 × 45cm
198		蝶爲冠花爲裳 (組画)	2	65 × 125cm
199		音樂	1	80 × 100cm

5. 展示図面



シルクロード文化観光ウィーク in 長崎
“墨彩新象” 現代中国工筆絵画展

中国工筆画家20名による作品約二百点の展示

無料観覧

ご来場の方に
 抽選でプレゼント
 ○長崎・上海の住居
 模型画(各2点)
 ○絵画(各4点)
 ○プラモデル(1点)

7月4日(金)～10日(木)
長崎歴史文化博物館3階企画展示室

開場式 7月4日(金) 11:00～開会挨拶、中国民族楽器演奏、空間、抽選会(お席に限りがあります)
 午後中国工筆画家と日本人画家との交流会(時間はお問い合わせください)
 観覧時間 9:30～19:00(4日は開場式終了後となります。また、10日は15時までです。)

中国から東アジアに至るシルクロードがユネスコの世界文化遺産に登録されたことを受け、中国にゆかりの深い長崎県にて、シルクロード関連の観光情報や中国の芸術文化を紹介する「シルクロード文化観光ウィーク in 長崎」を開催し、上記展示のほか、ハウステンボスにて以下の催しを行います。

場所：ハウステンボス内ミュージアムホール 日時：7月5日(土)、6日(日) 内容：中国民族楽器演奏、夏宴

■主催 東京中国文化センター、河南省美術家協会、中国国際観光局駐日本代表団
 ■共催 長崎県、一般社団法人長崎県観光連盟、長崎歴史文化博物館
 ■協力 中国駐長崎領事館、中国東方航空、人脈日報海外版日本月刊
 ■後援 中華人民共和国駐日本領事館、中華人民共和国駐長崎総領事館、新華社日本総局、日本外務省、日本国土交通省観光庁、日本政府観光局(JATO)、長崎県、公益社団法人日本中国友好協会、日本友好関係推進委員会、社団法人日本中国友好協会、一般社団法人日本中国文化交流協会、一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会、日本華僑華人文学芸術界聯合会

■問合せ先 長崎県観光振興課 TEL: 095-895-2641 松島、江口、井川

おばけ屋敷で科学する！ in 長崎

1, 展示概要

「恐怖ってなに!?!」「なんで怖いって思うんだろ
う」というような、大人から子どもまで不思議に思
っていたことが理解できる体感型学習アトラクショ
ン。日常生活で感じる「怖い」という感情が湧き立
つ仕組みについて、科学的に考えてもらうことが展
示のねらいであり、恐怖を感じる脳科学のメカニズ
ムについて紹介した。

開催期間：平成 26 年 7 月 19 日(土)～8 月 31 日(日)
44 日間 ※会期中無休

観覧料金：大人 1000 円(800 円)・高大学生 700 円
(500 円)・小中学生 500 円(400 円)
3 歳以上小学生未満 300 円(200 円)

主催：長崎歴史文化博物館・西日本新聞社・フ
ジテレビジョン・KTNテレビ長崎

協賛：ダイハツ長崎販売(株)

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎
市教育委員会・諫早市教育委員会・大村
市教育委員会・西海市教育委員会・長与
町教育委員会・時津町教育委員会・NHK
長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エ
フエム長崎・長崎県観光連盟・長崎国際
観光コンベンション協会・長崎県立長崎
図書館・長崎市立図書館・長崎県社会福
祉協議会・長崎県校長会・長崎県 PTA 連
合会・長崎県書店商業組合

総入館者数：25,924 名(1 日平均 589 名)

2, 展示構成

- <体感>【お化け屋敷エリア】お客さまに『恐怖』
を体験させる
- <学習>【科学トピックスエリア】お客様が体感し
た恐怖の正体について解説する
- <観察>【観察エリア】“お化け屋敷エリア”監視
カメラの映像を流し、他のお客さまが驚
く様子を観察させる
- <体験>【体験エリア】お客さまが実際に触れて操
作する展示を設置



3, 関連行事

○ ナイトミュージアム

開催期間：7 月 21 日(月・祝) 19:30～21:00
8 月 10 日(日) 19:30～21:00

会場：1 階ホール及び 2 階常設展示室

朗読者：樋田禎子氏(テレビ長崎報道局長)

案内：林美和(当館研究員)

矢田純子(当館研究員)

小熊佐智子(当館研究員)

参加費：小中学生 800 円、大人 1200 円(常設展示
室観覧料及び企画展チケット代込み)

参加者：[7/21] 59 名 [8/10] 46 名

○ ワークショップ

「ゆらゆらおばけづくり」

日時：7 月 23 日(水) ① 10:30～ ② 14:00～

会場：1 階講座室

講師：小熊佐智子

(当館研究員)

参加費：200 円(材料費)

参加者：① 20 名 ② 20 名

「おばけの折り紙体験教室」

日時：8 月 21 日(木)

14:00～15:00

会場：2 階イベントの間

(立山亭)

講師：小熊佐智子(当館研究員)

業務支援ボランティア

参加費：無料

参加者：46 名

○ 関連イベント

「おばけの絵画コンテスト」

応募期間：7 月 1 日(火)～8 月 5 日(火)

展示期間：7 月 19 日(土)～8 月 31 日(日)

展示場所：3 階企画展展示室及び図書館側廊下

応募作品数：526 点



「れきぶんミュージアムコンサート」
 日 時：7月27日（日）15：30～16：30
 会 場：1階エントランスホール

出 演：レガリーノ
 参加費：無料
 参加者：172名

5. 展示図面



長崎スポーツ博覧会～目指せ!! 未来のアスリート!! 夢への挑戦～

1. 展示概要

長崎県において、今年45年ぶりの国民体育大会と初の障害者スポーツ大会が開催された。本展覧会は、国体の文化プログラムの1つとして開催され、長崎に伝わったスポーツ、国民体育大会・オリンピックの歴史、長崎県ゆかりのアスリートの品々を紹介した。また、実際のスポーツ用具に触れる体験展示などもおこなった。

開催期間：平成26年9月13日(土)～11月3日(月)
51日間 ※休館日 9月16日(火)

観覧料：大人500円(400円) 小中高生無料

主催：長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会・特定非営利法人 日本スポーツ芸術協会

特別協力：長崎歴史文化博物館

協力：秩父宮記念スポーツ博物館・日本サッカーミュージアム・公益財団法人野球殿堂博物館・長崎新聞社・NISHI・MIZUNO・KONAMI SPORTS CLUB・井村啓造氏

後援：文部科学省・公益財団法人日本体育協会・公益財団法人日本障害者スポーツ協会・社会福祉法人長崎県社会福祉協議会・長崎県障害者スポーツ協会・長崎県教育委員会・長崎市・長崎市教育委員会・共同通信社長崎支局・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞西部本社・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎商工会議所・長崎県タクシー協会・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会

総入場者数：14,926名(1日平均293名)

2. 展示構成

第一章 長崎スポーツ事始め

第二章 長崎アスリートの殿堂

第三章 体感：アスリートフィールド



3. 関連行事

○講演会

「やさしい運動から始める健康づくり」

日時：9月23日(火・祝) 10:00～11:30

講師：中垣内 真樹氏

(長崎大学医学部保健学科准教授)

会場：1階ホール

参加者：48名



アスリートトーク「人類は2時間の壁をやぶれるか」

日時：10月25日(土) 13:00～14:30

講師：高岡寿成氏(カネボウ化粧品陸上競技部コーチ・マラソン日本最高記録保持者)

伊藤國光氏(専修大学陸上競技部監督)

会場：1階ホール

参加者：80名



○ワークショップ

「親子クラブづくり教室」

日時：9月27日(土) ①11:00～②14:00～

協力：ミズノ株式会社

会場：1階エントランス

対象：小学生

参加者：54名



○演武

「空手道演武」

日 時：9月15日(月・祝) ①13:00～②15:00～

出 演：瓊浦高等学校空手道部

会 場：1階エントランス

観覧者：123名



「なぎなた演武」

日 時：10月26日(日) ①13:00～②15:00～

出 演：長崎県立長崎明誠高等学校なぎなた部

会 場：1階エントランス

観覧者：114名



4. 展示リスト

No.	節	選手名	資料名	所蔵	作者	年代
第一章 長崎スポーツ事始め						
1	ビリヤード・バドミントン		出島図	長崎歴史文化博物館	川原慶賀	江戸後期
2	ビリヤード・バドミントン		蘭館図屏風(複製)	長崎歴史文化博物館		17世紀後半～18世紀前半
3	ビリヤード・バドミントン		漢洋長崎居留図巻	長崎歴史文化博物館		江戸後期
4	バドミントン		紅毛雑話	長崎歴史文化博物館	森羅万象編	天明7年刊(1787)
5	ビリヤード		唐蘭館絵巻 玉突き図	長崎歴史文化博物館	川原慶賀	文政期頃(1818～1830)
6	ビリヤード		長崎古今集覧名勝圖繪 中	長崎歴史文化博物館		天保12年序(1841)
7	ビリヤード		長崎行役日記	長崎歴史文化博物館	長久保赤水著	1805年
8	ボウリング		居留地支那人三人より丁国人船大工エンステイボルト相手取請負普請手問料滞	長崎歴史文化博物館		1872年
9	ボウリング		ボウリング球(復元球)	社団法人日本ボウリング場協会		
10	ボウリング		航米日録 万延元年	長崎歴史文化博物館	玉虫左太夫著	1860年
11	ペーロン		長崎名勝図絵稿本	長崎歴史文化博物館		
12	ペーロン		犯科帳	長崎歴史文化博物館		寛政12年4月～享和元年9月
13	ペーロン		絵葉書・長崎港内 龍競漕	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
14	ペーロン		絵葉書・長浦ペーロン(彼杵半島)	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
15	ペーロン		絵葉書・樺島ペーロン(野母半島)	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
16	ペーロン		絵葉書・瀬戸ペーロン(彼杵半島)	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
17	ペーロン		絵葉書・崎戸ペーロン(彼杵半島)	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
18	ペーロン		絵葉書・長崎港内(割龍)ペーロン競漕	長崎歴史文化博物館		
19	ペーロン		絵葉書・長崎港内(割龍)ペーロン競漕の光景	長崎歴史文化博物館		
20	ペーロン		絵葉書・蚊焼ペーロン(野母半島)	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
21	ペーロン		ペーロン模型	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	友永富士男	
22	陸ペーロン・セーラエン		長崎の年中行事「子供中、陸ペーロン」	長崎歴史文化博物館	川原慶賀	
23	陸ペーロン・セーラエン		絵葉書・陸ペーロン(セーラエン)	長崎歴史文化博物館	佐藤弘聞堂(長崎)刊	
24	陸ペーロン・セーラエン		長崎名勝図絵稿本	長崎歴史文化博物館		
25	水泳		長崎市年内中行事写真集 2/昭和47年	長崎歴史文化博物館	長崎県立長崎図書館編	1972年
26	水泳		長崎港外鼠島に於ける瓊浦遊泳協会員一同の記念写真 明治36年9月6日	長崎歴史文化博物館		1903年

27	五輪コーナー		オリンピア遺跡復元模型 (1 / 250)	秩父宮記念スポーツ博物館		
28	五輪コーナー		ホッケー競技に似たゲーム	秩父宮記念スポーツ博物館		
29	五輪コーナー		古代レリーフ (人びと)	秩父宮記念スポーツ博物館		
30	五輪コーナー		若い競技者像	秩父宮記念スポーツ博物館		
31	五輪コーナー		ストリギリス (古代の汗取りヘラ)	秩父宮記念スポーツ博物館		
32	五輪コーナー		ベルリンオリンピック (1936年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
33	五輪コーナー		ローマオリンピック (1960年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
34	五輪コーナー		モントリオールオリンピック (1976年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
35	五輪コーナー		モスクワオリンピック (1980年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
36	五輪コーナー		ソウルオリンピック (1988年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
37	五輪コーナー		バルセロナオリンピック (1992年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
38	五輪コーナー		アトランタオリンピック (1996年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
39	五輪コーナー		ロサンゼルスオリンピック (1984年) 柔道着 (山下泰裕着用)	秩父宮記念スポーツ博物館		
40	五輪コーナー		アテネオリンピック (2004年) ハンマー投げユニフォーム (室伏広治着用)	秩父宮記念スポーツ博物館		
41	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 体操ユニフォーム (ベラ・チャスラフスカ着用)	秩父宮記念スポーツ博物館		
42	五輪コーナー		モントリオールオリンピック (1976年) 体操ユニフォーム (ナディア・コマネチ着用 サイン入り)	秩父宮記念スポーツ博物館		
43	五輪コーナー		北京オリンピック (2008年) バドミントンユニフォーム (小椋久美子予備用)	秩父宮記念スポーツ博物館		
44	五輪コーナー		北京オリンピック (2008年) バドミントンユニフォーム (潮田玲子予備用)	秩父宮記念スポーツ博物館		
45	五輪コーナー		マラソンシューズ (野口みずき着用のものと同モデル)	秩父宮記念スポーツ博物館		
46	五輪コーナー		マラソンシューズ (高橋尚子着用 サイン入り)	秩父宮記念スポーツ博物館		
47	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 聖火ランナー用ユニフォーム	秩父宮記念スポーツ博物館		
48	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 聖火トーチ	秩父宮記念スポーツ博物館		
49	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 入賞メダル (金) (レプリカ)	秩父宮記念スポーツ博物館		
50	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 入賞メダル (銀) (レプリカ)	秩父宮記念スポーツ博物館		
51	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 入賞メダル (銅) (レプリカ)	秩父宮記念スポーツ博物館		
52	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 参加メダル	秩父宮記念スポーツ博物館		
53	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 表彰台 (レプリカ)	秩父宮記念スポーツ博物館		
54	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 聖火保存灯	秩父宮記念スポーツ博物館		
55	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) デレゲーションユニフォーム	秩父宮記念スポーツ博物館		
56	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 第1号ポスター	秩父宮記念スポーツ博物館		
57	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 第2号ポスター	秩父宮記念スポーツ博物館		
58	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 第3号ポスター	秩父宮記念スポーツ博物館		
59	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 第4号ポスター	秩父宮記念スポーツ博物館		
60	五輪コーナー		東京オリンピック (1964年) 聖火トーチ	個人蔵		
61	五輪コーナー		東京オリンピック 聖火リレー参加章	個人蔵		
62	五輪コーナー		アルベールビルオリンピック (1992年) ショートトラックユニフォーム (石原辰義着用)	個人蔵		
63	五輪コーナー		アルベールビルオリンピック (1992年) ショートトラック 男子5000mリレー 銅メダル (石原辰義)	個人蔵		
64	五輪コーナー		アルベールビルオリンピック (1992年) スケート靴 (石原辰義着用)	個人蔵		

65	五輪コーナー		長野オリンピック(1998年) 日本選手団コート(山田伸子着用)	個人蔵		
66	五輪コーナー		長野オリンピック(1998年) 日本選手団行進用帽子(山田伸子着用)	個人蔵		
67	五輪コーナー		スケート靴(山田伸子着用)	個人蔵		
68	国体		国体参加章(第1回~68回)	秩父宮記念スポーツ博物館		
69	国体		第2回石川国体(1947年)開会式風景	秩父宮記念スポーツ博物館		
70	国体		第2回石川国体(1947年)開会式風景	秩父宮記念スポーツ博物館		
71	国体		「若い力」楽譜	秩父宮記念スポーツ博物館		
72	国体		9回連続国体出場記念章贈呈状	秩父宮記念スポーツ博物館		
73	国体		第11回兵庫国体(1956年)天皇杯	秩父宮記念スポーツ博物館		
74	国体		第11回兵庫国体(1956年)皇后杯	秩父宮記念スポーツ博物館		
75	国体		第3回福岡国体(1956年)水泳競技賞状	秩父宮記念スポーツ博物館		
76	国体		9回連続国体出場記念盾	秩父宮記念スポーツ博物館		
77	国体		炬火トーチ	個人蔵		
78	国体		ワッペン(国体・障害者スポーツ)	個人蔵		
79	国体		長崎国体記念メダル	個人蔵		
80	国体		長崎国体グラフ	個人蔵		
81	国体		ソノシート(明日をひらく第24回長崎創造国体式典音楽の記録)	個人蔵		
82	国体		鳩のえさ入れ(国体ロゴ入り 平和鳩の会)	個人蔵		
83	国体		炬火台	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
84	国体		前回長崎国体炬火リレーはちまき	個人蔵		
85	国体		前回長崎国体参加メダル(楳)	個人蔵		
86	国体		前回長崎国体選手団ブレザー	個人蔵		
87	国体		前回国体映像資料(式典、炬火リレー、県民運動の様子)	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
88	国体		前回国体パネル	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
89	国体		前回国体ポスター(競技別)	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
90	国体		第69回国体式典衣装(創作ダンス)	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
91	国体		第69回国体式典衣装(マスメーム)	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
92	国体		第69回国体選手団ユニフォーム	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
93	国体		第69回国体参加章	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
94	国体		炬火トーチ	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
95	国体		障害者スポーツ紹介	障がい者スポーツ協会		
96	国体		国体記念切手	個人蔵		
97	国体		国体記念切手(第69回)	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		

第二章 長崎アスリートの殿堂

98	サッカー	吉田麻也	ユニフォーム 2014第20回FIFAワールドカップ/ブラジル アジア地区最終予選	日本サッカーミュージアム		
99	サッカー	吉田麻也	キャプテンマーク 2012第30回オリンピック競技大会/ロンドン(ロンドンオリンピック)	日本サッカーミュージアム		
100	サッカー	吉田麻也	パス(サイン入り) 2014第20回FIFAワールドカップ/ブラジル アジア地区最終予選	日本サッカーミュージアム		
101	サッカー	吉田麻也	Tシャツ(メッセージ入り) 2011東日本大震災復興支援チャリティーマッチ がんばろうニッポン!	日本サッカーミュージアム		
102	サッカー	吉田麻也	写真パネル	個人蔵		

103	サッカー	平山相太	ユニフォーム (U-23 日本代表) 2004 第 28 回オリンピック競技大会 / アテネ (アテネ オリンピック)	日本サッカーミュージアム		
104	サッカー	平山相太	ユニフォーム (日本代表) 2010 第 4 回東アジア選手権決勝大会 / 日本	日本サッカーミュージアム		
105	サッカー	兵藤慎剛	ユニフォーム (U-20 日本代表) 2005FIFA ワールドユース選手権大会 / オランダ	日本サッカーミュージアム		
106	サッカー	兵藤慎剛	シューズ	個人蔵		
107	サッカー	兵藤慎剛	全日本大学サッカー選手権大会最優秀選手賞トロフィー	個人蔵		
108	サッカー	渡邊千真	ユニフォーム (U-19 日本代表) 2004 第 34 回 AFC アジアユース選手権 / マレーシア	日本サッカーミュージアム		
109	サッカー	徳永悠平	T シャツ (サイン入り) 2012 第 30 回オリンピック競技大会 / ロンドン (ロンドン オリンピック)	日本サッカーミュージアム		
110	サッカー	徳永悠平	ユニフォーム (日本代表) 2010 第 4 回東アジア選手権決勝大会 / 日本	日本サッカーミュージアム		
111	サッカー	徳永悠平	ユニフォーム (日本代表) 2009 キリンチャレンジカップ	日本サッカーミュージアム		
112	サッカー	大久保嘉人	パス 2004 第 28 回オリンピック競技大会 / アテネ (アテネ オリンピック) アジア地区最終予選	日本サッカーミュージアム		
113	サッカー	大久保嘉人	ユニフォーム (U-23 日本代表) 2004 第 28 回オリンピック競技大会 / アテネ (アテネ オリンピック)	日本サッカーミュージアム		
114	サッカー	大久保嘉人	ミニボールサイン入り 2010 第 19 回 FIFA ワールドカップ / 南アフリカ	日本サッカーミュージアム		
115	サッカー	大久保嘉人	ユニフォーム (日本代表) 2010 第 19 回 FIFA ワールドカップ / 南アフリカ	日本サッカーミュージアム		
116	野球	城島健司	2009 年 WBC ユニフォーム (サイン入り ホーム)	野球殿堂博物館		
117	野球	今村猛	2013 年 WBC ユニフォーム (ホーム)	野球殿堂博物館		
118	野球	下柳剛	グラブ 1998 年 日本ハムファイターズ	野球殿堂博物館		
119	野球	堀 幸一	バット 1996 年 ロッテマリーンズ	野球殿堂博物館		
120	野球	平田勝男	バット 1987 年 阪神タイガース	野球殿堂博物館		
121	野球	杉内俊	2009 年 WBC ユニフォーム (サイン入り ホーム)	野球殿堂博物館		
122	野球	小島啓民	野球銅メダル バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
123	野球	小島啓	侍ジャパン (日本代表) ユニフォーム (ビジター) 2013 年	個人蔵		
124	ハンドボール	小森久里子	日本代表ジャージ モントリオールオリンピック 1976 年	個人蔵		
125	ハンドボール	小森久里子	日本女子ハンドボールチームサイン モントリオール オリンピック 1976 年	個人蔵		
126	バスケット	永田睦子	バスケットボールユニフォーム (サイン入り) アテ ネオリンピック 2004 年	個人蔵		
127	バスケット	浜口典子	バスケットボールユニフォーム アトランタオリ ンピック 1996 年	個人蔵		
128	バスケット	浜口典子	日本選手団雨合羽 アトランタオリンピック 1996 年	個人蔵		
129	バスケット	浜口秀樹	日本選手団ブレザー・ズボン・ネクタイ モントリオ ールオリンピック 1976 年	個人蔵		
130	バスケット	浜口秀樹	ペナント	個人蔵		
131	バレー	池田尚弘	バレーボール男子銅メダル 東京オリンピック 1964 年	個人蔵		
132	バレー	池田尚弘	日本選手団ブレザー・ネクタイ メキシコオリ ンピック 1968 年	個人蔵		
133	バレー	池田尚弘	バレーボール男子銀メダル メキシコオリ ンピック 1968 年	個人蔵		
134	バレー	朝長孝介	バレーボールユニフォーム 北京オリンピック 2008 年	個人蔵		
135	バレー	朝長孝介	バレーボールシューズ 北京オリンピック 2008 年	個人蔵		
136	ラグビー	平浩二	ユニフォーム ワールドカップ 2007 年	長崎南山高等学校		
137	ラグビー	平浩二	ユニフォーム (サイン入り) ワールドカップ 2011 年	長崎南山高等学校		
138	ラグビー	平浩二	平浩二写真	長崎南山高等学校		
139	バドミントン	大東忠司	バドミントンダブルス写真 北京オリンピック 2008 年	個人蔵		
140	バドミントン	大東忠司	バドミントンユニフォーム 北京オリンピック 2008 年	個人蔵		
141	バドミントン	大東忠司	バドミントン男子ダブルス表彰状 (5 位入賞) 北京 オリンピック 2008 年	個人蔵		
142	バドミントン	大東忠司	バドミントンシューズ	個人蔵		
143	バドミントン	大東忠司	バドミントンユニフォーム 北京オリンピック 2008 年 (サイン入り)	個人蔵		
144	アーチェリー	早川 漣	アーチェリー女子団体銅メダル ロンドンオリ ンピック 2012 年	個人蔵		

145	アーチェリー	早川 漣	日本代表ジャージ ロンドンオリンピック 2012 年	個人蔵		
146	アーチェリー	早川 漣	アーチェリー女子団体金メダル アジア選手権大会 2011 年 (イラン テヘラン)	個人蔵		
147	アーチェリー	早川 漣	アーチェリー混合銀メダル アジア・グランプリ 2014 年 (タイ バンコク)	個人蔵		
148	ライフル射撃	松尾薫	ライフル射撃モントリオールオリンピック参加賞 モントリオールオリンピック 1976 年	個人蔵		
149	ライフル射撃	松尾薫	ライフル射撃個人金メダル 第 5 回アジア射撃選手権大会 1983 年 (インドネシア ジャカルタ)	個人蔵		
150	ライフル射撃	松尾薫	ライフル射撃ロサンゼルスオリンピック参加賞 ロサンゼルスオリンピック 1984 年	個人蔵		
151	ライフル射撃	松尾薫	ライフル射撃ソウルオリンピック参加賞 ソウルオリンピック 1988 年	個人蔵		
152	ライフル射撃	松尾薫	バルセロナオリンピック参加賞(ライフル射撃コーチ) バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
153	ライフル射撃	松尾薫	アトランタオリンピック参加賞 (ライフル射撃監督) アトランタオリンピック 1996 年	個人蔵		
154	ライフル射撃	松尾薫	日本選手団ブレザー・ズボン アジア競技大会 1982 年	長崎県立島原工業高等学校		
155	ライフル射撃	野中英夫	ウィンドブレーカー ソウルオリンピック 1988 年	個人蔵		
156	ライフル射撃	野中英夫	表彰状(優勝) ソウルアジア競技大会 1986 年	個人蔵		
157	陸上	田端健児	陸上競技ユニフォーム シドニーオリンピック 2000 年	個人蔵		
158	陸上	田端健児	バトン	個人蔵		
159	陸上	田端健児	シューズ シドニーオリンピック 2000 年	個人蔵		
160	陸上	田端健児	田端健児写真	個人蔵		
161	陸上	藤原新	シューズ	個人蔵		
162	陸上(障害者スポーツ)	副島正純	ユニフォーム パラリンピック	個人蔵		
163	陸上(障害者スポーツ)	副島正純	金メダル ニューヨークシティマラソン 2012 年	個人蔵		
164	陸上(障害者スポーツ)	副島正純	トロフィー ポストンマラソン 2011 年	個人蔵		
165	陸上(障害者スポーツ)	副島正純	車いす 1,500 m 銀メダル 世界陸上選手権大阪大会 2007 年	個人蔵		
166	陸上(障害者スポーツ)	副島正純	男子 4 × 400 m リレー 銅メダル アテネパラリンピック 2004 年	個人蔵		
167	陸上(障害者スポーツ)	副島正純	金メダル ポストンマラソン 2011 年	個人蔵		
168	水泳	中尾美樹	女子 200m 背泳ぎ 銅メダル シドニーオリンピック 2000 年	個人蔵		
169	水泳	清水啓吾	男子 400m メドレーリレー 銅メダル ローマオリンピック 1960 年	個人蔵		
170	水泳	清水啓吾	男子 100 m 自由形金メダル ユニバーシアード競技大会 1961 年 (ブルガリア ソフィア)	個人蔵		
171	水泳	清水啓吾	男子 100 m 自由形金メダル アジア競技大会 1962 年 (インドネシア ジャカルタ)	個人蔵		
172	水泳	清水啓吾	日本選手団ブレザー ローマオリンピック 1960 年	個人蔵		
173	水泳	東島新次	日本選手団ブレザー ロサンゼルスオリンピック 1984 年	個人蔵		
174	水泳	東島新次	水泳日本代表チームサイン皿 ロサンゼルスオリンピック 1984 年	個人蔵		
175	カヌー	西夏樹	カヌー日本代表ボロシャツ 2013 年世界選手権	個人蔵		
176	カヌー	西夏樹	パドル(練習用)	個人蔵		
177	カヌー	山口徹正	日本代表ジャージ	個人蔵		
178	カヌー	山口徹正	オリンピックバッジコレクション	個人蔵		
179	カヌー	内野経久	パドル(カナディアン) バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
180	カヌー	内野経久	日本代表ジャージ ソウルオリンピック 1988 年	個人蔵		
181	相撲	佐田の山	化粧まわし「角」(横綱時に使用)	個人蔵		
182	相撲	佐田の山	昭和 40 年 11 月番付表	個人蔵		
183	相撲	佐田の山	昭和 42 年優勝杯	鯨迎賓館ミュージアム		
184	相撲	佐田の山	佐田の山写真	個人蔵		
185	相撲	佐田の山	佐田の山写真	個人蔵		
186	相撲	佐田の山	佐田の山写真	個人蔵		
187	相撲	時津海	まわし(東京農業大学から寄贈)	五島観光歴史資料館		
188	相撲	時津海	まわし(五島後援会から寄贈)	五島観光歴史資料館		

189	相撲	玉龍	化粧まわし	個人蔵		
190	相撲	玉龍	番付表 (昭和 62 年)	個人蔵		
191	相撲	玉龍	玉龍 写真	個人蔵		
192	相撲	両国	化粧まわし	個人蔵		
193	相撲	生月 鯨太左衛門	生月鯨太左衛門	松浦史料博物館		
194	柔道	坂上洋子	柔道女子 72kg 超級銅メダル バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
195	柔道	坂上洋子	柔道着・帯 バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
196	柔道	坂上洋子	日本選手団ブレザー・スカート バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
197	柔道	坂上洋子	開会式用帽子 バルセロナオリンピック 1992 年	個人蔵		
198	プロレス	力道山	結婚式引き出物	個人蔵		
199	プロレス	力道山	結婚式写真	個人蔵		
200	プロレス	力道山	写真アルバム	個人蔵		
201	レスリング	宮原照彦	日本選手団ブレザー・ズボン モントリオールオリンピック 1976 年	長崎県立島原工業高等学校		
202	レスリング	宮原照彦	レスリング表彰盾 (レスリンググレコローマン 62kg 級 4 位入賞) モントリオールオリンピック 1976 年	個人蔵		
203	レスリング	宮原照彦	レスリンググレコローマン 62kg 級銀メダル アジア競技大会 1974 年 (イラン テヘラン)	個人蔵		
204	レスリング	宮原照彦	レスリングユニフォーム	個人蔵		
205	レスリング	宮原照彦	写真パネル	個人蔵		
206	サッカー	V ファー レン長崎	ユニフォーム	V ファーレン長崎		
207	サッカー	V ファー レン長崎	シューズ	V ファーレン長崎		
208	サッカー	V ファー レン長崎	トロフィー	V ファーレン長崎		
209	サッカー	V ファー レン長崎	盾	V ファーレン長崎		
210	サッカー	V ファー レン長崎	色紙	V ファーレン長崎		
211	サッカー	V ファー レン長崎	スローガン	V ファーレン長崎		
212	サッカー	V ファー レン長崎	映像	V ファーレン長崎		
213	五輪コーナー		初期の野球用具 バット	秩父宮記念スポーツ博物館		
214	五輪コーナー		初期の野球用具 スバイク	秩父宮記念スポーツ博物館		
215	五輪コーナー		初期の野球用具 ミット	秩父宮記念スポーツ博物館		
216	五輪コーナー		初期の野球用具 プロテクター	秩父宮記念スポーツ博物館		
217	五輪コーナー		初期の野球用具 面	秩父宮記念スポーツ博物館		
218	五輪コーナー		野球ボール (ベープ・ルース サイン入り)	秩父宮記念スポーツ博物館		
219	五輪コーナー		バドミントンラケット (1927 年)	秩父宮記念スポーツ博物館		
220	五輪コーナー		陸上競技用スパイク	秩父宮記念スポーツ博物館		

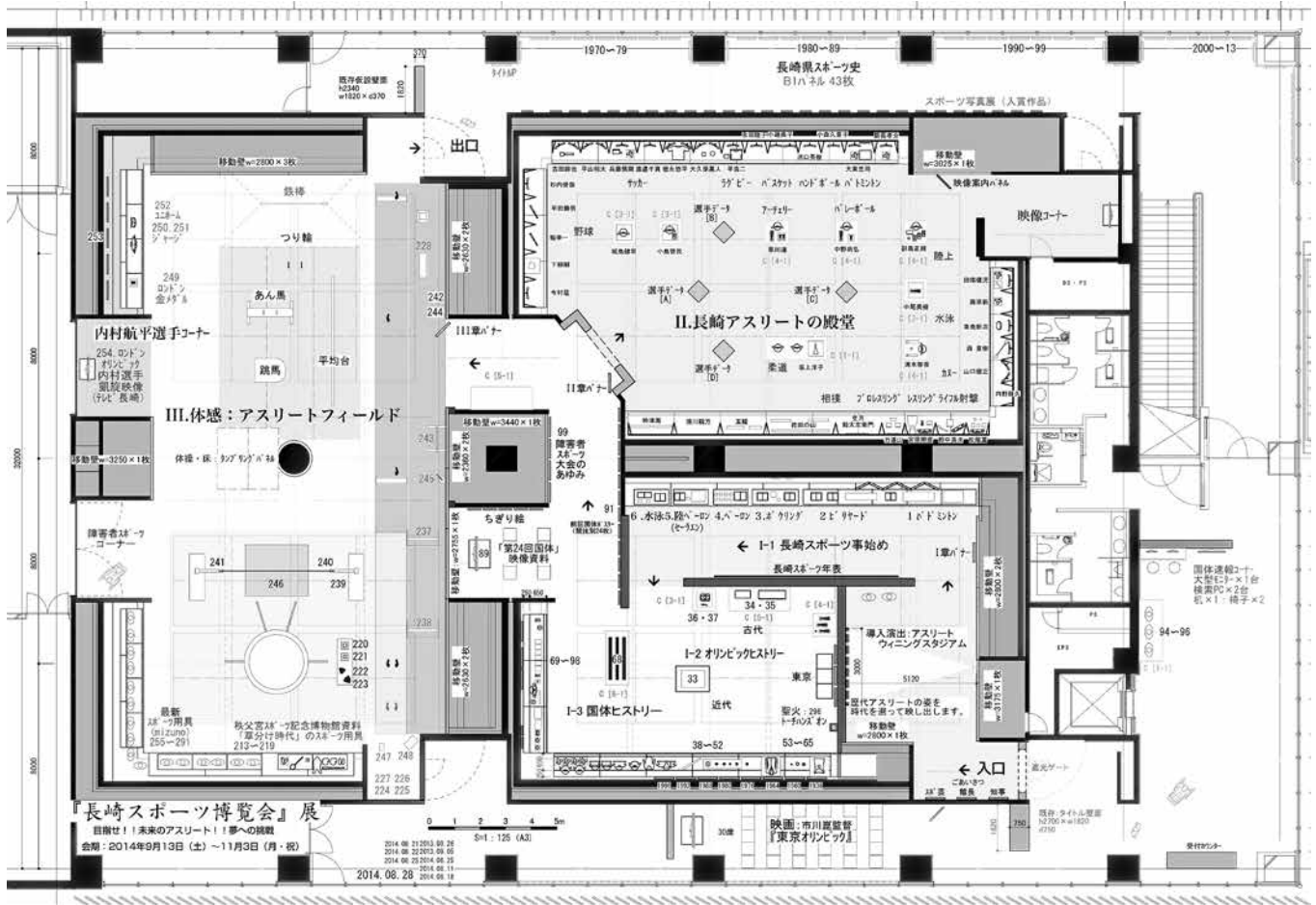
第三章 体感：アスリートフィールド

221	陸上		砲丸 7.260kg 鉄製	NISHI		
222	陸上		砲丸 4.000kg 鉄製	NISHI		
223	陸上		円盤 スーパー HM 2.0kg	NISHI		
224	陸上		円盤 スーパー HM 1.0kg	NISHI		
225	陸上		ハンマー 7.260kg タングステン入り	NISHI		
226	陸上		ハンマー 4.000kg ダクタイル	NISHI		
227	陸上		やり HYBRID GENOM X	NISHI		
228	陸上		やり GENOME X 女子用	NISHI		
229	陸上		スターティングブロック	NISHI		
230	体操		あん馬	市民体育館		
231	体操		跳馬 (新)	市民体育館		
232	体操		跳馬 (旧)	個人蔵		
233	体操		踏切板 (新)	市民体育館		

234	体操		踏切板(旧)	市民体育館		
235	体操		平均台	市民体育館		
236	体操		鉄棒	市民体育館		
237	体操		つり輪	個人蔵		
238	体操		床 (タンプリングパネル)	市民体育館		
239	体操		床 (ミドルクッション)	市民体育館		
240	体操		床 (アンダークッション)	市民体育館		
241	陸上		ハードル(新)	長崎市総合運動公園		
242	陸上		走り高跳びスタンド	長崎市総合運動公園		
243	陸上		走り高跳びバー	長崎市総合運動公園		
244	陸上		記録掲示板	長崎市総合運動公園		
245	陸上		風向計	長崎市総合運動公園		
246	陸上		マット(走り高跳び用)	長崎市総合運動公園		
247	陸上		リボンロッド(30m)	長崎市総合運動公園		
248	陸上		タイマー	長崎市総合運動公園		
249	内村航平選手コーナー	内村航平	体操男子個人総合金メダル ロンドンオリンピック2012年	個人蔵		
250	内村航平選手コーナー	内村航平	ジャージ	KONAMI SPORTSCLUB		
251	内村航平選手コーナー	内村航平	体操男子種目別床銀メダル ロンドンオリンピック2012年	個人蔵		
252	内村航平選手コーナー	内村航平	映像資料(ロンドン五輪地元凱旋パレードの様子)	テレビ長崎		
253	アスリートモデル		卓球日本代表ユニフォーム	MIZUNO		
254	アスリートモデル		卓球日本代表シューズ	MIZUNO		
255	アスリートモデル		三宅弘美選手(ウェイトリフティング)ユニフォーム	MIZUNO		
256	アスリートモデル		体操日本代表女子レオタード	MIZUNO		
257	アスリートモデル		体操日本代表男子レオタード	MIZUNO		
258	アスリートモデル		バレーボール日本代表ユニフォーム	MIZUNO		
259	アスリートモデル		バレーボール日本代表シューズ	MIZUNO		
260	アスリートモデル		アーチェリー日本代表ユニフォーム・帽子・ソックス	MIZUNO		
261	アスリートモデル		ロンドンオリンピック日本代表公式スポーツウェアポロシャツ	MIZUNO		
262	アスリートモデル		ロンドンオリンピック日本代表公式スポーツウェアベスト	MIZUNO		
263	アスリートモデル		ロンドンオリンピック日本代表公式スポーツウェア帽子	MIZUNO		
264	アスリートモデル		ロンドンオリンピック日本代表公式スポーツウェアソックス	MIZUNO		
265	アスリートモデル		ジャンプスーツ	MIZUNO		
266	アスリートモデル		スピードスケートスーツ	MIZUNO		
267	アスリートモデル		クロスカントリースーツ	MIZUNO		
268	アスリートモデル		フィギュア用キスクラウェア	MIZUNO		
269	アスリートモデル		カーリングウェア(ポロシャツ)	MIZUNO		
270	アスリートモデル		カーリングウェア	MIZUNO		
271	アスリートモデル		ショートトラックスーツ	MIZUNO		
272	アスリートモデル		本田圭祐 シューズ(サイン入り)	MIZUNO		
273	アスリートモデル		中村憲剛 シューズ	MIZUNO		
274	アスリートモデル		青山敏弘 シューズ	MIZUNO		
275	アスリートモデル		岡崎慎司 シューズ	MIZUNO		
276	アスリートモデル		吉田麻也 シューズ	MIZUNO		
277	アスリートモデル		バナナ 5選手入り	MIZUNO		
278	障害者スポーツ		陸上競技用車イス	障がい者スポーツ協会		
279	障害者スポーツ		サウンドテーブルテニス	障がい者スポーツ協会		
280	障害者スポーツ		フライングディスク	障がい者スポーツ協会		
281	障害者スポーツ		陸上競技ジャベリックスロー	障がい者スポーツ協会		
室外展示						
282			長崎県スポーツ史	県国体・障害者スポーツ大会部大会総務課		
283			スポーツ写真展	日本スポーツ芸術協会		
284			第69回国民体育大会天皇杯	長崎県		

285		第 69 回国民体育大会優勝賞状	長崎県		
286		第 69 回国民体育大会賞状 2 位	長崎県		
287		第 24 回国民体育大会天皇杯 (レプリカ)	長崎県		
288		第 24 回国民体育大会皇后杯 (レプリカ)	長崎県		

5. 展示図面



「みんなのサザエさん」展

1. 展示概要

アニメ『サザエさん』は1969年10月5日に放送を開始し、2013年10月からは45周年に突入した。現在「最も長く放送されるテレビアニメ番組」として、幅広い年齢層の皆様に愛され続けている。本展は2011年3月11日の東日本大震災の被災地・宮城、福島、岩手を皮切りに全国に巡回し、温かく、楽しく平和な日本の家族の絆の素晴らしさを発信した。

日 時：平成26年11月8日(土)～12月14日(日)
36日間 ※休館日 11月18日(火)

観 覧 料：大人800円(600円)・小中高生400円
(300円)・小学生未満無料

主 催：テレビ長崎・長崎歴史文化博物館

特別協賛：JAバンク

協 賛：セキスイハイム

企画制作：フジテレビジョン

企画協力：長谷川町子美術館・株式会社エイケン

運営協力：吉田企画・アルゴ

後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・諫早市教育委員会・大村市教育委員会・西海市教育委員会・長与町教育委員会・時津町教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・読売新聞西部本社・毎日新聞社・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎県立長崎図書館・長崎市立図書館・長崎県社会福祉協議会・長崎商工会議所・長崎県校長会・長崎県PTA連合会・長崎県保育協会・長崎市保育会・長崎県私立幼稚園連合会・長崎市私立幼稚園協会・長崎県書店商業組合

総入場者数：25,729名(1日平均715名)

2. 展示構成

- あさひが丘商店街
- 磯野家へようこそ
- 花沢不動産
- サザエさんシアター

3. 関連行事

- イラスト&4コマまんがをわいてみよう

募集期間：11月1日(土)～12月7日(日)

展示期間：11月8日(土)～12月14日(日)

応募数：イラスト151点、4コマ50点

- サザエさんとの記念撮影会

日時：会期中土曜・日曜

場所：3階エントランス



「医は仁術」展

1. 展示概要

日本における医は、海外から伝えられ、江戸時代という平和な世のなかで独自に発展し、養生のような予防医学的概念も形成される。江戸時代に海外の医学が伝えられ、幕末には近代医学の礎ができあがる姿を、長崎ゆかりに歴史資料も加えて紹介。

日 時：平成26年12月23日（火祝）～平成27年2月11日（水祝）

※休館日 12月23日、1月20日

観 覧 料：大人1,200円（1,000円）・高大生1,000円（800円）・小中学生500円（400円）

主 催：長崎歴史文化博物館・NBC長崎放送

協 賛：長崎大学医学部・長崎大学附属図書館

企 画：国立科学博物館・TBS

特別協賛：医療法人厚生会 道ノ尾病院・虹が丘病院

協 賛：税理士法人 森田事務所・NBC情報システム株式会社・アイティーアイ株式会社

後 援：長崎県・長崎県教育委員会・長崎県病院企業団・長崎市・長崎市教育委員会・長崎県立長崎図書館・長崎市立図書館・長崎県医師会・長崎県歯科医師会・長崎県看護協会・長崎県薬剤師会・長崎県鍼灸師会・国立病院機構長崎医療センター・長崎みなとメディカルセンター市民病院・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞西部本社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・ながさきプレス・長崎商工会議所・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎タクシー協会

総入場者数等：8,146名（1日平均160名）

2. 展示構成

第1章 病は、いつの時代も身分の貴賤なく、人々を襲う。

第2章 東から西から～医術の傳來

第3章 医は仁術 ～和魂漢才・和魂洋才の医

第4章 近代医学と仁

第5章 現代の医

トピック：長崎と医学

映像シアター



3. 関連事業（日時・場所・講師・参加者）

(1) オープニング記念講演会

日 時 平成26年12月23日（火祝）
10:30～12:30

会 場 1階ホール 入場無料
※企画展チケット要

講 師 鈴木 一義氏（国立科学博物館理工学研究所科学技術史グループ長）
酒井 シズ氏（順天堂大学特任教授）
ヴォルフガング・ミヒェル氏（九州大学名誉教授）

座 長 森 望氏（長崎大学附属図書館館長）

参加者 86名

(2) 香山リカ 特別講演会「ココロの病、いま昔-変わったこと、変わらないこと」

日 時 平成27年1月12日（月祝）
14:00～15:30

会 場 NBCビデオホール 入場料：2,500円
（当日3,000）※企画展入場料込み

講 師 香山リカ氏（精神科医・立教大学現代心理学部教授）

参加者 130名

(3) 「医は仁術」記念シンポジウム「九州、長崎にみる医の原点」

日 時 平成27年1月17日（月祝）
13:30～15:30

会 場 1階ホール 入場無料

講 師 相川 忠臣氏（長崎大学名誉教授）
鳥井 裕美子（大分大学教授）

森 望氏（長崎大学教授）※コーディネーター兼

参加者 131名

（主 催：長崎大学医学部、長崎大学附属図書館

共 催：長崎歴史文化博物館）

(4) 健康セミナー「長崎から考える東洋医学と鍼灸」
 日時 平成27年1月25日(日) 13:30～15:30
 会場 1階ホール 入場無料
 講師 平川 敬史氏(平川鍼灸整骨院院長)
 本川 哲氏(学校法人向陽学園顧問)
 田中 安郎氏(西諫早病院)
 座長 弦本 敏行(長崎大学医学部肉眼解剖学教授)
 参加者 86名

(5) 関連講演会「21世紀の仁術～いのちに触れる最先端医療～」
 日時 平成27年1月31日(土) 16:00～17:30
 会場 1階ホール 入場無料
 講師 杉本 真樹氏(神戸大学大学院医学研究科
 消火器内科学 特命講師)
 参加者 69名

(6) 健康セミナー「脳からのアンチエイジング」
 日時 平成27年2月7日(土) 14:00～15:00
 会場 1階ホール 入場無料
 講師 森 望氏(長崎大学医学部教授)
 参加者 102名



(7) 新春クイズラリー
 期間:平成27年1月1日(木)～1月4日(日)
 対象:小学生(親子)
 会場:3階企画展示室、2階常設展示室
 参加者 95名



(8) レストラン銀嶺×医は仁術 コラボ企画
 期間限定スペシャルランチ ¥1,200(税込)
 ◎鶏ブイヨンの薬膳風スープ
 (鶏肉、生姜、クコの実、レモン皮、長葱、ナツメグ、卵)
 ◎豚肩ロースのソテー・6種類の野菜トマト風味
 (トマト、玉葱、セロリ、パプリカ、茄子、ズッキーニ、松の実)
 ◎ミックスサラダ
 ◎ライス
 販売実績 147食

4. 展示リスト

番号	資料名称	所蔵
1	日本地図屏風	国立科学博物館
2	錦絵 麻疹を軽くさせる傳	和田コレクション
3	錦絵 むかしはなし	和田コレクション
4	錦絵 開運麻疹疫病神除之傳	和田コレクション
5	錦絵 うさぎのはしか退治	和田コレクション
6	錦絵 麻疹病中食物辨	和田コレクション
7	錦絵 はしか童子退治図	和田コレクション
8	相馬の古内裏 大宅太郎光国妖怪退治之図	和田コレクション
9	骸骨之図	和田コレクション
10	白澤之図	和田コレクション
11	薬の病退治之図	和田コレクション
12	きたいな名医 難病療治	和田コレクション
13	泰帝神農	和田コレクション
14	神農図	和田コレクション
15	神農図	和田コレクション
16	外科手術総論	国立科学博物館
17	神農像	和田コレクション
18	パレ外科全書	国立科学博物館
19	五臓六腑図	和田コレクション
20	依ト加刺得私之像(ヒポクラテス像)	和田コレクション
21	ヒポクラテス像	和田コレクション
22	ヒポクラテス像	和田コレクション
23	難経抄	医学文化館
24	内経素問	和田コレクション

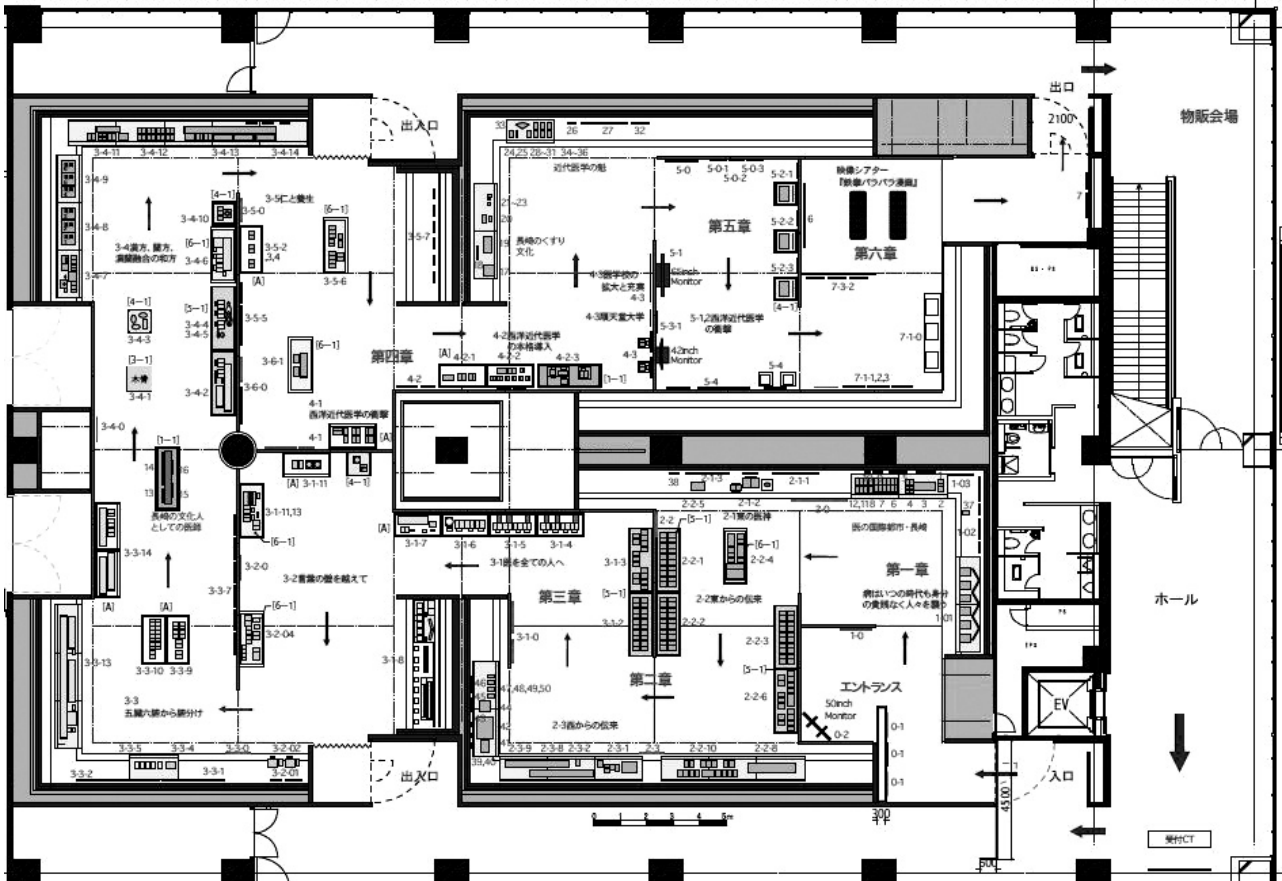
25	素問・靈樞	和田コレクション
26	傷寒論集成	医学文化館
27	傷寒論	医学文化館
28	金匱要略	医学文化館
29	傷寒論辨正	二谷文庫
30	外科正宗	医学文化館
31	三喜直指篇	医学文化館
32	続添鴻宝秘要抄	医学文化館
33	医業直伝秘法鑑 乾坤巻	
34	医師着物ひな形	和田コレクション
35	薬箱	和田コレクション
36	脈机	和田コレクション
37	切紙	医学文化館
38	類證辯異全九集	和田コレクション
39	古方便覧	医学文化館
40	延寿院十七ヶ条	和田コレクション
41	医学天正記	和田コレクション
42	腹証奇覧	和田コレクション
43	薬徴	和田コレクション
44	医学三臓弁解	和田コレクション
45	類聚方	和田コレクション
46	小世界・人体解剖図譜（オランダ語版）	和田コレクション
47	和蘭全軀内外分合図	医学文化館
48	外科宗傳附図	和田コレクション
49	金瘡縫書	和田コレクション
50	南蛮直伝金瘡外科一流序（栗崎流）	和田コレクション
51	東医宝鑑	和田コレクション
52	環齋記聞	国立科学博物館
53	環齋記聞解説	主催者
54	成形図説	国立科学博物館
55	和語本草綱目	和田コレクション
56	新校正本草綱目	二見文庫
57	蘭方奇薬妙術集	個人
58	増補萬外集要	個人
59	新宮涼庭薬箱	国立科学博物館
60	薬看板「加賀 石黒傳六」	和田コレクション
61	薬看板	和田コレクション
62	薬看板	和田コレクション
63	薬看板	和田コレクション
64	薬看板「赤鬼・黒鬼」	和田コレクション
65	薬看板「寶丹」	和田コレクション
66	薬看板「ホルトス」	和田コレクション
67	薬「ホルトス」	和田コレクション
68	薬看板「ウルユス」	和田コレクション
69	御免疝積湯	和田コレクション
70	薬籠	和田コレクション
71	担ぎ箱付 薬箱	和田コレクション
72	携帯用漢方薬箱	和田コレクション
73	蘭方薬箱	和田コレクション
74	薬研	国立科学博物館
75	薬研	国立科学博物館
76	薬さじ・練り棒	国立科学博物館
77	薬篩	和田コレクション
78	陶製蘭引	和田コレクション
79	一角纂考	国立科学博物館
80	杉田玄白・桂川甫周書簡	国立科学博物館
81	堆錦飾りエレキテル	和田コレクション
82	大野規周作エレキテル	国立科学博物館
83	内服同功	医学文化館
84	解体新書	和田コレクション
85	ターヘルアナトミア	和田コレクション
86	シヨメル家政辞典	国立科学博物館
87	蘭学階梯	和田コレクション
88	英和对訳袖珍辞書 初版使用校正版	国立科学博物館

89	増補重訂 内科撰要	和田コレクション
90	遁花秘訣	医学文化館
91	山脇東洋解剖図 剥胸腹図	国立科学博物館
92	山脇東洋解剖図 九臓前面図	国立科学博物館
93	山脇東洋解剖図 九臓背面図	国立科学博物館
94	山脇東洋真蹟解剖図 剥胸腹図	医学文化館
95	山脇東洋真蹟解剖図 九臓前面図	医学文化館
96	山脇東洋真蹟解剖図 九臓背面図	医学文化館
97	山脇東洋真蹟解剖図 背骨側面図	医学文化館
98	解死編	和田コレクション
99	海上随鴟解剖記録及び解剖下図	和田コレクション
100	海上随鴟解剖図	和田コレクション
101	重訂解体新書	和田コレクション
102	重訂解体新書銅版全図	和田コレクション
103	医範提綱内象銅板図	和田コレクション
104	和蘭内景医範提綱	和田コレクション
105	瘍科秘録	和田コレクション
106	内科秘録	和田コレクション
107	刑死者解体図	和田コレクション
108	施薬院男解体蔵図	和田コレクション
109	寛政婦人解剖図	和田コレクション
110	解剖存真図	和田コレクション
111	解観大意付図（解体図巻）	和田コレクション
112	解臓図賦	和田コレクション
113	視死別生図絵	国立科学博物館
114	奥田木骨	国立科学博物館
115	釣玄堂門下誓約名簿	国立科学博物館
116	釣玄流四科医術凡例	国立科学博物館
117	生き人形	国立科学博物館
118	鍼道具	和田コレクション
119	銅人形	和田コレクション
120	子玄子産論	医学文化館
121	産論翼	和田コレクション
122	産科人形	和田コレクション
123	お産道具	和田コレクション
124	体内十月絵巻	和田コレクション
125	産科発蒙	和田コレクション
126	産育全書	和田コレクション
127	産科探額図訣図式	和田コレクション
128	齒神論	国立科学博物館
129	聴診器	和田コレクション
130	医療器具 外科用はさみなど	国立科学博物館
131	医療器具 舌押さえなど	国立科学博物館
132	スポイト、浣腸器6点	国立科学博物館
133	医療器具、カテーテル など	国立科学博物館
134	もぐさ	佐藤竹右衛門商店
135	鍼灸傳	医学文化館
136	骨継療治重宝記	医学文化館
137	十四経絡發揮和解	医学文化館
138	脉のいろは口伝	和田コレクション
139	牛山活套	和田コレクション
140	無冤録術	医学文化館
141	漫遊雑記	医学文化館
142	華岡流手術道具一式	和田コレクション
143	南紀青洲先生治療乳岩奇核之図	和田コレクション
144	華岡青洲腫瘍図	和田コレクション
145	華岡先生整骨図	和田コレクション
146	華岡青洲 手術道具図	和田コレクション
147	華岡流手術道具一式	順天堂大学
148	人身生理骨格之図（正面）	和田コレクション
149	人身生理骨格之図（側面）	和田コレクション
150	人身生理骨格之図（背面）	和田コレクション
151	フーヘラント医学必携	和田コレクション
152	養生法	和田コレクション

153	喫茶養生記	医学文化館
154	房事養生鑑	和田コレクション
155	飲食養生鏡	和田コレクション
156	西郷腹中之図	和田コレクション
157	小児病氣之図	和田コレクション
158	愛育茶譚	和田コレクション
159	牛痘發蒙	医学文化館
160	種痘弁義	医学文化館
161	種痘手引草	医学文化館
162	神農図	和田コレクション
163	吉益東洞像	和田コレクション
164	華岡青洲像	和田コレクション
165	海上随鴉像	和田コレクション
166	訳扶氏医戒之語	和田コレクション
167	医者自然之臣也	和田コレクション
168	順天堂扁額	順天堂大学
169	療治定	順天堂大学
170	手術承諾書	佐倉市（順天堂）
171	ポンベの「病理各論」講義ノート	順天堂大学
172	ポンベ講義録	順天堂大学
173	七新薬	国立科学博物館
174	手術道具 彦根藩	和田コレクション
175	ウィリアム・ウィリス肖像画	順天堂大学
176	済衆録	順天堂大学
177	佐藤他尚中建言書	順天堂大学
178	青山胤通肖像画	国立科学博物館
179	漢洋病名対照録	和田コレクション
180	内科病論	医学文化館
181	青山胤通ドイツ留学中ノート	国立科学博物館
182	青山胤通への手紙	国立科学博物館
183	ムラージュ「腕」	医学文化館
184	ムラージュ「おでき」	医学文化館
185	ムラージュ「首」	医学文化館
186	ムラージュ「足」	医学文化館
187	ムラージュカタログ	医学文化館
188	X線写真	国立科学博物館
189	モストの眼科論	和田コレクション
190	外科通論	順天堂大学
191	順天堂医事雑誌	順天堂大学
192	3D プリンター臓器 1. 肺がん	TBS
193	3D プリンター臓器 2. 心筋梗塞	TBS
194	3D プリンター臓器 3. 脳血管障害	TBS
195	遺伝子の世界 「iPS細胞」	慶應義塾大学医学部・TBS
196	遺伝子の世界 「iPS細胞」	慶應義塾大学医学部・TBS
197	触れる3Dプリンター臓器 「肝臓」	神戸大学医学部・TBS
198	触れる3Dプリンター臓器 「心臓」	神戸大学医学部・TBS
199	触れる3Dプリンター臓器 「脳」	神戸大学医学部・TBS
200	唐船入津図	長崎歴史文化博物館
201	唐船図	長崎歴史文化博物館
202	阿蘭陀船図	長崎歴史文化博物館
203	養生訓	長崎大学附属図書館
204	医聖人図	長崎歴史文化博物館
205	紅毛雑話	長崎歴史文化博物館
206	鳥獸図巻	長崎歴史文化博物館
207	西洋薬寄	長崎歴史文化博物館
208	手板	長崎歴史文化博物館
209	庖厨備用倭名本草	長崎歴史文化博物館
210	大和本草	長崎歴史文化博物館
211	遠西医方名物考	長崎歴史文化博物館
212	書籍元帳	長崎歴史文化博物館
213	華夷通商考 増補	長崎歴史文化博物館
214	長崎見聞録	長崎歴史文化博物館
215	蘭人外科療治図	長崎歴史文化博物館
216	紅毛人膏薬煉之図	長崎歴史文化博物館
217	和蘭全軀内外分合図及験号	長崎歴史文化博物館

218	紅夷外科宗伝	長崎大学附属図書館
219	吉雄耕牛肖像	長崎大学附属図書館
220	紅毛流煉書 天明6年 吉雄先生秘伝	長崎歴史文化博物館
221	和蘭内景医範提綱	長崎歴史文化博物館
222	和蘭内景内象銅版図	長崎歴史文化博物館
223	蘭学事始	長崎歴史文化博物館
224	鳴滝塾舎之図 (レプリカ)	長崎大学附属図書館
225	シーボルト医療器具	長崎歴史文化博物館
226	シーボルト肖像画	長崎歴史文化博物館
227	シーボルト薬籠	長崎歴史文化博物館
228	瀉血手術図	長崎歴史文化博物館
229	独立性易題花卉図	長崎歴史文化博物館
230	書幅 (七絶詩)	長崎歴史文化博物館
231	梅花書屋図	長崎歴史文化博物館
232	唐人船長崎港梅ヶ崎修理場碇泊図	長崎歴史文化博物館
233	薬商看板 (金紅丹)	長崎歴史文化博物館
234	青貝細工漢方薬看板	長崎歴史文化博物館
235	頼原家使用薬籠	長崎歴史文化博物館
236	薬籠	長崎歴史文化博物館
237	南蛮人蒔絵印籠	長崎歴史文化博物館
238	御印籠	長崎歴史文化博物館
239	堆朱印籠	長崎歴史文化博物館
240	牛痘小考	長崎大学附属図書館
241	聴診器 (モーニッケ)	長崎大学附属図書館
242	小島養生所図	長崎歴史文化博物館
243	ボンベ肖像	長崎歴史文化博物館
244	平三郎解剖図	長崎歴史文化博物館
245	原病各論 (ボンベ講義録)	長崎大学附属図書館
246	ボードイン肖像	長崎大学附属図書館
247	マンスフェルト肖像	長崎大学附属図書館
248	原生学 (ボードウィン講義録)	長崎大学附属図書館
249	勃氏眼科新論 (ボードウィン講義録)	長崎大学附属図書館
250	満氏解剖書 (マンスフェルト講義録) (ボードウィン講義録)	長崎大学附属図書館
251	松本良順肖像写真	長崎歴史文化博物館
252	長与専斎肖像	長崎歴史文化博物館
253	長与専斎書 詠牛痘	長崎大学附属図書館
254	書 (扇面)	長崎歴史文化博物館
255	松香私志	長崎歴史文化博物館
256	松香遺稿	長崎歴史文化博物館
257	外科則条 梅毒編	長崎歴史文化博物館
258	養生法	長崎歴史文化博物館

5. 展示図面



長崎の知から、医の原点をさぐる。

「仁」とは「他を思う心」である。

特別展
仁術は

華岡青洲

解体新書
蘭語訳撰
超リヒトPS顕微鏡
3Dプリンターによる解剖モデル
飲食別事養生

大沢たかお

2014年 12月23日 火・祝
2015年 2月11日 木・祝
長崎歴史文化博物館
開場時間 午前10時 午後6時 (最終入場は午後5時30分まで) 休館日 12月29日(日)、1月20日(火)

NECRM

「信徒発見」150周年記念事業

世界遺産推薦記念特別展

「聖母が見守った奇跡～長崎の教会群とキリスト教関連遺産～」

1. 展示概要

平成26年に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産の政府推薦案件に決定したこと、1865年3月17日「信徒発見」から150年を記念し開催した自主企画展。東京国立博物館所蔵の旧長崎奉行所宗門蔵保管キリシタン関係資料の一挙公開など、長崎のキリスト教との関わりを紹介した。

開催期間:平成27年2月19日(木)～4月15日(水)
55日間 ※休室日:3月12日(木)

観覧料:大人800円(640円)・高校生以下無料

主催:特別展「聖母が見守った奇跡」実行委員会(長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館)

特別協力:東京国立博物館

協力:カトリック長崎大司教区、上智大学キリシタン文庫

特別協賛:十八銀行

協賛:九州商船株式会社、文明堂総本店、株式会社サンフリード、JTB九州グループ、JR九州メンテナンス株式会社

後援:駐日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、イタリア大使館、ポルトガル大使館、スペイン大使館 Embajada de Espana、在福岡大韓民国総領事館、文化庁、長崎県宗教者懇話会、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、佐世保市、佐世保市教育委員会、島原市、島原市教育委員会、大村市、大村市教育委員会、平戸市、平戸市教育委員会、五島市、五島市教育委員会、西海市、西海市教育委員会、南島原市、南島原市教育委員会、小値賀町、小値賀町教育委員会、新上五島町、新上五島町教育委員会、熊本県、天草市、天草市教育委員会、長崎新聞社、共同通信社長崎支局、西日本新聞社、朝

日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社長崎支局、読売新聞社西部本社長崎支局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎商工会議所、長崎県観光連盟、長崎県タクシー協会、長崎国際観光コンベンション協会、公益財団法人佐世保観光コンベンション協会、平戸観光協会、五島市観光協会、新上五島町観光協会、大村市観光コンベンション協会、島原半島観光連盟、天草宝島観光協会

総入場者数:11,246名(1日平均204名)

2. 展示構成

第1章 西洋文明の伝播とキリスト教の繁栄

第2章 キリスト教の禁教から弾圧へ

第3章 潜伏キリシタンによる信仰の継承

第4章 開国とカトリックへの復帰

3. 関連行事

○講演会

「キリシタン盛衰と復活—ザビエルの宣教から「信徒発見」までの歩み—」

日時:2月19日(木)14:00～15:30

会場:1階ホール

講師:五野井隆史氏(東京大学名誉教授)

参加者:152名



「信徒発見」とプティジャン司教の時代」

日 時：3月21日（土）

会 場：1階ホール

講 師：中島昭子氏（捜真学院長）

参加者：68名



○鼎談

「かくれキリシタンを語る」

日 時：3月14日（土）14：00～16：00

会 場：1階ホール

講 師：松川隆治氏（枯松神社保存会会長）、中園成生氏（平戸市生月町博物館・島の館学芸員）、高橋弘一氏（新上五島町教育委員会文化財課主査）

参加者：133名



○ワークショップ

「ステンドグラスをつくろう」

日 時：3月7日（土）①10：30～、②14：00～
3月8日（日）①10：30～、②14：00～

会 場：長崎歴史文化博物館 伝統工芸体験工房

講 師：長崎やけんステンドグラス塾

参加費：300円～

参加者：27名



○体験プログラム

「ド・ロさま 食の体験」

日 時：3月15日（日）10：00～12：30

会 場：1階講座室

講 師：日宇スギノ氏

参加費：1,000円

参加者：15名

○記念コンサート

日 時：2月21日（土）15：30～

会 場：1階エントランス

出 演：長崎県新演奏家協会

参加者：73名

4. 展示リスト

出品番号	資料名	作者名	制作年代	素材・技法	数量	所蔵先、資料番号	指定	前期	後期
1	聖フランシスコ・ザヴィエル像	作者不詳	17世紀初期（江戸時代初期）	紙本著色	一面	神戸市立博物館	国指定重要文化財		3/17～4/19
2	聖フランシスコ・ザヴィエル像【複製】	作者不詳	原本：18世紀初期（江戸時代初期）		一面	神戸市立博物館		2/19～3/16	
3	あけずの櫃		17世紀初期（江戸時代初期）	木製	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
4	メダイ（ロヨラ像／ザビエル像）		16～17世紀	金属	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
5	メダイ（福者フランシスコ・ザビエル像）		16～17世紀	金属	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
6	ザヴィエルの生涯	ホラティウス・トゥルセリヌス著 ヴァリヤドリッド刊	1600年（慶長5）	銅版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
7	宣教師聖フランシスコ・ザビエル	マルト・エンゲルプレヒト	17世紀	銅版・紙	一枚	長崎県美術館		○	○
8	聖フランシスコ・ザビエル	ゲオルク・グルエベル・カタリーナ彫版か	17世紀	銅版・紙	一枚	長崎県美術館		○	○
9	聖フランシスコ・ザビエル胸像	作者不詳	1642年	木製銀貼り	一点	宗教法人カトリック東京大司教区		○	○
10	メダリオン「無原罪の聖母」	スペイン王立造幣局	16世紀	青銅	一点	大村市立史料館	長崎県指定文化財	○	○
11	日野江城跡出土 金箔瓦		16世紀後半（安土桃山時代）		一点	南島原市		○	○
12	花十字紋瓦（勝山町遺跡出土）		17世紀初期（江戸時代初期）		一点	長崎市教育委員会（長崎市サント・ドミンゴ教会跡資料館保管）		○	○
13	細川忠興ローマ字印書状	細川忠興	1639年（寛永16）正月19日	紙本墨書	一幅	上智大学キリシタン文庫		○	○
14	教皇クレメンス8世像メダイ		1600年	金属	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
15	メダイ（救世主像・IHS・三本釘／無原罪の御宿り）		16～17世紀	金属	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
16	蒔絵十字に水草文蓋付き碗		16世紀後半～17世紀初期（安土桃山～江戸時代初期）	木製・漆	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
17	メスキータ神父肖像画	作者不詳	1585年	木炭・紙	一枚	長崎歴史文化博物館		○	○

18	伊東マンショ肖像画	作者不詳	1585年	木炭・紙	一枚	長崎歴史文化博物館		○	○
19	アクアヴィーヴァ肖像画	作者不詳	17世紀	銅版・紙	一枚	長崎歴史文化博物館		○	○
20	ヴィテレスキー肖像画	作者不詳	17世紀	銅版・紙	一枚	長崎歴史文化博物館		○	○
21	グレゴリウス13世肖像画	マルコ・アントニオ・チャッピ	16世紀末か	銅版・紙	一点	上智大学キリシタン文庫		○	○
22	天正遣欧使節記念碑拓本			拓本・紙	一面	大村市立史料館		○	○
23	日本殉教精華	カルディム	1646年初版 1650年刊	銅版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
24	日本人使節ローマ到着(天正遣欧使節記)	ゲイド・ガルチェリ著・ローマ刊・イタリア語版	1586年	銅版・紙	一冊	公益財団法人東洋文庫		○	○
26	マリア十五玄義図(東家本)	作者不詳	17世紀前半(江戸時代初期)	紙本着色	一面	個人蔵	大阪府指定文化財	○	
27	マリア十五玄義図(東家本)【複製】	作者不詳	1原本:7世紀前半(江戸時代初期)		一面	茨木市教育委員会	—		○
28	聖母子画像(ほろひんしあ断簡)	作者不詳	16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	油彩・銅板	一基	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
29	ロレートの聖母像浮彫像及び木製櫃	作者不詳	16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	油彩・金属	一基	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
30	聖人像(殉教者立像)	作者不詳	16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	紙本着色	一面	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
31	セビリアの聖母	作者不詳	1597年(慶長2)	銅版・紙	一面	宗教法人カトリック長崎大司教区	長崎県指定文化財		○
32	セビリアの聖母復刻版	渡辺千尋	原図1597年(慶長2)、1996年(平成8)復刻	銅版・紙	一面	南島原市		○	
33	聖母マリアの御絵	作者不詳	17世紀前半(江戸時代初期)か	墨、着色・紙	一面	宗教法人カトリック長崎大司教区			○
34	泰西王侯図屏風	イエズス会セミナリヨ画学舎	1612~1614年(慶長17~19年)頃	紙本着色	六曲一双	長崎歴史文化博物館	国指定重要文化財		○
35	狩猟図のある西洋風俗図屏風	作者不詳	16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	紙本着色	六曲一双	南蛮文化館		○	
36	弾琴図	作者不詳	1596~1614年(慶長年間)	紙本着色	一面	長崎歴史文化博物館		○	○
37	西洋婦人図	作者不詳	16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	紙本着色	一面	南蛮文化館		○	
38	西洋人物図(修道士と青年)	作者不詳	16世紀末~18世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	紙本着色	一面	南蛮文化館			○
39	南蛮船模型	梅原喜一郎	現代		一点	南島原市(口之津歴史民俗資料館保管)		○	○
40	洛中洛外図屏風	作者不詳	17世紀前半(江戸時代初期)	紙本金地着色	六曲一双	南蛮文化館			○
41	南蛮人來朝之図	作者不詳	1596~1614年(慶長年間)	紙本金地着色	六曲一双	長崎歴史文化博物館		○	
42	松蔭花蒔絵螺鈿聖龕		16世紀後半~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	油彩画、木製・漆	一基	南蛮文化館		○	
43	螺鈿蒔絵花樹鳥文聖龕		16世紀後半~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	油彩画、木製・漆	一基	長崎歴史文化博物館			○
44	聖物箱		16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	木製・漆	一合	長崎歴史文化博物館		○	○
45	十字文螺鈿小洋櫃(聖物箱)		16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	木製・漆	一合	南蛮文化館		○	○
46	草花文螺鈿小洋櫃(聖物箱)		16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	木製・漆	一合	長崎歴史文化博物館		○	○
追加	世界図	オルテリウス	1570年	銅版・紙	一枚	長崎歴史文化博物館		○	○
追加	日本図	ティセラ	1595年	銅版・紙	一枚	長崎歴史文化博物館		○	○
49	Les Martyrs du Japon(日本の殉教者たち)	Jacques Callot(ジャック・カロ)	1628年	銅版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
50	有馬原城攻囲之図	原図:島原・市川氏蔵、金井俊行写	19世紀(明治時代)	紙本着色	一幅	長崎歴史文化博物館		○	○
51	原城跡出土 花十字紋瓦		16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)		一点	南島原市		○	○
52	原城跡出土 十字架(青銅製)		1638年(寛永15)	青銅	一点	南島原市		○	○
53	原城跡出土 砲弾		16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	鉄	一点	南島原市		○	○
54	黄金の十字架		16世紀末~17世紀初期(安土桃山~江戸時代初期)	金	一点	南蛮文化館		○	○
55	神君様掟目拾六箇条 宗門檀那請合掟		1613年(慶長18)の後年写	紙本墨書	一卷	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
56	制札(かれうた渡海禁止)		1639年(寛永16)7月5日	木製・墨書	一点	上智大学キリシタン文庫		○	○
57	老中奉書 平戸藩主松浦鎮信宛		1641年(寛永18)8月14日	紙本墨書	一通	公益財団法人松浦史料博物館		○	○
58	制札(訴人褒賞令)	奉行	1682年(天和2)5月	木製・墨書	一点	上智大学キリシタン文庫		○	○
59	制札(訴人褒賞令)	奉行	1711年(正徳1)5月	木製・墨書	一点	長崎歴史文化博物館		○	○
60	制札(海外潜入注意喚起令)	奉行	1714年(正徳4)12月	木製・墨書	一点	上智大学キリシタン文庫		○	○
61	板踏絵 聖母子像(ロザリオの聖母)	日本製	17世紀(江戸時代)	木製(樫)・銅製	一点	東京国立博物館 C-716	国指定重要文化財	○	○
62	板踏絵 キリスト像(エッケ・ホモ)	ヨーロッパ製か	16世紀後期~17世紀初期	木製(松)・銅製	一点	東京国立博物館 C-1003	国指定重要文化財	○	○
63	真鍮踏絵 キリスト像(エッケ・ホモ)	日本製	17世紀(江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1006	国指定重要文化財	○	○

64	真鍮踏絵 キリスト像 (エッケ・ホモ)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1007	国指定重要文化財	○	○
65	真鍮踏絵 キリスト像 (エッケ・ホモ)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1008	国指定重要文化財	○	○
66	真鍮踏絵 キリスト像 (十字架上のキリスト)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1009	国指定重要文化財	○	○
67	真鍮踏絵 キリスト像 (十字架上のキリスト)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1011	国指定重要文化財	○	○
68	真鍮踏絵 キリスト像 (ピエタ)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1013	国指定重要文化財	○	○
69	真鍮踏絵 聖母子像 (ロザリオの聖母)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-725	国指定重要文化財	○	○
70	真鍮踏絵 聖母子像 (ロザリオの聖母)	日本製	17 世紀 (江戸時代)	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-1012	国指定重要文化財	○	○
71	絵板之図	片山尚英写	1830 年 (天保 1)	紙本着色	一卷	公益財団法人松浦史料博物館		○	○
72	禅曹洞宗 宗門御改影踏帳 南 目条隈田村里坊名		1832 年 (天保 3) 正月 15 日	紙本墨書	一冊	肥前島原松平文庫		○	○
73	一向宗 宗門御改影踏帳 南目 条隈田村長野名		1832 年 (天保 3) 正月 15 日	紙本墨書	一冊	肥前島原松平文庫		○	○
74	真言宗 宗門御改影踏帳 南目 筋有田村山川名		1855 年 (安政 2) 正月 23 日	紙本墨書	一冊	肥前島原松平文庫		○	○
75	踏絵の図 (シーボルト『日本』)	Ph.Fr.von・Siebold (シーボルト)	1832-1882 年	銅版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
76	Atlas Japannensis (モンタヌス 日本遣使紀行)	Arnold・Montanus 著、John・Ogilby 訳	1750 年 (寛延 3) 正月	銅版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
77	八幡町家持家代借家元来宗旨改 帳 寛延 3 年午正月	木下潤左衛門	1750 年 (寛延 3) 正月	紙本墨書	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
78	桶屋町中家持借屋宗旨改踏絵帳 寛保 2 年戌正月	藤清左衛門	1742 年 (寛保 2) 正月	紙本墨書	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
79	寅春宗門御改他村之者絵踏願帳 ひかへ 嘉永 7 年 3 月 附滞在 者絵踏帳共々 今福村	丸田小助	1854 年 (嘉永 7) 3 月	紙本墨書	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
80	『沈黙』草稿	遠藤周作		原稿用紙	二十枚	長崎市遠藤周作文学館		○	○
81	遠藤周作 長崎写真 (踏絵観覧)			写真	一点	長崎市遠藤周作文学館		○	○
82	遠藤周作 長崎写真 (大浦天主 堂のスケッチ)			写真	一点	長崎市遠藤周作文学館		○	○
83	遠藤周作 長崎写真 (沈黙取材 時)		1965 年 (昭和 40)	写真	一点	長崎市遠藤周作文学館		○	○
84	『沈黙』私家版	遠藤周作	1979 (昭和 54)		一冊	長崎市遠藤周作文学館		○	○
85	映画『沈黙』パンフレット		1971 年 (昭和 46) 11 月 3 日		一冊	長崎市遠藤周作文学館			
86	オペラ『沈黙』パンフレット		1994 年 (平成 6) 11 月 4 日		一冊	長崎市遠藤周作文学館		○	○
87	スケジュール表 (昭和 40 年)		1965 年 (昭和 40)		一点	長崎市遠藤周作文学館		○	○
88	聖母像 (親指のマリア)	イタリア製 カル ロ・ドルチの工房	17 世紀後期	銅板油絵	一面	東京国立博物館 C-698	国指定重要文化財	○	
89	聖母子像	ヨーロッパ製	16 世紀後期～17 世紀初期	銅板油絵	一面	東京国立博物館 C-700	国指定重要文化財	○	
90	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-603	国指定重要文化財	○	○
91	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-629	国指定重要文化財	○	○
92	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-609	国指定重要文化財	○	○
93	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-610	国指定重要文化財	○	○
94	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-613	国指定重要文化財	○	○
95	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-630	国指定重要文化財	○	○
96	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-631	国指定重要文化財	○	○
97	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-632	国指定重要文化財	○	○
98	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-633	国指定重要文化財	○	○
99	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-635	国指定重要文化財	○	○
100	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-605	国指定重要文化財	○	○
101	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-606	国指定重要文化財	○	○
102	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-608	国指定重要文化財	○	○
103	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-612	国指定重要文化財	○	○
104	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-615	国指定重要文化財	○	○
105	マリア観音	徳化窯	明～清、17 世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-616	国指定重要文化財	○	○

106	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-617	国指定重要文化財	○	○
107	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-618	国指定重要文化財	○	○
108	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-619	国指定重要文化財	○	○
109	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-622	国指定重要文化財	○	○
110	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-623	国指定重要文化財	○	○
111	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-625	国指定重要文化財	○	○
112	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-626	国指定重要文化財	○	○
113	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-627	国指定重要文化財	○	○
114	マリア観音	徳化窯	明～清、17世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-1086	国指定重要文化財	○	○
115	マリア観音	徳化窯か	明～清、17世紀	陶磁器	一点	上智大学キリシタン文庫		○	○
116	三聖人像（聖ドメニコ・聖ロレンソ・聖カタリナ）	外国製	16世紀後期～17世紀初期	布製油絵	一面	東京国立博物館 C-691	国指定重要文化財	○	
117	三聖人像（模写）	日本製	16世紀後期～17世紀初期 （安土桃山～江戸時代初期）	布製油絵	一面	東京国立博物館 C-692	国指定重要文化財		○
118	聖人像	外国製		布製油絵	一面	東京国立博物館 C-693	国指定重要文化財	○	
119	キリスト誕生図	日本製か	16世紀後期～17世紀初期 （安土桃山～江戸時代初期）	銅板油絵	一面	東京国立博物館 C-697	国指定重要文化財		○
120	聖女像	外国製か	16世紀後期～17世紀初期	銅板油絵	一面	東京国立博物館 C-694	国指定重要文化財		○
121	礼拝人物像	日本製か	16世紀後期～17世紀初期 （安土桃山～江戸時代初期）	銅板油絵	一面	東京国立博物館 C-696	国指定重要文化財	○	
122	主題不明（人物画か）	日本製か	16世紀後期～17世紀初期 （安土桃山～江戸時代初期）	銅板油絵	一面	東京国立博物館 C-701	国指定重要文化財		○
123	キリスト像	ヨーロッパ製 （フランスか）	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-589	国指定重要文化財	○	○
124	聖母像	ヨーロッパ製 （フランス）	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-590	国指定重要文化財	○	○
125	大天使ガブリエル像	ヨーロッパ製 （フランス）	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-593	国指定重要文化財	○	○
126	大天使ガブリエル像	ヨーロッパ製 （フランス）	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-599	国指定重要文化財	○	○
127	小天使像	ヨーロッパ製 （フランス）	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-597	国指定重要文化財	○	○
128	小天使像	ヨーロッパ製 （フランス）	19世紀	石膏製	二体	東京国立博物館 C-592	国指定重要文化財	○	○
129	小天使像	ヨーロッパ製 （フランス）	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-598	国指定重要文化財	○	○
130	人物像	外国製	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-594	国指定重要文化財	○	○
131	聖母子像	外国製	19世紀	石膏製	一体	東京国立博物館 C-1112	国指定重要文化財	○	○
132	観音菩薩立像		明～清、17～18世紀	陶製、淡褐色	一点	東京国立博物館 C-636	国指定重要文化財	○	○
133	観音菩薩坐像		清、18世紀	陶製、淡褐色	一点	東京国立博物館 C-637	国指定重要文化財	○	○
134	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	土製・表面紙張り 漆塗	一点	東京国立博物館 C-644	国指定重要文化財	○	○
135	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	銅製	一点	東京国立博物館 C-653	国指定重要文化財	○	○
136	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-652	国指定重要文化財	○	○
137	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-655	国指定重要文化財	○	○
138	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-656	国指定重要文化財	○	○
139	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-657	国指定重要文化財	○	○
140	観音菩薩立像		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-658	国指定重要文化財	○	○
141	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-659	国指定重要文化財	○	○
142	観音菩薩坐像	龍泉窯	清、17～18世紀	青磁製	一点	東京国立博物館 C-1087	国指定重要文化財	○	○
143	観音菩薩坐像		清、17～18世紀	石造	一点	東京国立博物館 C-673	国指定重要文化財	○	○
144	観音菩薩像頭部		清、17～18世紀	銅製铸造	一点	東京国立博物館 C-661	国指定重要文化財	○	○
145	十一面観音菩薩立像		18～19世紀（江戸時代）	銅製	一点	東京国立博物館 C-665	国指定重要文化財	○	○
146	渡唐天神立像		18～19世紀（江戸時代）	木製	一点	東京国立博物館 C-679	国指定重要文化財	○	○

147	如来坐像		17～18世紀(江戸時代)	木製	一点	東京国立博物館 C-671	国指定重要文化財	○	○
148	菩薩坐像		清、18～19世紀	銅製鑄造	一点	東京国立博物館 C-689	国指定重要文化財	○	○
149	菩薩立像		18～19世紀(江戸時代)	土製	一点	東京国立博物館 C-647	国指定重要文化財	○	○
150	大日如来坐像		18～19世紀(江戸時代)	銅製鑄造	一点	東京国立博物館 C-664	国指定重要文化財	○	○
151	如来立像		18～19世紀(江戸時代)	木製	一点	東京国立博物館 C-669	国指定重要文化財	○	○
152	阿弥陀如来立像		17～18世紀(江戸時代)	木造漆箔	一点	東京国立博物館 C-670	国指定重要文化財	○	○
153	地藏菩薩立像		18～19世紀(江戸時代)	土製彩色	一点	東京国立博物館 C-645	国指定重要文化財	○	○
154	地藏菩薩立像		18～19世紀(江戸時代)	土製	一点	東京国立博物館 C-646	国指定重要文化財	○	○
155	毘沙門天像		清、18～19世紀	銅製鑄造	一点	東京国立博物館 T C -110	国指定重要文化財	○	○
156	菩薩坐像		清、18～19世紀	銅製	一点	東京国立博物館 T C -111	国指定重要文化財	○	○
157	羅漢坐像		清、18～19世紀	銅製	一点	東京国立博物館 C-666	国指定重要文化財	○	○
158	布袋像		18～19世紀(江戸時代)	土製	一点	東京国立博物館 C-648	国指定重要文化財	○	○
159	寿老人像	景德鎮	清、18～19世紀	陶製彩色	一点	東京国立博物館 C-641	国指定重要文化財	○	○
160	童子像		清、18～19世紀	白磁製	一点	東京国立博物館 C-651	国指定重要文化財	○	○
161	人物像		清、18～19世紀	銅製鑄造	一点	東京国立博物館 C-667	国指定重要文化財	○	○
162	人物像		清、18～19世紀	木製	一点	東京国立博物館 C-672	国指定重要文化財	○	○
163	人形附蓋		清、18～19世紀	銅製鑄造	一点	東京国立博物館 C-680	国指定重要文化財	○	○
164	獅子置物	外国製	19世紀	石膏製	一点	東京国立博物館 C-595	国指定重要文化財	○	○
165	犬置物	外国製	19世紀	石膏製	一点	東京国立博物館 C-596	国指定重要文化財	○	○
166	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-731	国指定重要文化財	○	○
167	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-734	国指定重要文化財	○	○
168	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-735	国指定重要文化財	○	○
169	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-736	国指定重要文化財	○	○
170	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：真鍮製など	一連	東京国立博物館 C-738	国指定重要文化財	○	○
171	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：螺形など	一連	東京国立博物館 C-739	国指定重要文化財	○	○
172	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：螺形など	一連	東京国立博物館 C-740	国指定重要文化財	○	○
173	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：素木など	一連	東京国立博物館 C-741	国指定重要文化財	○	○
174	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：藍色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-742	国指定重要文化財	○	○
175	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製、鎖：銅製鍍銀など	一連	東京国立博物館 C-743	国指定重要文化財	○	○
176	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製、十字架：銅製	一連	東京国立博物館 C-744	国指定重要文化財	○	○
177	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：白色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-745	国指定重要文化財	○	○
178	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：青色玻璃製	一連	東京国立博物館 C-750	国指定重要文化財	○	○
179	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-790	国指定重要文化財	○	○
180	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-791	国指定重要文化財	○	○
181	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀か	小珠：木製、大珠：真鍮製など	一連	東京国立博物館 C-792	国指定重要文化財	○	○
182	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-793	国指定重要文化財	○	○
183	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-794	国指定重要文化財	○	○
184	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製・青色など	一連	東京国立博物館 C-799	国指定重要文化財	○	○
185	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	珠：緑色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-800	国指定重要文化財	○	○

224	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製など	三連	東京国立博物館 C-846	国指定重要文化財	○	○
225	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-847	国指定重要文化財	○	○
226	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製・素木など	一連	東京国立博物館 C-848	国指定重要文化財	○	○
227	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製・素木、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-849	国指定重要文化財	○	○
228	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：真鍮製など	一連	東京国立博物館 C-850	国指定重要文化財	○	○
229	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製・素木、大珠：真鍮製など	五連	東京国立博物館 C-851	国指定重要文化財	○	○
230	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：真鍮製など	一連	東京国立博物館 C-852	国指定重要文化財	○	○
231	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：真鍮製など	一連	東京国立博物館 C-853	国指定重要文化財	○	○
232	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：淡青不透明玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-764	国指定重要文化財	○	○
233	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：鉛色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-767	国指定重要文化財	○	○
234	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：黒色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-768	国指定重要文化財	○	○
235	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：緑色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-769	国指定重要文化財	○	○
236	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-770	国指定重要文化財	○	○
237	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：緑色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-771	国指定重要文化財	○	○
238	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：緑色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-772	国指定重要文化財	○	○
239	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-774	国指定重要文化財	○	○
240	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-775	国指定重要文化財	○	○
241	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：青色玻璃製など	三連	東京国立博物館 C-777	国指定重要文化財	○	○
242	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：川穀、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-778	国指定重要文化財	○	○
243	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：角製、大珠：黒色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-733	国指定重要文化財	○	○
244	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：角製など	一連	東京国立博物館 C-752	国指定重要文化財	○	○
245	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：角製など	一連	東京国立博物館 C-753	国指定重要文化財	○	○
246	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：角製など	一連	東京国立博物館 C-754	国指定重要文化財	○	○
247	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-755	国指定重要文化財	○	○
248	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：角製など	一連	東京国立博物館 C-756	国指定重要文化財	○	○
249	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：白色玻璃製、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-732	国指定重要文化財	○	○
250	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：白色玻璃製、大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-762	国指定重要文化財	○	○
251	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	珠：無色玻璃製円形・青色六角筒形など	一連	東京国立博物館 C-795	国指定重要文化財	○	○
252	ロザリオ	日本製か	19世紀	小珠：黄色玻璃製(南京玉)など	一連	東京国立博物館 C-796	国指定重要文化財	○	○
253	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-759	国指定重要文化財	○	○
254	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-760	国指定重要文化財	○	○
255	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-761	国指定重要文化財	○	○
256	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木製、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-763	国指定重要文化財	○	○
257	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：青色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-779	国指定重要文化財	○	○

258	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-781	国指定重要文化財	○	○
259	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木実、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-782	国指定重要文化財	○	○
260	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：木実など	一連	東京国立博物館 C-785	国指定重要文化財	○	○
261	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-786	国指定重要文化財	○	○
262	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木実、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-787	国指定重要文化財	○	○
263	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木実、大珠：木製など	一連	東京国立博物館 C-788	国指定重要文化財	○	○
264	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大珠：白色玻璃製など	一連	東京国立博物館 C-798	国指定重要文化財	○	○
265	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	珠：木製・黒色など	一連	東京国立博物館 C-757	国指定重要文化財	○	○
266	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木実・黒色など	一連	東京国立博物館 C-797	国指定重要文化財	○	○
267	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	鎖：銅製鍍銀、異形鎖	一連	東京国立博物館 C-758	国指定重要文化財	○	○
268	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	小珠：木実、大珠：木製・真鍮製など	一連	東京国立博物館 C-780	国指定重要文化財	○	○
269	ロザリオ	ヨーロッパ製	1830年銘記	大小珠：木実など	一連	東京国立博物館 C-783	国指定重要文化財	○	○
270	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	大小珠：木実、大珠：銅製など	一連	東京国立博物館 C-784	国指定重要文化財	○	○
271	ロザリオ	ヨーロッパ製	19世紀	鎖：鉄製	一連	東京国立博物館 C-789	国指定重要文化財	○	○
272	ロザリオ残欠	日本製	19世紀（明治時代）	紙捻製、結びを珠になぞらえる	一連	東京国立博物館 C-854	国指定重要文化財	○	○
273	ロザリオ残欠	日本製	19世紀（明治時代）	紙捻製・麻糸製	一点	東京国立博物館 C-855	国指定重要文化財	○	○
274	メダイ	ヨーロッパ製	16世紀後期～17世紀初期	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-985	国指定重要文化財	○	○
275	メダイ	ヨーロッパ製	16世紀後期～17世紀初期	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-988	国指定重要文化財	○	○
276	メダイ	ヨーロッパ製	16世紀後期～17世紀初期	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-989	国指定重要文化財	○	○
277	メダイ	ヨーロッパ製	16世紀後期～17世紀初期か	真鍮製	一点	東京国立博物館 C-990	国指定重要文化財	○	○
278	銅牌（エッケ・ホモ）	日本製か	16世紀後期～17世紀初期（安土桃山～江戸時代初期）	青銅製	一点	東京国立博物館 C-705	国指定重要文化財	○	○
279	鉛牌（無原罪の聖母像）	日本製か	16世紀後期～17世紀初期（安土桃山～江戸時代初期）	錫・鉛製	一点	東京国立博物館 C-709	国指定重要文化財	○	○
280	守裂（スカプラリオを持つ聖母子）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1001-1	国指定重要文化財	○	○
281	守裂（スカプラリオを持つ聖母子）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1001-6	国指定重要文化財	○	○
282	守裂（二つのハートの讃仰）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1001-8	国指定重要文化財	○	○
283	守裂残欠（二つのハートの讃仰）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1084-19	国指定重要文化財	○	○
284	守裂（羊飼いととしてのマリア）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1001-7	国指定重要文化財	○	○
285	守裂残欠（十字架・茨冠）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1084-40	国指定重要文化財	○	○
286	守裂残欠（ピエタ）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1084-37	国指定重要文化財	○	○
287	守裂残欠（左：病人を癒すキリスト、右：スカプラリオを持つ聖母子）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1084-38	国指定重要文化財	○	○
288	守裂残欠（キリストの御名とハートの讃仰）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1084-21	国指定重要文化財	○	○
289	守裂残欠（アルファとオメガの讃仰）	ヨーロッパ製	19世紀	布製	一点	東京国立博物館 C-1084-23	国指定重要文化財	○	○
290	印章			水牛角製	一点	東京国立博物館 C-682	国指定重要文化財	○	○
291	小鐘			銅製	一口	東京国立博物館 C-1015	国指定重要文化財	○	○
292	龕			木製	一点	東京国立博物館 C-678	国指定重要文化財	○	○
293	台座			木製	一基	東京国立博物館 C-674	国指定重要文化財	○	○
294	台座			石造	一基	東京国立博物館 C-675	国指定重要文化財	○	○
295	台座			木製	一基	東京国立博物館 C-676	国指定重要文化財	○	○
296	位牌			木製	一基	東京国立博物館 C-677	国指定重要文化財	○	○
297	庶務課事務簿／絵踏銅版之儀二付伺	長崎県庶務課	1874年（明治7）	紙本墨書	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○

298	耶蘇教叢書		1921年(大正10)頃写	紙本墨書	二冊	東京大学総合図書館		○	○
299	お水瓶		19世紀(江戸時代後期～明治時代)頃	陶磁器	二点	平戸市切支丹資料館		○	○
300	おまぶり			紙(生漉きの半紙)	一式	平戸市切支丹資料館		○	○
301	お札様		18～19世紀(江戸時代)頃	木製	十六枚	平戸市切支丹資料館		○	○
302	オテンバンシャ		18～19世紀(江戸時代)頃	麻	一点	平戸市切支丹資料館		○	○
303	ヂシビリナ(苦行の鞭)	ヨーロッパ製	16世紀末～17世紀初頭	麻	一点	個人蔵	茨木市指定文化財	○	○
304	ご神体箱一式 箱、包布、貨幣(寛永通宝)、砂		18～19世紀(江戸時代)頃		一式	平戸市切支丹資料館		○	○
305	カセカケ・ワク		19世紀(明治～大正時代)頃	木製	一点	平戸市切支丹資料館		○	○
306	お掛け絵 受胎告知	作者不詳	18世紀後半～19世紀(明治時代以降)頃	紙本着色	一幅	平戸市生月町博物館 島の館		○	○
307	お掛け絵 聖母子	作者不詳	20世紀(昭和時代)頃	絹本着色	一幅	平戸市生月町博物館 島の館		○	○
308	お掛け絵 聖母子	作者不詳	17～19世紀(江戸時代)頃	絹本着色	一幅	平戸市生月町博物館 島の館		○	○
309	お掛け絵 聖母子と二聖人	作者不詳	18世紀後半～19世紀(明治時代以降)頃	紙本着色	一幅	平戸市生月町博物館 島の館		○	○
310	お掛け絵 ロザリオの聖母子	作者不詳	18世紀後半～19世紀(明治時代以降)頃	絹本着色	一幅	平戸市生月町博物館 島の館		○	○
311	お掛け絵 天使が舞う聖母子	作者不詳	20世紀(昭和時代)頃	紙本着色	一幅	平戸市生月町博物館 島の館		○	○
312	マリア観音	中国もしくは日本	17世紀頃	木製、着色	一軀	曹洞宗(禪)天福寺		○	○
313	ロザリオ(メダイ付)	ヨーロッパ及び中国製	19世紀	十字架:金属、珠:木製	一点	曹洞宗(禪)天福寺(出口家[下黒崎]寄贈)		○	○
314	聖人像(懸仏)		17～19世紀(江戸時代)	金属	一点	個人蔵		○	○
315	聖人像	中国もしくは日本製		金属	一点	個人蔵		○	○
316	聖骨箱	ヨーロッパ	16～17世紀頃/19世紀	金属ほか	一点	個人蔵		○	○
317	メダイ「サルバトル・ムンディ(世の救い主)ノマテルデイヴィネ・グラチエ」	ヨーロッパ製	ルネサンス期	金属(銅)	一点	個人蔵		○	○
318	イナッショさま	中国製か		金属	一点	長崎市外海歴史民俗資料館		○	○
319	イナッショさま	中国製か		金属	一点	長崎市外海歴史民俗資料館		○	○
320	バスチャンの椿			椿	一式	長崎市外海歴史民俗資料館		○	○
321	バスチャンの日練帳(教会暦)		1634年(寛永11)写本	紙本墨書	一冊	平戸市切支丹資料館		○	○
322	ドソン〔呂宋〕のオラッショ＝贖宥の公布文(免償)		19世紀(明治時代初期)	紙本墨書	一冊	長崎市外海歴史民俗資料館			
323	今地里さん		1603年(慶長8)4月下旬[写本]	紙本墨書	一冊	長崎市外海歴史民俗資料館			
324	バスチャンの日練帳(教会暦)		1634年(寛永11)[写本]	紙本墨書	一冊	長崎市外海歴史民俗資料館			
325	天地はじまりの本	田北耕也編集・発行	1931年(昭和6)発行	ガリ版刷り・紙	一冊	長崎市外海歴史民俗資料館			
326	おん身ゼススさま		19世紀(江戸時代)頃	金属	一式	長崎市外海歴史民俗資料館		○	○
327	オコクラ(厨子)入りマリア観音		19世紀(江戸時代)頃	木製に着色	一点	平戸市切支丹資料館		○	○
328	十字架(ロザリオトツプ)			金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
329	十字架(ロザリオトツプ)	ヨーロッパ製	19世紀中期～後期	木、真鍮	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
330	メダイ(マリア像)	ヨーロッパ製	19世紀後期～末期	金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
331	メダイ(フランシスコ・ザビエル像/イグナチウス・ロヨラ像 耳付き)	アジア(日本?)製	1619～1622年(元和5～8)頃	銅合金(真鍮ないし青銅)	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
332	メダイ(聖ベネディクト像)	ヨーロッパ製	19世紀後期～20世紀初頭	真鍮	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
333	VOCコイン	オランダもしくはバタヴィア	1750年	金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
334	御神体(布袋・大黒)及び木箱			金属	二点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
335	御神体(鉄拐仙人)			陶磁器、根付	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
336	御神体(不動明王)			金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
337	十字架(ロザリオトツプ 宣教師団のクルス)	フランス(南部ヨーロッパか)製	19世紀中期～後期	金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
338	メダイ(漢字刻印 聖母子像)	中国製		金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○

339	金銅仏 (懸仏)			金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
340	メダイ (マリア像)		19世紀中期～後期	金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
341	寛永通宝及び一銭硬貨		1899年(明治32)2月	金属	九点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
342	文書断片			紙本墨書	五点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
343	日繰り			紙本墨書	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
344	鮑貝			鮑貝	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
345	鮑貝			鮑貝	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
346	植物文様入金属板			金属	二点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
347	木目文様入金属板			金属	二点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
348	金貼文様入木片			木製	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
349	布袋 紙片入り			木綿	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
350	紐付布袋 紙片、金属サビ片入り			絹	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
351	金属板用包紙			紙	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
352	オテンベンシャ		不明	鯨歯	二点	三井楽教会資料館		○	○
353	草履			藁	一点	三井楽教会資料館		○	○
354	絵踏用器			色絵磁器	一点	三井楽教会資料館		○	○
355	三次わん様碑		1936年(昭和11)	石	一点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
356	納戸神				一式	個人蔵		○	○
358	鮑貝 (付札「三ザワン様」)			鮑貝	一点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
359	ロザリオと壺 (壺・ロザリオ・マリア像・クルス)		17世紀(江戸時代初期)	白磁、マリア：骨角製、クルス：青銅製	一式(五点)	天草市立天草キリシタン館	天草市指定文化財	○	○
360	プティジャン司教肖像画			油彩・カンヴァス	一面	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
361	大浦天主堂外観 ★参考図版	上野彦馬撮影	1865～68年(慶応年間)	鶏卵紙	一枚	江崎べつ甲店		○	○
362	大浦天主堂設計図 ★参考図版		1864、65年頃	インク、彩色・紙		画像提供：林一馬氏		○	○
363	大浦天主堂 聖母マリア像 ★参考図版					画像提供：大浦天主堂		○	○
364	大浦天主堂外観(ミッション・カトリック No.302掲載) ★参考図版			エッチング		画像提供：上智大学キリシタン文庫		○	○
365	創建時の天主堂(挿絵)	Baroux(バルー)	1896年以前	エッチング・紙	一面	長崎南山手美術館		○	○
366	日本聖人鮮血遺書	ヴィリヨン、日本カトリック刊行会発行	1926年(大正15)		一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
367	1865年3月18日付プティジャン書簡 ジラルール宛(エリア写本) 【複製】	エリア修道女(Soeur Saint Elie)	1865年(1885年写)		一冊	長崎純心大学博物館		○	○
368	1865年3月18日付プティジャン書簡 オズーフ宛 ★参考図版		1865年		一点	画像提供：パリ外国宣教会		○	○
369	1865年3月18日付プティジャン書簡 カズナーヴ宛★参考図版		1865年		一点	画像提供：パリ外国宣教会		○	○
370	1865年3月22日付プティジャン書簡(アルブラン宛) ★参考図版		1865年		一点	画像提供：パリ外国宣教会		○	○
371	プティジャン司教持ち帰り「ルルド記念ロザリオ」		1877年頃	木ほか	一点	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
372	プティジャン司教の十字架			金属	一点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
373	口宣(プティジャン司教から日本の殉難教徒への手紙)	日本司教 へるなると(ド・ロ神父印刷)	1871年(明治3庚午年12月)	石版・紙	一面	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
374	明治十七年長崎県居留地外国人死亡統計表/各国人員并戸数調査表 明治九年以降	長崎県外務課	1884年(明治17)	紙本墨書	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
375	聖教要理問答		1865年(慶応1)	木版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
376	聖教初学要理	日本司教伯爾納鐸(ベルナルド・プティジャン)訳	1868年(慶応4)	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
377	天主降生千八百六十八年歳次戊辰瞻礼記	(ド・ロ版)	1868年(慶応4)7月頃	石版・紙	一冊	長崎純心大学博物館		○	○

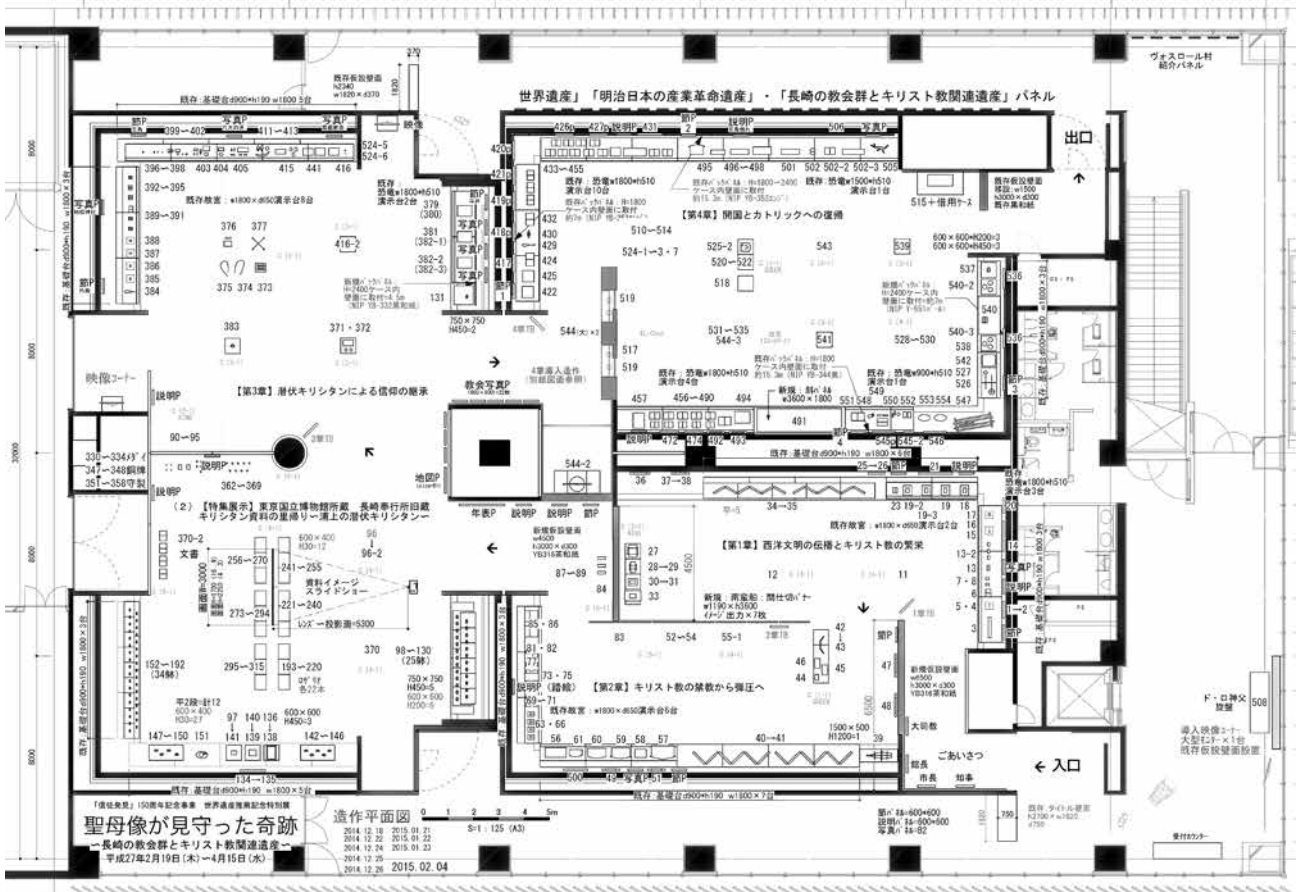
378	聖教初学要理	日本司教・ベルナルド（プティジャン）訳	1869年（明治2）8月再板	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
379	弥撒拜礼式	日本司教・伯爾納鐸（ベルナルド・プティジャン）准	1869年（明治2仲夏）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
380	夢醒真論	帰正痴士撰	1869年（明治2）	木版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
381	御久類寿道行のおらしよ	日本司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1869年（明治2）	木版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
382	胡無血利佐無の略	日本司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1869年（明治2）2月下旬	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
383	校正再刻 科除規則	日本司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1869年（明治2）2月下旬	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
384	玫瑰花冠記録	日本司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1869年（明治2）4月25日	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
385	羅日辞典	ベルナルド・プティジャン編（ローマ）	1870年		一冊	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
386	聖教日課		1871年（明治4）	木版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
387	教皇ピウス九世書簡		1872年（明治5）	木版・紙	一卷	上智大学キリシタン文庫		○	○
388	聖教初学要理	日本司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1872年（明治5）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
389	煉獄説略	日本司教伯爾納鐸（ベルナルド・プティジャン）訳	1872年（明治5）	木版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
390	くるすのみち行	日本司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1873年（明治6）	木版・紙	一冊	上智大学キリシタン文庫		○	○
391	御苦難所之略（後婆通志與）	司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1873年（明治6）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
392	洗滌之秘跡之事	司教へるなると（ベルナルド・プティジャン）	1873年（明治6）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
393	聖教理証		1873年（明治6）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
394	御禁書目録、御禁書中御免書目録、御制禁御免書籍訳書	戸川播磨守	1841年（天保12）4月改	紙本墨書	一冊	長崎歴史文化博物館	国指定重要文化財	○	○
395	マテオリッチと徐光啓	アムステルダム刊	1667年	銅版・紙	一枚	公益財団法人東洋文庫		○	○
396	天主実義 上・下	利瑪竇著・慈母堂蔵板	1603年刊・1868年重刊	木版・紙	二冊	長崎歴史文化博物館		○	○
397	聖經直解 目録・巻1～14	京都始胎大堂重刊蔵板	1642年刊・1790年重刊	木版・紙	八冊	長崎歴史文化博物館		○	○
398	天主聖教十誠直詮	京都始胎大堂蔵板	1642年刊・1798年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
399	聖母行実 巻之1～巻之3	高一志訳述・主教湯亜立山准	1631年刊・1798年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
400	七克 巻1～7	京都始胎大堂蔵板	1643年刊・1798年重刊	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
401	善生福終正路 上・下	耶蘇会士陸安德述・司牧趙方濟准（主教聖立湯准）	1794年刊・1852年重刊	木版・紙	二冊	長崎歴史文化博物館		○	○
402	聖教日課 巻1～巻3	京都始胎大堂鑿定	1795年刊・1854年（安政1）重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
403	天神会課	慈母堂蔵板	1661年刊・1861年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
404	盛世芻堯 溯源篇・救贖篇・靈魂篇・賞罰篇・異端篇	耶蘇会士馮秉正端友指示・代牧梅瑪都林准	1863年重刊	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
405	慎思指南 巻1～6	本主教聖弟益郎准・大司牧類思羅重刊	1842年刊・1865年重刊	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
406	敬礼聖心月	耶蘇会士晁德蒞述・主教聖弟益郎准	1865年刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
407	教要序論	慈母堂蔵板	1670年刊・1867年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
408	天主十誠勸諭聖蹟 巻1～巻10	慈母堂蔵板	1654年刊・1869年春重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
409	救世主実行全図	金陵天主堂蔵板	1869年（同治8）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
410	揀選『救世主実行全図』	王永泰號	1869年（同治8）頃	木版単色刷・紙	一枚	旧出津救助院（お告げのマリア修道会）		○	○
411	教要六端全図	金陵天主堂蔵板	1869年（同治8）	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
412	揀選『教要六端全図』	王永泰號	1869年（同治8）頃	木版単色刷・紙	一枚	旧出津救助院（お告げのマリア修道会）		○	○
413	聖教要理問答		同治8年（1869）重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
414	提正編 巻1～6	慈母堂重梓	1659年刊・1870年春重刊	木版・紙	三冊	長崎歴史文化博物館		○	○
415	取譬訓蒙 上・中・下	上海慈母堂蔵板	1870年春刊	木版・紙	三冊	長崎歴史文化博物館		○	○
416	答客問	上海慈母堂重刊	1697年刊・1871年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
417	敬礼若瑟月	上海慈母堂蔵板	1868年述・1871年刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○

418	口鐸日抄 卷1～8	上海慈母堂重梓	1630年刊・1872年重刊	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
419	孫世略説	上海慈母堂重刊	1873年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
420	聖記百言	慈母堂重刊	1632年刊・1873年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
421	聖年広益 春季・夏季・秋季・冬季	上海慈母堂聚珍版	1738年刊・1875年重刊	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
422	聖心月新編	上海慈母堂聚珍版	1879年刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
423	答客芻言	上海慈母堂蔵板	1881年刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
424	集説詮真 第1～4冊	上海慈母堂蔵板	1879年刊・1882年重刊	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
425	集説詮真提要	上海慈母堂蔵板	1879年刊・1882年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
426	集説詮真続編 附歴代永統紀年表図	上海慈母堂蔵板	1880年刊・1884年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
427	聖母月新編	上海慈母堂聚珍版	1891年重刊	木版・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
428	遵主聖範 第1～4	トマス・ア・ケンピス著	不明	木版・紙	四冊	長崎歴史文化博物館		○	○
429	善人の最期、煉獄の靈魂の救い、人類の公審判と靈魂の救い、地獄、悪人の最期	マルコ・マリー・ド・ロ監修	1875～77年(明治8～10)頃	木版単色刷、手彩色・紙	五点組	お告げのマリア修道会		○	○
430	善人の最期	マルコ・マリー・ド・ロ監修	1875～77年(明治8～10)頃	木版単色刷着色・紙	一幅	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
431	善人の最期	中国	清、19世紀	木版単色刷・紙	一幅	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
432	善人の最期 版木	マルコ・マリー・ド・ロ監修	1875～77年(明治8～10)頃	木製	一点	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
433	制札	太政官	1868年(慶応4)3月	木製・墨書	一点	茨木市教育委員会		○	○
434	邪宗門制札掲示ノ事		1868年(慶応4)閏4月	紙本墨書	一通	長崎歴史文化博物館		○	○
435	[長崎表切支丹宗徒処置ニ付行政官辞令]	太政官(木戸準一郎宛)	1868年(慶応4)閏4月	紙本墨書	一通	長崎歴史文化博物館		○	○
436	閏四月十七日太政官代より御呼出にて被相渡候御書付写(各藩預け処分の太政官達)	太政官	1868年(慶応4)閏4月17日	紙本墨書	一卷	長崎歴史文化博物館		○	○
437	制札	太政官	1868年(慶応4)3月	木製・墨書	一点	長崎歴史文化博物館		○	○
438	制札(中国人への告諭)		延宝3年(1675)以降	木製・墨書	一点	大浦天主堂 旧羅典神学校キリシタン資料室		○	○
439	サグ女覚書			紙本墨書	一通	長崎純心大学博物館		○	○
440	牢面桶			木製	一点	長崎純心大学博物館		○	○
441	高木仙右衛門「覚書」	高木仙右衛門	1877～79年(明治10～12)		一冊	個人蔵		○	○
442	見舞状	ロカーニュー・ヨゼフ・マリア師	1871年(明治4)4月11日	紙本墨書	一卷	個人蔵		○	○
443	浦頭の切支丹が入牢者に差し入れた巻貝(ミナ)		1868年(明治1)頃	鮑貝、ミナ貝	一式	三井楽教会資料館		○	○
444	みせしめの桜の木		1868年(明治1)頃使用	桜	一点	三井楽教会資料館		○	○
445	楠原切支丹の家牢の戸板		1868年(明治1)頃	木製	一点	三井楽教会資料館		○	○
447	ド・ロ神父使用旋盤(ロクロ)	Withweby Rugg & Richardson	19世紀	木、鉄ほか	一点	お告げのマリア修道会		○	○
448	溝匏	鉄川与助使用	19～20世紀(明治時代～大正時代)	木(白樫)	一点	新上五島町鯨賓館ミュージアム		○	○
449	溝匏	鉄川与助使用	1892～1910年	木製(ななかまど)	一点	新上五島町鯨賓館ミュージアム		○	○
450	墨壺	鉄川与助使用	19～20世紀(明治時代～大正時代)	木製	一点	新上五島町鯨賓館ミュージアム		○	○
451	柱面取見本	鉄川与助使用	19～20世紀(明治時代～大正時代)	木製	一点	新上五島町鯨賓館ミュージアム		○	○
452	建築図面	鉄川与助	19～20世紀(明治時代～大正時代)	インク・紙	一式	新上五島町鯨賓館ミュージアム		○	○
453	旧野首天主堂スタンドグラス		1908年(明治41)頃	木製、色ガラス	二点	小値賀町歴史民俗資料館		○	○
454	頭ヶ島天主堂使用 燭台		20世紀(明治時代～大正時代)頃	木製・金彩、金属	四点	鯛ノ浦教会資料館		○	○
455	冷水教会堂建設当初のスタンドグラス(2面)	鉄川与助	1907年(明治40)	木製、色ガラス	二点	川口昭一氏蔵		○	○
456	旧鯛ノ浦教会使用 聖水用シャコ貝		20世紀(明治時代～大正時代)頃	硨磲貝	一点	鯛ノ浦教会資料館		○	○
457	旧鯛ノ浦教会使用か 法螺貝		20世紀(明治時代～大正時代)頃		一点	鯛ノ浦教会資料館		○	○
458	法螺貝を吹く少年(奈良尾もしくは福見)★参考図版	田北耕也撮影	1931年(昭和6)		一枚	画像提供:長崎純心大学博物館		○	○
459	水ノ浦教会(奈留島)使用 携帯用カリス	外国製	19～20世紀	金属	一点	三井楽教会資料館		○	○
460	長崎県知事宛 天主堂設立願(半泊教会)	設立者信徒総代濱崎亀吉・崎濱市蔵ほか	1921年(大正10)10月13日	インク・紙	三点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
461	長崎県知事宛 天主堂設立願(半泊教会)	設立者信徒総代濱崎亀吉・崎濱市蔵ほか	1921年(大正10)10月13日	インク・紙	三点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○

462	長崎県知事宛 天主堂設立願 (半泊教会)	設立者信徒総代濱崎亀吉・崎濱市蔵ほか	1921年(大正10)10月13日	インク・紙	一点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
463	長崎県知事宛 天主堂設立願 (半泊教会か) 附属図面(六〇分の一)	設立者信徒総代濱崎亀吉・崎濱市蔵ほか	1921年(大正10)10月13日	インク・紙	三点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
464	公会会所(聖マリア七苦難教会堂・黒蔵)設立願	仏国人ア・セ・ペール	1900年(明治33)7月25日か	インク・紙	三点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
465	公会会所(聖マリア七苦難教会堂・黒蔵)設立願	仏国人□寄留地堂崎	1900年(明治33)7月25日か	インク・紙	四点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
466	浦上天主堂既設届/「第一課事務簿 社寺ノ部神仏道以外ノ宗教ニ関スル届」	長崎県第一課	1899年(明治32)12月～1900年(明治33)12月	インク・紙	一冊	長崎歴史文化博物館		○	○
467	堂崎天主堂使用 洗礼鉢		20世紀(明治時代)頃	陶磁器	一点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
468	スカブラリオ(旗メダイ)及び着物		20世紀(明治時代)頃	布製	三点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
469	オスチア焼器	ヨーロッパ製か	19世紀末か	鉄	一点	三井楽教会資料館		○	○
470	御賽銭集め籠		19世紀末～20世紀	竹	一点	三井楽教会資料館		○	○
471	洗礼台帳(嵯峨ノ島ほか)	歴代主任司祭ほか	19世紀末～20世紀初	冊子装、洋紙・インク	十点内一点	三井楽教会資料館		○	○
472	三井楽教会使用オスチアの函	S.VAN DEN EYNDEN MATTELE (ベルギー)	19世紀	金属ほか	一点	三井楽教会資料館		○	○
473	三井楽教会使用(?)チボリウム・ペール	ヨーロッパ製か	19世紀	布・刺繍	一点	三井楽教会資料館		○	○
474	チボリウム	伝フランス製	1832年	金属	一点	堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
475	三井楽教会使用香炉・香舟	ヨーロッパ製か	19世紀	金属	三点	三井楽教会資料館		○	○
476	イエズス像・聖母像	ヨーロッパ製	19世紀	石版・紙	二面	三井楽教会資料館		○	○
477	無原罪の聖母像	ヨーロッパ製か	19世紀	石膏着色	一点	三井楽教会資料館		○	○
478	イエズスの御心像	ヨーロッパ製か	19世紀	石膏着色	一点	三井楽教会資料館		○	○
479	天使像	ヨーロッパ製か	19世紀	石膏着色	一点	三井楽教会資料館		○	○
480	三井楽教会(岳天主堂)創建当時の脇祭壇		1880年(明治13)	木製	一点	三井楽教会資料館		○	○
481	燭台		19世紀か	木製	六点	三井楽教会資料館		○	○
482	三井楽教会創建当時の祭壇十字架	ヨーロッパ製か	1880年以前	木製		三井楽教会資料館		○	○
483	江袋教会使用 聖体ランプ	ヨーロッパ製か	19世紀	金属	一点	三井楽教会資料館		○	○
484	浦頭巡回教会使用オステンソリウム(聖体顯示台)	ヨーロッパ製か	19～20世紀	金属		堂崎天主堂キリシタン資料館		○	○
485	五輪教会使用祭服		1980年代以前	布製	一点	五島市観光歴史館		○	○
486	田平天主堂創建当初のステンドグラス	鉄川与助	1918年(大正7)	木製、色ガラス	四点の内二点	田平教会		○	○
487	黒島天主堂建設当初の尖塔頂部の十字架	ヨゼフ・フェルディナン・マルマン(1849-1912)	1902年(明治35)	金属、木	一点	黒島教会資料館		○	○
488	四君子文チボリウム	徐家匯育□堂(上海)	19世紀後半～20世紀初期	金属	一点	黒島教会資料館		○	○
489	Ih s 紋拝領用バテナ	ヨーロッパ製	19～20世紀	金属	一点	土井の浦教会カリスト記念館		○	○
490	ド・ロ神父肖像 ★参考図版				一面	画像提供:お告げのマリア修道会本部		○	○
491	授産場の作業図 ★参考図版	宮崎惣三郎	19世紀(明治時代)			画像提供:お告げのマリア修道会		○	○
492	出津風景図	マルコ・マリー・ド・ロ(?)	1899～1903年(明治32～36)頃	鉛筆、インク、淡彩・紙	一面	長崎市ド・ロ神父記念館(お告げのマリア修道会寄託)		○	○
493	農作業図解	宮崎惣三郎	19世紀(明治時代)	墨、淡彩・紙	一面	長崎市ド・ロ神父記念館(お告げのマリア修道会寄託)		○	○
494	足踏み糸車	フランス	19世紀	木製	一点	長崎市ド・ロ神父記念館(お告げのマリア修道会寄託)		○	○
495	マルコ・マリー・ド・ロ神父使用 薬瓶	外国製	19世紀(明治時代)使用	陶磁器	一点	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
496	救助院使用 ソーメン切包丁		19世紀(明治時代以降)使用	金属、木	一点	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
497	救助院使用 ソーメン裁断あて木		19世紀(明治時代以降)使用	木製	一点	長崎市ド・ロ神父記念館(お告げのマリア修道会寄託)		○	○
498	マルコ・マリー・ド・ロ神父使用 計量カップ	外国製	19世紀(明治時代以降)使用か	陶磁器	一点	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
499	マルコ・マリー・ド・ロ神父使用 スプーン	外国製	19世紀(明治時代以降)使用か	アルミ	二点	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
500	日計簿 13番	マルコ・マリー・ド・ロ	1893～1896年(明治26～29)	フランス製ノート	一冊	お告げのマリア修道会		○	○
501	救助院及び至風木舎ラベル		1891年(明治24)以降	木版単色刷り・紙	二枚	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○
502	洋式作業着「撚り糸の着物」	マルコ・マリー・ド・ロ考案	19世紀(明治時代)以降	木綿製	一式	旧出津救助院(お告げのマリア修道会)		○	○

503	襦袢/下着「ジバン」	マルコ・マリー・ド・ロ考案	19世紀（明治時代）以降	木綿製	一点	旧出津救助院（お告げのマリア修道会）	○	○
504	出津修道会使用ハルモニウム	Alexandre Pere&Fils（フランス）	1900年頃	木ほか	一点	長崎市海外歴史民俗資料館（お告げのマリア修道会寄託）	○	○

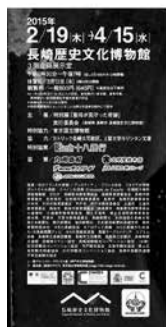
5. 展示図面



聖像はどこ？



キリシタンからの没収品200余点が埋めり



2 常設展

【長崎歴史文化博物館】

常設展示は、歴史文化展示、美術展示、工芸展示、奉行所復元展示で構成されている。2ヶ月ごとに展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示をおこなった。

歴史文化展示室

1, 展示構成

- 1, 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～
長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限をテーマに紹介。16世紀後半が対象。
- 2, 朝鮮との交流～朝鮮通信使と対馬～
対馬藩を介して展開された日本と朝鮮との外交・貿易を紹介。17世紀前半～19世紀が対象。
- 3, 長崎貿易～唐船・オランダ船と行き交う商品～
世界中の貿易品が集まった長崎の姿を紹介。17世紀中頃が対象。
- 4, 中国との交流～唐寺と唐人屋敷～
唐寺や唐人屋敷でおこなわれた中国との文化交流を紹介。17世紀後半が対象。
- 5, 長崎の暮らし～長崎の賑わいと町の仕組み～
「寛文長崎図屏風」「長崎惣町絵図」「長崎くんち」を中心に、長崎の町を紹介。18世紀が対象。

- 6, 長崎の美術・工芸～交流が生んだ異国趣味～
流行の発信地長崎、あふれる異国趣味をテーマに、長崎の美術工芸の逸品を紹介。
- 7, オランダとの交流～出島と蘭学～
長崎出島を窓口として行われた海外との豊かな交流、多方面への影響をテーマに紹介。19世紀が対象。
- 8, 近代化の魁・長崎～長崎発、西洋の知と技～
近代技術の移入、近代日本の魁をテーマに、海外の窓口として最新の学問や技術、情報が集まった幕末・明治の長崎を紹介。19世紀中頃が対象。

2, 主な展示資料

「南蛮人来朝之図」、「寛永長崎港図」、「狂言袴茶碗」、「唐館図絵巻 石崎融思筆」、「上野彦馬使用 写真機」



美術展示室

名品選Ⅱ～京で活躍した長崎の絵師たち～

【展示概要】

長崎画壇の中でも、伊藤若冲をも刺激した黄檗画派と南蘋派を中心に、特に京都など上方で活躍した絵師をとりあげて展示した。

開催期間：4月16日（水）～6月16日（月）

総入場者数：6,860名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	鯉跳龍門図	熊斐	江戸時代中期	市博 絵（長崎）47
2	葡萄群禽図	鶴亭	1754年（宝暦5）	県美博 A1 イ 0109
3	牡丹小禽図	鶴亭、大鵬正鯤 賛	1710年（宝永7）	市博 絵（長崎）101
4	海棠綬帯鳥図	鶴亭	1770年（明和7）	市博 絵（長崎）190
5	海棠黄鳥図	鶴亭、柳沢淇園 賛	江戸時代中期	市博 絵（長崎）114
6	藤花図	鶴亭	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0139
7	花鳥図屏風	鶴亭	1778年（安永7）	市博 絵（長崎）94
8	桃図	大友月湖	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0201
9	紅白梅図	大友月湖	江戸時代中期	市博 絵（長崎）448
10	花鳥図	大友月湖	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0019
11	蔬菜小禽図	大友月湖	江戸時代中期	県美博 A1 ロ 0108
12	相思鳥図	勝野范古	1758年（宝暦8）	県美博 A1 イ 0043
13	多子招福図	勝野范古	1766年（明和3）	市博 絵（長崎）102
14	蝦蟇仙人図	勝野范古	江戸時代中期	市博 絵（長崎）477
15	墨竹図	勝野范古	江戸時代中期	市博 絵（長崎）465
16	風竹図屏風	鶴亭	江戸時代中期	市博 絵（長崎）196

17	風竹図	鶴亭	江戸時代中期	市博 絵(長崎) 353
18	芭蕉図	鶴亭	江戸時代中期	市博 絵(長崎) 286
19	梅図	河村若芝	江戸時代中期	市博 絵(長崎) 70
20	海老図	大鵬正鯤	江戸時代中期	市博 絵(黄檗) 8
21	墨竹之図	大鵬正鯤	江戸時代中期	県美博 A1 口 0002



絵図が語る世界像Ⅱ

【展示概要】

収蔵する多彩な絵図類のなかから、「世界図・日本図」「唐人屋敷」「船舶図」に関する資料を紹介。

開催期間：6月18日(水)～7月14日(月)

総入場者数：2,587名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	拾芥抄		江戸時代	県書・福田テ 19 13 1
2	三国通覧			県書 13 156-1 2
3	日本図	ティセラ	1595年	県美博 F イ 0072
4	万国地図A (万国人物之図)		江戸後期	県美博 A3 ハ 0059
5	万国人物図 (世界人形図)		1652年	県美博 A3 ハ 0014
6	世界万国図			市博 版(長崎) 24
7	日本図	ホンディウス	1606年	県美博 F イ 0074
8	日本図	マルティーニ	1655年	県美博 F イ 0081
9	日本図	ヤンソン	1658年	県美博 F イ 0087
10	日本図	ケルベン	1727年	県美博 F イ 0101
11	オルテリウス世界図	オリテリウス	1570年	県美博 F イ 0064
12	中国図	ホンディウス	1606年	県美博 F イ 0076
13	タルタリア図	オルテリウス	1570年	県美博 F イ 0068
14	アジア図	ホンディウス	1623年	県美博 F イ 0075
15	[長崎港図]	ベラン	1763年	市博 図 182
16	長崎諸役場絵図	長崎奉行・普請方	18世紀前半	県書・福田テ 3 96
17	長崎諸御役場絵図	長崎奉行所・普請方	江戸時代後期	県書・福田テ 3 95 1
18	長崎諸役所絵図	長崎奉行所・普請方	江戸時代末	県書 3 453 1
19	唐人屋敷本部屋市店御普請吟味控			県書・藤ト 14 119
20	唐人屋舗景	長崎勝山町豊嶋屋文治右衛門板	安永9年(1780)	県書 3 163-2
21	外国船具図 原図松浦伯爵家蔵	長谷川雪香模写(原本松浦史料博物館)	昭和期	県書 3 13-1
22	小笠原島記 全		昭和期	市博 290-3-1
23	無人嶋大小八十余山之図写		天明5年(1785)	県書・青方ア 3 7
24	末次平蔵御闕所家財諸道具長福院諸道具御払帳			県書 B) 14 73-5
25	御船并御船道具帳		延宝9年(1681)	県書 B) 16 17-1
26	唐船絵図			県書 B) 3 39-2 9
27	阿蘭陀船図	木村勝義模写(原本松浦史料博物館)		市博 絵 10
28	唐船図咬囉吧出し船	木村勝義模写(原本松浦史料博物館)		市博 絵 10
29	阿蘭陀沈没船引上ゲノ図			県書 B) 3 45-2
30	沈没船引揚一件書類			県書 B) 3 214-1
31	東京造御船			県書・福田テ 16 20
32	東京造御船絵図面及艫図		天保3年(1832)	県書 B) 3 39-2 13
33	御船蔵旧記 写本			県書・渡辺へ 14 517
34	長崎港図		江戸後期	県美博 A3 ハ 0019
35	獅子王丸御船御有形図			県書 B) 3 39-2 11

36	獅子王丸御船有形御矢倉下之図		県書 B) 3 39-2 15
37	獅子王丸御船寶板下貫毎一トま宛船底仕切候絵図		県書 B) 3 39-2 16

ひやっ！冷やし展覧会ははじめました

【展示概要】

扇面やガラス等、かたちや素材から涼しさを連想する作品をはじめ、魚・水鳥・河童・人魚といった水辺の生き物や、涼む人物をあらわした絵画・美術工芸を展示した。

開催期間：7月16日（水）～9月15日（月）

総入場者数：12,751名



	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	納涼図	石崎融思	1842年（天保13）	県美博 A1 イ 0203
2	扇面柳下鴨図	沈南蘋	1739年（中国・乾隆4年）	県美博 A1 イ 0154
3	青緑山水扇面画幅	鉄翁祖門	1861年（文久1）	県美博 A1 イ 0012
4	鳥類図 鴨図	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2 ハ 0059
5	雪景山水図	王克三	同治～光緒年間（1862～1908）頃	市博 絵（中国）4
6	雪景山水図	三浦梧門	1854年（嘉永7）	県美博 A1 ロ 0071
7	魚族図	岡部洞水	江戸時代後期	県美博 A2 ハ 0041
8	柳下鷓図	熊斐	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0153
9	有明海魚介図巻	作者不詳	1841年（天保12）	県美博 F イ 0038
10	長崎漂着海獣の図	作者不詳	1830年（文政13）原画・1920年（大正9）模写	市博 歴史・絵 94
11	鼠と燭台図	小波魚青	明治～大正時代	市博 絵（長崎）182
12	朧夜狸図	小波魚青	明治～大正時代	市博 絵（長崎）382
13	白鷺図	打橋雲泉	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0121
14	岩上鷹図	岩井江雲	江戸時代中期	市博 絵（長崎）7
15	虎溪三笑図	勝野范古	1766年（明和3）	県美博 A1 ロ 0011
16	夏日清談図	川原慶賀	1859年（安政6）	県美博 A2 ハ 0043
17	精霊流し図	岩田秀耕	大正時代	市博 絵（長崎）152
18	崎陽文人寄書	池島邨泉	明治29年（1896）	市博 絵（長崎）450
19	青貝細工猿図ガラス絵	作者不詳	江戸時代（1818～68）	市博 ガラス絵 8
20	異国海浜図	作者不詳	江戸時代後期	県美博 A2 ニ 0004
21	扇面おしどり図掛花生	平戸・三川内焼	江戸時代後期	県美博 D ハ a0269
22	染付竹林七賢図水指	平戸・三川内焼	江戸時代後期	県美博 D ハ a0147
23	白磁鉄彩人魚漏斗置	平戸・三川内焼	江戸時代後期～明治時代	県美博 D ハ a0974
24	長崎聞見録	広川舜	1800年（寛政12）	県書 13 332-1 5
25	蓋茶碗	亀山焼	江戸時代後期	市博 陶（長崎）86
26	染付魚藻図鉢	亀山焼	江戸時代後期	県美博 D ハ a0239
27	染付水甕	亀山焼	江戸時代後期	県美博 D ハ a0180
28	ねじりガラス棒入り鳥籠		江戸時代後期	県美博 D ニ 0008
29	鯉置物		明治時代	県美博 D ニ 0011
30	河童図屏風	芥川龍之介（杉本わか氏寄贈）	大正11年（1922）	市博 絵（日本）8
31	書額「菊茂登」	永井荷風（杉本わか氏寄贈）	昭和10年（1935）	市博 書（日本）34
32	河童供養帖	杉本わか氏寄贈	昭和9年～42年（1934～1967）	市博 絵（日本）9～10
33	尺牘集	永見徳太郎氏寄贈	大正10年～昭和	市博 書（日本）22

くんち三八〇年展

【展示概要】

2014年で380年目を迎えた長崎の秋の大祭・長崎くんちの演し物にちなんだ資料を新収蔵資料も交えて展示・紹介を行った。

開催期間：9月17日（水）～10月20日（月）

総入場者数：8,307名





	資料名	作者名など	制作年代	資料番号
1	寛文長崎図屏風(左隻)		1673年(寛文13)頃	市博 絵(長崎)29-1
2	長崎諏訪祭礼図屏風(複製)		江戸時代中期	市博 くんち13(原資料 国立歴史民俗博物館蔵)
3	諏訪神社御供町道行之図		江戸時代	県美博 A1 イ 0156
4	諏訪祭礼図絵巻		江戸時代中期	市博 くんち12
5	長崎諏訪神社大祭式行列の図	長谷川竹葉	1879年(明治12)	県美博 A3 ロ 0108
6	寄合町旧蔵傘鉾垂		1823年(文政6)	市博 くんち18
7	磨屋町傘鉾飾(部分)		—	市博 くんち15-2
8	万屋町鯨の汐潮吹き船頭の衣装		江戸~明治時代	市博 くんち47
9	西浜町傘鉾下絵「姑蘇十八景図」	荒木千洲・津田南竹 他	江戸時代後期	市博 絵(長崎)263-1
10	蛇踊囃方	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0021
11	唐人蛇踊		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0022
12	日記 寛宝日記		江戸時代前期	県書 13 34
13	長崎土産	磯野信春	1847年(弘化4)	県書・福田テ 13 51
14	長崎聞見録	広川躰	1800年(寛政12)	県書・福田テ 13 50 5
15	長崎名勝圖繪稿本 式		江戸時代後期	市博 絵(長崎)259-2
16	長崎古今集覧名勝圖繪稿本	石崎融思	1841年(天保12)	市博 絵(長崎)142-1
17	御神事諸書付		江戸時代後期	県書・藤ト 11 135
18	みゆきの先とも	本多鉄太郎	1881年(明治14)	市博 くんち3
19	御神事踊笠鉾番組	田川老人	1893年(明治26)	市博 くんち2
20	銀屋町傘鉾図	中山文孝	—	市博 くんち9
21	麴屋町傘鉾図	中山文孝	—	市博 くんち11
22	長崎諏訪神社大祭傘鉾 本興善町		1927年(昭和2)10月	県書 18 1124 50
23	本興善町奉納踊絵葉書		1927年(昭和2)10月	県書 18 1124 55
24	興善町傘鉾絵葉書		1924年(大正14)(印)	市博 絵葉書(長崎)96
25	興善町奉納踊絵葉書(薩摩踊)		—	市博 絵葉書(長崎)16
26	長崎諏訪神社 八幡町 傘鉾		1922年(大正11)10月	県書 18 1124 38
27	八幡町奉納踊絵葉書(山伏「長崎諏訪神社大祭記念 大正十一年十月」印)		1922年(大正11)10月	県書 18 1217 21
28	西濱町傘鉾絵葉書(長崎写真絵葉書 041 長崎諏訪神社 西浜町 傘鉾)		1922年(大正11)10月	県書 18 1124 41
29	銀屋町傘鉾絵葉書(「長崎諏訪神社大祭記念 大正十一年十月」印)		1922年(大正11)10月	県書 18 1217 15
30	銀屋町奉納踊 絵葉書(大名行列)		1922年(大正11)10月	県書 18 1217 24
31	本五嶋町奉納踊(絵葉書・【長崎諏訪神社大祭記念 明治四十老年】)	長崎 小牟田栄真館発行	1908年(明治41)(印)	県美博 F イ 0216-18
32	五嶋町傘鉾(絵葉書・長崎諏訪大祭(五嶋町傘鉾))		1935年(昭和10)	市博 絵葉書(長崎)118
33	麴屋町奉納踊(長崎風景・風俗 写真・絵葉書 22)		1922年(大正11)10月	県書 18 1217 22
34	興善町踊子写真		1918年(大正7)	県書 3 39-1
35	麴屋町奉納踊御茶献上大名行列図		—	市博 くんち14
36	驛前町唐人船 船頭衣装		1953年(昭和28)頃	増田有資氏寄贈(新収蔵史料)
37	驛前町唐人船 唐楽衣装		1953年(昭和28)頃	増田有資氏寄贈(新収蔵史料)
38	驛前町唐人船 世話役衣装		1953年(昭和28)頃	増田有資氏寄贈(新収蔵史料)
39	驛前町唐人船写真		1953年(昭和28)頃	増田有資氏寄贈(新収蔵史料)
40	くんち資料(驛前町)呈上札		1953年(昭和28)か 1960年(昭和35)	県書・永島夕 19 167

41	唐人船写真		1953年(昭和28)撮影	県書 18 1394
42	くんち驛前町 絵葉書		1953年(昭和28)撮影	個人蔵
43	諏訪御神事奉納踊		1961年(昭和36)	県書・渡辺へ 18 447 7
44	史料写真集 15	渡辺庫輔収集	—	県書・渡辺へ 18 138 15

佐賀藩深堀領と長崎

【展示概要】

長崎の入口に位置し、佐賀藩の飛び地として長崎警備などを担っていた佐賀藩深堀領の役割とその歴史について、ゆかりの資料で紹介。

開催期間：10月22日(水)～12月14日(日)

総入場者数：12,921名



	名称	作者	年代	資料番号	点数
1	彼杵郡深堀郷図 深堀本村, 大籠村, 竿浦村		1861(文久1)仕立	県書 3 2-2 2	1 舗
2	長崎港諸藩陣場図		江戸時代後期か	県書 3 715	1 舗
3	[長崎代官支配地区]		江戸時代後期	県書・福田テ 3 60	1 舗
4	龍造寺御系図			県書 13 399	1 冊
5	多久家系図 水江龍造寺系図		1857年(安政4)	県書・古賀シ 13 27	1 冊
6	御城下絵図(佐賀)		1800年前後か	市博・図 49	1 舗
7	鍋島家土録同幕下		1683年(天和3)	県書 13 168-3	1 冊
8	勝茂公諮問につき多久美作答申書	多久美著作		県書・神代サ 14 2 1,2	2 冊
9	深堀系図証文記 巻1			県書 13 167 1	1 冊
10	深堀系図証文記 巻2			県書 13 167 2	1 冊
11	深堀証文後記系図 附深堀、松浦両氏系図		1681年(天和1)	県書 13 761	1 冊
12	深堀鍋島家系図		1898年(明治31)	県書 13 279	1 冊
13	新陰流目録外物	甲斐弥左衛門筆、鍋島官左衛門宛	1723年(享保8)3月15日	市博・軍事 49	1 巻
14	日置流弓目録	深江藤右衛門筆、鍋島七左衛門宛	1690年(元禄3)正月2日	市博・軍事 104	1 巻
15	作之鞍籠事	辻政知筆、鍋島志摩宛	1677年(延宝5)	市博・軍事 87	1 巻
16	別伝居合切紙目録	高木幸八忠大筆、三浦繁之助宛	1800年(寛政12)	市博・軍事 111	1 巻
17	勝茂公御年譜 三(深堀ほか遠見番所設置)			県書 13 251 3	1 冊
18	長崎就御番方之仕組	諫早家什物方著	1807年(文化4)	県書 13 626	1 冊
19	西泊戸町御番所絵図 石谷備後守在勤		1764年(明和1)11月	県書 B)3 228-2	1 舗
20	女神在来御台場図 玉込火通			県書・福田テ 3 86-1	1 枚
21	白忽加三種砲試放奉行検分図		1860年(万延1)頃	県書・福田テ 3 60	1 舗
22	砲術目録・阿蘭陀流	秋田三郎右衛門宛	1636年(寛永13)	市博・軍事 75	1 巻
23	遠眼鏡			市博・軍事 37	1 点
24	伝岩瀬道台場の砲弾			市博・軍事 42-1,2	2 点
25	有馬原城攻囲之図 原図島原市川氏蔵	金井俊行写	明治期	県書 3 27-1	1 舗
26	兜及び鎧櫃(関連文書1点) ※田代家関係資料			個人蔵	3 点
27	鎗 ※田代家関係資料			個人蔵	2 点
28	勝茂公御年譜 一(柳川城攻め、井伊直政感状)			県書 13 251 1	1 冊
29	深堀家臣戦功記(田代大九郎等の戦功)			県書 13 282	1 冊

新年を寿ぐ

【展示概要】

鶴に松竹梅を描いたものや七福神をはじめとする神々、そして長崎の年末年始を記録したものなど、お正月にふさわしい作品を展示した。

開催期間：12月17日(水)～1月19日(月)

総入場者数：3,217名



	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	双鶴棒寿図	沈南蘋	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0220
2	松竹梅双鶴図	熊斐	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0009

3	双鶴図	渡辺鶴洲	1823年(文政6)	県美博 A1 イ 0025
4	松竹梅双鶴図	河村若元	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0035
5	鶴亀図	岩井江雲	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0114
6	鶴寿老人図	渡辺秀石	江戸時代中期	市博 絵(長崎) 198
7	松に鶴図	宋紫石	1775年(安永4)	県美博 A1 イ 0131
8	福祿寿三星図	渡辺鶴洲	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0204
9	白鹿図	小波魚青	明治～大正時代	市博 絵(長崎) 329
10	日之出に山羊図	片山楊谷	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0089
11	年中行事絵 餅搗き図	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2 ハ 0054
12	年中行事絵 正月図	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2 ハ 0055
13	年中行事絵 正月図	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2 ハ 0055
14	百寿図	作者不詳	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0169
15	贈鉄翁禪師祝栄寿画賛	荒木千洲画 陳逸舟賛	1851年(嘉永4)	県美博 A1 イ 0168
16	唐館交加遊女之図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0048
17	福神図	作者不詳	中国・清代	市博 版(中国) 1
18	和合神図	石崎融濟	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 110
19	七福神図	村田鶴臯	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0101
20	雪中小禽図	千楠壺	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0024
21	梅花小禽雪中図	木下逸雲	1860年(万延1)	市博 絵(長崎) 264
22	宝珠図	西有穆山	江戸時代後期	県美博 A1 ロ 0111
23	書(大吉)	中林梧竹	明治時代	市博 書(日本) 29

中国祭祀と長崎文化

【展示概要】

江戸時代に長崎で催された中国祭祀のうち、観音・媽祖・関帝信仰、さらに長崎聖堂の祭具からその姿を

再現。

開催期間：1月21日(水)～3月16日(月)

総入場者数：8,093名

	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	隠元禪師画像	喜多道矩 隠元隆琦賛	江戸時代前期	市博 画像(黄檗) 11
2	普賢菩薩像		江戸時代前期	市博 絵(長崎) 104-1
3	文殊菩薩像	逸然性融 隠元隆琦賛	江戸時代前期	市博 絵(長崎) 104-2
4	文殊菩薩像	穎川浄得 木庵性滔賛	江戸時代前期	市博 絵(長崎) 219
5	白衣大士観瀑図	逸然性融 即非如一賛	江戸時代前期	市博 絵(長崎) 156
6	巖上観音菩薩図	逸然性融 木庵性滔賛	明暦3年	市博 絵(長崎) 30
7	観音菩薩像	荒木千洲	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 131
8	観音菩薩像	画者不詳 即非賛	江戸時代前期	市博 神仏画 9
9	先師孔子図	兆殿司 賛高元泰	江戸時代前期	市博 絵(中国) 95
10	孔子像		江戸時代後期	市博 像 1
11	香炉		江戸時代後期	市博 祭具 1
12	爵		江戸時代後期	市博 祭具 17
13	燭台		江戸時代後期	市博 祭具 5
14	邊		文化6年	市博 祭具 8-1
15	豆		文化6年	市博 祭具 9-1
16	三顧礼図	石崎融思	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 430 新番号 406
17	馬上関羽図		江戸時代後期	市博 絵(長崎) 118
18	関羽図	広渡湖秀	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 180
19	関羽図	勝野范古	明和5年	市博 絵(長崎) 324
20	関羽図	広渡湖秀	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 67
21	関帝倚坐像		江戸時代	市博 木(外国) 1
22	関帝図	川原慶賀	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 173
23	関帝図	渡辺鶴洲	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 174
24	関帝図	乾鳳園	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 220
25	蛇踊囃方		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0021
26	唐人蛇踊		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0022
27	菩薩揚		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0084
28	大清船之図		江戸後期	県美博 A3 ハ 0051
29	唐館書房之図		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0102
30	唐人食卓		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 002
31	唐人屋鋪景		江戸時代後期	県書 3 163-2

トピック展示

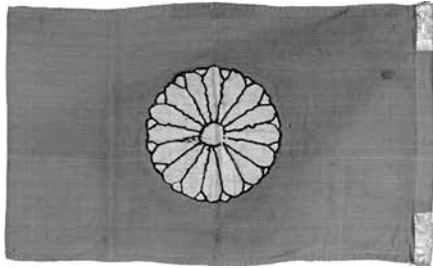
振遠隊と長崎

【展示概要】

江戸幕府の消滅により、長崎港警備の役割を離れ、官軍として戊辰戦争に参加した振遠隊についてゆかりの資料で紹介。

開催期間：3月18日（水）～6月16日（月）

総入場者数：13,003名



	資料名	作者名	年代	資料番号
1	白江龍吉宛 褒賞状	総督府	1868年（明治1）9月	県書 16 58-7
2	草野庄之助宛 褒賞状	知府事清原朝臣（沢宣嘉）・行政官	1868年（明治1）12月28日・1869年（明治2）7月	県書 16 377 1
3	田川要太郎宛 褒賞状	知府事清原朝臣（沢宣嘉）・太政官	1868年（明治1）12月28日・1869年（明治2）7月	県書 18 1483
4	小原大輔宛 褒賞状	知府事清原朝臣（沢宣嘉）	1869年（明治2）正月晦日	県書 16 75-6
5	御親兵長崎振遠隊出兵人名	児島保定	明治中期か	県書 16 69-4
6	輜重掛助役任命書		1869年（明治2）2月	県書 16 66-1
7	奥羽出陣中日記大全	児島保定	1868年（慶応4）7月～12月	県書 16 71-1
8	出羽国神宮寺駅中並南橋岡戦場荒見取		1868年（明治1）か	県書 16 73-4
9	出羽国戦場之略図		1868年（明治1）か	県書 16 73-5
10	奥羽戦局図		1868年（明治1）か	県書 16 78-1
11	振遠隊錦巾			県美博 F イ 0020
12	長崎振遠隊旗			県書 4 96
13	長崎振遠隊旗			県書・福田 4 2
14	振遠隊士写真	上野撮影局撮影	1868（明治1）1月10日	県書 3 60-1 20

長崎聖堂

【展示概要】

「聖堂文庫」として一括管理されている記録類を展示。教育・文化・貿易・外交まで多様な役割を紹介。

開催期間：6月18日（水）～9月15日（月）

総入場者数：22,529名



	資料名	年代	製作者	資料番号
1	閑齋日乗	文政元年～天保10年	向井雅次郎兼哲	市博 210-10
2	日録 拾（唐通事会所日録）	正徳年間	聖堂	市博 210-6
3	釋菜式次第	慶応元年（1865）	聖堂	市博 380-3

オランダ商館長の江戸参府

【展示概要】

江戸時代、長崎に滞在したオランダ商館長が貿易を許可された御札に将軍に拝謁し、献上品を贈るために行った江戸参府旅行の様子を紹介。

開催期間：9月17日（水）～12月14日（日）

総入場者数：39,841名



	資料名	作者名など	年代	資料番号
1	カズワールス	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3ハ0080
2	The history of Japan Vol. 1	Engelbert・Kaempfer 著 (エンゲルベルトケンペル)		県書 211
3	諸役料帳	上田	1721年(享保6)	県書 13591
4	江府参上阿蘭陀人附添日記		1788年(天明8)	県書・渡辺へ1454
5	紅毛人参府書類	石橋助左衛門 榎林控	1802年(享和2)	市博 310-160

唐通事の語学

【展示概要】

実際に学んだテキストの展示を通じて、中国語（福州・漳州・南京）・東南アジア語・インド語まで話し

た唐通事の姿を紹介。

開催期間：12月17日(水)～3月16日(月)

総入場者数：15,986名



	資料名	年代	作成者	資料番号
1	唐話纂要	享保元年序(同3年刊)		市博 830-5-1
2	閑齋日乗	江戸時代後期		市博 210-10
3	訳詞長短話	寛政8年(1796)	魏龍山	県書B)123-21
4	清文鑑和解	19世紀	鄭永寧 訳述 穎川雅範 校合	県書B)122-21

奉行所展示室

当時の絵図などを基に復元された長崎奉行所立山役所の建物とともに、奉行所の役割と機能、部屋の用途などを模型と映像を用いて解説し、関連資料や出土品とあわせて紹介。

1. 展示構成

長崎奉行所立山役所のあらまし

長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品を通して紹介。

長崎奉行所職務

行政・司法・外交・貿易・軍事全般と、キリシタンや密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担った長崎奉行の職務内容を紹介。

犯科帳の世界

長崎奉行所の判決記録集「犯科帳」の中から、密貿易やくんちなどの行事に際して起こった事件を、わかりやすく紹介。

歴代長崎奉行

127代を数える歴代長崎奉行の業績を、長崎の歴史への足跡とともに紹介。

キリシタン関連資料展示

長崎奉行の職務の一つ、キリシタン取締りについて、踏絵など長崎奉行所宗門蔵に収められていた品々を中心に紹介。

長崎奉行所立山役所〈再現〉

復元された奉行所の建物を、「大改め」再現展示とともに紹介。

2. 主な展示資料

〈館蔵資料〉

	資料名	年代	資料番号	備考
1	Fascicvlvs e Iapponicis Floribvs (カルデウム日本殉教精華) A.F.Cardim (カルデウム) 著	1646年	県書 2329	
2	異宗一件書類 長崎奉行所公事掛	慶応3年(1867)	県書B)1123-1	国重要文化財「長崎奉行所文書」
3	異宗一件 岡部駿河守(長崎奉行)	万延元年(1860)9月	県書B)1124-1	国重要文化財「長崎奉行所文書」
4	異宗徒信仰之もの改心証文 長崎奉行所	慶応3年(1867)9月	県書B)1125-2.2	国重要文化財「長崎奉行所文書」
5	異宗信仰之者人別改帳 聖徳寺	明治元年(1868)	県書B)1151	国重要文化財「長崎奉行所文書」

6	誓文之事 勝五郎	天明3年(1783)11月25日	県書B)11 171-1 72	国重要文化財「長崎奉行所文書」
7	浦上村家野郷利助人形被取揚候一件	寛政7年(1795)2月8日	県書B)11 171-1 117	国重要文化財「長崎奉行所文書」
8	NIPPON(日本) Ph.Fr.von·Siebold(シーボルト)著	1832年-1882年	県書2 183-6	
9	Les Martyrs du Japon(日本の殉教者たち) Jacques Callot(ジャック カロ)著	1628年	県美博Fイ 0153	
10	桶屋町中家持借屋宗旨改踏絵帳 桶屋町乙名 藤清左衛門著	寛保3年(1743)正月	県書・藤ト 11 1-1 1	
11	きりしたんころび書物之事 正保2年 西勝寺原蔵の写し		県書 11 113-2	
12	キリシタン制札 奉行発令	正徳元年 1711	市博歴史 法制 2	
13	キリシタン制札 太政官発令	慶応4年 1868	市博歴史 法制 1	

〈東京国立博物館所蔵資料〉

	資料名	個数	資料番号	備考
1	キリスト像	1個	C-589	国指定重要文化財
2	聖母像	1個	C-590	国指定重要文化財
3	小天使像	2個	C-592	国指定重要文化財
4	マリア観音像	1個	C-601	国指定重要文化財
5	マリア観音像	1個	C-606	国指定重要文化財
6	マリア観音像	1個	C-613	国指定重要文化財
7	マリア観音像	1個	C-621	国指定重要文化財
8	マリア観音像	1個	C-628	国指定重要文化財
9	マリア観音像	1個	C-634	国指定重要文化財
10	観音菩薩坐像	1個	C-638	国指定重要文化財
11	観音菩薩坐像	1個	C-642	国指定重要文化財
12	観音菩薩坐像	1個	C-654	国指定重要文化財
13	観音菩薩坐像	1個	C-655	国指定重要文化財
14	観音菩薩坐像	1個	C-656	国指定重要文化財
15	観音菩薩坐像	1個	C-657	国指定重要文化財
16	観音菩薩坐像	1個	C-668	国指定重要文化財
17	聖女像	1面	C-694	国指定重要文化財
18	銅牌(無原罪の聖母像)	1個	C-706	国指定重要文化財
19	鉛牌(無原罪の聖母像)	1個	C-709	国指定重要文化財
20	銅牌(ピエタ)	1個	C-710	国指定重要文化財
21	板踏絵(無原罪の聖母)	1枚	C-712	国指定重要文化財
22	板踏絵(聖母子像<ロザリオの聖母>)	1枚	C-714	国指定重要文化財
23	真鍮踏絵、キリスト像(エッケ・ホモ)	1枚	C-727	国指定重要文化財
24	真鍮踏絵、聖母子像(ロザリオの聖母)	1枚	C-721	国指定重要文化財
25	ロザリオ	1連	C-746	国指定重要文化財
26	ロザリオ	1連	C-749	国指定重要文化財
27	ロザリオ	1連	C-765	国指定重要文化財
28	ロザリオ	1連	C-773	国指定重要文化財
29	ロザリオ	1連	C-776	国指定重要文化財
30	ロザリオ	1連	C-800	国指定重要文化財
31	ロザリオ	1連	C-819	国指定重要文化財
32	ロザリオ	1連	C-820	国指定重要文化財
33	ロザリオ	1連	C-826	国指定重要文化財
34	ロザリオ	1連	C-827	国指定重要文化財
35	残決	2連	C-854	国指定重要文化財
36	十字架	1個(27個の内)	C-857	
37	十字架	1個(9個の内)	C-859	
38	十字架	1個(3個の内)	C-879	
39	十字架	1個(5個の内)	C-892	
40	十字架	1個(5個の内)	C-894	
41	十字架	1個(3個の内)	C-895	
42	十字架	1個(6個の内)	C-896	
43	十字架	1個(9個の内)	C-898	
44	十字架	1個	C-906	
45	十字架	1個(9個の内)	C-910	
46	十字架	1個(9個の内)	C-911	

47	十字架	1個	C-912	
48	メダイ	1個(11個の内)	C-917	
49	メダイ	1個(14個の内)	C-921	
50	メダイ	1個(8個の内)	C-924	
51	メダイ	1個(2個の内)	C-925	
52	メダイ	1個	C-926	
53	メダイ	1個	C-939	
54	メダイ	1個(7個の内)	C-959	
55	メダイ	1個	C-962	
56	メダイ	1個	C-964	
57	メダイ	1個	C-985	国指定重要文化財
58	守裂、図版 no462	1点	C-1001	国指定重要文化財
59	守裂、図版 no467	1点	C-1001	国指定重要文化財
60	守裂、図版 no468	1点	C-1001	国指定重要文化財
61	守裂、図版 no469	1点	C-1001	国指定重要文化財
62	板踏絵、キリスト像(エッケ・ホモ)	1面	C-1003	国指定重要文化財
63	真鍮踏絵、キリスト像(十字架上のキリスト)	1枚	C-1010	国指定重要文化財
64	メダイ	1個(2個の内)	C-1040	
65	メダイ(福知山城内発掘)	1個	C-1061	
66	メダイ(福知山城内発掘)	1個	C-1063	
67	ロザリオ(福知山城内発掘)	1連	C-1069	
68	守裂、図版 no490	1点	C-1084	国指定重要文化財
69	守裂、図版 no492	1点	C-1084	国指定重要文化財
70	守裂、図版 no494	1点	C-1084	国指定重要文化財
71	守裂、図版 no508	1点	C-1084	国指定重要文化財
72	守裂、図版 no509	1点	C-1084	国指定重要文化財
73	守裂、図版 no511	1点	C-1084	国指定重要文化財
74	聖母子像	1個	C-1112	

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

1, 展示構成

国の重要文化財である旧香港上海銀行長崎支店の紹介と、孫文と梅屋庄吉の関係、及び2人にとってゆかりの地であり近世以降も重要な役割を果たした長崎の近代交流史を紹介。

1階：【香港上海銀行長崎支店の歴史】

銀行として使用されていた当時の雰囲気伝える展示とともに、香港上海銀行長崎支店の歴史を紹介。

2階：【孫文・梅屋庄吉と長崎】【長崎の華僑】

中国革命の父孫文とその革命を支え続けた

長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情の歴史、唐人貿易が行われた江戸時代から深いつながりを持つ華僑の人々の、治以降の長崎での活躍ぶりを紹介。

3階：【上海航路と国際通信】【貿易港長崎の歴史】

【東山手・南山手のくらし】【香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎】

長崎は交通・通信網の重要な拠点都市であった上海と定期航路で結ばれ、海底電信ケーブルが敷設されるなど、世界へとつながる国際都市であったことを紹介。



2. 主な展示資料

	資料名	年代	所蔵先	所蔵番号
孫文と梅屋庄吉と長崎				
1	「外務諸書留」 崎陽商人名前 明治元改	明治元年 (1868)	長崎歴史文化博物館	県書 14 1480 - 1
2	長崎県一円富豪家一覧表	明治 33 年 (1900)	長崎歴史文化博物館	県書 13K 5813
3	梅屋庄吉書「富貴在心」(複製)	大正 10 年 (1921)	原資料 小坂文乃氏	
4	梅屋庄吉「永代日記」	年代不明	小坂文乃氏	
5	養女 清子の貰受契約書 梅屋庄吉宛 (複製)	明治 32 年 (1899)	原資料 小坂文乃氏	
6	梅屋庄吉建立墓碑 (拓本)		協力・香港経済貿易代表部	
7	宮崎滔天電報 梅屋庄吉宛	大正 5 年 (1916)1 月 25 日	小坂文乃氏	
8	孫文電報 梅屋庄吉宛 (複製)	大正 5 年 (1916)11 月 1 日・11 日	原資料 小坂文乃氏	
9	孫文電報 梅屋庄吉宛 (複製)	大正 13 年 (1924)12 月 1 日	原資料 小坂文乃氏	
10	孫科電報 梅屋庄吉宛 (複製)	民国 14 年 (1925)3 月 13 日	原資料 小坂文乃氏	
11	辛亥革命の資金援助委任状 (複製)	黄帝紀元 4609 年 (1911)11 月 11 日	原資料 小坂文乃氏	
12	革命軍「軍票」(複製)	明治 44 年 (1911)	原資料 小坂文乃氏	
13	「支那共和国公認既成同盟会」看板 (複製)	大正元年 (1912)	原資料 小坂文乃氏	
14	革命志士寄書衝立	大正～昭和初期	小坂文乃氏	
15	革命志士寄書衝立 (複製)	大正～昭和初期	原資料 小坂文乃氏蔵	
16	大孫文映画作成協会趣意書及革命映画筋書梗概並制作費豫算 (複製)	昭和 5 年 (1930) 12 月 1 日	原資料 小坂文乃氏蔵	
17	「大孫文」映画脚本 (複製)	昭和 5 年 (1930) 頃	原資料 小坂文乃氏蔵	
18	『活動写真百科寶典』	明治 44 年 (1911)	小坂文乃氏	
19	M カシーの映画梗概		小坂文乃氏	
20	孫文の胸像 (複製)	昭和 3 年 (1928) 頃	原資料 小坂文乃氏	
21	総理奉安実録	民国 18 年 (1929)	小坂文乃氏	
22	「賢母」の羽織		小坂文乃氏	
23	「賢母」の羽織 (複製)		原資料 小坂文乃氏	
24	宋慶齡書簡 梅屋庄吉の娘千世子宛 (複製)	昭和 53 年 (1978)12 月 9 日	原資料 小坂文乃氏	
25	宋慶齡書簡 梅屋トク宛 (複製)	大正 5 年 (1916)5 月 20 日	原資料 小坂文乃氏	
26	東洋日の出新聞		長崎歴史文化博物館	
27	長崎日日新聞		長崎歴史文化博物館	
28	中山艦 (模型)		長崎歴史文化博物館	
29	砲艦「永豊」進水祝賀晩餐会案内状 (複製)	明治 45 年 (1912)	原資料 陳東華氏	
30	孫文書「世界大同」	大正 13 年 (1924) 11 月 23 日	個人蔵	
長崎の華僑				
31	「唐館新地図」	明治元年 (1868) 頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 191 - 1
32	「唐館新地処分書類」	明治元年 (1868)	長崎歴史文化博物館	県書 14 58 - 8
33	「新地唐館支那人並呼入候者名前綴込」	明治元年 (1868) 頃	長崎歴史文化博物館	県書 14 17 - 5
34	「外国人名前調帳」	明治 3 年 (1870)	長崎歴史文化博物館	県書 14 13
35	「新地築増地一件」	明治 2 年 (1869)	長崎歴史文化博物館	県書 16 10 - 2
36	「新地領牌名冊」	明治 10 年 (1877)	長崎歴史文化博物館	県書 14 428 - 2
37	『大典記念名鑑』 陳世望父子写真	大正 5 年 (1916)	長崎歴史文化博物館	県書 18 535L
38	『長崎と上海』 新地貿易商名簿	大正 12 年 (1923)	長崎歴史文化博物館	県書 3 220
39	「清領事來函留」 清国領事館設置	明治 11 年 (1878)～明治 16 年 (1883)	長崎歴史文化博物館	県書 14 435 - 3
40	「大日本大清国条約書」	明治 4 年 (1871)	長崎歴史文化博物館	県書 14 539 - 3
41	「清国修好条規」	明治 5 年 (1872)	長崎歴史文化博物館	県書 14 540 - 3
42	中華民國馮領事 (前列中央) と三江会所々員 興福寺	大正 10 年 (1921) 頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 14
43	祝蔣旋京大会写真 広東会所	昭和 3 年 (1928) 頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 1
44	馮領事歡送及び時中小弁事人員受賞章記念撮影 大浦孔子廟	大正 10 年 (1921)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 4
45	孫文歡迎午餐会記念写真 福建会館	大正 2 年 (1913)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 11
46	長崎福州同郷会成立大会記念撮影 福建会館	大正 5 年 (1916)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 9
47	長崎華僑受領勳章記念撮影 馮領事 (前列中央) と長崎華僑代表	大正 7 年 (1918)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 13
48	万県惨案殉難烈士追悼会 崇福寺山門前	大正 15 年 (1926)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868 - 5
49	泰昌号文書	清朝時代 (明治期)	長崎歴史文化博物館	
50	泰益号文書	中華民國時代 (大正期)	長崎歴史文化博物館	
51	泰益号文書	中華民國時代 (昭和期)	長崎歴史文化博物館	

上海航路と国際通信				
52	上海丸 (1/100 模型)		長崎市	
53	高砂丸 (1/100 模型)		長崎歴史文化博物館	
54	「長崎と上海・日華連絡記念」(複製)	大正 12 年 (1923)	長崎歴史文化博物館	
55	日華連絡開航記念絵葉書	大正 12 年 (1923)	長崎歴史文化博物館	県書 18K 1610
56	長崎丸・上海丸		長崎歴史文化博物館	県書 3 578
57	絵葉書 上海六三園		長崎歴史文化博物館	市博 指定なし M51-85~98
58	絵葉書 長崎丸・上海丸		個人蔵	
59	日華連絡開航記念祝賀会案内	大正 12 年 (1923)4 月	個人蔵	
60	日華連絡船 長崎丸 晩餐献立	昭和 7 年 (1932)6 月 26 日	個人蔵	
61	日華連絡船 長崎丸 晩餐献立	昭和 14 年 (1939)7 月 10 日	個人蔵	
62	日華連絡船 長崎丸 朝食献立	昭和 14 年 (1939)7 月 11 日	個人蔵	
63	日華連絡船 長崎丸 昼食献立	昭和 15 年 (1940)3 月	長崎歴史文化博物館	県書 18 322
64	上海航路案内 (複製)	昭和 3 年 (1928)	原資料 日本郵船歴史資料館	
65	上海航路案内 (第 4 版)	昭和 5 年 (1930)	個人蔵	
66	上海航路案内 (第 5 版)	昭和 8 年 (1933)	個人蔵	
67	上海航路案内 (第 6 版)	昭和 11 年 (1936)	個人蔵	
68	上海航路案内・英語版	昭和 3 年 (1928)	個人蔵	
69	「外務課事務簿」 太政官達	明治 4 年 (1871)2 月	長崎歴史文化博物館	県書 14 300-1
70	「外務課事務簿」 小ヶ倉・大浦間の電信線路図	明治 4 年 (1871)2 月	長崎歴史文化博物館	県書 14 303-1 2
71	絵葉書 ホテルベルヴェー		個人蔵	
72	絵葉書 長崎小ヶ倉海浜		長崎歴史文化博物館	市博 指定なし 絵 葉書 (長崎)430
73	「外務課事務簿」 電信一件	明治 6 年 (1873)	長崎歴史文化博物館	県書 14 80-4 1
74	ナガサキ・タイムズ	明治元年 (1868) 6 月	長崎歴史文化博物館	県書 2K 804
75	ナガサキ・エクスプレス	明治 3 年 (1870)1 月	長崎歴史文化博物館	
76	「長崎国際電報局」看板		KDDI 国際通信史料館	
77	可変抵抗器 (ベグ式)		KDDI 国際通信史料館	
78	電動機 (ミュアヘッド予備)		KDDI 国際通信史料館	
79	可変抵抗器 (丸型)		KDDI 国際通信史料館	
80	3 ダイアル抵抗器		KDDI 国際通信史料館	
81	検流計		KDDI 国際通信史料館	
82	検流計 (亀甲型)		KDDI 国際通信史料館	
83	電流計		KDDI 国際通信史料館	
84	ケーブル見本 (長崎・小ヶ倉間のケーブル)		KDDI 国際通信史料館	
85	ケーブル見本 (長崎・ウラジオストク間の海底線、 女神陸揚げ地陸上部分)		KDDI 国際通信史料館	
86	疑似ケーブル (ウラジオストク線用)		KDDI 国際通信史料館	
87	モールス送信機 (電動式・モーター付)		KDDI 国際通信史料館	
88	現波機		KDDI 国際通信史料館	
89	海底ケーブル傷害見本		KDDI 国際通信史料館	
90	海底ケーブル見本		KDDI 国際通信史料館	
91	疑似ケーブル (上海線用)		KDDI 国際通信史料館	
92	モールス印刷機 (クリード印刷機)		KDDI 国際通信史料館	
93	「長崎国際電報局」看板		KDDI 国際通信史料館	
貿易港長崎の歴史				
94	肥前長崎図 新刻/増補版	明治元年 (1868) 頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 70-1 2
95	長崎港新図	明治 27 年 (1894)	長崎歴史文化博物館	県書 3 297
96	長崎市街地図	大正 13 年 (1924)	長崎歴史文化博物館	県書 3 707-1
97	長崎市案内地図	昭和 9 年 (1934)	長崎歴史文化博物館	県書 コ 17 87
98	各国人員并戸数調表	明治 9 年 (1876) ~ 明治 33 年 (1900)	長崎歴史文化博物館	県書 14 559-2
99	「合衆 阿蘭 瑞典 那耳回 布哇 白耳義 丁抹 仏蘭西 国官吏往復」	明治 5 年 (1872)	長崎歴史文化博物館	県書 14 218-4
100	絵葉書 長崎露国領事館		長崎歴史文化博物館	市博 絵葉書 (長崎) 490
101	絵葉書 長崎大浦英国領事館		個人蔵	
102	絵葉書 長崎米国領事館		個人蔵	
103	絵葉書 長崎独逸領事館		個人蔵	
104	「買受五厘金納日表」	明治 17 年 (1884)	長崎歴史文化博物館	県書 17 123-9 1
105	「売込五厘金納日表」	明治 17 年 (1884)	長崎歴史文化博物館	県書 17 125-6 1

106	「外国人願伺之部」	明治10年(1877)～明治16年(1883)	長崎歴史文化博物館	県書 14 424-2
107	絵葉書 長崎港ニ於ケル石炭積載ノ景		個人蔵	
108	「諸藩武器買請諸願」	明治4年(1871)	長崎歴史文化博物館	県書 16 51-3
109	「上海領事館往復」	明治8年(1875)	長崎歴史文化博物館	県書 14 383-4
110	「外国人接待之部」	明治13年(1880)～明治16年(1883)	長崎歴史文化博物館	県書 14 449-6 1
111	阿片吸飲禁止の達(維新史料68)	明治元年(1868)	長崎歴史文化博物館	県書 14 414 68
112	「御達留」	明治4年(1871)	長崎歴史文化博物館	県書 14 295-5
113	絵葉書 長崎税関		個人蔵	
東山手・南山手の暮らし				
114	居留地図	明治6年(1873)頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 203-2
115	旧長崎英国領事館(模型)		長崎市	
116	東山手十二番館(模型)		長崎市	
117	旧グラバー住宅(模型)		長崎市	
118	旧レスナー住宅(模型)		長崎市	
119	旧長崎税関下り松派出所(模型)		長崎市	
120	東山手洋風住宅群7棟 東山手住宅-G(模型)		長崎市	
121	石炭掴み(マントルピース用)		長崎市	
122	衝立(マントルピース用)		長崎市	
123	百科事典棚		長崎市	
124	煙草ケース		長崎市	
125	傘立て帽子掛け		長崎市	
126	R・N・ウォーカー商会看板		長崎市	
127	二段小物入れ		長崎市	
128	鹿のはく製		長崎市	
129	鏡付タンス		長崎市	
130	ティーテーブル		長崎市	
131	鏡台付飾り棚		長崎市	
132	書斎机		長崎市	
133	飾り棚		長崎市	
134	鏡台		長崎市	
135	グラバー商会耕作良種奇雀糞	明治2年(1869)	長崎歴史文化博物館	市博 貿易 20
136	古田商店御手引きラムネ瓶		個人蔵	
137	BANZAI 清涼飲料水のラムネ瓶		個人蔵	
香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎				
138	香港上海銀行長崎支店(模型)		長崎市	
139	銀行の営業室(ジオラマ)		長崎市	
140	香港上海銀行発行の紙幣		長崎市	
141	香港上海銀行発行の貨幣		長崎市	
142	秤量 馬蹄銀		長崎市	
143	香港上海銀行印・呉支店(複製)		長崎市	
144	香港上海銀行ヘッド付便箋に書かれた書類	明治27年(1894)	長崎市	
145	ディレクトリー & クロニクル		長崎市	

1 長崎学調査研究プロジェクト

1) 目的

海外との交流により発展してきた長崎県の歴史や文化について、長崎市をはじめとする県内全域に関する調査研究を、今までの調査研究体制をより体系化させながら、ローカルかつグローバルな視点から国内外の研究者、機関、団体等と連携・共同して推進する。これらの活動を通して、これまでの長崎学の調査研究の成果を継承、発展させるとともに、長崎の歴史・文化の研究と普及、地域の活性化に資する長崎学の調査研究の拠点化をはかる。

- 博物館を拠点にした長崎学研究の充実と学術的研究成果の創出・発信を目指す。
- これまでの長崎学研究体制をより強化し、体系化した組織づくりを目指し、「ミュージアム県長崎」の中核博物館としての機能を充実させる。
- 有期（前期・後期、各3年間）で3テーマを設定し、それに基づく具体的な研究活動を展開する。
- 「進化する博物館」として、プロジェクト研究の発展的成果を創出する。
- 研究環境を充実し、研究者にとって魅力ある研究体制づくりを目指す。

2) 長崎学調査研究プロジェクト構想

①長崎学の理念

近世長崎における海外交流の歴史は、古代から中世にかけて県下全域で展開されてきた海外交流の歴史が現長崎で集大成されたものと位置づけ、これを前提に、研究対象エリアを、現在の長崎市を軸にした県下全域と東アジア世界、さらにはオランダを中心とするヨーロッパ世界とする。

また近世長崎は、江戸・京都・大坂の3都市に次ぐ発展をみせた海港都市としての性格を持ち、長崎で花開いた特異な文化を日本国内に向けて発信していた。この近世都市としての性格とその延長にある近代長崎の魅力、さらにそこで育まれた豊かな文化史の研究も長崎学研究の基本柱として拠点化をはかる。とくに館藏品約4万8千点に及ぶコレクション研究により、新たな長崎学の充実を図る。

②調査研究推進体制（地域・コレクション研究、IPM・展示環境研究）

長崎学研究の具体的な取り組みを2テーマに集約する。ただし、本年からの指定管理期間5年間の後期年間を研究期間とする。

【後期プロジェクトテーマ 「博物館コレクションの保存と活用」】

〔テーマ設定の背景〕

オランダ・ライデン国立民族学博物館、中国・福建博物院、韓国・釜山博物館などとの交流協定締結が進み、改めて博物館コレクションを軸に海外交流史を再検討することを目指し、研究テーマに設定する。また、博物館の基本的な使命である保存・活用を充実させるため、展示・保存環境の調査・改善を第二のテーマに設定する。

〔研究テーマ〕・・・2011年から3年間の前期テーマ

地域・コレクション研究部会・・・博物館コレクションのなかの交流史

IPM・展示環境研究部会・・・資料の展示・保存環境の調査と改善

〔期 間〕 3年間の継続プロジェクト

〔部 会〕 テーマごとに部会設置

■平成26年度 各部会の活動

A) 地域・コレクション研究

〔実績〕

○東京大学史料編纂所調査

実施日：5月26日（月）

調査資料：「オランダ商館日誌」写真帳（オランダ国立公文書館原本蔵）など

調査者：矢田純子

内 容：館蔵の日蘭関係資料年代の調査のため、「オランダ商館日誌」の写真帳（オランダ国立公文書館原本蔵）、同日記に関する編纂所所蔵の目録との照合作業を実施した。

○東京大学史料編纂所調査

実施日：9月25日（木）～9月26日（金）

調査資料：対馬藩宗家史料 江戸藩邸毎日記（慶

応三年十二月～明治四年十一月分)

調査者：岡本健一郎

内容：幕末・明治初期の対馬藩と長崎との関係について、対馬藩の江戸藩邸毎日記の記事を調査した。とくに大政奉還から廃藩置県までの長崎屋敷の活動を把握することができた。

○国立公文書館（内閣文庫）調査

実施日：10月23日（木）～10月24日（金）

調査資料：聖堂御文庫番外書籍目録、聖堂献備品目、聖堂江諸侯献上品目ほか

調査者：深瀬公一郎

内容：長崎に設けられた聖堂について関連史料を調査。長崎聖堂と湯島聖堂の人材交流、積典など儒教儀礼、幕府の政策と聖堂の関係について、具体的事例と収蔵関連史料を知ることができた。

○湯島聖堂調査

実施日：10月25日（土）

調査資料：儒教の祭祀用具

調査者：深瀬公一郎

内容：儒教儀礼である積典について、その祭具の種類や配置、祭礼の式次第など湯島聖堂の具体的事例を調査。長崎歴史文化博物館収蔵の長崎聖堂祭具との比較をおこなう基礎調査となった。

○2014年度歴史学研究会大会 近世史部会参加

場所：駒澤大学

実施日：5月25日（日）

参加者：矢田純子

内容：部会のテーマは東アジアにおける海域秩序の変容と近世日本の対外政策。報告は清水有子氏、松尾晋一氏で、報告・討論を通して、東アジアの枠組みから当時の日本や長崎を捉える視点の重要性を改めて確認することができた。

○2014年度日本史研究会大会 参加

場所：佛教大学

実施日：10月11日（土）～12日（日）

参加者：林美和

内容：大会「支配と地域—社会的空間を俯瞰する—」のうち、シンポジウムテーマ「＜境界＞を読み直す」において、池内敏氏「「国境」未満」、麓慎一氏「近世後期における北方の境界問題」、川島真「長崎から見る近代日中関係史」氏ほかの報告・討論を通して、海外交流の窓口と「境界」のあり方について重要性を再確認することができた。

○国文学研究資料館「平成26年度アーカイブズカレッジ（史料管理学研修会）」参加

場所：福岡市立博物館

実施日：11月10日（月）～11月15日（土）

参加者：林美和

内容：アーカイブズの公開と提供などについて理論と技術を体系的に学び、アーカイブズの管理に関する講義・実習を受講した。研修会終了後には修了論文を提出し、修了証書を授与された。

イ) IPM・展示環境研究

[研究テーマ]

資料の展示・保存環境の調査と改善

[成果]

展示ケース、展示室、収蔵庫、一時保管庫等においてパッシブインジケータによる環境調査（9月18日～9月22日、10月27日～10月31日、12月4日～12月8日、12月23日～12月30日、1月4日～1月11日）を実施した。展示ケース内の換気、ガス吸着シートの設置等の対策をおこなった結果、環境の改善がみられた。

[実績]

- ・「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習」（主催：長崎県労働基準協会）6月11日（水）～6月12日（木）
- ・「文化財保存修復学会第36回大会」（主催：文化財保存修復学会）6月7日（土）～6月8日（日）
- ・「ミュージアム IPM 研修（基礎編）」（九州国立博物館）10月22日（水）～10月24日（金）
- ・「公開承認施設会議、国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会」（主催：文化庁）11月11日（火）～11月12日（水）
- ・「災害対応、被災資料等につての調査・情報収集（東北地方）」（「みんなでまもるミュージアム」事業）11月24日（月）～11月26日（水）
- ・「文化財 IPM コーディネータ資格取得講習と試験」（主催：文化財虫菌害研究所）12月10日（水）～12月12日（金）
- ・「文化財虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験」（主催：文化財虫菌害研究所）3月16日（月）～3月18日（水）

館外活動

濱崎礼二

○委員

- ・雲仙市旧鍋島家住宅保存活用計画策定委員会オブザーバー

越中勇

○委員

- ・長崎市歴史民俗資料館運営委員

深瀬公一郎

○執筆

- ・NHK 学園生涯学習講座「古文書解読実践」(共同執筆)

○講師

- ・長崎国体ボランティア研修「長崎の歴史と文化」6月20日・21日
- ・放送大学長崎学習センター面接授業「博物館で楽しむ長崎の歴史と文化」
- ・平和と健康を考える SATREPS シンポジウム(長大熱帯研)「長崎の歴史と文化～出島の活動を中心に～」1月27日

○外部研究員

- ・法政大学沖縄文化研究所研究員

岡本健一郎

○講師

- ・長崎県立大学佐世保校「日本史概説」「日本史特論」非常勤講師
- ・放送大学長崎学習センター面接授業「博物館で楽しむ長崎の歴史と文化」
- ・東洋文庫講演会「岩崎彌太郎が見た幕末長崎と海外」9月27日(土)
- ・早稲田大学オープンカレッジ「旅する長崎学講座 Vor.8」講演「日本造船の幕開け～長崎製鉄所から三菱～」10月11日(土)
- ・平成26年度長崎県の文化財公開月間プレイベント「今よみがえる長崎の歴史」講演「端島炭坑の始まりと展開」10月26日(日)

○委員

- ・雲仙市旧鍋島家住宅保存活用計画策定委員会オブザーバー

植松有希

○講師

- ・長崎県立大学シーボルト校「日本美術史」非常勤

講師

- ・放送大学長崎学習センター面接授業「博物館で楽しむ長崎の歴史と文化」
- ・壱岐市立一支国博物館特別講座「日本の漆器は海を越えて～西洋で愛された南蛮漆器と青貝細工～」11月23日(日)

○外部研究

- ・笹川科学研究助成(実践)「新しい博物館活動のモデルを目指す動植物図像を中心とする「いきものがたり」事業～人文系(博物館美術館)、自然史系(動植物園)の相互連携を目指して～」

林美和

○執筆

- ・「呉市における戦後復興と旧軍港市転換法」(河西英通編『軍港都市史研究Ⅲ 呉編』清文堂出版)
- ・「戦艦「大和」表象がもたらしたもの—大和ミュージアムにみる博物館コンセプトの変容—」(『日本史研究』629号)
- ・「荒木貞夫と陸軍省新聞班制作トーカー「三月十日」」(『昭和のくらし研究』13号)

○外部研究

- ・甲南大学人間科学研究所客員特別研究員

○研修参加

- ・日本史研究会大会「支配と地域—社会的空間を俯瞰する—」佛教大学、10月11日(土)～12日(日)
- ・国文学研究資料館 平成26年度アーカイブズカレッジ(史料管理学研修会)、福岡市立博物館、11月10日(月)～11月15日(土)

○講師

- ・2014 J M I ビジネス・イノベーションコース特別講演「グローバル化とイノベーション～幕末・明治期の長崎に学ぶ～」1月17日(土)

久保憲司

○研修参加

- ・「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習」(主催：長崎県労働基準協会)6月11日(水)～6月12日(木)
- ・「文化財保存修復学会第36回大会」(主催：文化財保存修復学会)6月7日(土)～6月8日(日)
- ・「ミュージアム IPM 研修(基礎編)」(九州国立博物館)10月22日(水)～10月24日(金)
- ・「公開承認施設会議、国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会」(主催：文化庁)11月11日(火)～11月12日(水)

- ・「災害対応、被災資料等についての調査・情報収集（東北地方）」（「みんなでまもるミュージアム」事業）11月24日（月）～11月26日（水）
- ・「文化財 IPM コーディネータ資格取得講習と試験」（主催：文化財虫菌害研究所）12月10日（水）～12月12日（金）
- ・「文化財虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験」（主催：文化財虫菌害研究所）3月16日（月）～3月18日（水）

矢田純子

○研修参加

- ・2014年度歴史学研究会大会近世史部会「東アジアにおける海域秩序の変容と近世日本の対外政策」駒澤大学、5月25日（日）
- ・公益財団法人文化財虫菌害研究所「文化財 IPM コーディネータ資格取得のための講習会」九州国立博物館12月10日（水）～12日（金）

竹内有理

○講師

- ・放送大学（ラジオ）「博物館経営論」客員准教授
- ・九州産業大学国際フォーラム「高齢社会における博物館の役割を考える－英国レスター大学の事例から－」（主催：Museum2015実行委員会ほか）九州国立博物館研修室1月18日（日）

○委員等

- ・全日本博物館学会役員

○研修参加

- ・全日本博物館学会2014年度総会・第40回研究大会 明治大学6月28日（土）、29日（日）
- ・ICOM-MPR2014 'Museum Branding : Redefining Museums for the 21st Century' National Museum of Natural Science（台湾台中市）9月2日（火）～5日（金）
- ・Museum2015「自己変革する博物館－変化し続ける組織づくり」（主催：Museum2015実行委員会）明治大学1月13日（火）～15日（木）

3

資料修理修復事業

平成 26 年度に修復した美術資料は 4 点。黄檗の頂相を中心に修復を行った。

	資料番号	作品名	員数	作者	時代	修復仕様
1	市博 画像 (黄檗) 9	隠元禪師画像	1 幅	不詳	江戸時代	本紙の亀裂と横折を無くすために、旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打ちを行う。似た補修絹を調整し本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～5%の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。表具形式は改装し一文字・風帯に金欄、中縁に緞子、天地に無地裂を使用。題箋は切り抜き元の位置に残す。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。
2	市博 画像 (黄檗) 13	獨立禪師画像	1 幅	喜多元規	江戸時代	本紙の亀裂と横折を無くすために、旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打ちを行う。似た補修絹を調整し本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～6%の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。表具形式は改装し一文字・風帯に金欄、中縁に緞子、天地に無地裂を使用。題箋は切り抜き元の位置に残す。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。箱に墨書があるので新調の箱の底に収納する。
3	県美博 D イ 1,10,11,16, 18,19,20,23	刀	8 振			研磨
4	市博 刀剣 1～10	刀剣	10 振			研磨

平成 26 年度に修復した古文書資料は 92 点。

- ・長崎県資料 67 点
- ・長崎市資料 25 点

修理については、劣化がひどいものについては裏打ち、軽微なものについては部分修理を実施し、できる限り資料の原型維持に努めた。

〈長崎県資料〉

	資料名	資料番号	丁数	備考
1	村内巳三郎差出候願書之写 嘉永六年丑六月	17K 2833	8	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理後綴じ直した
2	差出候願書之写 嘉永六年丑七月	17K 2834	8	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理後綴じ直した
3	手続書	17K 2835	7	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理後綴じ直した
4	質貸家業元極メ証文之事	17K 2836	3	紙質が弱っているため裏打ち修理
5	売渡候煙之事 安永八年亥三月	17K 2837	1	虫喰いが墨書にかかっているため裏打ち修理
6	証文	17K 2838	1	虫喰いが墨書にかかっているため裏打ち修理
7	覚	17K 2839	1	虫喰いが墨書にかかっているため裏打ち修理
8	長崎区質商規約書 明治 14 年	17K 2593	10	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理黒谷和紙で表紙作成
9	長崎商工会員当選人名簿 明治 17 年	17K 2594	3	表紙作成後、遊び紙を前後に入れた。
10	長崎商工会議所章程 明治 17 年	17K 2595	7	表紙作成後、遊び紙を前後に入れた。
11	長崎農工商会規則 明治 15 年頃か	17K 2596	1	酸性劣化のためフォクシングが見られる。裏打ち修理
12	長崎港積金配当方二付市中相対買商人願書文久元年酉七月	17K 2597	17	酸性劣化のためフォクシングが見られるので灰汁を塗布した
13	享保 16 年 細井因幡守様御在勤中唐通事江御問目御答書	13K 5816	37	フォクシングが見られるので灰汁を塗布した。表紙作成
14	癸丑軍艦注文日記 蘭人風説書和解 嘉永六年	14K 4141	27	全丁にわたり虫喰いのため繕い修理後表紙のみ裏打ち
15	新規造船、外国人通船等に付き郡町へ申渡 外国官事役所	14K 4142	5	表紙作成後、部分修理
16	雲錦随筆 春 卷之一	12K 2598 1	29	虫喰い穴の繕い修理
17	雲錦随筆 春 卷之二	12K 2598 2	35	糊浮き部分修理、ラベル貼付
18	雲錦随筆 春 卷之三	12K 2598 3	34	糊浮き部分修理、ラベル貼付
19	雲錦随筆 春 卷之四	12K 2598 4	34	糊浮き部分修理、ラベル貼付
20	台湾鄭氏記事 卷之上	13K 5815 1	34	題箋のはずれと見返しの糊浮きには糊差し
21	台湾鄭氏記事 卷之中	13K 5815 2	28	見返しの糊浮きには糊差し。ラベルの貼付
22	台湾鄭氏記事 卷之下	13K 5815 3	28	見返しの糊浮きには糊差し。ラベルの貼付
23	官省来翰 明治 9 年	14 194-1 3	284	違う資料の表紙が付いている。表紙作成後綴じ直した
24	売込代金帳 明治 4 年 4 月	14 242-1 3	247	違う資料の表紙が付いている。表紙作成後綴じ直した
25	金券調帳 旧 11 大区ノ 1	14 680-1 1	簿冊	表紙の掛け違いのため新たに表紙作成。
26	金券調帳 旧 21 大区	14 683-2	399	表紙の掛け違いのため新たに表紙作成。
27	勸業課農務係事務簿 漁業ノ部 明治 14 年 1 月～6 月	17 115-4 1	簿冊	裏表紙が酸性劣化のため破損。最後の頁の絵図が落丁している
28	肥前 島原大変次第	13 81-2	56	損焼文書のため折り目と天地が焼けている。洗浄後裏打ち処置
29	陶器焼附画秘伝明治 26 年 3 月再版	中西 16 1	15	長崎大水害被災資料。板状固着、汚損、カビ
30	諸大名京都屋敷所留守居用達名付帳	中西 13 17	15	長崎大水害被災資料。板状固着、汚損、

31	病理略論 上 満斬歌児篤氏口授マンスフィールド	中西家旧蔵資料	29	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理後綴じ直した
32	病理略論 下 満斬歌児篤氏口授マンスフィールド	中西家旧蔵資料	36	虫喰い穴は食い裂き紙にて繕い修理後綴じ直した
33	西洋 養生論 上	中西家旧蔵資料	45	表紙の汚れの除去後全体に湿っているので、乾燥させた。
34	諏訪神社御祭礼 踊奉納諸記諏訪神社御祭礼銅座町同盟会	渡辺 13 326 1	15	カーボン青インクでかかれ、酸性紙の間紙による酸の移行
35	諏訪神社御祭礼 踊奉納諸記諏訪神社御祭礼銅座町同盟会	渡辺 13 326 2	15	同上と同じ資料。紙が薄く酸の移行があり裏打ち修理
36	長崎諸寺墨印	中西 11 2	3	襖から剥がされ、汚れと両面の付着紙片を灰汁で洗浄後裏打ち処置
37	長崎惣町ヶ所数并ヶ所竈被下銀其外貫銀一式書付	古賀 14 50	22	化学糊を剥がし表紙見返しに発生した黒カビをとり再修理
38	古今対照長崎市案内地図附三百年史概要	渡辺 3 10	1	酸性劣化のため折り目が裂ける。薄い和紙で裏打ち修理
39	一番小隊役員	近世青方文書	5	虫喰いと汚れのため洗浄後裏打ち処置
40	List o f books received from Mr.J.Koga	古賀 2 41	3	酸性劣化のため変色、破れがあり裏打ち修理。黒谷和紙で表紙作成
41	肥前松浦領百姓記録 天保十年	中西 14 1 1	11	本紙後方の虫喰いと変色がひどいので裏打ち修理
42	送り状（明キ箱送付）長崎オオルト茶局小柳森太郎より島原前田豊治郎宛	山崎 17 179	1	虫喰いと劣化、展示のため裏打ち修理
43	第三課事務簿 職員進退之部 明治 33 年 4 月自 20 至 30 日	11 421 3	270	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
44	第二課事務簿 明治 35 年	13 119 - 2 1	472	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
45	雪白砂糖寄	17 186 - 1	77	虫喰い穴は繕い修理。くるみ綴りの紙縫りが切れていた。
46	警察本部事務簿 従明治元年至明治十六年完	14 134 - 1	40	折れたまま綴じてあるので解体後、コテで伸ばして綴じ直し
47	庶務課決議簿 明治 20 年中地籍之部南高来郡愛津より北高来郡湯江村外四ヶ村	13 103 - 1 2	569	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
48	土木課事務簿 明治 10 年	13 143 - 2 3	546	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
49	豊後国長崎御廻米見分吟味一件	17 16 - 2	57	湿害によるカビの発生で一部綿状劣化、洗浄後裏打ち処置
50	熊野氏系図証文讓状写（福田文庫）	13K 3283 - 1	91	湿気のため劣化した部分が弱っていたので裏打ち修理
51	庶務課地理掛事務簿 地籍之部 明治 14 年	13 98 - 2 2	420	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
52	庶務課地理係事務簿 地籍之部 明治 17 年	13 100 - 1 1	426	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
53	居留地図	3 786	1	化学糊を剥がし再修理
54	未、阿蘭陀船荷主キニツフル	13 175	1	修理してあるが、折れと汚れの為剥がして再修理
55	第三課事務簿 学制之部 明治 31 年	11 448 2	665	湿害によるカビの発生で後方が綿状劣化。裏表紙ボール紙を黒谷和紙厚手にする
56	鎮西大社実録拾遺	渡辺 11 88	冊子	綴じ糸のほつれ
57	鎮西大社実録明鑑	渡辺 11 90 - 2	冊子	綴じ糸のほつれ
58	鎮西大社視聴隨筆	渡辺 11 91	冊子	綴じ糸のほつれ
59	鎮西大社実録大成	渡辺 11 92	冊子	綴じ糸のほつれ
60	旅比雑録 佐久間維章著 明治 23 年	13 83 - 2	18	化学糊による変色のため洗浄後、剥がして再修理
61	文部省日誌 明治 15 年 1～13 号	11 611 7	307	酸性紙の劣化と水濡れによるカビ被害の為、解体後修理
62	茂木鉄道会社理立地書類 茂木町 大正 13 年	14K 4139	83	表紙の酸性劣化と破れ、本紙も洋紙のため劣化、青焼き図面が六枚袋に入っている。
63	第三課事務簿 学校職員進退ノ部共 明治 27 年 4 月	11 415 4	簿冊	水濡れの為、裏表紙が破損。表紙作成と部分修理と裏打ちをした。
64	第一課事務簿 社寺ノ部神仏道以外ノ宗教に関スル届明治 33 年中	11 377 3	266	部分修理
65	華族家禄賞典金禄調帳 自明治五年至七年	14 872	18	変色がひどく化学糊を落とした後再修理。表紙作成後。
66	嘉永六年丑夏北アメリカ船渡来記	中西家旧蔵資料	11	水害被災後板状固着、虫喰い、汚損劣化
67	覚	近世青方文書	1	汚れ、虫喰いのため裏打ち処置

長崎県所蔵資料修理 計 67 点

〈長崎市所蔵分〉

	資料名	資料番号	丁数	備考
1	大方廣圓覚修多羅了義経略疏注序	180 32 ②-1	143	湿損により板状固着虫喰い、カビ複合汚損劣化著しい
2	拂果園悟禪師碧巖録 卷第二	180 31 ②-1	82	湿損により板状固着虫喰い、カビ複合汚損劣化著しい
2	拂果園悟禪師碧巖録 卷第五、卷第六	180 31 ②-2	82	湿損により板状固着虫喰い、カビ複合汚損劣化著しい
4	制詞	181 - 12	23	水濡れの汚れシミがあり、表紙の破損のため全体修理
5	小学読本	370 - 12	42	虫喰い、汚損、劣化のため灰汁で洗浄後裏打ち処置
6	重修辟蒙 壺	400 - 1	90	虫喰い、汚損、劣化のため灰汁で洗浄後裏打ち処置
7	算法記	410 - 1	92	ネズミによる裂傷、尿による変色の為洗浄後裏打ち処置

8	算学録	410-4	58	表紙と虫喰いがひどい箇所のみ裏打ち修理。穴は繕い修理
9	長崎孔子廟記	聖堂 930-49	1	虫喰いがひどく、継ぎ目の糊浮きにより離れているため裏打ち修理
10	雑事録	峰 290-3	18	汚損がひどい為洗浄後本紙の状況により部分修理と裏打ち修理をした。
11	御台場町見取調子草稿	峰 310-1	25	ネズミによる裂傷、尿による変色の為洗浄後裏打ち処置
12	御触達写 嘉永3年	峰 310-5	6	水濡れの汚れシミがあり、カビ、劣化破損の為洗浄裏打ち修理
13	造曆捷経	峰 440-6 ①	54	水濡れの汚れシミ、ガムテープを除去後綿状劣化部分の補強。
14	西洋新法曆書 日躰完	峰 440-20 ①	48	水濡れの汚れシミがあり、カビ、劣化。洗浄後裏打ち修理
15	火星本天高卑差論説	峰 440-47	22	水濡れの汚れシミがあり、カビ、劣化破損の為洗浄裏打ち修理
16	見聞録	峰 440-18	43	虫喰いが多く紙質がいいので似合いの紙にて繕い修理
17	塩山和混合水集 全	180-35	75	汚損がひどい為洗浄後本紙の状況により部分修理と裏打ち修理をした。
18	近世名医傳 上	490-36	52	水濡れの汚れシミがあり、カビ、劣化。洗浄後裏打ち修理
19	新定漢文 卷三	930-56 ③-1	68	汚損がひどい為洗浄後本紙の状況により部分修理と裏打ち修理をした。
20	新定漢文 卷四	930-56 ③-2	69	表紙の汚損と、汚水臭いがひどいため洗浄後修理
21	新定漢文 卷五	930-56 ③-3	74	表紙の汚損と、汚水臭いがひどいため洗浄後修理
22	高等漢文読本	930-57	42	表紙の汚損と、汚水臭いがひどいため洗浄後修理
23	竹譜	700-9	51	紙質が弱っていたので裏打ち修理 (竹紙)
24	増纂評註文章規範 正編目録、卷一、卷二	930-63 ②-1	53	汚損、虫喰い甚大のため洗浄後裏打ち修理
25	増纂評註文章規範 正編目録、卷三、卷四	930-63 ②-2	51	汚損、虫喰い甚大のため洗浄後裏打ち修理

長崎市所蔵資料修理 計 25 点

4

資料の管理

1) 収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
 - (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - (3) 長崎奉行所に関する資料
 - (4) 長崎文化に関する資料
- (「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
 - (2) 長崎奉行所に関する資料
 - (3) 長崎の美術工芸資料
 - (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
- (「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数 約 48,000 点

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約 48,000 点を移管。

旧県立美術博物館所蔵 約 2,000 点
(美術工芸 1,830 点 歴史 178 点)

旧長崎市立博物館所蔵 約 16,000 点
(歴史 10,300 点 近代美術 4,500 点 近現代 1,200 点)

県立長崎図書館所蔵 約 30,000 点(文書・図書)
指定文化財

- 国指定重要文化財
安政二年「日蘭条約書」
紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風
長崎奉行所関係資料 1,242 点
- 長崎県指定文化財
刀・対州住長幸
刀・肥前国忠吉
青方文書
永島キク刀自絵像
- 国認定旧重要美術品
紙本著色瀉血手術図
紙本著色南蛮人来朝図之屏風
紙本著色唐蘭館の図 2 巻



▲紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風

2) 資料及び画像の貸出管理

画像貸出件数 544 件

博物館関係機関	29
行政機関	76
マスコミ	137
出版関係	90
教育研究関係	101
その他	111
合計	544

資料の貸し出しについて (平成 26 年度貸出分) 6 件 (14 点)

No	展覧会名	貸出期間	会期	館名	資料名	資料番号
1	「ギヤマン展—あこがれの輸入ガラスと日本」展	2014 年 6月20日～ 11月28日	2014 年 7 月 5 日 ～ 9 月 15 日 (神 戸市立博物館)、 2014 年 6 年 9 月 25 日 ～ 11 月 24 日 (奥田元宋・ 小由女美術館)	神戸市立博物館／奥田 元宋・小由女美術館	伝シーボルト諫早侯献上 ギヤマン酒次セット・提	市博 ガラス 8
					ギヤマン酒瓶	市博 ガラス 52
					白青切子銘酒瓶 (硝子栓 付)	市博 ガラス 66
					本切子金字入坏	市博 ガラス 79
2	県立長崎図書館ロビー 展『石田壽と長崎』展	2014 年 7月1日～ 9月1日	2014 年 7 月 8 日 ～ 8 月 30 日	長崎県立長崎図書館	聖フランシスコ・ザベリ オ来邦四百年祭グラフ	県書 11 250-2
3	黎明館企画特別展「南 からみる中世の世界～ 海に結ばれた琉球列島 と南九州～」	2014 年 9月10日～ 11月28日	2014 年 9 月 10 日 ～ 11 月 19 日	鹿児島県歴史資料セン ター黎明館	青方文書 13	県書・青方ア 14 127 13

4	シーボルト記念館第27回特別展「楠本いねとその時代」	2014年9月27日～12月2日	2014年10月1日～11月30日	シーボルト記念館	医療器具	県美博 Fロ 0002 - 007
					肖像写真（楠本いね）	市博 H 271
					亥年諸事書上控帳 文政10年正月	県書・渡辺へ 14 29
					卯年諸事書上控帳 文政12年正月	県書・渡辺へ 14 37
5	「全国鯨フォーラム2014長崎」(長崎市で開催)にあわせた鯨に関する歴史や文化についての企画展示	2014年11月18日～11月23日	2014年11月18日～11月23日	全国鯨フォーラム2014長崎実行委員会(担当:長崎市経済局水産農林部)	有田焼三ツ組鉢	市博 陶(日本) 4 - 1
					勇魚取圖絵 上(文政12年)	県書・山口ハ 17 341 1
					勇魚取圖絵 下(文政12年)	県書・山口ハ 17 341 2
6	九州国立博物館開館10周年記念特別展「戦国大名—九州の群雄とアジアの波濤」	2015年3月30日～6月5日	2015年4月21日～5月31日	九州国立博物館	瀬戸内海地図屏風	県美博 A1 イ 0004

3) 新収蔵資料

購入資料

	分類	資料名	作者・産地	製作年代
1	絵画	出島図	川原慶賀か	1860年代
2	絵画	雪竹図・墨梅図	鶴亭	1771年
3	絵画	双鯉図	岩井江雲	1779年
4	絵画	虎図	松井慶仲	江戸後期
5	絵画	花鳥図	勝野范古	1762年
6	長崎絵	阿蘭陀船図	長崎版画	江戸後期
7	長崎絵	阿蘭陀人男女図	長崎版画	江戸後期
8	横浜絵	阿蘭陀人図	横浜版画	江戸末～明治初期
9	磁器	青磁銚子掛分栗形置物	三川内焼	19世紀
10	漆器	草花紋螺鈿小洋櫃	南蛮漆器	16世紀末～17世紀初
11	漆器	ドッガ-バンク海戦図蒔絵プラーク(2枚組)	ササヤ様式	18世紀末～19世紀初
12	漆器	肖像図蒔絵プラケット(5枚組)	ササヤ様式	18世紀末～19世紀初
13	漆器	青貝細工フリーメイソン紋章小箱	ササヤ様式	18世紀末～19世紀初
14	郷土資料	中島永元関係資料(1,111点)	中島永元	明治初～昭和初
15	郷土資料	清国水兵暴行事件書類	梅香崎警察署	明治19年8月16日～翌3月22日
16	郷土資料	長崎県警察関係資料 3冊	長崎県警察	明治～昭和初期

寄贈資料

	分類	資料名	作者・産地	製作年代
17	磁器	染付獅子文龍貼付広口瓶	三川内焼	19世紀後半
18	磁器	漆装飾幾何学模様皿(2枚)	肥前・中国か	幕末明治
19	郷土資料	熊野氏系図証文譲状写(福田文書)	福田忠昭(写)	1920年
20	郷土資料	絵葉書 雲仙の大観(8枚組)		昭和9年以後(戦前)
21	郷土資料	江稼圃書屏風(六曲一双)	江稼圃	己巳(文化6年・1809) 桃月(3月)
22	郷土資料	高島秋帆書(扁額)	高島秋帆	19世紀
23	郷土資料	広東会館垂れ幕	広東会館	大正4年(1915)
24	郷土資料	坂本龍馬像	山崎和國	現代
25	郷土資料	岩崎弥太郎像	山崎和國	現代
26	郷土資料	勝海舟像	山崎和國	現代
27	衣類	駅前町唐人船 船頭衣装		
28	衣類	駅前町唐人船 唐楽衣装		
29	衣類	駅前町唐人船 世話役衣装		
30	写真	駅前町唐人船 写真		

6

長崎学・生涯学習支援事業

1 事業概要

本事業は、長崎県の歴史と文化について理解を深める長崎学とともに、県民・市民に生涯を通じて博物館を利用してもらうため、子どもから高齢者まで、

成長段階に応じた様々な生涯学習プログラムを提供することを目的としている。

2 一般向け事業

趣旨と成果

今年度は企画展や常設展示室との連動・連携を図った質の高い講座を実施した。また、県内外の研究者による最新の研究成果を公開するとともに当館研究員による様々な研究テーマをもとにした講座を交えながら長崎県の歴史・文化の情報発信に寄与した。

○れきぶん長崎学講座スタンダード

長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果を県民・市民に広く公開し、郷土の歴史に対する関心と理解を深め、生涯学習の促進や長崎学の発展を主な目的として、様々な分野に関する講座と史跡めぐりを実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	4月20日(日) 14:00～15:30	ホール	京で活躍した長崎の絵師たち	植松有希(当館研究員)	106
2	6月22日(日) 14:00～15:30	ホール	絵図の中の長崎	深瀬公一郎(当館主任研究員)	88
3	8月24日(日) 14:00～15:30	ホール	「兼山秘策」にみる長崎 - 儒学者がみた徳川政治と長崎	福留真紀氏(長崎大学准教授)	52
4	9月20日(土) 14:00～15:30	ホール	仏教、日本再伝 - 長崎～京都～江戸、そして世界へ	會谷佳光氏(東洋文庫研究員)	65
5	10月19日(日) 14:00～15:30	ホール	佐賀藩深堀領と長崎	岡本健一郎(当館研究員)	70
6	12月21日(日) 14:00～15:30	ホール	近世的軍隊と島原の乱	木村直樹氏(長崎大学准教授)	108
7	2月1日(日) 14:00～15:30	勤労福祉会館 第2中会議室	オランダ商館長の江戸参府	矢田純子(当館研究員)	73
8	2月28日(土) 14:00～15:30	ホール	中国祭祀と長崎文化	深瀬公一郎(当館主任研究員)	59
9	3月22日(日) 14:00～15:30	ホール	長崎県庁文書の世界	岡本健一郎(当館研究員)	42

○史跡めぐり

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	9月28日(日) 9:30～17:30	諫早	史跡めぐり(諫早方面)	川内知子(諫早干拓資料館学芸員)	39
2	11月8日(土)	深堀	史跡めぐり(深堀方面)	岡本健一郎(当館研究員) 古豊祐次朗(当館研究員)	39

○エキスパート講座

当館研究員が中心となって、常設展示に関連した古文書等の原資料や所蔵資料を通して、長崎学講座をより専門的に掘り下げた講座を行った。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	5月24日(土) 10:30～12:00	講座室	近世長崎の米屋	矢田純子(当館研究員)	12

2	7月20日(日) 10:30～12:00	講座室	西日本大名の長崎屋敷	岡本健一郎(当館研究員)	36
3	9月21日(日) 14:00～16:00	講座室	唐船風説書にみる江戸時代の国際情勢	深瀬公一郎(当館主任研究員)	21
4	11月22日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎遊学者・斉藤秋圃	越中勇(当館主任研究員)	18
5	1月24日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎三画人のひとり・三浦梧門の画業について	植松有希(当館研究員)	24

○れきぶん文化財セミナー

文化財に精通した館内外の専門家による博物館資料の保存修復等についての講座を実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	10月18日(土) 10:30～12:00	講座室	繋いでいきたい文書の命	富川敦子(当館研究員)	7
2	11月29日(土) 10:30～12:00	講座室	古文書の修理を体験してみよう!	久保憲司(当館研究員)	21
3	12月6日(土) 10:30～12:00	講座室	応急手当を中心とした古文書修補	横山謙次氏 (元宮内庁書陵部図書課修補師長)	22

○これから始める古文書講座(初級)

歴史研究の基礎となる古文書に興味・関心をもってもらうとともに、その解読方法の習得を主な目的として実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	4月13日(日) 14:00～16:00	ホール	ちょっとお試し古文書講座	深瀬公一郎(当館主任研究員)	64
2	5月11日(日) 14:00～16:00	ホール	「諸用日記」を読む①	深瀬公一郎(当館主任研究員)	66
3	6月8日(日) 14:00～16:00	ホール	「諸用日記」を読む②	矢田純子(当館研究員)	78
4	7月6日(日) 14:00～16:00	ホール	「諸用日記」を読む③	岡本健一郎(当館研究員)	63

○もっと読みたい古文書講座(中級)

古文書を読んだ経験のある方を対象に、解説方法の習得を主な目的として実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	8月3日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町年寄の日記)を読む①	深瀬公一郎(当館主任研究員)	26
2	9月14日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町年寄の日記)を読む②	岡本健一郎(当館研究員)	28
3	10月12日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町年寄の日記)を読む③	矢田純子(当館研究員)	21
4	11月22日(土) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町年寄の日記)を読む④	深瀬公一郎(当館主任研究員)	20
5	12月14日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町年寄の日記)を読む⑤	岡本健一郎(当館研究員)	20
6	1月18日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町年寄の日記)を読む⑥	矢田純子(当館研究員)	18

○出張古文書講座

県北地域(佐世保)の在住者を対象とした古文書講座を実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	7月21日(月祝) 13:30～16:00	アルカス SASEBO 小会議室	佐世保出張古文書講座(長崎スポーツ史)	矢田純子(当館研究員) 深瀬公一郎(当館主任研究員)	22

○大堀哲館長ミュージアムトーク

大堀哲館長が郷土の歴史や博物館についてわかりやすく解説する一般向けの講座。今年度は「江戸幕末期の教育力と現在・未来」のテーマで実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	5月10日(土) 10:30～11:00	ホール	幕末を動かした私塾の学び	大堀哲(当館館長)	61

2	7月26日(土) 10:30～11:30	ホール	各地に花開いた藩交の教え	大堀哲(当館館長)	70
3	9月27日(土) 10:30～11:30	ホール	庶民の学び舎・寺子屋の教育とは	大堀哲(当館館長)	56

○古文書修復技術講習会

博物館・資料館の職員を対象に古文書の保存・修復に対する理解を深めてもらうとともに、その技術の習得を目的とした。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者	
第1回	7月7日(月)・8日(火) 10:00～17:00	講座室・修復室	糊炊き、修理の体験など	富川敦子(当館研究員)	9名(7/7)	9名(7/8)
第2回	12月5日(金)・6日(土) 10:00～17:00	講座室・修復室	表紙の修理、道具作成など	横山謙次氏(元宮内庁書陵部図書課修補師長) 富川敦子(当館研究員)	7名(12/5)	9名(12/6)

3 学校向け事業

平成26年度 学校団体来館状況

		件数	人数
県内	小学校	122	4,619
	中学校	16	832
	高等学校	21	599
	大学	11	609
	その他(幼稚園・学童保育等)	63	1,951
県外	小学校	498	20,236
	中学校	327	10,814
	高等学校	194	6,772
	大学	19	761
	その他(幼稚園・学童保育等)	8	177
合計		1,279	47,370

趣旨と成果

学校行事で来館した際に博物館でおこなうプログラムや博物館職員が学校でおこなうプログラム、教員を対象に博物館の利用を実践的に検討する協力校・パートナーズプログラムのように、博物館と学校が関わる様々な段階に応じた連携・協働事業をおこなった。

○協力校・パートナーズプログラム

学校の先生方との連携事業として2008年度に発足。2ヶ月に一度の頻度で研修会を開催し、当館を利用した授業の実践に関しての情報交換会をおこなった。授業実践はホームページや報告書にて公開している。

参加者 協力校1校(長崎市立桜町小学校)

パートナーズプログラム 小学校19名、中学校2名、高等学校4名

・説明会 5月10日(土)13名

趣旨説明と昨年の活動報告、企画展「伊藤若冲と京の美術」見学、今年度の活動計画に関する

意見交換

- ・第1回研修会 6月14日(土)11名
実践事例に関する情報交換、企画展「ここがスゴイ! 明治日本の産業革命遺産と長崎」・孫文・梅屋庄吉ミュージアム見学と意見交換
- ・第2回研修会 9月20日(土)10名
実践事例に関する情報交換、企画展「長崎スポーツ博覧会」見学、出張授業・移動博物館・ガイドブックについての意見交換
- ・第3回研修会 11月22日(土)9名
実践事例に関する情報交換、企画展「みんなのサザエさん」、美術展示室「佐賀藩深堀領と長崎」見学、ガイドブックについての意見交換
- ・第4回研修会 1月17日(土)7名
実践事例に関する情報交換、企画展「医は仁術」見学、企画展関連講演会の聴講、次年度の活動について意見交換
- ・年度報告会 2月28日(土)24名
実践報告会、企画展「聖母が見守った奇跡」見学

○夏期教員研修会

県内の小学校・中学校の教員を対象にした研修会を実施。長崎の歴史についての講義や、ウェブサイトを活用した授業に使える資料を紹介し、博物館の効果的な利用方法について理解を深めることを目的に実施した。

8月1日(金) 13:00～16:45 28名

○遠隔授業

博物館から離れた地域にある長崎県内の学校を対象に、博物館と学校を通信回線を使ったテレビ会議システムで結び授業を行う。今年度は平戸市立度島小中学校を対象に実施している。

①平戸市立度島小中学校

6月6日(金) 10:25～12:10

小学6年生 16名

テーマ:「南蛮貿易から鎖国まで」

講師 博物館側: 出口幹子

(教育普及グループ主任研究員)

学校側: 江川孝博先生

(平戸市立度島小中学校)

: 小熊佐智子

(教育普及グループ研究員)

②平戸市立度島小中学校

6月6日(金)

13:35～15:25 中学2年生 14名

テーマ:「南蛮貿易から鎖国まで」

講師 博物館側: 古豊裕次朗

(教育普及グループ研究員)

学校側: 昌子久志先生

(平戸市立度島小中学校)

: 小熊佐智子

(教育普及グループ研究員)

○出張授業

長崎県内の学校を対象に先生方との打ち合わせをもとに決定したテーマについて、所蔵資料の複製品や学習素材を学校に持ち込み、研究員が授業をおこなった。

①6月3日(月) 14:05～15:40

長崎市立村松小学校6年生 62名

「ふるさと歴史散歩の導入として」

講師: 出口幹子・小熊佐智子 (教育普及グループ)

②7月3日(木) 13:25～14:10

活水高等学校3年生 38名

「長崎と中国との関係と長崎版画体験」

講師: 小熊佐智子・出口幹子 (教育普及グループ)

③7月4日(金) 9:35～12:25

諫早市立明峰中学校2年生 98名

「蘭学と化政文化、暮らしの変化について」

講師: 出口幹子・小熊佐智子 (教育普及グループ)

④7月17日(木) 14:50～15:40

長崎大学教育学部附属中学校3年生 142名

「諸外国と日本の交流の歴史と長崎」

講師: 小熊佐智子 (教育普及グループ)

⑤9月4日(木)

10:20～、11:45～、14:20～

長与町立長与南小学校6年生 170名

「博物館で本物を見てみよう」

講師: 出口幹子 (教育普及グループ)

⑥9月18日(木) 14:05～14:50

佐世保市立江迎小学校6年生 32名

「江戸時代の長崎について」

講師: 出口幹子・古豊裕次朗 (教育普及グループ)

⑦9月26日(金) 13:50～15:30

佐世保市立猪調小学校6年生 32名

「江戸時代の長崎、蘭学について」

講師: 出口幹子 (教育普及グループ)

⑧11月17日(月) 10:35～11:25、11:25～12:10

島原市湯江小学校6年生 59名

「島原藩と長崎のかかわりについて」

講師: 出口幹子・一瀬勇士 (教育普及グループ)

⑨1月15日(水) 10:05～11:40

長崎市立川原小学校6年生 13名

「絵巻から出島の様子を知ろう」

講師: 出口幹子 (教育普及グループ)

⑩2月6日(金) 14:10～15:40

長崎市立川原小学校6年生 13名

「長崎版画について」

講師: 出口幹子・一瀬勇士 (教育普及グループ)

○貸出教材

長崎県内の学校を対象に、所蔵資料の写真を拡大したパネルや教育普及用キットの貸出をおこなった。
平成26年度 3件

○職場体験

長崎市内の中学生を職場体験で受け入れている。

・8月26日(火)～8月28日(木)

長崎市立西浦上中学校2年生 2名

・9月8日(月)・9日(火)

長崎精道中学校2・3年生 2名

- ・1月21日(水)・22日(木)
長崎市立淵中学校2年生 2名
- ・1月27日(火)～1月29日(木)
長崎市立三川中学校2年生 2名
長崎市立片淵中学校2年生 2名

- ・8月8日(金)・8月11日(月)～8月13日(水)
長崎市立仁田小学校 1名

○研修

長崎県内の小中高等学校の教員研修での受入をおこなった。

- ・8月6日(水)長崎県公立学校初任者研修「社会貢献活動」12名

【10年経験者研修「社会体験研修」】

- ・7月29日(火)～8月1日(金)
長崎市立桜町小学校 1名
- ・8月4日(月)～8月7日(木)
長崎市立琴海中学校 1名

○学校向け見学対応(来館時対応のみ)

小中学校ともに前年度より件数は減少している。

小学校	77件	(うち県内56件)
中学校	12件	(うち県内10件)
高等学校	14件	(うち県内9件)
大学	9件	(うち県内6件)
特別支援学校	5件	(うち県内4件)
学童保育	2件	(うち県内2件)
その他	1件	(うち県内1件)
PTA	1件	(うち県内1件)

4 子供向け事業

利用者の成長に応じた各種教育プログラムを実施した。

○はくぶつかんのおはなし会 10:30～11:30

幼児から小学生を対象に伝統的な季節の行事に合わせて実施している。ボランティアを中心に、行事に関連した絵本や紙芝居の読み聞かせとものづくりをおこなった。

伝統行事	開催日	テーマ	参加者数
端午の節句	5月3日(土祝)	こいのぼり	19名
七夕	7月5日(土)	たなばたかざり	10名
くんち	10月4日(土)	くんちスケッチ	20名
正月	12月13日(土)	こま・ふくわらい	12名
節分	1月31日(土)	鬼のお面	10名
桃の節句	2月28日(土)	ひなかざり	13名

○れきぶんこどもクラブ 14:00～16:00

小学1年生から中学3年生を対象に、企画展見学や作品の制作を通して、博物館の展示や長崎の歴史や文化にふれる機会を提供している。20名のメンバーを募集し、前期・後期それぞれ7回連続講座として実施した。

[前期]

	開催日	タイトル	講師	参加者数
第1回	4月26日(土)	はくぶつかんたんけん	出口幹子・古豊裕次朗(当館研究員)	14名
第2回	5月17日(土)	自然の材料で紙すき体験	石田孝氏	15名
第3回	6月7日(土)	「ここがすごい明治日本の産業革命遺産と長崎」展関連・ステキな町づくり	出口幹子(当館研究員)	14名
第4回	6月21日(土)	粘土でつくるこねこねモンスター	近藤浩一氏(長崎県美術協会評議員)	14名
第5回	7月5日(土)	和紙を使って作品づくり	石田孝氏	14名
第6回	7月19日(土)	墨で絵(南画)をえがこう	田中正博氏(長崎青房会会長)	15名
第7回	8月2日(土)	展覧会づくり	小熊佐智子・出口幹子(当館研究員)	13名

[後期]

	開催日	タイトル	講師	参加者数
第1回	10月4日(土)	博物館たんけん	出口幹子・古豊裕次朗(当館研究員)	13名
第2回	10月18日(土)	「長崎スポーツ博覧会」展関連・てっぼう人形づくり	古豊裕次朗(当館研究員)	12名
第3回	11月29日(土)	粘土で作るオリジナルの器	長崎陶芸復興塾	12名
第4回	12月13日(土)	ガラスに絵をえがこう	濱井隆氏(日本美術家連盟会員)	13名

第5回	1月10日(土)	器にもようをつけよう	長崎陶芸復興塾	14名
第6回	1月25日(土)	「医は仁術」展関連企画 オリジナルのくすりばこをつくろう	一瀬勇士(当館研究員)	13名
第7回	2月15日(土)	展覧会づくり	出口幹子・古豊裕次朗・一瀬勇士(当館研究員)	14名

○れきぶんおやこクラブ 10:00～12:00

小学校高学年以上の親子を対象に、長崎の歴史や文化を親子で楽しく学べる講座としてテーマを設け実施した。博物館の展示見学や町めぐりなどを組み合わせて6回連続講座として固定メンバーを募集し、実施した。

	開催日	テーマ	参加者数
第1回	5月17日(土)	寛文長崎図屏風?ってどんなもの?	2名
第2回	6月14日(土)	長崎の名所についてしらべよう	4名
第3回	7月12日(土)	長崎の名所を見に行こう	4名
第4回	8月2日(土)	ミニ屏風をつくろう	3名

○れきぶんの夏休み2014

イベント名	開催日時	場所・料金・定員	参加者数
伝統工芸体験 ベっ甲	7/22(火)・8/7(木)・8/12(火) ①10:00～10:40 ②11:00～11:40 ③13:00～13:40 ④14:00～14:40 ⑤15:00～15:40 貸工房	ペンダントやストラップの制作 対象:小学生～中学生 定員:各回6名 参加費:500円 講師:川政べっ甲	79名
伝統工芸体験 ステンドグラス	8/4(月)・8/5(火)・8/6(水) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00 伝統工芸体験工房	キーホルダーやペンダントストラップの 対象:小学4年生以上～ 定員:各回6名 参加費:400円～ 講師:長崎やけんステンドグラス塾	53名
伝統工芸体験 長崎刺繍	7/27(日)・8/17(日) ①10:00～12:30 ②13:30～16:00 伝統工芸体験工房	桜やペンギンの模様の刺繍体験 対象:小学校3年生～中学生 定員:各回10名 参加費:800円(事前予約) 講師:長崎刺繍再発見塾	38名
伝統工芸体験 陶芸(現川焼)	7/19(土)・7/20(日)・7/21(月) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00 伝統工芸体験工房	素焼きの湯飲みの絵付け体験 対象:小学生～中学生 定員:各回30名 参加費:500円(作品を郵送する場合には別途送料) 講師:長崎陶芸復興塾	135名
伝統工芸体験 染め	7/31(木)・8/3(日) ①10:30～11:00 ②12:30～13:00 ③13:30～14:00 ④14:30～15:00 伝統工芸体験工房	型染めのエコバックづくり 対象:幼児～中学生 定員:各回18名 参加費:600円(アイロン仕上げ代を含む) 講師:長崎の染め塾	131名
伝統工芸体験 長崎銀細工	7/26(土)・8/23(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 伝統工芸体験工房	銀細工を使ったアクセサリーづくり 対象:小学校高学年～大人(小・中学生は保護者同伴) 定員:各回8名 参加費:1,000円 講師:長崎銀細工研究塾	30名
伝統工芸体験 佐世保独楽絵付け体験	7/30(水)・8/20(水) ①11:00～11:30 ②13:00～13:30 ③14:00～14:30 ④15:00～15:30 貸工房	佐世保独楽の絵付けと独楽回し 対象:小学生以上 定員:各回10名 参加費:900円 講師:佐世保独楽 三代目 山本貞右衛門	70名
芥川龍之介と河童	7/24(木)14:00～15:30 常設展示室町屋・美術展示室	芥川龍之介が描いた河童の絵の鑑賞会とスケッチ 実施対象:幼児～小学生 参加費:常設展観覧料が必要(県内小中学生は無料)	32名
切り絵体験	8/11(月) 14:00～15:30 講座室	夏にちなんだ切り絵作品づくり 対象:小学4年生～中学生 定員:20名 参加費:200円	17名
牛乳パックカメラで写真を撮ろう!!	8/22(金) 14:00～16:00 講座室	牛乳パックカメラをつくり、撮影会を実施 対象:小学3年生～中学生 定員:20名 参加費:300円	18名
長崎版画体験	8/18(月)14:00～15:30 講座室	版画の絵付け体験 対象:小学生～中学生 定員:20名 参加費:300円	19名
拓本体験	8/8(月)14:00～15:30 講座室	長崎奉行所跡から出土した瓦の拓本体験 対象:小学生～中学生 場所:講座室 定員:20名 参加費:100円	172名
アスリートに挑戦!けん玉お手玉	7/26(土)13:00～16:30 1階エントランス	けん玉パフォーマンス・お手玉作り・けん玉やお手玉の体験 場所:1階エントランス 協力:日本けん玉協会長崎支部 もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会	203名

長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会応援事業新聞ちぎり絵	7/29 (火) 10:30～12:00、13:00～15:30 1階エントランス	国体のマスコットの新聞ちぎり絵づくり 対象：どなたでも 参加費：200円 講師：みんなでワハハ	87名
子ども歴史博士「かけじく」編	7/28 (月) 14:00～16:00 立山亭	掛け軸の扱い方の体験 定員：各回10名 対象：小学4年生以上 参加費：無料 講師：当館研究員	15名
子ども歴史博士「まきもの」編	8/5 (火) 14:00～16:00 立山亭	巻物の扱い方の体験 定員：各回10名 対象：小学4年生以上 参加費：無料 講師：当館研究員	10名
子ども歴史博士「屏風」編	7/25 (金) 14:00～16:00 常設展示室町屋	屏風の扱い方の体験 定員：各回10名 対象：小学4年生以上 参加費：無料 講師：当館研究員	6名
和文化体験－茶道を体験してみよう－	8月23日 (土) 10:00～12:00 / 13:30～15:30 立山亭	子ども向けに茶道体験を実施した。 参加費：子ども300円 大人500円 定員：各回20名 対象：小学生以上 協力：表千家同門会長崎県支部	51名
和文化体験－三味線を聴いてみよう－	8月7日 (木)、8月8日 (金) 11:30～12:00 常設展示室町屋	三味線についてのレクチャーと見学 参加費：常設展観覧料 (県内小中学生は無料) 講師：新内弥栄派家元・新内敷枝幸太夫	23名

5 レファレンス事業

ア) ながさきミュージアムネットワークシステム

館内だけでなくインターネットを利用した、収蔵資料情報・収蔵図書情報・展覧会情報・講座等イベント情報・県内史跡情報の提供を行う。収蔵資料情報については、資料情報とともに画像情報を登録し、外部からの画像の貸出に対応している。

また、館内端末からもデータベースにアクセス可能とし、資料閲覧室に設置されている端末から展示室内に設置してある各種データベースへの参照も可能である。

【レファレンスルーム利用者状況】

・総利用者数 1,469名 (122.4名/月)

月別利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
161	130	129	104	130	138	80	112	90	122	131	142	1469	122.4

内訳

会社員	教員(小)	教員(中)	教員(高)	教員(大)	教員(不明)	学生(小)	学生(中)	学生(高)	学生(大・院)	学生(不明)	その他	不明	合計
155	0	3	23	209	16	8	4	0	104	0	678	269	1469

・複写利用者数 570件・写真撮影利用者数 310件・特別閲覧利用者数 91件

イ) レファレンスルーム・長崎学相談コーナー

企画展・常設展の展示内容についてだけでなく、長崎学に関する専門的な情報を提供。収蔵されている図書資料については、長崎県立長崎図書館郷土課より移管された資料と、長崎市立博物館より移管された古文書資料となっており、一般の利用者への公開もおこなっている。また、一部貴重資料(重要文化財・器物資料等)についても、事前申請制度による特別閲覧を実施することにより、利用者が可能な限り実物資料に触れる機会を設けている。

6 博物館実習

実施期間

平成26年9月9日(火)～9月19日(金) 10日間
(1日休み)

応募条件

・現在、大学もしくは大学院に在籍する者で、博物館学芸員資格取得のための科目を履修している者

(履修済みが望ましい)。将来学芸員もしくは博物館に関わる仕事に就くことを目指している者。

・県内の大学に通っている者、もしくは県内出身者であること。

受入れ人数

10名程度(1大学につき最大3名まで)

実習内容

	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～17:00)
9月9日(火)	10:00～オリエンテーション・館長あいさつ 10:30～博物館の概要について(竹内) 11:30～バックヤード見学(竹内)	13:00～常設展示見学 15:00～孫文梅屋ミュージアム見学
9月10日(水)	10:00～意見交換(展示について)(竹内) 11:00～企画展準備作業の見学(濱崎)	13:00～来館校の見学 14:00～企画展準備作業
9月11日(木)	10:00～博物館の広報活動(大石・前田) 11:30～来館校の見学	13:30～意見交換(学校見学について) 14:30～企画展・開会式準備作業
9月12日(金)	9:30～プレス内覧 10:30～企画展開会式	13:00～博物館と来館者(竹内) 14:30～接客サービスと来館者調査(竹内)
9月13日(土)	10:00～博物館の教育活動(学校との連携)(出口) 11:00～博物館とボランティア(古豊)	13:00～来館者調査・展示室内での来館者対応
9月14日(日)		休 み
9月15日(月)	10:00～企画展ができるまで(岡本)	13:00～空手演武の見学 14:00～常設ができるまで(深瀬) 16:00～ふりかえり
9月16日(火)	自 習	13:30～資料の保存管理 I P M【実習】(久保) 15:00～展示替え作業の見学(教育担当)
9月17日(水)	10:00～資料の修復【実習】(富川・久保)	13:00～資料の修復【実習】(富川・久保)
9月18日(木)	10:00～資料の取り扱い(植松・越中)	13:30～学芸員の仕事(濱崎) 15:30～資料の調書の取り方(林)
9月19日(金)	10:00～課題制作	13:00～課題制作・発表・まとめ

実習受講者

長崎国際大学	人間社会学部国際観光学科4年	呉 健
長崎国際大学	人間社会学部国際観光学科4年	岸本 武
長崎国際大学	人間社会学部国際観光学科4年	桑原 拓実
長崎県立大学	国際情報学部国際交流学科4年	小柳 日菜里
長崎県立大学	国際情報学部国際交流学科4年	渡辺 星華
活水女子大学	文学部人間関係学科4年	徳永 寛子
活水女子大学	文学部人間関係学科4年	本庄 ひかる
広島大学	文学部人文学科4年	小松 篤史
佐賀大学	文化教育学部国際文化課程3年	石橋 彩子



7 研修の受け入れ

長崎大学教育学部が実施している蓄積型体験学習の受け入れを行った。将来小中学校の教員をめざす大学生に博物館の教育活動について理解を深めてもらうことができた。

○蓄積型体験学習の目的

自ら高めたい資質や能力を定めて、これが達成できるとされる実習先を受入機関から自ら選定し、実習機関との実習計画の打合せによる計画立案とその実施及び自己評価を通して、主体的に活動できる人材を育成することを目的とする。

○受入期間

平成26年7月～10月

○実習所要時間数

30時間

○実習内容

- ・教育普及事業の運営補助
- ・学校連携事業に係わる業務

○学生名簿

末安 輝旭 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース 2年

高井 里佳	学校教育教員養成課程・ 小学校教育コース 2年	佐藤 康雅	学校教育教員養成課程・ 中学校教育コース 2年
田中 雄大	学校教育教員養成課程・ 小学校教育コース 2年	中野 志希	学校教育教員養成課程・ 中学校教育コース 2年
古田 恵太郎	学校教育教員養成課程・ 小学校教育コース 2年	野口 華奈美	学校教育教員養成課程・ 中学校教育コース 2年
峯崎 福太郎	学校教育教員養成課程・ 小学校教育コース 2年	横田 望来	学校教育教員養成課程・ 中学校教育コース 2年
岡崎 高俊	学校教育教員養成課程・		

8 伝統工芸体験工房

体験工房では、長崎が誇る伝統工芸「銀細工」「現川焼」「長崎刺繍」「長崎染」「ステンドグラス」の5種類の体験ができる。長崎市の「長崎伝習所」を卒業した5つの塾の塾生が、来館者の体験をサポートしている。

「長崎銀細工研究塾」塾

その昔、長崎にヨーロッパの宝飾技術が伝わり、江戸時代には献上品として古文書にその名を残した「長崎銀細工」。いにしへのロマンに想像をかきたてられながら、長崎の工芸品として育てていくための活動を行っている。

「長崎陶芸復興」塾

田中刑部左衛門が開窯したと言われる、繊細で気品ある現川焼。刷毛目模様が特徴のその技術が、伝承されないまま江戸中期のわずか60年で途絶えてしまった。「幻の焼き物」と言われる現川焼作りを、ろくろ成形、絵付けなどを通して体験してもらう活動を行っている。

「長崎刺繍再発見」塾

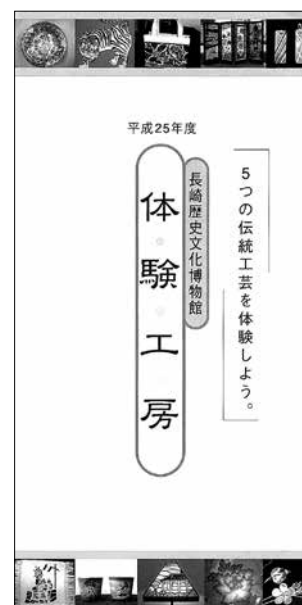
鎖国時代、中国から伝わったとされる「長崎刺繍」は、諏訪神社の秋の大祭（おくんち）とともに独自の発展を遂げた。肉入れによる盛上げの技法も特徴の一つである。今、わずかに残った刺繍から、「長崎刺繍」の作風、技法を学びながら手仕事の面白さを体験してもらう活動を行っている。

「長崎の染」塾

文政年間に上野俊之丞が市内中島の地で製造・輸出したと記録にも残る「長崎更紗」。更紗模様の型染めや手描きを体験できる活動を行っている。

「長崎やけんステンドグラス」塾

西欧文化の窓口であった長崎は、今も街中でステンドグラスが優雅と魅力を漂わせている。かわいらしい作品から少し製作時間を要する物までステンドグラスの魅力を感じて体験できる活動を行っている。



7

地域連携事業

1 事業概要

- 地域に根ざした文化活動を行う各種団体・個人に活動の場を提供する。
- 地域との連携を深めることにより、地域に開かれた博物館づくりを目指す。
- 地域の人々に質の高い芸術文化に触れる機会を提供し、地域の文化振興に寄与する。
- 新たな利用者層の拡大と博物館の活性化を図る。

2 移動博物館

遠隔地を中心に所蔵資料や資料の複製品、映像などを学校に持ち込みミニ展示を行った。

開催日	会場	対象	参加者数
9月18日(木) 11:25～14:50	佐世保市立江迎小学校	5年生、他学年(自由見学)	190名
9月26日(金) 11:15～15:30	佐世保市立猪調小学校	5・6年生、1～4年生(自由見学)	115名
11月17日(月) 10:40～11:25	島原市立湯江小学校	6年生、1～5年生(自由見学)	59名
12月10日(水) 10:30～15:00	佐世保市立日野小学校	6年生、1～5年生(自由見学)	135名

3 イベント実施

○季節の展示

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
長崎式こいのぼり	4月16日(水)～5月11日(日) イベント広場	江戸時代の絵画にも描かれている長崎式の鯉のぼりを再現し、イベント広場にて紹介した。	—
願いを叶えよう七夕かざり	7月4日(金) ～7日(月) 1F エントランス	短冊に願いごとを書いて、笹竹に飾りつけるイベントを行った。 参加無料	3,786名
クリスマスツリーに願いを込めて	12月1日(月) ～25日(木) 1F エントランス	カードにメッセージを書いてツリーに飾りつけを行うイベントを行った。 参加無料	768名

○れきぶんのGW

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
長崎のハタづくり	5月3日(土) 13:30～15:00 1F エントランス	江戸時代から伝わる長崎の春の風物詩、ハタ揚げ。ハタを作るワークショップを行った。 参加費:1,000円 講師:長崎節木塾	15名
長崎伝統工芸作品展示	5月3日(土)～6日(火祝) 10:00～16:30 1F エントランス	べっ甲細工、長崎刺繍、現川焼、染め、ステンドグラス、銀細工など、江戸時代から伝わる長崎伝統の工芸品を紹介した。	3,786名
むかし遊び	5月5日(月祝) 13:00～16:00 立山亭	折紙、カルタ、独楽、おはじきなど昔の遊びを体験できるイベントを行った。 参加無料	38名
佐世保独楽絵付け体験	5月5日(月祝) ① 13:00～14:30 ② 15:00～16:30 1F エントランス	佐世保市の郷土玩具でけんか独楽として知られる佐世保独楽の絵付け体験を行った。 参加費:500円 講師:山本貞右衛門(佐世保独楽本舗 三代目)	41名

○夏休みイベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
長崎奉行所・夏祭り	8月2日(土) 16:40～20:30 1F エントランス ※台風のため	【ステージ】 お手玉実演、リフティング大会、エコ寸劇、長崎がんばらんば国体PR・スポーツ展PR、長崎新地中国獅子舞、フラダンス、お楽しみ抽選会などを実施。	492名
長崎伝統工芸まつり	8月17日(日) 10:00～16:00 1F エントランス	べっ甲細工、長崎刺繍、現川焼、染め、ステンドグラス、銀細工など、江戸時代から伝わる長崎伝統の工芸品を紹介と体験・物販を行った。	1,038名

※「れきぶんの夏休み2014」の各イベント報告については、「子ども向け事業」に掲載

○れきぶんのお正月2015

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
奉行所もちつき	12月23日(火祝) 11:00～ ※12:00頃からお餅を配布。 奉行所階段下	地域住民や来館者を対象にふるまい餅つきを行った。 協力：上町自治会 参加無料	224名
書初め & パフォーマンス書道	1月2日(金) ・書初め…13:00～14:30 ・パフォーマンス書道… ①11:30～②15:00～ 1F エントランス	新年の抱負を込めた書初めや身体全体を使って揮毫する高校生による書道パフォーマンスを実施した。 協力：長崎県立長崎西高等学校書道部 書初め参加費：無料 パフォーマンス書道観覧料：無料	(書初め) 78名 (パフォーマンス書道) 112名
第9回長崎奉行所初稽古・剣道演武大会	1月3日(土) 10:00～12:00 ※鯨太鼓9:40～ イベント広場	主催：長崎歴史文化博物館 共催：(財)長崎県剣道連盟・長崎市剣道協会	600名
初舞会	1月3日(土) 11:30～12:00 1F エントランス	宝生流五雲会による能の仕舞いを行った。 出演：宝生流五雲会 入場無料	59名
津軽三味線の演奏	1月3日(土) ①13:30～②15:00～ 1F エントランス	出演：石井秀歩氏、石井杏歩氏、石井花歩氏(津軽三味線)、土井彩未(津軽民謡) 入場無料	161名
正月あそび	1月3日(土) 14:00～16:00 立山亭	お手玉、すごろく、カルタなど、お正月にちなんだ昔あそびの体験を提供した。 協力：長崎レクリエーショングループお手玉の会 参加無料	61名
新春初弾 ～箏とフルートの調べ～	1月4日(日) ①11:30～②13:00～ 1F エントランス	出演：hミュージック、鎮西学院高等学校箏曲部、創成館高等学校琴部 入場無料	99名

○節分

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
奉行所節分豆まき	2月3日(火) 16:30～17:00 奉行所書院・玄関	奉行所で古式に則った追儺(ついな)豆まきと福豆まきを行った。	157名

○桃の節句

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
雛飾り～ちりめんのおひなさま～	3月1日(日)～3日(火) 10:00～17:00 立山亭	古布やちりめんで作った創作雛人形の展示を行った。 入場無料 協力：増永須賀子・布あそび教室萌	(3/1) 194名 (3/2) 202名 (3/3) 181名

○食文化体験

(共催：長崎町人町プロジェクト)

テーマ	開催日・場所	内容	参加者数
端午の節句	4月27日(日) 13:00～15:00 立山亭	端午の節句料理について、お話を聞きながら料理の試食会を行った。 脇山壽子氏(郷土料理研究家) 参加費：2,000円	28名
長崎のお盆	8月10日(日) 13:00～15:00 立山亭	長崎独特の盆料理「精進落ち」として食べる「冬瓜の汁もの」の試食会を行った。 脇山壽子氏 参加費：2,000円	12名
くんち料理	10月5日(日) 13:00～15:00 立山亭	くんちのときに食べられていた伝統料理、小豆ご飯と更紗汁、お煮しめ、酢の物を試食した。 脇山壽子氏 参加費：2,000円	23名

玄猪の祝い	11月3日(月) 13:00～15:00 立山亭	旧暦10月の初めの亥の日に食べる「亥の子餅」を試食した。 岩永徳二氏(岩永梅寿軒)	13名
正月料理	12月23日(火) 13:00～15:00 立山亭	正月にちなんだ伝統料理、長崎雑煮を試食した。 脇山壽子氏 参加費:2,000円	37名
節分料理	2月1日(日) 13:00～15:00 立山亭	長崎伝統の節分料理、金頭と紅大根のなます、更紗汁を試食した。 脇山壽子氏 参加費:2,000円	33名
桃の節句	3月1日(日) 13:00～15:00 立山亭	春野菜の煮物や酢の物など桃の節句にちなんだ伝統料理を試食した。 脇山壽子氏 参加費:2,000円	32名

○新内寄席

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
第17回長崎奉行所・新内寄席 ～落語と新内の会～	9月7日(日) 15:00～17:00 1Fホール	出演:桂まん我、新内枝幸太夫 入場料:前売り2,000円(当日2,500円)	88名
第18回長崎奉行所・新内寄席 ～長崎枝幸会発表会～	2月8日(日) 13:30～16:00 1Fホール	出演:新内枝幸太夫、長崎枝幸会 入場料:1,000円(友の会会員800円)	64名

○新内枝幸太夫 新内出稽古

日時	場所	観覧者数
4月14日(月)～15日(火)・17日(木) 11:00～17:00	常設展示室 町屋	267名
5月13日(日)～15日(火) 11:00～17:00		931名
6月5日(木)～7日(土) 11:00～16:00		842名
7月8日(火)～10日(木) 11:00～16:00		781名
8月7日(木)～9日(土) 11:00～17:00		537名
9月4日(木)～6日(土) 11:00～18:00		439名
10月7日(火)～9日(木) 11:00～17:00		1102名
11月5日(水)～7日(金) 11:00～17:00		1365名
12月2日(火)～4日(木) 11:00～17:00		525名
1月8日(木)～10日(土) 13:30～17:00		179名
2月5日(木)～7日(土) 13:30～17:00		360名
3月11日(水)～13日(金) 13:30～17:00		318名

○音楽イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
<銀嶺ライブ> 5月の風に吹かれて	5月17日(土) 17:00～/18:40～ レストラン銀嶺	出演:関根康江(ヴォーカル)、永縄真百合(ピアノ) チケット:3,000円(1ドリンク付)	65名
<れきぶんミュージアムコンサート> サマーコンサート	7月27日(日) 15:30～ 1F エントランス	出演:親子で聴く音楽会<レガリーノ> 岡珠子、中村浩美(ソプラノ)、平戸健吉(ギター)、 川里友子(フルート)、北原公介(ボンゴ)、安達理砂・ 馬場知子(ピアノ) 入場無料	172名
<銀嶺ライブ> 真夏の夜の夢～SOGNO～	8月23日(土) 19:00～ レストラン銀嶺	出演:岡珠子(ヴォーカル)、平戸健吉(ギター)、 安達理砂(キーボード)、北原公介(ボンゴ) チケット:2,500円(1ドリンク付)	33名
<れきぶんミュージアムコンサート> フレッシュコンサート	9月21日(日) 15:30～ 1F エントランス	出演:長崎県新演奏家協会 小川智子・大杉仁美(ソプラノ)、柳美代子(ピアノ) ほか 入場無料	47名
<銀嶺ライブ> Brasilian Music Live!	11月2日(日) 19:00～ レストラン銀嶺	出演:BOSSA CA CHORO/姫野秀平、宮口哲典、 森千賀子、塚岡輝、中島伸明 チケット:2,000円(1ドリンク付)	30名
<れきぶんミュージアムコンサート> 開館9周年記念コンサート	11月3日(月祝) 15:30～ 1F エントランス	出演:長崎県新演奏家協会 鍵本美陽(ヴァイオリン)、松田洋子(ピアノ)、 大塚裕子(ピアノ) 入場無料	87名
<れきぶんミュージアムコンサート> クリスマスコンサート	12月23日(火祝) 15:30～ 1F エントランス	出演:杉澤葉子(ピアノ)、杉澤玲子(フルート) 入場無料	113名
銀嶺クリスマスディナー& JAZZライブ	12月23日(火祝) 18:30～21:00 レストラン銀嶺	出演:椋尾敏郎(ギター)、椋尾恵子(ヴォーカル)、 ミナコ(ヴォーカル)、田中明亮(ピアノ) チケット:6,000円	26名

〈れきぶんミュージアムコンサート〉 ニューイヤーコンサート	1月12日(月祝) 15:30～ 1F エントランス	出演：長崎県新演奏家協会 尼崎裕子・加藤初実(ソプラノ)、松本裕子(メゾ・ソプラノ)、森山達郎(テノール)、後藤美樹(ピアノ) 入場無料	117名
〈れきぶんミュージアムコンサート〉 長崎の教会群と初代教関連遺産記念コンサート	2月21日(土) 15:30～ 1F エントランス	出演：長崎県新演奏家協会 尼崎裕子・上野広恵・加藤初実(ソプラノ) 松本裕子(メゾ・ソプラノ)、森山達郎(テノール)、鍵本美陽(ヴァイオリン)、後藤美樹・柳美代子(ピアノ) 入場無料	73名
～震災による遺児・孤児のための～第4回 チャリティーコンサート	3月7日(土) 16:00～ 1F エントランス	出演：KOA(クラリネットアンサンブル)、長崎 居留地男声合唱団、北園佳子(クラリネット)、石川新子(ピアノ伴奏)、戸町中学校吹奏楽部 ほか 主催：Masreの会 共催：長崎歴史文化博物館 入場無料	142名
〈れきぶんミュージアムコンサート〉 スプリングコンサート	3月8日(日) 15:30～ 1F エントランス	出演：ジュニアオーケストラ 入場無料	71名
〈銀嶺ライブ〉 Brazilian Music Live!	3月22日(日) 19:00～ レストラン銀嶺	出演：BOSSA CA CHORO / 姫野秀平、宮口哲典、森千賀子、塚岡輝、中島伸明 チケット：2,000円(1ドリンク付)	27名

○環境学習会「エコ学ほ!」イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
環境学習会「エコ学ほ!」 〈作ってあそぼう!リサイクル〉	5月3日(土) 13:00～16:00 1F エントランス	昔の遊びやエネルギーの活用について先人の知恵を学ぶイベントを実施した。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	15名
環境学習会「エコ学ほ!」 〈れきぶんエコフェス〉	8月2日(土) 16:40～20:30 1F エントランス ※台風のため	衣食住昔ながらの暮らしの中のエコを体験やゲームで学んだ。※奉行所夏祭りのブースとして出店。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	※夏祭り参加者 492名
環境学習会「エコ学ほ!」 〈しあわせエコライフ〉	12月13日(土) 13:00～16:00 1F エントランス	昭和のなつかしい昔あそびを体験した。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	83名

○その他

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
国際博物館の日	5月18日(日) 終日 常設展示室	国際博物館の日にちなみ、常設展示室を無料で開放した。 対象：長崎県民	64名
第12回 英国王立写真協会日本支部写真展 "Feel British"	5月24日(土)～6月29日(日) 10:00～19:00 3F 企画展示室	日英交流促進事業の一環として、英国王立写真協会日本支部(三宅善夫理事長)による写真展を開催した。 協力：長崎歴史文化博物館	-
活弁士が贈る無声映画 上映会 in 長崎歴史文化博物館	8月16日(土) 13:30～15:00 1F ホール	活弁士による無声映画上映会を実施。 上映作品「国定忠治」「坂本龍馬」 料金：前売り1,200円(当日1,500円) 活弁士：麻生八咫	21名
諏訪の杜 奉行所御白洲蠟燭能	9月13日(土) 18:30開演(18:00開場) 2F 常設展示室(奉行所御白洲)	諏訪の杜の奉行所で能を披露。 演目：狂言「寝音曲」/野村万緑 能「龍虎」/森本哲郎 入場料：前売り6,000円(当日7,000円) 主催：長崎歴史文化博物館 長崎みなと薪能実行委員会	185名
くんち 2014 速報写真展	10月11日(土)～11月3日(日) ホール前	博物館で撮影したおくんちや庭見せの様子などを写真で紹介した。	20,736名
れきぶん龍馬 DAYS	11月15日(土)～16日(日) 1階エントランス (坂本龍馬像前)	11月15日に亡くなった坂本龍馬を偲んで、龍馬への哀悼メッセージを募集するイベントを行った。	25名

○長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
W杯パブリックビューイング	6月15日(日) 9:00開場 6月20日(金) 6:00開場 6月25日(水) 4:00開場 1階ホール	サッカーW杯に出場する日本代表を地域の住民と一緒に観戦する機会を提供した。 料金：無料 定員：100名(各日)	257名 (3日間)
夜間特別開館&花火鑑賞会	7月26日(土)、27日(日) 8:30～21:30	2014ながさきみなとまつりで開催される花火大会にあわせて、ミュージアムの施設を活用したイベントを実施した。	30名

活弁士が贈る無声映画上映会	8月16日(土)、17日(日) 開演：18：00～19：30 開場：17：00 1階ホール	チャップリンの映画デビュー100周年を記念して、チャップリンの無声映画を活弁付で上映した。 上映作品「お掃除番」「冒険」「消防夫」「移民」 料金：前売り1,200円(当日1,500円) 活弁士：麻生八咫	26名
ナイトミュージアム	8月22日(金)19：00～21：00	夜のミュージアムを体験するナイトミュージアムを実施した。	33名
2014長崎居留地みんなで光をあてるシンポジウム&無声映画上映会	9月20日(土)18：00～ 1階ホール	2014長崎居留地まつりの一環として無声映画上映会を実施。 上映作品「冒険」「警官騒動」「豪勇ロイド」 料金：1,500円(大人)、500円(小学生以下)	49名
2014居留地親子シンポジウム－身近な「世間遺産」と「世界遺産」－	9月21日(日)10：00～12：00 1階ホール	1部基調講演「僕の世界遺産(仮)」 講師：東川隆太郎氏(NPO法人かごしま探検の会代表) 2部僕たちの身近なことからもの発表 三川小学校、戸町小学校、南陽小学校、大浦小学校 〈司会進行〉梅元建治氏(2014長崎居留地まつり実行委員会事務局長)	80名
ミュージアムで宝探し!	9月20日(土)、21日(日) 9：00～17：00	ミュージアムの展示を見ながら、様々な謎を解き理解を深めるイベントを行った。 小中学生無料、高校生以上300円	77名
Asian Music Live インド音楽の世界	9月22日(月)18：30～(17：30開場) 1階ホール	インド音楽を紹介するライブイベントを実施した。 出演：武藤景介(シタール)、久野隆昭(ガタム)/ゲスト：シマカワコウヂ(倍音楽器) 料金：2,500円(大人)※当日3,000円 企画協力：COMIC SOUL	33名
孫文・梅屋庄吉友情月間 県民無料開放	11月1日(土)～11月15日(土)	孫文と梅屋庄吉の友情月間の期間中、ミュージアムの無料開放を実施した。 対象：長崎県民	109名
孫文・梅屋庄吉友情月間 トーク&コンサート	11月23日(日)15：15～16：45 1階ホール	中国の伝統楽器「二胡」の奏者として活躍する里地帰によるコンサートを行った。 出演：里地帰(二胡) 参加無料 ※要事前申込み	120名
ミュージアムレクチャー「中国旧正月の豆知識とランタンフェスティバルの楽しみ方」	2月20日(金)18：00～19：30 1階ホール	中国の旧正月を祝う「春節祭」にちなんで、長崎の華僑や新地中華街の歴史をわかりやすく紹介する講座を実施した。 聴講無料 講師：章潔氏(長崎短期大学講師)	21名
クイズラリー	2月20(金)、21日(土)、22日(日)、 27日(金)、28日(土)、3月1日(日)	ランタンフェスティバルのイベントとしてミュージアムの展示を見ながらクイズに挑戦するクイズラリーを実施した。全問正解者には、プレゼントを進呈した。 対象：小学生以下 参加無料	23名
中国切り絵体験	2月20(金)、22日(日)、27日(金)、 3月1日(日) 14：00～16：00(各日) 1階ホール	ランタンフェスティバルのイベントとして新年のお祝いや幸せを願って作る中国切り絵の体験を行った。 参加無料	30名
ヤンコ踊り公演	2月24(火)、3月5日(木) 15：00～(各日)	中国東北部の農村で豊作を祝う踊りとして生まれた田植歌「ヤンコ」を地元のダンスチームが披露した。 観覧無料	53名

4 ボランティア活動

○平成 26 年度登録者数 (127 名)

	登録者数	男女内訳	平均年齢
展示案内	92 名	男 55 名 女 72 名	61.8 歳
業務支援	20 名		
寸 劇	16 名		

○活動内容

①展示案内ボランティア

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、個人客や学校及び一般団体に展示案内・誘導等を行う。

[外国語グループ]

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、外国人客（英語にて）に展示案内・誘導等を行う。

②業務支援ボランティア

発送作業、ボランティア通信「風説書」28～31号発行、新聞の切抜き、資料整理、教育普及活動の運営等。

[保存環境グループ]

文化財を皆で守り、伝えていくため博物館での文化財保存活動の一部を県民・市民と共に行うことを目的とする。IPM（Integrated Pest Management 総合的有害生物管理）の考えに基づき現在露出展示のメンテナンス、展示室内環境モニタリング（目視点検）等を行っている。

③寸劇ボランティア

当館収蔵の江戸時代の裁判記録「犯科帳」をもとに、寸劇仕立てで奉行所展示室お白洲にて紹介。

[上演日時]

・土日祝日の 11:00/13:30/14:30/15:30 (1日4回)

・おくんち期間中の3日間・ランタンフェスティバル期間中の金曜日にも公演を行った。

(おくんち期間) 平成 26 年 10 月 7 日～9 日

11:00/13:30/14:30/15:30 (1日4回)

(ランタンフェスティバル期間) 平成 27 年 2 月

20 日・27 日 11:00/13:30/14:30/15:30

(1日4回)

[平成 26 年度の演目]

「シーボルト事件」(1月31日～6月29日)

「ペーロン競漕喧嘩事件」(7月5日～9月28日)

「くんち奉納踊り訴え」(10月4日～12月23日)

「大 改」(平成 27 年 1 月 1 日～3 月 29 日)

④長崎奉行所・夏祭り実行委員会

活動期間：2014 年 5 月 28 日～10 月 27 日

夏祭り実行委員会による企画会議を通じて、具体的な運営方針や当日の開催に向けた準備などを行う。特に「ヨーヨーすくい」「金魚すくい」では、ボランティアの実行委員を中心に準備から当日の販売対応までを行った。

○ボランティア研修

◇研修内容

[スキルアップ研修] (計 15 回)

	日時	内容	講師	参加者
第 1 回	4 月 16 日 (水) 14:30～15:30	伊藤若冲と京の美術・細見コレクションの精華 -	植松有希 (研究員)	43 名
第 2 回	4 月 16 日 (水) 15:30～16:00	美術展示室 (名品選Ⅲ 京で活躍した長崎の絵師たち)	植松有希 (研究員)	38 名
第 3 回	4 月 30 日 (水) 16:00～17:00	博物館に関する研修① 孫梅 M ボランティア申込みについて	竹内有理 (教育普及 G リーダー) 古豊裕次朗 (研究員)	23 名
第 4 回	5 月 12 日 (月) 15:30～16:30	博物館に関する研修② (長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム)	海江田義広氏 (長崎県文化振興課 係長 (学芸員))	18 名
第 5 回	5 月 28 日 (水) 14:30～15:30	ここがスゴイ! 明治日本の産業革命遺産	岡本健一郎 (研究員)	29 名
第 6 回	6 月 18 日 (水) 14:30～15:00	美術展示室 (絵図が語る世界像Ⅱ)	深瀬公一郎 (主任研究員)	36 名
第 7 回	6 月 18 日 (水) 10:30～12:00 15:00～16:30	マナー研修 (博物館における接客サービスについて)	中田貴子氏 (JTB ビジネスサポート九州 課長)	28 名
第 8 回	7 月 16 日 (水) 14:30～15:30	美術展示室 (ひやっ! 冷やし展覧会ははじめました) バックヤード見学	植松有希 (研究員)	24 名
第 9 回	9 月 17 日 (水) 14:30～15:30	美術展示室 (くんち三八〇年展) バックヤード見学	矢田純子 (研究員) 古豊裕次朗 (研究員)	23 名
第 10 回	9 月 23 日 (火祝)	長崎スポーツ博覧会	久保憲司 (研究員)	13 名

第11回	10月22日(水) 14:30～15:30	美術展示室(佐賀藩深堀領と長崎) バックヤード見学	岡本健一郎(研究員)	17名
第12回	12月17日(水) 14:30～15:30	美術展示室(新年を ^{ことほ} ぐ) バックヤード見学	植松有希(研究員)	11名
第13回	12月24日(水) 14:30～15:30	医は仁術	深瀬公一郎(主任研究員)	26名
第14回	1月21日(水) 14:30～15:30	美術展示室(中国祭祀と長崎文化) バックヤード見学	深瀬公一郎(主任研究員)	20名
第15回	2月25日(水) 14:30～15:30	聖母が見守った奇跡	岡本健一郎(研究員)	37名

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

○ボランティア募集

4月26日にリニューアルオープンする長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館内に開館する「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」のボランティア募集を行った。

〈新規ボランティア研修内容〉

	日時	内容	講師
第1回	6月8日(日) 13:30～15:00	・長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの概要について ・ボランティア研修・登録の流れについて	海江田義広氏(長崎県文化振興課 係長(学芸員)) 古豊裕次朗(当館研究員)
第2回	6月18日(水) 10:30～12:00 15:00～16:30	マナー研修 (博物館における接客サービスについて)	中田貴子氏(JTB ビジネスサポート九州課長)
第3回	a. 6月22日(日) 13:30～15:00 b. 6月25日(水) 13:30～15:00	長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの見学	a. 海江田義広氏(長崎県文化振興課 係長(学芸員)) b. 齋藤義朗氏(長崎県文化振興課 主任学芸員)
第4回	a. 6月29日(日) 10:00～12:00 b. 7月2日(水) 10:00～12:00	長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの展示内容について	a. 海江田義広氏(長崎県文化振興課 係長(学芸員)) 山口保彦氏(長崎県文化振興課 課長補佐) 入江清佳氏(長崎県文化振興課 学芸員) b. 齋藤義朗氏(長崎県文化振興課 主任学芸員) 本馬貞夫氏(長崎県長崎学アドバイザー) 石尾和貴氏(長崎県文化振興課 主事)
第5回	a. 7月4日(金) 14:00～15:00 b. 7月6日(日) 14:00～15:00	ボランティア登録・活動内容について	古豊裕次朗(当館研究員)

※第2～5回は、同じ内容で2回ずつ行った。

○平成26年度登録者数(19名)

	登録者数	男女内訳	平均年齢
長崎歴史文化博物館との兼任	11名	男 9名	60.4歳
長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムのみ	8名	女 10名	

○活動内容

- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムに来場されるお客様に対する案内や説明
- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムで実施するイベントや施設の運営補助
- ・その他、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの業務に係わる事務作業の補助

○ボランティア研修

◇研修内容

[スキルアップ研修] (計2回)

	日時	内容	講師	参加者
第1回	10月8日(水) 14:30～15:30	富野資料の展示替えに伴う解説	齋藤義朗氏 (長崎県文化振興課 主任学芸員)	3
第2回	1月29日(木) 18:00～19:00	ボランティア活動に関する意見交換会	竹内有理(教育普及Gリーダー) 真崎俊介(HSB 事務長/当館職員) 古豊裕次朗(当館研究員) 林美和(当館研究員) 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館職員	7

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

ボランティア募集のお知らせ

4月26日にリニューアルオープンする長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館内に開館する「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」において、来館者への案内や説明をしていただくボランティアを募集します。

1. 活動内容

- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムに
来場されるお客様に対する案内や説明
- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムで
実施するイベントや施設の運営補助
- ・その他、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュー
ジアムの業務に係わる事務作業の補助

2. 活動場所

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム
(長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館内 長崎
市松が枝町4番27号)

3. 募集人数 数十名程度

4. 応募条件

- ・ボランティア活動や博物館の活動に興味・関心・
熱意を持ち、来館者との交流に意欲的な方
- ・博物館の展示・運営・活動趣旨に賛同される方
説明会、事前研修に参加できる方(研修日時・内容
は後日連絡いたします。概ね5回程度行います。)
- ・原則月4回以上、少なくとも1日3時間は活動に
参加できる方
- ・活動に対する報酬はありません。当館の規定に従
い、交通費の実費をお支払いします。
(往復上限1000円)
- ・登録期間は登録完了日～平成27(2015)年3月
31日までとします。
- ・ボランティア保険に加入していただきます。(保
険加入費は当館負担)

5. スケジュール

- | | |
|----------|---------------|
| 5月19日(月) | 申込み受付締め切り(必着) |
| 5月下旬 | 説明会 |
| 6月 | 研修(5回を予定) |
- ※研修終了後、最終決定いたします。定員を超えた場合は、選考させていただきます。
- | | |
|----|--------|
| 7月 | 活動開始予定 |
|----|--------|

6. 特典

- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの
年間無料観覧
- ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの
ミュージアムショップでの割引(10%)
※メニュー及び商品によって割引対象外のもの
もあります。
- ・長崎歴史文化博物館常設展の年間無料観覧
- ・長崎歴史文化博物館のミュージアムショップ、レ
스토랑での割引(10%)
※メニュー及び商品によって割引対象外のものも
あります。

7. 応募方法・お問い合わせ

申込用紙に必要事項を記入の上、下記宛先まで郵送でお送りください(持参可)。

応募用紙は長崎歴史文化博物館へ請求いただくか、ホームページからダウンロードしてください。

応募締切 平成26年5月19日(月)必着

応募・問合せ先 〒850-0007 長崎市立山1-1-1

長崎歴史文化博物館 ボランティア担当

TEL 095-818-8366

※応募いただいた方の個人情報、この事業に関する業務にのみ使用いたします。

8

広報マーケティング

1 広報ツール

- ・印刷物（博物館館案内パンフレット、年間スケジュール、れきぶんニュース、企画展 PR 用印刷物、その他単発イベント案内）
- ・プレスリリース
- ・WEB媒体（公式ホームページ、メールマガジン、

Facebook ページ、twitter)

- ・交通広告（長崎自動車、長崎電気軌道、長崎空港）
- ・テレビスポット（企画展告知CM）
- ・館外活動（PR イベント）

印刷物

博物館案内パンフレット



年間スケジュール



れきぶんイベント歳時記



シーズンイベント情報を掲載（年4回発行）

れきぶんニュース（A4変形・年4回発行）

vol.29 春号



2014年4月発行

- （内容）
- 《企画展》
 - 伊藤若冲と京の美術
 - 明治日本の産業革命遺産と長崎
 - 《特集展示》
 - 京で活躍した長崎の絵師たち
 - 絵図が語る世界像Ⅱ
 - 《トピック展示》
 - 振遠隊と長崎
 - 《研究員コラム》
 - 古文書の修復について
 - 孫文・梅屋庄吉ミュージアム いよいよ開館

vol.30 夏号



2014年7月発行

- （内容）
- 《特集》
 - 孫文・梅屋庄吉ミュージアムの運営にあたって 館長あいさつ
 - 開館によせて
 - 《企画展》
 - おおけ屋敷で科学する！ in 長崎
 - 《特殊展示》
 - 冷やし展覧会ははじめました
 - くんち三八〇年展
 - 《トピック展示》
 - 長崎聖堂
 - 《次回予告》
 - 長崎スポーツ博覧会

vol.31 秋号



2014年10月発行

(内容)

- 《次々回展予告》
- 医は仁術
- 《イベント情報》
- 孫文・梅屋庄吉友情月間に寄せて
- 《特殊展示》
- 佐賀藩深堀領と長崎
- 《トピック展示》
- オランダ商館長の江戸参府
- 《特集展示》
- 新年を寿ぐ
- 《企画展》
- 長崎スポーツ博覧会

vol.32 新春号



2015年1月発行

(内容)

- 新年のごあいさつ
- 平成27年度企画展ラインナップ
- 《企画展》
- 医は仁術
- 《次回予告》
- 聖母が見守った奇跡
- 《特集展示》
- 中国祭祀と長崎文化
- 《トピック展示》
- 唐通事の語学
- おかげさまで500万人

企画展 PR 用印刷物 (B2・B3 ポスター、A4 チラシ、優待券等)

伊藤若冲と京の美術
～細見コレクションの精華



長崎スポーツ博覧会



ここがスゴイ！
明治日本の産業革命遺産と長崎



みんなのサザエさん展



お化け屋敷で科学する！ in 長崎



医は仁術



聖母が見守った奇跡



その他単発イベント案内

くunch三八〇年展



れきぶんのおひな祭り



新内寄席



プレスリリース

News No.01	平成 26 年 4 月 9 日	4 月の講座・講演会情報
News No.02	平成 26 年 4 月 10 日	美術展示室「京で活躍した長崎の絵師たち」
News No.03	平成 26 年 4 月 10 日	れきぶんのゴールデンウィーク
News No.04	平成 26 年 4 月 17 日	GW スペシャル企画「伊藤若沖と京の美術」展・小中学生無料サービス
News No.05	平成 26 年 5 月 2 日	「伊藤若沖と京の美術」展 1 万人達成セレモニー
News No.06	平成 26 年 5 月 5 日	5 月の講座・講演会情報
News No.07	平成 26 年 5 月 7 日	ボランティア募集のお知らせ
News No.08	平成 26 年 5 月 16 日	「ここがスゴイ！ 明治日本の産業革命遺産と長崎」プレス内覧・開会式のお知らせ
News No.09	平成 26 年 6 月 2 日	6 月の講演会・イベントのご案内
News No.10	平成 26 年 6 月 6 日	「ここがスゴイ！ 明治日本の産業革命遺産と長崎」関連情報のご案内
News No.11	平成 26 年 6 月 10 日	2014FIFA ワールドカップブラジル パブリックビューイング in 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館
News No.13	平成 26 年 6 月 18 日	6 月の講演会のご案内
News No.14	平成 26 年 7 月 10 日	「お化け屋敷で科学する！ in 長崎」プレス内覧・開会式のお知らせ
News No.15	平成 26 年 7 月 22 日	平成 26 年度 夏期教員研修会
News No.16	平成 26 年 7 月 22 日	美術展示室 特集展示「ひやっ！ 冷やし展覧会はじめました」
News No.17	平成 26 年 7 月 24 日	7 月・8 月のイベント情報

News No.18	平成 26 年 7 月 29 日	活弁士が贈る無声映画上映会
News No.19	平成 26 年 8 月 9 日	「お化け屋敷で科学する！ in 長崎」入館者 1 万人達成
News No.20	平成 26 年 8 月 18 日	9 月町屋展示「中秋の名月」、関連イベント情報
News No.21	平成 26 年 8 月 20 日	伝統芸能イベント開催のお知らせ
News No.22	平成 26 年 8 月 20 日	「お化け屋敷で科学する！ in 長崎」入館者 2 万人達成
News No.23	平成 26 年 9 月 9 日	「長崎スポーツ博覧会」プレス内覧・開会式
News No.24	平成 26 年 9 月 20 日	「くんち三八〇年展」開催・くんち関連情報のご案内
News No.25	平成 26 年 10 月 14 日	スポーツ博覧会関連イベント「アスリートトーク 人類は 2 時間の壁をやぶれるか」
News No.26	平成 26 年 10 月 24 日	美術展示室 特集展示「佐賀藩深堀領と長崎」
News No.27	平成 26 年 10 月 24 日	れきぶん開館 9 周年記念イベント
News No.28	平成 26 年 10 月 24 日	「長崎スポーツ博覧会」来館 1 万人達成
News No.29	平成 26 年 10 月 29 日	長崎大学との包括連携に関する協定の調印式について
News No.30	平成 26 年 11 月 3 日	長崎大学との包括連携協定調印式を開催
News No.31	平成 26 年 11 月 4 日	国際セミナー「博物館の近代的営みに関する断想」
News No.32	平成 26 年 11 月 4 日	「みんなのサザエさん展」開会式
News No.33	平成 26 年 11 月 12 日	11 月・12 月の講座情報
News No.34	平成 26 年 11 月 12 日	没後 147 年・れきぶん龍馬 DAYS
News No.35	平成 26 年 11 月 20 日	「みんなのサザエさん展」入場者 1 万人達成セレモニー開催
News No.36	平成 26 年 12 月 4 日	「みんなのサザエさん展」入場者 2 万人達成セレモニー開催
News No.37	平成 26 年 12 月 5 日	長崎歴史文化博物館 入館者 500 万人達成セレモニー開催
News No.38	平成 26 年 12 月 8 日	クリスマスイベント情報
News No.39	平成 26 年 12 月 16 日	「医は仁術」開会式のご案内
News No.40	平成 26 年 12 月 24 日	れきぶんのお正月 2015
News No.41	平成 26 年 12 月 26 日	香山リカ特別講演会
News No.42	平成 26 年 12 月 26 日	美術展示室特集展示「新年を寿ぐ」、町屋展示「正月」
News No.43	平成 27 年 1 月 7 日	成人の日フリーデーのご案内
News No.44	平成 27 年 1 月 9 日	1 月の講座・講演会情報
News No.45	平成 27 年 1 月 21 日	次回企画展「聖母が見守った奇跡」情報
News No.46	平成 27 年 1 月 22 日	美術展示室特集展示「中国祭祀と長崎文化」、町屋展示「節分」
News No.47	平成 27 年 1 月 22 日	2 月の講座・講演会情報
News No.48	平成 27 年 2 月 12 日	特別展「聖母が見守った奇跡」開会式・プレス内覧のご案内
News No.49	平成 27 年 2 月 24 日	れきぶんのおひな祭り
News No.50	平成 27 年 3 月 18 日	「聖母が見守った奇跡」後期展示 見どころのご紹介
News No.51	平成 27 年 3 月 20 日	「聖母が見守った奇跡」浦上教会歴史委員会によるギャラリートーク開催
News No.52	平成 27 年 3 月 27 日	美術展示室「名品選Ⅳ 長崎南画の決定版」、トピック展示「長崎で生まれた艦船たち」
News No.53	平成 27 年 3 月 31 日	「れきぶんこどもクラブ」前期プログラム参加者募集

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

News No.01	平成 26 年 7 月 14 日	「孫文・梅屋庄吉ミュージアム」開館のご案内
News No.02	平成 26 年 7 月 14 日	「孫文・梅屋庄吉ミュージアム」夏のイベント情報
News No.03	平成 26 年 7 月 29 日	活弁士が贈る無声映画上映会
News No.04	平成 26 年 8 月 20 日	孫文・梅屋庄吉に関する新発見資料を公開
News No.05	平成 26 年 9 月 9 日	2014 長崎居留地まつり関連情報
News No.06	平成 26 年 10 月 29 日	孫文・梅屋庄吉友情月間イベント
News No.07	平成 26 年 11 月 26 日	孫文・梅屋庄吉友情月間 特別展示
News No.08	平成 27 年 2 月 10 日	ランタンフェスティバル スペシャルイベント開催

WEB媒体

公式ホームページ
<http://www.nmhc.jp/>



メールマガジン (月2回発行)



SNS (Twitter) (5月2日リニューアル・運用開始)
https://twitter.com/ngs_rekibun



SNS (Facebook ページ)
<https://www.facebook.com/rekibun>

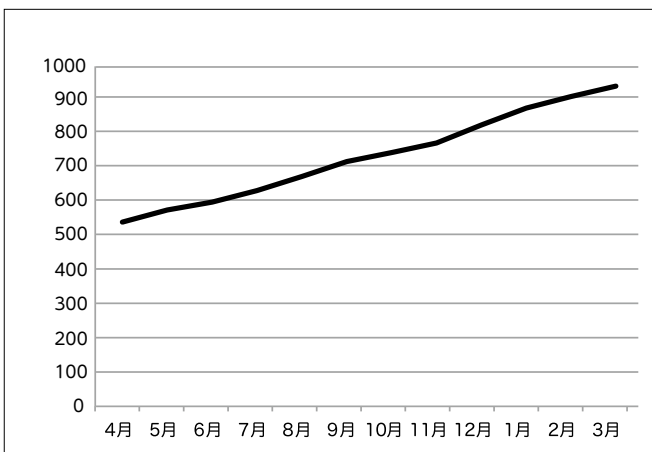
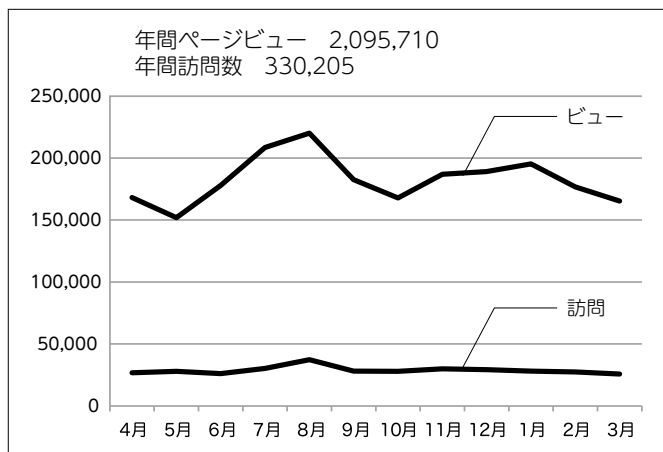


2013年7月運用開始
 2014年4月認証済みアカウント取得

2012年10月運用開始
 2014年4月現在のユーザー数：549
 2015年3月現在のユーザー数：956

公式ホームページ
 ページビュー・訪問数

Face book ページ
 いいね！数



交通広告（企画展告知）

伊藤若冲と京の美術	長崎バス R面	5月下旬より7月24日	B3ポスター・車内R壁掲出
お化け屋敷で科学する！	長崎電気軌道	7月19日～	B3ポスター・車内R壁掲出
長崎スポーツ博覧会	長崎バス	10月4日（土）～11月3日（月）	B3ポスター・車内中吊り
	長崎電気軌道	10月1日（水）～10月31日（金）	B3ポスター・車内中吊り
	長崎空港	9月30日（火）～11月3日（月）	空港コンコース
みんなのサザエさん展	長崎電気軌道	7月19日～	B3ポスター・車内中吊り
医は仁術	JR九州	1月13日～19日	長崎～佐世保線 中吊り
	長崎空港	12月15日～2月11日	空港コンコース
	長崎電気軌道	12月18日～1月12日	B3ポスター・車内中吊り
聖母が見守った奇跡	長崎空港	2月1日～3月31日	空港コンコース
	長崎バス	2月14日～3月31日	B3ポスター・車内R壁掲出
	長崎電気軌道	2月14日～3月31日	B3ポスター・車内中吊り

テレビスポット（企画展告知）

伊藤若冲と京の美術	KTN テレビ長崎（開催告知）
お化け屋敷で科学する！	KTN テレビ長崎（開催告知）
長崎スポーツ博覧会	長崎民放4局（開催国地・長崎県出稿分）
みんなのサザエさん展	KTN テレビ長崎（開催告知）
医は仁術	NBC 長崎放送 テレビ・ラジオスポット（開催告知）
聖母が見守った奇跡	長崎民放4局（開催告知）

館外活動

ココウオーク出張イベント （ワークショップ、PR イベント）	7月5日（土） 2015年2月1日（日）	みらい長崎ココウオーク （長崎市茂里町）
帆船まつり（チラシ配りほか）	4月27日（日）～5月1日（木）	水辺の森公園（長崎市）

広報実績 平成26年3月1日～

○伊藤若冲と京の美術

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
2月25日（火）	長崎市広報広聴課	広報ながさき 3月号
3月1日（土）	長崎ケーブルメディア	TVガイド 3月号
	ミュージアムカフェ	ミュージアムカフェ
	アクロス福岡	アクロス福岡情報誌 4月号
	エスケイ・アイ・コーポレーション	テレビガイド
3月3日（月）	イベントバンク	Yahoo! ロコ（地域情報）
		朝日新聞デジタル
		@nifty 旅行
		excite
		BIGLOBE 旅行
		ぴあこどもと遊ぼう
		パナソニック おでかけ旅ガイド
		富士フイルム Fotonoma
		日本旅行
		ニコン すぽっとサーチ
		アパホテル
		まちこみ ZAQ
		表示灯 e-NAVITA
		livedoor 地図情報
Walkerplus（ウォーカープラス）		
ゆこゆこ		
トレたび		
デート通		
3月10日（月）	西日本新聞	社告枠
3月10日（月）の週	NBCラジオ	県庁タイムス
3月12日（水）	共同通信	共同通信
3月13日（木）	長崎新聞	県からのお知らせ
	西日本新聞	県からのお知らせ
3月15日（土）	KKベストセラーズ	歴史人 4月号

3月15日(土)	FM長崎	Saturday Chat Box
	FM長崎	タウンナビ
	長崎新聞	長崎新聞
3月16日(日)	長崎新聞	とととって
3月20日(木)	KTNテレビ長崎	GOPAN
	西日本新聞	夕刊
3月21日(金)	KTNテレビ長崎	KTN スーパーニュース
	西日本新聞	西日本新聞
3月28日(金)～	アマナホールディングス	IMA ホームページ
3月25日(火)	インターネットミュージアム	インターネットミュージアム
	ミュージアムカレンダー MusCa	ミュージアムカレンダー MusCa
	長崎県広報課	県民だより 4月号
	長崎市広報広聴課	広報ながさき 4月号
	DOUBLE	DOUBLE vol.26
3月27日(木)	朝日新聞	朝刊
3月28日(金)	朝日新聞	夕刊・さんさんネット
3月27日(木)	西日本新聞	情報掲載(小)
3月30日(水)	西日本新聞	パッション 4月号
4月1日(火)	長崎ケーブルメディア	TVガイド 4月号
	ながさきプレス	ながさきプレス 4月号
4月2日(水)	KTNテレビ長崎	ヨジマル
4月3日(木)	朝日新聞	朝日新聞
4月4日(金)	長崎ケーブルメディア	なんでん café 「カルナビ」
	読売新聞	読売新聞
4月5日(土)	KTNテレビ長崎	イベントインフォメーション
4月6日(日)	長崎新聞	サンデーアート
4月7日(月)	西日本新聞	社告枠(展覧会紹介連載)
4月9日(水)	KTNテレビ長崎	ヨジマル
4月10日(木)	KTNテレビ長崎	KTN スーパーニュース
	朝日新聞	朝日新聞
	読売新聞	読売新聞
4月15日(火)	(株)ユーキャン	月刊水墨画 5月号
	face 企画	フェイスすぐろく vol.39
4月16日(水)	FM長崎	ライライ
4月17日(木)	朝日新聞	朝日新聞
	朝日新聞	朝日新聞
	KTNテレビ長崎	KTN スーパーニュース
4月20日(日)	KTNテレビ長崎	トク盛!
	(株)シティ情報ふくおか	シティ情報ふくおか
4月24日(木)	朝日新聞	朝日新聞
4月25日(金)	西日本新聞	西日本新聞
4月26日(土)	西日本新聞	西日本新聞
5月1日(木)	長崎ケーブルメディア	TVガイド 5月号
5月2日(金)	諫早ケーブルテレビ	3sun 広場
5月4日(日)	西日本新聞	西日本新聞
	長崎新聞	サンデーアート
5月5日(月)	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース
5月6日(月)	朝日新聞	朝日新聞
5月8日(木)	朝日新聞	朝日新聞
5月10日(土)	長崎新聞	長崎新聞

※細見展・ポスター・チラシ掲出

・NEXCO西日本 大分自動車道 山田SAのぼり：チラシ設置

・ふれあい掲示板(長崎市内8カ所)：B2ポスター

○ここがゴイ！明治日本の産業革命遺産と長崎

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月15日(火)	KKベストセラーズ	歴史人 5月号
4月17日(木)～会期中	ながさきプレス	CORASU(ココウォーク・長崎新地ターミナル)
4月25日(金)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 5月号
5月1日(木)	ながさきプレス	ながさきプレス 5月号
5月16日(金)	NBC長崎放送	テレビガイド
	KTN テレビ長崎	よじまる(県広報枠)

5月16日(金)	ミュージアムカフェ	ミュージアムカフェ
	イベントバンク	Yahoo! ロコ (地域情報)
		朝日新聞デジタル
		@nifty 旅行
		excite
		BIGLOBE 旅行
		びあこどもと遊ぼう
		パナソニック おでかけ旅ガイド
		富士フイルム Fotonoma
		日本旅行
		ニコン すぽっとサーチ
		アパホテル
		まちこみ ZAQ
		表示灯 e-NAVITA
		livedoor 地図情報
Walkerplus (KADOKAWA)		
ゆこゆこ		
デート通		
5月17日(土)	NCC 長崎文化放送	トコトンサタデー
	NIB 長崎国際テレビ	ひるじげドン
5月18日(日)	長崎新聞	長崎新聞
	CJ キューブ	CJ キューブ
5月20日(火)	インターネットミュージアム	インターネットミュージアム
5月22日(木)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞
5月23日(金)	朝日新聞	朝日新聞
	西日本新聞	文化短信
	NIB 長崎国際テレビ	News every.
	NCC 長崎文化放送	スーパー J チャンネル
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
5月24日(土)	朝日新聞	朝日新聞
	読売新聞	読売新聞
	西日本新聞	西日本新聞
5月25日(日)	長崎新聞	長崎新聞
5月27日(火)	NHK	はっけんテレビ
5月28日(水)	NBC 長崎放送	あっふる
5月29日(木)	朝日新聞	さんさんネット (九州全域/福岡以外)
	長崎新聞	情報ストリート
	NBC 長崎放送	トク3
	アマナホールディングス	IMA パートナーズ
5月30日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル
	長崎新聞	長崎新聞
	朝日新聞	さんさんネット
5月31日(土)	朝日新聞	紹介記事 (モノクロ写真)
6月1日(日)	長崎県広報課	ながさきたより 6月号
6月3日(火)	西日本新聞	西日本新聞
6月4日(水)	NIB 長崎国際テレビ	News every.
	長崎新聞	取材記事 (写真あり・モノクロ)
	長崎新聞	情報ストリート
6月5日(木)	朝日新聞	朝日新聞
6月6日(金)	長崎ケーブルメディア	なんでん café カルナビ
6月9日(月)	KKベストセラーズ	歴史人 HP
6月12日(木)	NIB 長崎国際テレビ	News every
	朝日新聞	長崎情報欄
	熊本日日新聞	週末おでかけガイド
6月20日(金)	NCC 長崎文化放送	スーパー J チャンネルながさき
	西日本新聞	社告枠
6月23日(月)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞

○お化け屋敷で科学する！ in 長崎

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月30日(水)	エース出版	Eカレ 5月号
5月19日(月)	西日本新聞	KTNの事業
5月30日(金)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ
5月31日(土)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ
6月6日(金)	KTN テレビ長崎	テレビガイド
6月10日(火)	笠間書院オンライン	笠間書院オンライン
6月13日(金)	KTN テレビ長崎	モノ缶セレクト ミテ☆コレ
6月18日(水)	イベントバンク	Yahoo! ロコ (地域情報) 朝日新聞デジタル @nifty 旅行 excite BIGLOBE 旅行 びあこどもと遊ぼう パナソニック おでかけ旅ガイド 富士フィルム Fotonoma 日本旅行 ニコン すぼっとサーチ アパホテル まちこみ ZAQ 表示灯 e-NAVITA livedoor 地図情報 Walkerplus (KADOKAWA) ゆこゆこ デート通
6月20日(金)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ
6月25日(水)	ながさきプレス	ながさきプレス 7月号
6月27日(金)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ
6月28日(土)	KTN テレビ長崎	特モリ!
7月1日(火)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 7月号
7月3日(金)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ
7月5日(土)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ 土曜版
7月10日(金)	KTN テレビ長崎	ミテ☆コレ
7月13日(日)	長崎新聞	とっとして
7月14日(月)	西日本新聞 (夕刊)	西日本新聞 (夕刊)
7月16日(月)	CJ キューブ	CJ キューブ
7月17日(木)	読売新聞 (関東版) LOVE FM	読売新聞 (関東版) Top of the Morning
7月18日(金)	KTN テレビ長崎	よじマル 30秒PR スーパーニュース
7月19日(土)	西日本新聞	西日本新聞
7月21日(月祝)	KTN テレビ長崎	ミニ番組「おばけ屋敷で科学する！」
7月22日(火)	NHK 長崎放送局	ヒルミテ
7月23日(水)	長崎経済新聞	長崎経済新聞
7月24日(木)	読売新聞 朝日新聞	読売新聞 朝日新聞
7月25日(金)	RKB 毎日放送	今日感テレビ
7月26日(土)	KTN テレビ長崎	特モリ!
7月29日(火)	KTN テレビ長崎	ミニ番組「おばけ屋敷で科学する！」
7月30日(水)	KTN テレビ長崎	ヨジマル
7月31日(木)	朝日新聞	朝日新聞
8月1日(金)	長崎ケーブルメディア 西日本新聞	なんでんカフェ「カルナビ」 連載① (お化け屋敷で科学する!上)
8月2日(土)	西日本新聞	連載② (お化け屋敷で科学する!中)
8月3日(日)	西日本新聞	連載③ (お化け屋敷で科学する!下)
8月6日(水)	KTN テレビ長崎 山口放送	ヨジマル お昼はZENKAI ラジオな時間 九州からこんにちは
8月7日(木)	西日本新聞	西日本新聞
8月10日(日)	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース

8月12日(火)	西日本新聞	取材記事(写真あり・カラー)
	西日本新聞	西日本新聞
8月13日(水)	JMN ネットワーク	face
8月14日(木)	フジテレビ	ノンストップ!
8月15日(金)	熊本日日新聞	すばいす
	TVS テレビ佐世保	おでかけ情報
8月22日(金)	西日本新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
8月23日(土)	KTN テレビ長崎	トク盛
8月28日(木)	朝日新聞	朝日新聞

○長崎スポーツ博覧会

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
7月4日(木)	長崎新聞	長崎新聞
7月19日(土)	長崎新聞	長崎新聞
7月21日(月祝)	長崎新聞	長崎新聞
8月25日(月)	JR九州	ブリーズ9月号
8月27日(水)	長崎新聞	テレビガイド
9月1日(月)	西日本新聞	パッション 9月号
	ながさきプレス	ながさきプレス 9月号
	長崎県国体総務課	がんばくん通信 vol.14
	長崎市広報広聴課	広報ながさき 9月号
	長崎県広報課	ながさきたより 9月号
	長崎ケーブルメディア	TVガイド 9月号
	長崎市美術振興会	美振 No.101
9月4日(木)	読売新聞	旅 (タ刊)
9月5日(金)	NHK 長崎放送	ヒルミテ
	NHK 長崎放送	ラジオ
9月6日(土)	長崎新聞	長崎新聞
9月7日(日)	長崎新聞	とととて
	イベントバンク	Yahoo! ロコ (地域情報)
		朝日新聞デジタル
		@nifty 旅行
		excite
		BIGLOBE 旅行
		パナソニック おでかけ旅ガイド
		富士フイルム Fotonoma
		日本旅行
		ニコン すぼっとサーチ
		アパホテル
		まちこみ ZAQ (J:COM)
		表示灯 e-NAVITA
		livedoor 地図情報
		Walkerplus (KADOKAWA)
		ゆこゆこ
デート通		
9月10日(水)	KTN' テレビ長崎	スーパーニュース
9月11日(木)	朝日新聞(九州版)	さんさんネット
	長崎県教育庁 生涯学習課	長崎まなびネット
9月12日(金)	朝日新聞	さんさんネット
	テレビ佐世保	お出かけ情報
	NHK 長崎放送局	ニュース (昼、イブニング長崎)
	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every
	KTN テレビ長崎	スーパーニュース
		週刊あじさい
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
	NCC 長崎文化放送	週刊あじさい
		スーパー Jチャンネルながさき
読売新聞	読売新聞	
9月13日(土)	長崎新聞	社告枠
9月14日(日)	長崎新聞	とととて
9月15日(月祝)	NBC ラジオ	スキッピー 生出演
	長崎新聞	情報ストリート

9月16日(火)	NHK(福岡・沖縄)	はっけんテレビ
	長崎県国体総務課	国体観戦パンフレット
9月17日(水)	朝日新聞	朝日新聞
9月18日(木)	朝日新聞	朝日新聞
9月19日(金)	長崎新聞	長崎新聞
9月20日(土)	NBC ラジオ	長崎市政だより
9月21日(日)	長崎がんばらんば国体長崎市実行委員会	長崎市開催競技観戦&応援ガイド
	読売新聞	読売新聞
	長崎新聞	とととって
9月22日(月)	FM 長崎	長崎市政だより
	西日本新聞	夕刊
9月24日(火)	毎日新聞	なが咲き人
	長崎県大会総務課	バドミントン競技会ミニプログラム
9月25日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
9月26日(金)	NBC ラジオ	情報コンビニ午後GO!
9月27日(土)	NIB 長崎国際テレビ	ひるじげドン
	長崎新聞	読者投稿欄
	長崎新聞	とととって
9月28日(日)	西日本新聞	パッション 10月号
9月30日(火)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
10月1日(水)	NBC 長崎放送	あっ!ぶる
	山口放送	山口放送
	長崎ケーブルメディア	TVガイド 9月号
	NBC 長崎放送	toto 関連取材分
10月2日(木)	朝日新聞	朝日新聞
10月3日(金)	KTN テレビ長崎	ヨジマル
10月4日(土)	チョイスホテルズジャパン	facebook/twitter/Google+
	NIB 長崎国際テレビ	ひるじげドン
	NCC 長崎文化放送	トコサタ
	長崎新聞	第2部 国体特集
10月17日(火)～24日(金)	NBC 長崎放送	県大会総務課 出稿分
	KTN テレビ長崎	
	NCC 長崎文化放送	
	NIB 長崎国際テレビ	
10月8日(水)	長崎新聞	読者投稿欄
10月9日(木)	朝日新聞	朝日新聞
	読売新聞	読売新聞
10月10日(金)	NHK	ヒルミテ
	長崎新聞	(第2部) 競技観戦ガイド
10月11日(土)	NCC 長崎文化放送	トコサタ
10月14日(火)	face 企画	すごろく 10-11月号
	長崎経済新聞	長崎経済新聞
10月16日(木)	朝日新聞	朝日新聞
10月21日(火)	長崎シティFM	長崎シティFM
10月23日(木)	朝日新聞	朝日新聞
10月24日(金)	毎日新聞	毎日新聞
10月25日(土)	読売新聞	読売新聞
	長崎新聞	長崎新聞
	KTN テレビ長崎	スーパーニュース
10月26日(日)	読売新聞	取材記事(カラー写真有り)
	長崎新聞	取材記事(カラー写真有り)
10月27日(月)	NCC 長崎文化放送	スーパー Jチャンネルながさき
10月28日(火)	NBC 長崎放送	ニュース(昼)
10月30日(木)	朝日新聞	朝日新聞
10月31日(金)	テレビ佐世保	おでかけ情報

○ありがとう45周年! みんなのサザエさん展

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
9月15日(月)	西日本新聞	社告枠
10月25日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス 11月号
	長崎市広報広聴課	広報ながさき 11月号
10月26日(日)	西日本新聞	パッション 11月号

11月1日(土)	長崎ケーブルメディア	テレビガイド	
11月6日(木)	朝日新聞	朝日新聞	
11月8日(土)	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース	
11月9日(日)	西日本新聞	西日本新聞	
	読売新聞	読売新聞	
	イベントバンク	Yahoo! ロコ (地域情報)	
		朝日新聞デジタル	
		excite	
		BIGLOBE 旅行	
		パナソニック おでかけ旅ガイド	
		富士フィルム Fotonoma	
		日本旅行	
		ニコン すぼっとサーチ	
アパホテル			
まちこみ ZAQ (J:COM)			
表示灯 e-NAVITA			
livedoor 地図情報			
Walkerplus (KADOKAWA)			
ゆこゆこ			
デート通			
読売新聞	読売新聞	読売新聞	
11月10日(月)	ボムウエルシー (株)	ワイヤーママ 11・12月号	
11月11日(火)	角川マガジズ	九州冬 Walker	
	ながさきプレス	ながさきプレス	
11月13日(木)	朝日新聞	朝日新聞	
11月14日(金)	KTN テレビ長崎	ヨジマル	
11月15日(土)	face 長崎	すごろく	
11月19日(水)	長崎新聞	長崎新聞	
11月20日(木)	朝日新聞	朝日新聞	
11月21日(金)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ	
11月22日(土)	KTN テレビ長崎	トクモリ!	
	長崎まちねた。	長崎まちねた。	
11月24日(月祝)	KTN テレビ長崎	スーパーニュース	
	西日本新聞	西日本新聞	
11月25日(火)	朝日新聞	朝日新聞	
11月27日(木)	朝日新聞	朝日新聞	
11月28日(金)	KTN テレビ長崎	ヨジマル	
12月1日(月)	長崎ケーブルメディア	TV ガイド	
12月4日(木)	朝日新聞	朝日新聞	
12月8日(月)	西日本新聞 (夕刊)	西日本新聞 (夕刊)	
	KTN テレビ長崎	スーパーニュース	
12月9日(火)	西日本新聞	西日本新聞	

○医は仁術

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
11月17日(月)	NBC ラジオ	NBC ラジオ
11月20日(木)	NBC ラジオ	情報コンビニ午後GO!
	NBC 長崎放送	NBC 長崎放送
11月27日(木)	NBC ラジオ	情報コンビニ午後GO!
11月30日(日)	西日本新聞	テレビガイド
12月2日(火)	ミュージアムカフェ	ミュージアムカフェ
12月3日(水)	イベントバンク	Yahoo! ロコ (地域情報)
		朝日新聞デジタル
		excite
		BIGLOBE 旅行
		パナソニック おでかけ旅ガイド
		富士フィルム Fotonoma
		日本旅行
		ニコン すぼっとサーチ
		アパホテル
		まちこみ ZAQ (J:COM)
表示灯 e-NAVITA		

12月3日(水)	イベントバンク	学研キッズネット
		livedoor 地図情報
		Walkerplus (KADOKAWA)
		ゆこゆこ
		デート通
12月4日(木)	NBC ラジオ	インターネットミュージアム
12月7日(日)	長崎 YMCA	情報コンビニ午後GO!
12月9日(火)	西日本新聞社	クリスマスカードコンテスト
12月10日(水)	Dokkal おでかけ探検隊 九州版	福岡ビイーキ
12月11日(木)	NBC ラジオ	Dokkal おでかけ探検隊 九州版
12月14日(日)	長崎新聞	情報コンビニ午後GO!
12月15日(月)	西日本新聞	とととって 12月14・21日合併号
	RKB 毎日放送	福岡版 夕刊
12月16日(火)	長崎新聞	よん day
	笠間書院オンライン	長崎新聞
12月17日(水)	NBC 長崎放送	笠間書院オンライン
12月18日(木)	西日本新聞	報道センター NBC
	NBC 長崎放送	福岡版 夕刊
	NBC ラジオ	報道センター NBC
12月19日(金)	リクルート	情報コンビニ午後GO!
	NBC 長崎放送	ホットベッパ 1月号
	毎日新聞	報道センター NBC
12月20日(土)	朝日新聞	NBC 枠
	ながさきプレス	朝日新聞
12月21日(月)	NBC 長崎放送	朝日新聞
12月22日(火)	NBC 長崎放送	ながさきプレス 1月号
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
	NBC ラジオ	報道センター NBC
12月23日(火)	NBC ラジオ	報道センター NBC
	朝日新聞	スキッピー
12月24日(水)	NBC 長崎放送	スキッピー
12月25日(木)	JR 九州	朝日新聞
	朝日新聞	あつぷる
	長崎市広報広聴課	Please 九州のイベント情報
	NBC 長崎放送	朝日新聞
12月26日(金)	シティ FM	広報ながさき 1月号
	テレビ佐世保	天気フィラー
	長崎新聞	歴史と文化の談話室
12月27日(土)	読売旅行出版社	テレビ佐世保
12月28日(日)	西日本新聞	取材記事 (写真付き・カラー)
1月1日(木)	朝日新聞	旅行読売
	長崎新聞	パッション 1月号
1月5日(月)	毎日新聞	お正月テレビガイド
1月7日(水)	長崎ケーブルメディア	新年号 検定特集
1月8日(木)	朝日新聞	なんでんカフェ「カルナビ」
	長崎経済新聞	朝日新聞
1月9日(金)	毎日新聞	長崎経済新聞
	西日本新聞	毎日新聞
1月11日(日)	KADOKAWA	西日本新聞
1月12日(月)	NBC 長崎放送	Walker47
1月15日(木)	朝日新聞	NBC 長崎放送
1月16日(金)	長崎ケーブルメディア	朝日新聞
1月17日(土)	NBC 長崎放送	なんでんカフェ「カルナビ」
1月19日(月)	NHK ラジオ	報道センター NBC
	NHK 長崎放送	NHK ラジオ
1月20日(火)	九州医事新報	ヒルミテ
	長崎新聞	九州医事新報
	朝日新聞	長崎新聞
1月22日(水)	読売新聞	朝日新聞
	朝日新聞	読売新聞

1月25日(日)	NBC ラジオ	ラジオスポット
1月29日(木)	NBC ラジオ	情報コンビニ午後GO!
	西日本新聞	西日本新聞
	朝日新聞	朝日新聞
	朝日新聞	朝日新聞
1月30日(金)	毎日新聞	(NBC 情報提供)
1月31日(土)	朝日新聞	朝日新聞
1月下旬	JTB パブリッシング	るるぶ九州 '15'16
2月5日(木)	朝日新聞	朝日新聞
2月8日(日)	NBC テレビ	情報☆びっく
2月15日(日)	ナラティブ出版	月刊ナラティブメディカ

○聖母が見守った奇跡

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
1月1日(木)	長崎新聞	新年号
	朝日新聞	朝日新聞
1月20日(火)	福岡ウォーカー	福岡ウォーカー
1月24日(土)	(株) KADOKAWA	歴史読本 3月号
2月1日(日)	長崎ケーブルメディア	テレビガイド
2月6日(金)	長崎新聞	取材記事
	NBC 長崎放送	あっ!ぶる
	KTN テレビ長崎	ヨジマル
2月7日(土)	朝日新聞	朝日新聞
	NCC 長崎文化放送	トコサタ
	NIB 長崎国際テレビ	ひるじげドン
2月9日(月) の週	NBC ラジオ	県庁タイムス
2月9日(月)	西日本新聞	夕刊
2月12日(木)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞
2月14日(土)	エフエム長崎	Saturday Chat Box またはタウンナビ
	NBC ラジオ	長崎市政だより
2月15日(日)	KTN テレビ長崎	週刊あじさい
	NCC 長崎文化放送	週刊あじさい
	CJ キューブ	CJ キューブ
2月16日(月)	エフエム長崎	長崎市政だより
	長崎新聞	情報ストリート
	西日本新聞	夕刊
2月16日(月) ~	NBC 長崎放送	トク3
	(株) KADOKAWA	ウォーカープラス 長崎
	Dokka! おでかけ探検隊	Dokka! おでかけ探検隊
2月17日(火)	イベントバンク	Yahoo! ロコ (地域情報)
		朝日新聞デジタル
		excite
		BIGLOBE 旅行
		パナソニック おでかけ旅ガイド
		富士フイルム Fotonoma
		日本旅行
		ニコン すぼっとサーチ
		アパホテル
		まちこみ ZAQ (J:COM)
		表示灯 e-NAVITA
		Walkerplus (KADOKAWA)
ゆこゆこ		
デート通		
2月18日(水) ~ 随時民放各社	KTN テレビ長崎	ミッション NAGASAKI
2月18日(水)	長崎新聞	長崎新聞
2月19日(木)	朝日新聞	朝日新聞
	朝日新聞 (佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島・山口)	さんさんネット
	共同通信	産経 WEST 楽天 WOMAN

2月19日(木)	共同通信	山形新聞
	長崎県世界遺産登録推進課	おらしょ ころ旅
	歴史ナビ	歴史ナビ
	NHK 長崎放送局	クマロク!
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
	KTN テレビ長崎	スーパーニュース
	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every
2月20日(金)	朝日新聞(夕刊)	さんさんネット
	長崎新聞	長崎新聞
	読売新聞	読売新聞
	西日本新聞	西日本新聞
	西日本新聞	西日本新聞
	産経新聞	取材記事(共同通信配信)
	テレビ佐世保	おでかけ情報
2月21日(土)	長崎県広報課	ながさきにこり 特別号
	エフエム長崎	Saturday Chat Box
	京都新聞(夕刊)	取材記事(共同通信配信)
	新潟日報(夕刊)	取材記事(共同通信配信)
2月22日(日)	西日本新聞	パッション 3月号
2月23日(月)	産経ニュース	産経ニュース
	東京新聞(夕刊)	東京新聞(夕刊)
2月24日(火)	株式会社 クリスマントゥeday	株式会社 クリスマントゥeday
	雄松堂書店	雄松堂書店ホームページ
2月26日(木)	日本経済新聞	日本経済新聞
	朝日新聞	朝日新聞
	読売新聞	読売新聞
2月28日(土)	NCC 長崎文化放送	百五十年目の巡礼 信徒発見から世界遺産へ
3月1日(日)	長崎ケーブルメディア	テレビガイド
3月5日(水)	朝日新聞	朝日新聞
3月6日(木)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ(金曜カルナビ)
	長崎シティエフエム	歴史と文化の談話室
	長崎新聞	長崎新聞
	美術年鑑社	新美術新聞「Art Annual online」
	学研パブリッシング	歴史群像 4月号
	西日本新聞	西日本新聞
	毎日新聞	毎日新聞
3月9日(月)	長崎新聞	長崎新聞
3月10日(火)	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」①
3月11日(水)	NCC 長崎文化放送	NCC ホットスポット
	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」②
	西日本新聞	ZOOM 『長崎・浦上「信徒発見」150年』
	西日本新聞 WEB	ワードボックス
3月12日(木)	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」③
3月13日(金)	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」④
3月14日(土)	NCC 長崎文化放送	びたみん
	ライフ佐世保	99view
	毎日新聞	毎日新聞
3月16日(月)	西日本新聞(夕刊)	西日本新聞(夕刊)
	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」⑤
3月17日(火)	西日本新聞	西日本新聞
	毎日新聞	毎日新聞
	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」⑥
3月18日(水)	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」⑦
	読売新聞	情報掲載(小)
3月19日(木)	読売新聞	全国のイベント情報(首都圏夕刊)
	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」⑧
	朝日新聞	朝日新聞
3月20日(金)	カトリック長崎大司教区 HP	http://www.nagasaki.catholic.jp
	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」⑨
3月21日(土)	長崎新聞	「聖母が見守った奇跡」⑩
3月22日(日)	長崎新聞	情報ストリート

3月23日(月)	長崎県世界遺産登録推進課	おらしょ ころろ旅
3月27日(土)	西日本新聞	福岡ビーキー
3月30日(月)	西日本新聞	西日本新聞
4月2日(木)	朝日新聞	朝日新聞
4月9日(木)	朝日新聞	朝日新聞
4月10日(金)	NHK 福岡放送局	きん★すた

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
3月1日(土)		長崎さるく 2014 春号
3月4日(火)	N I B長崎国際テレビ	ニュース every
3月6日(木)	長崎新聞	朝日新聞
3月13日(木)	エフエム長崎	ココヨカ
	朝日新聞	朝日新聞
3月17日(月)	N C C長崎文化放送	平成ながさき太鼓判
3月18日(火)	N I B長崎国際テレビ	平成ながさき太鼓判
3月19日(水)	N B C長崎放送	平成ながさき太鼓判
3月20日(木)	K T Nテレビ長崎	K T Nニュース
	N I B長崎国際テレビ	ニュース every
	日テレニュース 24	日テレニュース 24
3月21日(金)	長崎新聞	長崎新聞
3月23日(日)	K T Nテレビ長崎	平成ながさき太鼓判
3月25日(土)	長崎新聞	長崎新聞
3月26日(水)	N C M長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ「みつけたよ!かえる先生のいきもの交遊録~つぶらな瞳のサンショウウオの物語
3月31日(月)	エース出版長崎	アナイ 4~6月号
4月1日(火)	昭文社	まっふる 家族でおでかけ 14~15
4月4日(金)	ユナイテッドアローズ	THINK LOCAL NAGASAKI
4月12日(土)~	N B Cクロスメディア	トク3
	長崎新聞	長崎新聞
4月15日(火)	K Kベストセラーズ	歴史人 5月号
	藤樹社	月刊書道界 4月号
4月16日(水)	NBC	報道センター NBC
4月17日(木)~会期中	ながさきプレス	CORASU (ココウォーク・長崎新地ターミナル)
4月17日(木)	朝日新聞	朝日新聞
4月25日(金)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 5月号
	長崎新聞	長崎新聞
4月27日(日)	西日本新聞	パッション 5月号
4月28日(月)	長崎経済新聞	長崎経済新聞
5月1日(木)	朝日新聞	情報掲載 (小)
5月2日(金)	長崎ケーブルメディア	なんでん café 「カルナビ」
5月6日(月)	朝日新聞	取材記事 (写真あり)
5月9日(金)	テレビ佐世保	テレビ佐世保
	長崎新聞	情報ストリート
5月10日(土)	長崎新聞	長崎新聞
5月13日(火)	長崎新聞	情報ストリート
5月15日(木)	朝日新聞	朝日新聞
5月16日(金)	長崎新聞	長崎新聞
5月25日(日)	ながさきプレス	ながさきプレス 6月号
5月27日(火)	長崎新聞	長崎新聞
5月28日(水)	N C C長崎文化放送	スーパー Jチャンネル
5月31日(土)	朝日新聞	朝日新聞
6月1日(日)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 6月号
6月4日(水)	長崎新聞	情報ストリート
	長崎新聞	情報掲載 (写真あり・モノクロ)
6月8日(日)	長崎新聞	情報ストリート
6月12日(木)	西日本新聞	西日本新聞
6月18日(水)	長崎新聞	長崎新聞
6月25日(火)	長崎新聞	長崎新聞
6月26日(水)	N C C長崎文化放送	スーパー Jチャンネル 特集「復活の丘」
	ながさきプレス	ながさきプレス 7月号
6月27日(金)	夕刊フジ	長崎特集
6月28日(土)	長崎新聞	長崎新聞
7月1日(火)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 7月号
	長崎新聞	長崎新聞
	長崎新聞	長崎新聞

7月3日(水)	長崎新聞	長崎新聞
	長崎新聞	長崎新聞
	長崎新聞	長崎新聞
7月4日(木)	長崎新聞	長崎新聞
	NBC 長崎放送	報道センター NBC (取材有り)
7月5日(金)	長崎新聞	長崎新聞
7月10日(木)	読売新聞	読売新聞
	朝日新聞	朝日新聞
7月14日(月)	KTN テレビ長崎	スーパーニュース
7月25日(金)	ながさきプレス	ながさきプレス 8月号
7月26日(土)～	NBC 長崎放送	トク3 (データ放送)
7月27日(日)	西日本新聞	パッション 8月号
7月31日(木)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 8月号
8月1日(金)	西日本新聞	西日本新聞
8月3日(日)	長崎新聞	長崎新聞
8月4日(月)	西日本新聞 夕刊	西日本新聞 夕刊
8月6日(水)	長崎新聞	長崎新聞
8月7日(木)	JR 九州旅行	旅三昧 (2014年8月～11月出発号)
8月11日(月)	KTN テレビ長崎	ヨジマル
8月14日(木)	エフエム長崎	ライライ
8月18日(月)	NBC 長崎放送	報道センター NBC
8月下旬	エース出版	旅ムック vol.34
8月27日(水)	長崎新聞	石だたみ
8月30日(土)	長崎新聞	長崎新聞
8月31日(日)	長崎新聞	長崎新聞
9月1日(月)	ながさきプレス	ながさきプレス 9月号
	一支国博物館	一支博ニュース 19号
9月5日(金)	長崎新聞	本紙創刊 125周年特集紙「長崎の宝」
	毎日新聞	毎日新聞
	テレビ佐世保	スポッインさせほ
	長崎ケーブルメディア	なんでん café
9月6日(土)	KBS (韓国)	特派員報告
9月7日(日)	長崎新聞	長崎新聞
	NCC 長崎文化放送	スーパー Jチャンネル長崎
9月8日(月)	読売新聞	読売新聞
9月12日(金)	毎日新聞	毎日新聞
9月17日(水)	長崎ケーブルメディア	なんでん café
9月18日(木)	長崎ケーブルメディア	なんでん café
9月19日(金)	フジテレビ	ニュース JAPAN http://datazoo.jp/tv/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9JAPAN%E3%86%E3%81%99%E3%81%BD%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%788762
9月20日(土)	長崎新聞	長崎新聞
9月24日(火)	長崎新聞	長崎新聞
9月25日(木)	長崎ケーブルメディア	なんでん café
	長崎市広報広聴課	広報ながさき 10月号
9月26日(金)	毎日新聞	毎日新聞
9月27日(土)	長崎新聞	長崎新聞
9月28日(日)	西日本新聞	パッション 10月号
10月1日(水)	リクルート	九州じゃらん 11月号
	淡交社	月刊茶道誌 淡交 10月号
10月2日(木)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every
10月5日(日)	長崎新聞	長崎新聞
10月25日(土)	長崎県広報課	ながさきたより 11月号
10月28日(火)	(株) プラネットライツ	男の隠れ家 12月号
10月29日(水)	長崎新聞	情報ストリート
10月30日(木)	長崎新聞	情報ストリート
11月4日(火)	長崎新聞	取材記事 (写真有り・モノクロ)
11月7日(金)	長崎シティ FM	歴史と文化の談話室
11月13日(木)	長崎新聞	きょうの歴史
11月15日(土)	長崎新聞	情報ストリート
11月16日(日)	長崎新聞	サンデーカルチャー
11月19日(水)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
	長崎新聞	世界遺産へ
11月21日(金)	KTN テレビ長崎	410年目の継承～受け継がれる長崎唯一のやきもの～ (仮)
11月29日(土)	NCC 長崎文化放送	トコサタ
11月30日(日)	西日本新聞	パッション 12月号
12月5日(金)	長崎シティエフエム	歴史と文化の談話室

12月10日(水)	NIB 長崎国際テレビ	news every.
	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
	NCC 長崎文化放送	スーパー Jチャンネル長崎
12月11日(木)	長崎新聞	長崎新聞 情報ストリート 情報ストリート
	西日本新聞	西日本新聞
	読売新聞	読売新聞
12月16日(火)	長崎新聞	長崎新聞
12月19日(金)	長崎新聞	寄稿(大堀館長)
12月20日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス1月号
12月31日(水)	朝日新聞	新春ガイド
1月2日(金)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
	NHK 長崎	ニュース
	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
1月3日(土)	朝日新聞	朝日新聞
1月4日(日)	長崎新聞	長崎新聞
1月8日(日)	長崎新聞	情報ストリート
1月11日(日)	長崎新聞	情報ストリート
1月19日(月)	NBC 長崎放送	情報センター NBC
1月21日(水)	長崎新聞	長崎新聞
1月25日(日)	長崎新聞	情報ストリート
	長崎新聞	長崎新聞
1月27日(火)	長崎新聞	情報ストリート
1月29日(木)	毎日新聞	毎日新聞
1月30日(金)	長崎新聞	取材記事(写真付き・カラー)
1月31日(土)	長崎新聞	長崎新聞
2月	SBS	SBS 教養情報ドキュメンタリー「SBSスペシャル」
2月2日(月)	長崎新聞	長崎新聞
	朝日新聞	朝日新聞
	西日本新聞	KTNの事業
	西日本新聞	西日本新聞
2月4日(水)	読売新聞	読売新聞
2月6日(金)	長崎新聞	長崎新聞
2月16日(月)	エフエム長崎	ライライ
3月3日(月)	毎日新聞	毎日新聞
3月14日(土)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞
3月21日(土)	グラバー園	春浪漫フェスティバルちらし
3月25日(水)	日本スポーツ芸術協会	広報誌
3月28日(土)	朝日新聞	広告出稿 広告枠(春の観光企画長崎編)
	長崎新聞	県ふるさと納税 記事
3月30日(月)	NBC 長崎放送	報道センター NBC
3月31日(火)	長崎県すこやか長寿財団	そよかぜ (輝け! 元気もん!)

○長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月17日(木)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞
4月18日(金)	NBC 長崎放送	あっぷる
	KTN テレビ長崎	よじまる
4月19日(土)	NCC 長崎文化放送	トコトインタデー
	NIB 長崎国際テレビ	ひるじげドン
4月25日(金)	長崎新聞	長崎新聞
4月26日(土)	長崎新聞	長崎新聞
	読売新聞	読売新聞
	西日本新聞	西日本新聞
	NHK ラジオ	ニュース
4月27日(日)	西日本新聞 朝刊	西日本新聞 朝刊
	日本経済新聞	日本経済新聞
	長崎新聞	長崎新聞

4月28日(月)	長崎経済新聞	長崎経済新聞
4月30日(水)	長崎新聞	長崎新聞
	NIB 長崎国際テレビ	news every.
5月8日(木)	NCM 長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ
5月10日(土)	エフエム長崎	サタデーチャットボックス
5月11日(日)	西日本新聞	提論 明日へ
5月13日(火)	長崎新聞	情報ストリート
5月15日(木)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞
5月16日(金)	長崎新聞	長崎新聞
5月24日(土)	朝日新聞	朝日新聞
5月25日(日)	JR九州	Please 6月号
5月27日(火)	NHK 長崎放送	はっけんテレビ
6月1日(日)	長崎県広報課	ながさきだより 6月号
	長崎市広報広聴課	広報ながさき 6月号
6月8日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
6月11日(水)	KTNテレビ長崎	ミッションNAGASAKI
6月12日(木)	NBC長崎放送	ミッションNAGASAKI
	NCC長崎文化放送	ミッションNAGASAKI
	長崎新聞	地域経済ズーム
6月12日(金)	朝日新聞	
6月13日(土)	朝日新聞	Vamos! 2014WORLD CUP BRAZIL
6月14日(土)	KTNテレビ長崎	ミッションNAGASAKI
	長崎新聞	情報掲載(小・長崎近郊)
6月17日(火)	NIB長崎国際テレビ	ミッションNAGASAKI
6月19日(木)	日刊スポーツ	誘ing 長崎 2014(広告)
6月23日(月)	長崎市×美人時計	https://www.facebook.com/bt.nagasaki.city
6月25日(水)	NHK	ニュース
	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
6月26日(木)	読売新聞	読売新聞
6月27日(金)	交通新聞社	ジバング倶楽部
	KTNテレビ長崎	ヨジマル
7月1日(火)	株式会社メディアジャパン	OISHII(シンガポール)
8月20日(水)	西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社	遊悠 WEST
7月~9月	北京「端麗」雑誌社	Voyage
9月	大連テレビ(中国)	九州の魅力の旅
7月	人民日報	人民日報
7月21日(月祝)	長崎新聞	情報掲載(小)
7月25日(金)	楽	vol.24
	DOUBLE	vol.27
8月1日(金)	長崎国際観光コンベンション協会	2015 ランタンフェスティバル パンフレット
8月3日(日)	長崎新聞	長崎新聞
8月5日(火)	現代家庭杂志社	行楽 須及时 8月号
8月12日(火)	NBC 長崎放送	あっ!ぶる
8月20日(水)	西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社	遊悠 WEST
8月25日(月)	JR九州	プリーズ9月号(記事・4P)
7月~9月	北京「端麗」雑誌社	Voyage
8月30日(土)	長崎新聞	取材記事(写真有り)
9月	大連テレビ(中国)	九州の魅力の旅
9月1日(月)	エース出版	旅ムック vol.34
	致良出版社	いきいきにほんご 基礎日語
9月4日(木)	MSN 産経ニュース	http://photo.sankei.jp.msn.com/highlight/data/2014/09/04/06nagasaki/
9月5日(金)	産経新聞	産経新聞
9月6日(土)	毎日新聞	毎日新聞
9月15日(月)	長崎新聞	長崎新聞
9月21日(日)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース
	長崎新聞	長崎新聞
10月3日(金)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ

10月3日(金)	旅行読売	旅行読売
10月5日(日)	西日本新聞	http://www.nishinippon.co.jp/nnp/teiron/article/118793
10月23日(木)	長崎新聞	長崎新聞
11月1日(土)	KADOKAWA	九州ドライブ Walker (県出稿)
	長崎新聞	長崎新聞
	FM 長崎	サタデーチャット BOX
11月3日(月)	NCC 長崎文化放送	長崎ホテル物語 奈良・長崎 100年の時を超えた晚餐
11月8日(土)	NBC 長崎放送	トク3 おでかけ情報
11月12日(水)	朝日新聞	朝日新聞
11月13日(木)	西日本新聞	西日本新聞
11月14日(金)	KTN テレビ長崎	ヨジマル
	読売新聞	読売新聞
	毎日新聞	毎日新聞
12月19日(金)	日本之窗	日本之窗
	NHK	ヒルミテ、イブニング長崎
12月25日(木)	長崎県広報課	ながさきたより 1月号
1月9日、1月16日	B S朝日	建物遺産～重要文化財を訪ねて～
1月9日(月)	西日本新聞	情報掲載 (小)
1月26日(予)	NBC ラジオ	県庁タイムス
2015年1月26日(予)	長崎県広報課	ながさきたより2月号
2月5日(木)	長崎新聞	長崎新聞
	西日本新聞	西日本新聞
2月6日(金)	長崎シティエフエム	歴史と文化の談話室
2月9日(予)	エフエム長崎	Saturday Chat Box
2月13日(金)	NBC 長崎放送	あっ！ぷる
	KTN テレビ長崎	ヨジマル
2月14日(土)	NCC 長崎文化放送	トコサタ
	NIB 長崎国際テレビ	ひるじげドン
2月16日(月)	Dokkal おでかけ情報	Dokkal おでかけ情報ホームページ
2月19日(木)	朝日新聞	朝日新聞
	長崎新聞	長崎新聞
2月20日(金)	西日本新聞	西日本新聞
3月3日(月)	NHK 長崎放送局	ニュース
3月28日(土)	長崎新聞	長崎新聞

2 営業活動

【営業目的】

- ①修学旅行・一般団体・インバウンドツアーを中心とした誘致活動の強化
- ②長崎市内で行われるイベントでの誘致活動（帆船まつり、ランタンフェスティバル等）
- ③大型クルーズ船客の博物館及び「孫文・梅屋庄吉ミュージアム」への誘客活動
- ④長崎バス定期観光の博物館への誘致活動
- ⑤市内ホテル等への誘致・宣伝活動の強化
- ⑥企画展に対する協賛企業及び後援団体の依頼活動

【主な活動内容】

- 4月17日～18日
クルーズ船入港に伴うパンフレット配布
- 4月21日
JTB九州団体販売会議に出席（博物館のPR）
- 4月27～29日
長崎帆船まつり会場にてパンフレット配布
- 5月19日～20日
福岡地区商品造成旅行社及びインバウンド旅行社セールス
- 6月4日～5日
佐賀地区・唐津地区旅行会社セールス
- 6月11日～12日
熊本・大牟田・八女・甘木地区旅行会社セールス
- 6月18日
福岡県貸切バス協会及び福岡市内旅行会社セールス
- 7月23日～25日
長崎県観光連盟との広島・岡山方面中学修学旅行学校訪問
- 9月17日～19日
「スポーツ博」関連 県下各市町教育委員会セールス
- 10月20日
県北地区バス会社系旅行社セールス（ランタン関連）
- 10月22日
佐賀県・福岡県西部バス会社系旅行社セールス（ランタン関連）

- 10月24日
佐賀市内・福岡筑後地区バス会社系旅行社セールス（ランタン関連）
- 10月29日
熊本市内バス会社系旅行社セールス
- 10月31日～11月1日
福岡・久留米市内 エージェントセールス（ランタン関連）
- 11月26日
韓国からのインバウンド促進商談会参加（対象：7社）
- 11月26日～28日
長崎県観光連盟との中部地区中・高校修学旅行学校訪問
- 12月3日
長崎県観光情報説明会・個別商談会に参加（西日本38社）
- 1月8日
在福岡中国系旅行会社セールス（クルーズ船対応）
- 1月22日
長崎バス観光(株)と交渉（平成27年度定期観光継続決定）
- 2月4日～6日
九州地区教育旅行誘致セールス（長崎国際観光コンベンション協会）
- 2月12日～13日
県北・島原半島 各市町及び公共機関へのセールス（「長崎の教会群とキリスト教関連遺産展」）
- 2月16日
五島地区 市役所・観光協会等へのセールス（同上）
- 2月25日
「ランタンフェスティバルモニターツアー」意見交換会（32社）
- 3月17日
長崎DC推進協議会ワーキンググループ会議参加

9

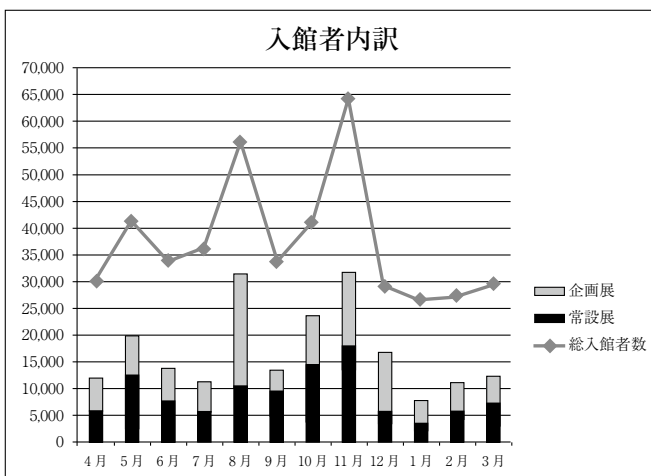
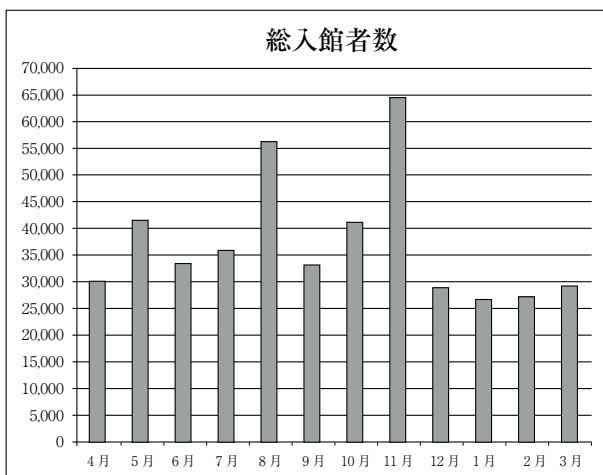
利用状況

1 来館者統計

【長崎歴史文化博物館】

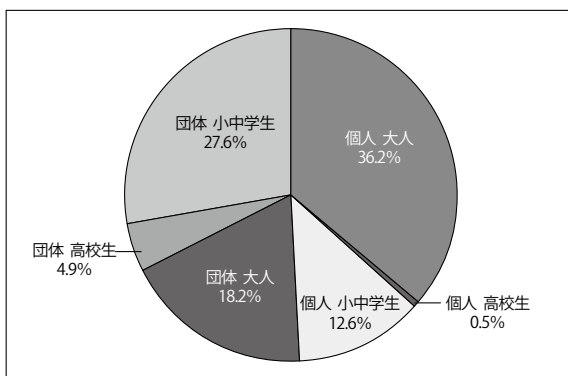
ア) 入館者数

	入館者数	常設展	企画展
4月	30,229	5,584	6,427
5月	41,990	12,081	7,890
6月	28,648	7,666	6,568
7月	30,903	5,514	5,733
8月	55,929	10,341	20,862
9月	33,094	9,950	4,036
10月	40,840	14,938	9,793
11月	64,511	15,292	16,619
12月	34,455	5,646	11,349
1月	26,889	4,095	4,052
2月	26,977	5,721	5,156
3月	29,823	7,253	6,204
合計	444,288	104,081	104,689



イ) 常設展入館者内訳

個人	大人	37,721	36.2%
	高校生	541	0.5%
	小中学生	13,123	12.6%
団体	大人	18,912	18.2%
	高校生	5,051	4.9%
	小中学生	28,733	27.6%



【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

入館者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総入館者	1,148	5,395	4,540	4,019	4,649	4,586	3,945	5,169	3,247	2,323	4,103	3,640	46,764
有料展示室入場者	493	1,104	986	835	1,099	853	680	957	762	529	1,214	966	10,480

2 主な出来事と来館者

【長崎歴史文化博物館】

月日	内容
3月21日	企画展「伊藤若冲と京の美術～細見コレクションの精華～」開幕（～5月11日）
5月21日	第2回市川森一脚本賞受賞記念トーク、記念レセプション
5月24日	企画展「ここがスゴイ！明治日本の産業革命遺産と長崎」開幕（～6月29日）
6月15日	フィリピン カトリック司教中央協議会一行来館
7月4日	シルクロード文化観光ウィーク in 長崎「墨彩新象～現代中国工筆絵画展」開催（～7月10日）
7月15日	山形県議会議員団来館
7月19日	企画展「お化け屋敷で科学する！ in 長崎」開幕（～8月31日）
8月1日	ベトナムダナン市訪問団来館
8月22日	文部科学省生涯学習政策局長来館
9月13日	企画展「長崎スポーツ博覧会」開幕（～11月3日）
11月3日	長崎大学と長崎歴史文化博物館との包括連携協定調印式
12月7日	来館者500万人達成記念セレモニー
12月23日	企画展「医は仁術」開幕（～2月11日）
2月19日	企画展「長崎の教会群とキリスト教関連遺産（仮称）」開幕（～4月15日）

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

月日	内容
4月26日	旧香港上海銀行長崎支店記念館／長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムオープニングセレモニー
4月27日	孫文・宋慶齡関係記念館等 第3回館長サミット in 長崎
6月6日	新日中友好21世紀委員会日本側委員来館
6月7日	新日中友好21世紀委員会中国側委員来館
6月15日	2014FIFAワールドカップブラジル パブリックビューイング（コートジボワール対日本）
6月20日	2014FIFAワールドカップブラジル パブリックビューイング（日本対ギリシャ）
6月25日	2014FIFAワールドカップブラジル パブリックビューイング（日本対コロンビア）
8月	新発見の写真資料公開
9月20日・21日	長崎居留地まつり2014
11月	孫文・梅屋庄吉友情月間
11月19日	特別展示「孫文、梅屋庄吉の友情とそれぞれの妻、宋慶齡と梅屋トクの絆」
11月23日	孫文・梅屋庄吉友情月間トーク&コンサート

3 貸館・貸室

平成26年度 貸し施設状況（有料）

	件数	人数
ホール	75	7,173
イベントの間	64	1,276
会議室	97	1,169
講座室	211	2,748
その他（イベント広場、企画展示室等）	17	0
合計	464	12,366

10 収 支

【長崎歴史文化博物館】

<負担金事業>

単位：円

		協定予算額 ①	実績額 ②	予算差異 ②-①
収入 合計		359,050,000	363,480,377	+ 4,430,377
設置者負担金		358,485,000	358,485,000	± 0
利用者負担金収入		565,000	607,300	+ 42,300
指定管理者負担金		0	4,388,077	+ 4,388,077
支出 合計		359,050,000	363,480,377	+ 4,430,377
管理運営人件費		126,768,000	128,771,371	+ 2,003,371
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	17,800,000	15,850,396	▲ 1,949,604
	調査研究事業	14,956,000	13,529,632	▲ 1,426,368
光熱水費		75,084,000	87,024,754	+ 11,940,754
維持管理費	施設設備保守点検業務	48,878,000	44,883,048	▲ 3,994,952
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	38,433,000	36,382,616	▲ 2,050,384
	受付案内業務	34,560,000	34,559,300	▲ 700
	発券機、車両リース	2,571,000	2,479,260	▲ 91,740
負担金事業 収支		0	0	± 0

<利用料金及びその他自主事業>

単位：円

		予算額①	実績額②	予算差異 ②-①
収入 合計		162,187,000	163,036,291	849,291
観覧料	常設展・企画展収入	98,709,000	92,481,888	▲ 6,227,112
	協賛金等収入	3,600,000	8,215,368	4,615,368
その他利用料金	駐車場収入	9,600,000	9,735,860	135,860
	施設貸し出し収入	2,400,000	5,374,038	2,974,038
ミュージアムショップ収入		30,413,500	30,043,373	▲ 370,127
飲食施設収入		17,464,500	17,185,764	▲ 278,736
支出 合計		153,402,000	158,458,662	5,056,662
展覧会事業費	常設展示事業費	5,197,000	3,144,134	▲ 2,052,866
	展覧会・企画展事業費	73,140,000	82,660,679	9,520,679
業務経費	広報・マーケティング費	7,428,000	4,785,253	▲ 2,642,747
	駐車場運営費	1,750,000	515,959	▲ 1,234,041
	その他利用料金事業	19,719,000	18,781,951	▲ 937,049
ミュージアムショップ営業支出		26,862,000	28,667,960	1,805,960
飲食施設営業支出		19,306,000	19,902,726	596,726
利用料金及びその他自主事業 収支		8,785,000	4,577,629	▲ 4,207,371

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

<負担金事業>

単位：円

		協定予算額 ①	実績額 ②	予算差異 ②-①
収入 合計		10,571,000	10,561,961	▲ 9,039
	設置者負担金	10,471,000	10,471,000	± 0
	利用者負担金収入	100,000	0	▲ 100,000
	指定管理者負担金	0	90,961	+ 90,961
支出 合計		10,571,000	10,561,961	▲ 9,039
	管理運営人件費	6,438,384	6,387,060	▲ 51,324
	運営事業費	279,452	67,194	▲ 51,324
	光熱水費	1,567,923	1,157,333	▲ 410,590
維持管理費	施設設備保守点検業務	1,228,912	1,868,774	+ 639,862
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	1,056,329	1,081,600	+ 25,271
負担金事業 収支		0	0	± 0

<利用料金及びその他自主事業>

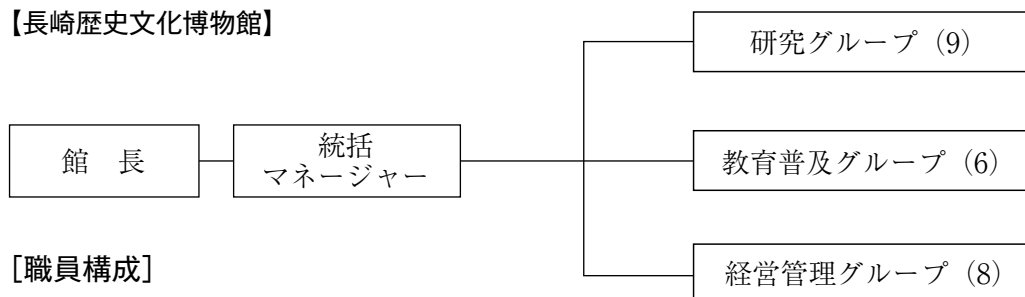
単位：円

		予算額①	実績額②	予算差異 ②-①
収入 合計		4,000,000	1,477,170	▲ 2,522,830
	観覧料	4,000,000	1,477,170	▲ 2,522,830
	貸ホール収入			0
	ミュージアムショップ収入			0
支出 合計		4,000,000	1,303,296	▲ 2,696,704
展覧会事業費	常設展示事業費	1,728,667	299,312	▲ 1,429,355
	展覧会・企画展事業費			0
業務経費	広報・マーケティング費	1,613,333	599,407	▲ 1,013,956
	その他利用料金事業	658,000	404,577	▲ 253,423
ミュージアムショップ営業支出				0
利用料金及びその他自主事業 収支		0	173,874	173,874

組 織

1 職員

【長崎歴史文化博物館】



【職員構成】

館長	1
統括マネージャー	1
研究グループリーダー	1
研究グループ 主任研究員	2
研究員	6
教育普及グループリーダー	1
研究員	3
スタッフ	2
経営管理グループリーダー	1
チーフ	3
スタッフ	4

合計 25

業務委託

フロアスタッフ (14)

※JTB ビジネスサポート九州

施設管理 (16)

※ジェーアール九州メンテナンス株式会社

館長

大堀 哲

統括マネージャー

野間 誠二

教育普及グループ普及担当

大石 美織

研究グループリーダー

濱崎 礼二

教育普及グループ普及担当

前田 真希

研究グループ主任研究員 (美術工芸)

越中 勇

経営管理グループリーダー

山崎 竜太

研究グループ主任研究員 (日本近世史)

深瀬 公一郎

経営管理グループチーフ

松尾 純也

研究グループ研究員 (日本近世史)

岡本 健一郎

経営管理グループチーフ

真崎 俊介

研究グループ研究員 (日本美術史)

植松 有希

経営管理グループチーフ

中山 孝

研究グループ研究員 (日本近代史)

林 美和

経営管理グループ

木原 政樹

研究グループ研究員 (日本近世史)

矢田 純子

経営管理グループ

有馬由紀子

研究グループ研究員 (保存修復)

富川 敦子

経営管理グループ

境 陽子

研究グループ研究員 (保存修復)

久保 憲司

経営管理グループ

永田喜代子

教育普及グループリーダー

竹内 有理

教育普及グループ研究員

出口 幹子

教育普及グループ研究員

小熊佐智子 (～平成 26 年 9 月)

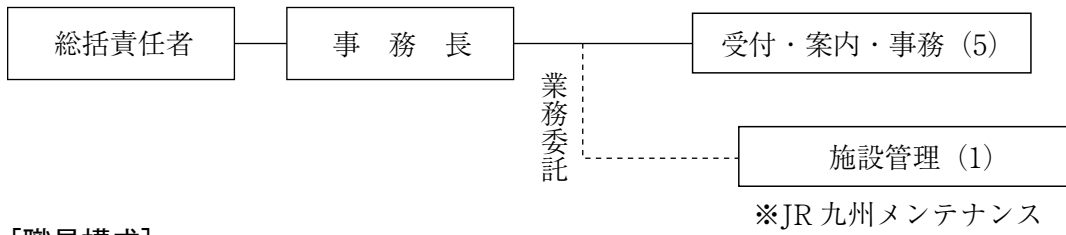
教育普及グループ研究員

古豊裕次朗

教育普及グループ研究員

一瀬 勇士 (平成 26 年 11 月～)

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】



【職員構成】

総括責任者	1
事務長	1
受付・案内・事務スタッフリーダー	1
スタッフ（常勤）	2
スタッフ（非常勤）	2
合計	7

総括責任者（館長兼務） 大堀 哲

事務長（兼務） 真崎 俊介

受付・案内・事務スタッフリーダー 本村 明子

受付・案内・事務スタッフ 矢野 光彦

受付・案内・事務スタッフ 村谷 奈津

受付・案内・事務スタッフ 板倉 加奈

受付・案内・事務スタッフ 葛屋百合子



2 友の会

○平成 26 年度

個人会員	180 人
賛助会員	14 団体

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
個人会員	276 人	367 人	287 人	148 人	140 人	189 人
賛助会員	23 団体	25 団体	7 団体	14 団体	22 団体	11 団体

賛助会員（順不同）

（平成 26 年度）

有限会社葵工芸社・扇精光ホールディングス株式会社・学校法人長崎学院長崎外国語大学・株式会社九電工長崎支店・医療法人厚生会道ノ尾病院・崎永海運株式会社・ジェイアール九州メンテナンス株式会社・株式会社 JTB コミュニケーションズ九州・株式会社ジェイティービービジネスサポート九州・有限会社藤勝苑・長崎空港ビルディング株式会社・三菱電機ビルテクノサービス株式会社長崎支店 ほか

本年度も友の会会員向けの企画展特別鑑賞会を実施し、会員特典の充実を図った。結果として企画展への動員にもつなげることができた。

平成 26 年度 友の会特別鑑賞会

4 月 23 日（水）16：00～17：00

「伊藤若冲と京の美術～細見コレクションの精華～」 解説：植松有希

※同伴者の方は割引（前売り）料金

5 月 28 日（水）16：00～17：00

「ここがスゴイ！明治日本の産業革命遺産と長崎」 解説：岡本健一郎

※同伴者 1 名まで無料

9 月 17 日（水）16：00～17：00

「長崎スポーツ博覧会－目指せ！！未来のアスリート！！夢への挑戦－」 解説：久保憲司

※同伴者 1 名まで無料

12 月 24 日（水）16：00～17：00

「医は仁術」 解説：深瀬公一郎

※同伴者 1 名まで無料

2 月 25 日（水）16：00～17：00

「聖母が見守った奇跡～長崎の教会群とキリスト教関連遺産～」 解説：岡本健一郎

※同伴者 1 名まで無料

〈個人会員〉

○年会費 5,000 円

○有効期間 1 年間

○特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。
3. 「長崎れきぶんNEWS」を年 4 回お届けいたします。
4. 館内ミュージアムショップで 1 割引のお買いができます。
5. 館内レストランは 1 割引でご利用いただけます。
6. 音声ガイド（常設展）の利用金額が無料になります。
7. 佐賀宇宙科学館に 2 割引で入場できます。

〈賛助会員〉

○年会費 1 口 50,000 円

○有効期間 1 年間

○特典

1. 会員証のご提示により同伴 1 名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1 口 50 枚をお渡しいたします。常設展チケット、1 口 30 枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式および特別展覧会に 1 名ご招待いたします。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年 4 回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで 1 割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは 1 割引でご利用いただけます。
7. 音声ガイド（常設展）の利用金額が無料になります。
8. 佐賀宇宙科学館に 2 割引で入場できます。
9. 館内貸室は 2 割引でご利用できます。
10. 1 階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。

12 施設概要

1 建築概要

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者（株）乃村工芸社（指定期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日 6年間）
博物館報分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel：095-818-8366 Fax：095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	（株）黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	（株）乃村工芸社

敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡（駐車場 2,581㎡を含む）

建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円（長崎県：長崎市＝2：1）県53億円・市27億円

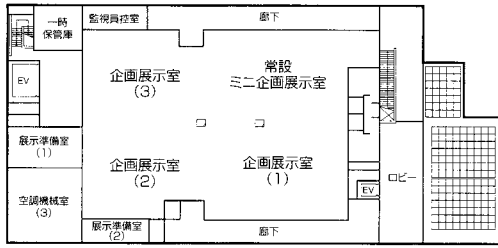


施設面積

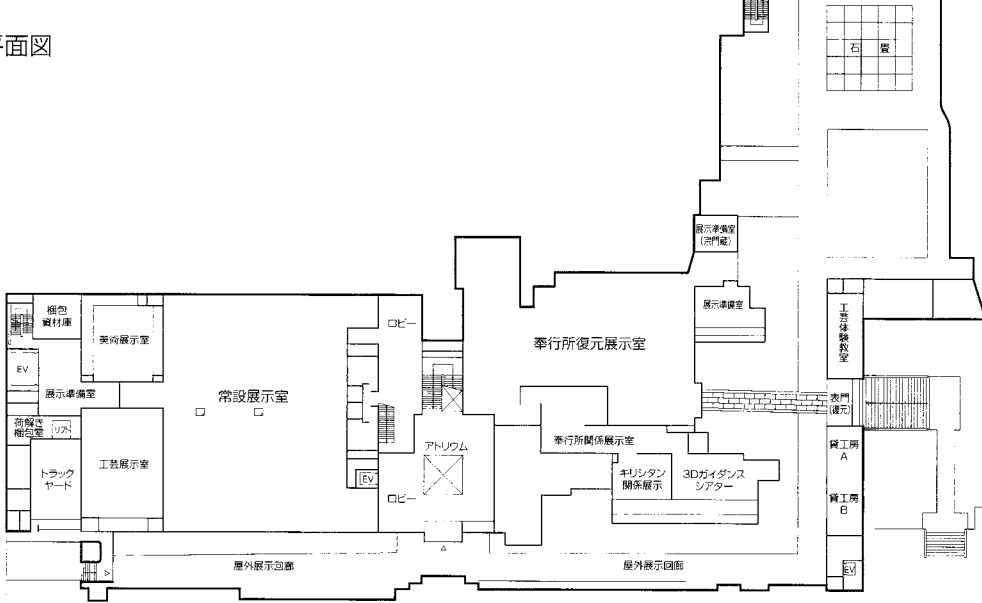
展示関係	常設展示室	1,273.3㎡	教育普及関係	資料閲覧室 / 長崎学相談コーナー	140.0㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡		閉架書庫	114.2㎡
	長崎奉行所立山役所(木造部分)	494.6㎡		ホール	178.3㎡
	企画展示室	1,030.8㎡		講座室	66.2㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡	調査研究関係	ボランティア室	47.1㎡
	収蔵庫2	158.5㎡		学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡		研究室・資料整理室	92.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡		外来研究室	37.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡			

設備概要

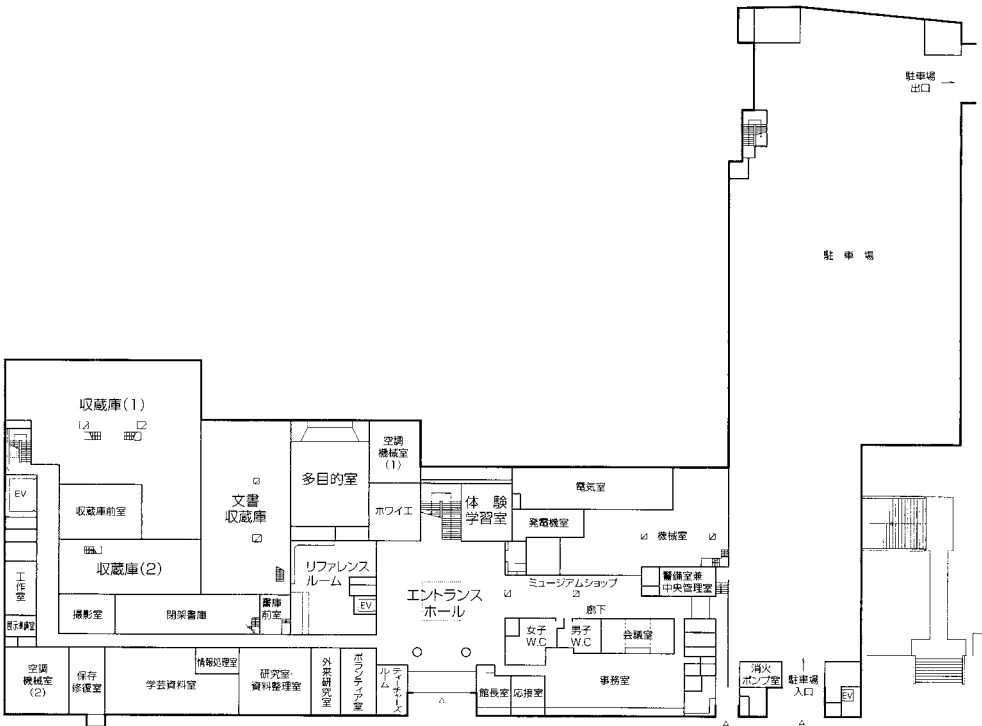
- 電気：高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
- 給排水：上水 / 雨水処理2系統加圧直送給水方式、汚水排水 / 屋内外合流方式・公共下水道放流
- 消火：消火器とハロゲン化合物消火設備
- 空調設備：熱源 / ガス炊吸引冷温水発生機
- 空調方式：エアハンドリングユニット 定风量単一ダクト方式、中央監視システム



2階平面図



1階平面図



地下1階平面図

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料（以下「資料」という。）の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務（同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安定して行うことができるものであること。
- (4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。
- (5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- (1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。
- (2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。
- (3) 前条第4項の規定に違反したとき。
- (3) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。
- (5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用

の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第 16 条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書（別紙様式第1号）によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- （1）名称 長崎歴史文化博物館
- （2）所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- （3）施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登録の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1「長崎歴史文化博物館の使命」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙2「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- （1）地方自治法
- （2）長崎歴史文化博物館条例
- （3）長崎歴史文化博物館条例施行規則
- （4）労働基準法
- （5）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- （2）公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。

- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日には休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例(平成16年3月23日付長崎県条例第3号)第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合においては、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、前日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

- 2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なけ

ればならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第27条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第28条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他の他人の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第 29 条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書 2 通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自 1 通を保有するものとする。

平成 22 年 3 月 25 日

甲 長崎市江戸町 2 番 13 号
長崎県
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場 2 丁目 3 番 4 号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 渡辺 勝

(別紙1)

長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県長期総合計画・後期5カ年計画において「交流を拓げる魅力的なまちづくり」という重点目標を推進する拠点施設として位置づけられるとともに、長崎市第三次総合計画においては「人間性を育む個性豊かな国際平和文化都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この目標・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければならない。

長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民ニーズに沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力に再認識する機会を提供する。

使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用に供する。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創りだす。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

そのために

使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングと総合的なマネジメントによる博物館運営を行い、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。

指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(13)のとおりとする。

記

(1) 管理運営業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

②開館時間

午前8時30分から午後7時までの10時間30分

(レストラン銀嶺は午前10時30分から午後9時まで)

③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、歴史文庫施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑧環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。

⑩県及び市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集の

ための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料

②収蔵資料の保管業務と修復業務

ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間1,000点以上の点検を行う。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

③収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、原則として、所有者である県及び市との協議を行う。

④歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務

〈1〉常設展示

- 1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。
 - ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
 - ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
 - ・美術、工芸展示
 - ・長崎奉行所関連・情景展示
 - ・常設ミニ企画展（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）
- 2) オランダのライデン国立民族学博物館から、毎年資料を借用し、常設展示室のライデンコーナーで展示する。
- 3) 東京国立博物館から、重要文化財「長崎ゆかりのキリシタン資料」を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

〈2〉企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
- ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会

・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等

(3) 長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務

- ① 歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ② 資料の保存修復に関する調査研究
- ③ 展覧会企画に関する調査研究
- ④ 生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤ 長崎の歴史・文化に関する調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

- ① 様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求められることができる。
- ② 修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③ 伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
- ④ 県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ⑤ 学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑥ 離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5) 長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務

レファレンスルームやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。

(6) 広報・マーケティング業務

年間総入館者数 42 万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ① 積極的にマーケティング活動を行う。
- ② 展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③ 会員事業を実施する。
- ④ 定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ⑤ 館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

- ① 県内の中核博物館としての取組（各種技術指導を含む）
- ② 県及び市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- ③ オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携

(8) 博物館の利用許可及び利用料金に関する業務

- ① 利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ② 利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
- ③ 観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(9) ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務

- ① ミュージアムショップの管理運営

収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

② レストランの管理運営

来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。

(10) 博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

- ① 指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2) ②ウ) による。
- ② 施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③ 施設及び附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④ 原則として、1件あたり20万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり20万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
- ⑤ 県及び市が館の管理運営に必要と認めた備品については、県及び市が整備するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥ 長崎歴史文化博物館の災害保険契約については、県が（財）都道府県会館建物共済事業（地方自治法第263条の2の規定による都道府県有財産の損害に対する相互共済事業保険契約）に基づき措置する。施設賠償責任及び来館者傷害保険については、指定管理者が負担金事業として措置する。収蔵資料についての保険については措置しない。
- ⑦ 施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(11) 地域づくりと観光振興に資する業務

長崎歴史文化博物館は県内の博物館等の中核施設として、また、長崎市内を中心に長崎県内の歴史文化資源を紹介する中核施設として、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(12) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13) その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務

県及び市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

以 上

〈資料1-1〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱（県資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料（以下「資料」という。）について、必要な事項を定める。

（定義）

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

（収集の基本方針）

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

（1）長崎県美術館の基本方針

- 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
- 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
- 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

（2）長崎歴史文化博物館の基本方針

- 一 海外交流史に関する資料
- 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
- 三 長崎奉行所に関する資料
- 四 長崎文化に関する資料

（寄贈）

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書（様式第1号）を提出するものとする。

2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書（様式第2号）を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

（寄託）

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、寄託申込書（様式第3号）又は寄託承諾書（様式第4号）を提出するものとする。

2 県は、前項の規定による寄託を受けたときは、申込者に対し、寄託証書（様式第5号）を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

（資料調査）

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

（預かり）

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。

- 一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料管理基準により、一時保管庫に保管する。
 - 二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要があるとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要がある場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
 - 三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費（輸送費、保険料等）の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。
- 2 資料を預かる場合は、資料預かり書（様式第6号）を所有者に交付し、資料預かり簿（様式第7号）に、資料名、

所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。

3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

(資料収集委員会及び価格評価委員会)

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

(収集)

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

(資料の管理)

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。

長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

（取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

（事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 名称（フリガナ）
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数（単位）
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 資料を取得することが望ましい理由
- (15) その他、市長が必要と認める事項

（資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書（様式第1号）を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

（博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会（以下「取得委員会」という。）を置く。

(取得委員会の組織)

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

- 2 取得委員会の委員(以下「委員」という。)は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。
 - (1) 資料に関する学識を有する者
 - (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
 - (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

- 2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。
 - (1) 名称(フリガナ)
 - (2) 作家・著者
 - (3) 生産地
 - (4) 製作・伝来時期
 - (5) コレクション・文庫等の名称
 - (6) 員数(単位)
 - (7) サイズ
 - (8) 素材・技法
 - (9) 形態・形状
 - (10) 付属品
 - (11) 箱・箱書き等
 - (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
 - (13) 文化財指定等の状況
 - (14) 評価金額
 - (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。
- 3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則(昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。)が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第 14 条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかなければならない。

2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第 15 条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例（平成 16 年長崎市条例第 145 号）第 2 条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第 16 条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第 17 条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第 18 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

〈資料2〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）において収蔵し、展示する資料（以下「資料」という。）の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1) 指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2) 美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫（以下「美術館収蔵庫等」という。）で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫（以下「博物館収蔵庫等」という。）で保管すること。
- (3) 収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4) 指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5) 展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6) 展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8) 預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9) 鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1) 保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2) 資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3) 貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1) 資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
 - (2) 資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
 - (3) 寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。
 - (4) 資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
 - (5) 貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

- 2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧（以下「閲覧等」という。）を許可することができる。

- (1) 閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
 - (4) その他、閲覧等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
 - (2) 閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用」等という）を許可することができる。

- (1) 写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
 - (4) その他、写真利用等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 事前に申請した目的以外に使用しないこと。
 - (2) 寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
 - (3) 掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
 - (4) 提供した写真等は、使用後速やかに美術館・博物館に返却すること。
 - (5) 新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
 - (6) 掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
 - (7) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
 - (8) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をすること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

博物館の敷地内及び建物全体とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフドレイン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) 外構に関する事項

- ア 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

(3) 博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。（展示ケース内も同様とする。）

(4) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

ア 建物内清掃

- ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
- ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
- ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

イ 外構清掃

- ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。

ウ ごみの収集

- ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
- ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(5) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

(6) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

(7) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

(1) 保守管理運営業務

ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

イ 環境衛生管理業務

- ・空気環境測定 法定点検：6回/年(27箇所)
- ・雑用水大腸菌群検査 法定点検：6回/年
- ・雑用水PH測定 法定点検：2回/年
- ・中水残留塩素測定 法定点検：1回/週
- ・薫蒸装置保守点検 必要に応じ
- ・(活性炭撤去及び廃棄) 使用回数による
- ・害虫駆除 法定点検 2回/年
- ・雑排水槽清掃 2回/年(法定)
- ・ばい煙測定 2回/年(法定)
- ・グリーストラップ 12回/年
- ・ブラスタートラップ清掃 2回/年

ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等
1名以上常駐(8:00~17:00 1人、12:30~21:00 1人)

エ 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 建物内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃(床1回/月)
(常設展示室：6回/年)
(企画展示室：4回/年)

ガラス清掃 6回/年 (外部4回/年、内部1回/年)

オ 警備管理業務 常駐管理1名以上常駐 (開館日1名 (24 H))
(休館日1名 24 H)

カ 電気設備点検保守業務

- ・受変電設備 (年次・月次) 法定点検: 12回/年
- ・漏電測定 法定点検: 12回/年
- ・非常用発電機 法定点検: 12回/年

キ 空調設備保守点検業務

- ・直焚吸収式冷温発生器 定期点検: 6回/年
- ・冷却式HPチラー 定期点検: 1回/年
- ・冷却塔 (開放式) 定期点検: 2回/年
- ・水処理装置 定期点検: 1回/年
- ・冷却水管理装置 定期点検: 1回/年
- ・軟水装置 定期点検: 1回/年
- ・薬注ポンプユニット 定期点検: 1回/年
- ・蒸気ボイラー 定期点検: 2回/年
- ・ファンコイルユニット 定期点検: 2回/年
- ・パッケージエアコン 定期点検: 2回/年
- ・セパレートエアコン 定期点検: 2回/年
- ・空調機コンパクト型 定期点検: 3回/年
- ・空調機天吊型ほか 定期点検: 2回/年
- ・自動制御・中央監視装置 定期点検: 2回/年
- ・トイレ換気口点検 定期点検: 12回/年
- ・送・排風機 必要に応じ
- ・中性能フィルター フィルター交換: 必要に応じ
- ・ケミカルフィルター フィルター交換: 必要に応じ

ク 消防設備保守点検業務 法定点検: 2回/年 (機器点検・総合点検)

- ・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等定期点検等

ケ 昇降機設備業務 (4基) 法定点検: 12回/年

コ 給排水設備業務

- ・雨水濾過機 定期点検: 2回/年
- ・自動給水ポンプ 定期点検: 1回/年
- ・電気温水器 定期点検: 12回/年

(2) その他付帯設備等に関する業務

- ア 自動ドア装置保守点検 2回/年
- イ シャッター保守点検 1回/年
- ウ 放送設備保守点検 2回/年
- エ 電話交換機保守点検 2回/年
- オ 調光装置設備保守点検 4回/年 (うち自主2回)
- カ 音響設備保守点検 1回/年
- キ 駐車場料金システム保守点検 3回/年
- ク ながさきミュージアムネットワークシステム保守 12回/年
(ハードウェア保守、ソフトウェア更新)

(3) 収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

(4) 光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(5) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

(別紙3)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費（ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く）
- 2 施設維持管理業務費
 - (1) 光熱水費
 - (2) 施設維持管理費
 - ①施設設備保守点検費等
 - ②清掃、警備、樹木管理等
 - ③施設の修繕費・消耗品費
 - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1) 調査研究業務費
 - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
 - (3) 資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1) 展覧会及び展示事業費
 - ①常設展示、展示替えに係る経費
 - ②企画展示に係る経費
 - ③図録等の作成費
 - (2) 業務経費
 - ①広報、マーケティング費用
 - ②寸劇、イベント等自主事業費
 - ③駐車場運営費
 - ④施設貸出業務費
 - (3) ボランティア経費
 - (4) ミュージアムショップ経費
 - (5) レストラン経費

2 その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び 施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ）の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管

理状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第 12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第 13 (1) 指定管理業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

①指定管理業務に従事している者又は従事していた者（以下「従業員等」という。）が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。

（長崎県個人情報保護条例第63条）

②従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。（同条例第64条）

③従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。（同条例第65条）

(2) (1) の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙（同条例第68条第1項の法人又は人をいう。）に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があつたときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのものと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第 11 条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第 12 条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の 10 日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第 1 号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めたときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第 13 条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

(1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき

(2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき

(3) 公序良俗に反すると認められるとき

(4) 過去において、第 8 条の規定による損害を与えたもの、又は第 9 条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。

(5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(特別閲覧許可の発行)

第 14 条 館長は、第 3 条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第 2 号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第 15 条 特別閲覧のできる時間は原則として午前 9 時 30 分から午後 6 時までとする。

(特別閲覧の条件)

第 16 条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

(1) 職員の立会いのもとで閲覧すること

(2) 閲覧中は職員の指示に従うこと

(3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第 17 条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第 18 条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第 19 条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めたときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委 任)

この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成 17 年 11 月 3 日から施行する。

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない

らない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。
(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委 任)

この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月5日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、ミュージアムにおいて乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- （1）名称 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム
- （2）所在地 長崎市松が枝町4番27号（長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館内（以下「記念館」という。））
- （3）施設等 記念館（3階建て）の2階、3階の一部、（別添配置図及び「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム各室説明」のとおり）
別に甲が提示する物品台帳登載の物品

（指定期間）

第3条 ミュージアムの指定管理期間は、平成26年4月26日から平成28年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、平成26年度は平成26年4月26日から平成27年3月31日まで、平成27年度は平成27年4月1日から平成28年3月31日までを一事業年度として区分する。

（基本理念及び基本的な性格）

第5条 ミュージアムの基本理念及び基本的な性格は、別紙1「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する基本理念及び基本的な性格」のとおりであり、指定管理者はこの基本理念及び基本的な性格に基づき管理運営に取り組まなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、ミュージアムにかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙2「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- （1）地方自治法
- （2）文化財保護法
- （3）長崎歴史文化博物館条例
- （4）長崎歴史文化博物館条例施行規則
- （5）労働基準法
- （6）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館及びミュージアムに関し議会の議決した事項

(基本的遵守事項)

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- (2) 公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。
- (3) ミュージアムの管理運営にあたっては、国指定重要文化財の中に設置されていることに鑑み、細心の注意を払わなければならない。

(事業計画)

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

- 2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。
- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日に休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担表を決定する。

(個人情報の保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例(平成16年3月23日付長崎県条例第3号)第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合には、個人情報取扱特記事項第

7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、毎日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なければならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、ミュージアムの管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取り消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないとき、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第 27 条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しによりミュージアムの指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第 28 条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁器的方式その他人の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第 29 条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書 2 通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自 1 通を保有するものとする。

平成 26 年 4 月 2 日

甲 長崎市江戸町 2 番 13 号
長崎県
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場 2 丁目 3 番 4 号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 渡辺 勝

(別紙1)

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する基本理念及び基本的な性格

指定管理者は、以下の基本理念及び基本的な性格に基づきミュージアムの管理運営に取り組むこととする。

(1) 基本理念

中国をはじめとする東アジアとの近代交流史を一覧できる拠点として「発信・連携・交流」を基本理念とする。

国の重要文化財である「旧香港上海銀行長崎支店の紹介」と「孫文と梅屋庄吉」の関係、及び二人にとってゆかりの地であり近世以降も重要な役割を果たした「長崎」の近代交流史に関する展示や関連事業を通じて広く情報発信する。また、国内外の博物館等と連携するとともに、県民、市民に開かれ、国内はもとより、中国をはじめ東アジアの要人も訪れる友好のシンボルとなる施設として、今後の友好交流に寄与することを目指す。

(2) 基本的な性格

① 魅力的な展示

旧香港上海銀行長崎支店の紹介と、孫文と梅屋庄吉を核とした長崎近代交流史を紹介するとともに、上海航路や国際通信など長崎がその中で果たした役割等についても幅広く紹介する。また常に魅力ある展示とするため、可能な限り実物での展示を行うと同時に、定期的に資料の展示替えを行う。

② 生涯学習・教育普及

多くの県民・市民への生涯学習・教育普及の場の一つとして、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることのできる身近な施設を目指す。

③ 国内外への情報発信

長崎の近代における交流の歴史、中国をはじめとする東アジアに関する情報等はもとより、長崎県内、長崎市内の観光情報等もICT機能を活用しながら発信することを目指す。

※ICT：情報通信技術

④ 資料収集及び他施設等との連携

資料収集、資料保管、アーカイブ、閲覧、レファレンス機能については、長崎歴史文化博物館が主体となって行う。また、必要に応じ他施設等とも十分な連携を図る。

※アーカイブ：「記録」や「資料」の総称。またそれをまとめて保存すること。その場所、機関。

レファレンス：「資料相談」「資料参照」等のサービス。

⑤ 調査・研究

上記の事業を進めるため、長崎の近代交流史に関する調査研究については、「長崎学」の拠点施設である長崎歴史文化博物館等で行う。また、県内大学をはじめ、国内外の研究者とも交流し、調査研究の熟度を高める。

※長崎学：県下各地を対象とし、国内外の交流史や文化史など様々な角度から長崎をとらえる学問の総称。

⑥ 県民、市民参加・憩いの場

多くの県民、市民が訪れ、積極的なボランティアの参加による住民参加型の施設であるとともに、来館者にとって憩いの場となるような施設を目指す。

⑦ 長崎歴史文化博物館との関係

長崎歴史文化博物館においては、長崎学の推進を一つの使命として調査研究を進め、その成果を具体的に展覧会等を通じて還元しているところである。長崎の近代交流史をテーマとするミュージアムは、長崎歴史文化博物館とともにその展示の場となり、講演や国内外の孫文関係館との交流など、友好交流拠点施設となることを目指す。

(別紙2)

指定管理業務の範囲

ミュージアムにかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(12)のとおりとする。
記

(1) 指定管理者業務基準への対応

① 開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

- ・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

② 開館時間

午前9時～午後5時までの8時間

③ 公平性等の確保

- ・ミュージアムの管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。
- ・高齢者、障害者等の利用については、十分な配慮を行う。

④ 外国人利用者への配慮

- ・外国語に対応するなど適切な対応に心がけること。

⑤ 禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

展示資料、ミュージアム施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑥ 人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑦ 管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑧ 情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、ミュージアムの管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑨ 環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑩ 危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、長崎市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、講習等を行うものとする。

⑪ 県及び長崎市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び長崎市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・歴史博での定例会(業務進捗報告、施設管理報告、資料管理報告等)…週1回程度
- ・業務モニタリング(年数回の業務進捗状況の確認)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

※ ▲印を付した業務は歴史博の業務に含まれる。

▲①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集のための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。

なお、収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。収蔵資料についてはミュージアムホームページにて検索できる。

- ・長崎の近代交流史に関する資料
- ・その他関連する資料

▲②収蔵資料の保管業務と修復業務

(ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

特に借用資料については、資料所有者の意思を最大限に尊重し、県の指導により適切な資料管理を行うこと。

(イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去等の適切な処置を行う。

(ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間 1000 点以上の点検を行う。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

▲③県又は長崎市の所有する収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への県又は長崎市の所有する資料の貸出について、資料 2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。特に借用資料については、県の許可を受け、貸出を行うこと。また、県又は長崎市の所有する資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出にあたっては、原則として、所有者である県又は長崎市との協議が必要である。

④展示業務

展覧会を行う際の主な業務は以下のとおりである。

- (ア) 展示の企画及び当該企画を実現するための調査
- (イ) 展示の企画を実現するための他館の資料等の貸借に係る交渉
- (ウ) 展示に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等
- (エ) 展示に係る広報等の集客
- (オ) 展示に係る図録、報告書等の作成
- (カ) 展示資料監視・点検
- (キ) 展示資料説明

▲（3）長崎の近代交流史に関する調査及び研究に関する業務

調査研究に関する主な業務は以下のとおりである。

- ① 歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ② 資料の保存修復に関する調査研究
- ③ 展覧会企画に関する調査研究
- ④ 生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤ 長崎の近代交流史に関する調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

教育普及・生涯学習支援に関する主な業務は以下のとおりである。

- ① 様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、長崎の近代交流史に関する研究成果等の講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。
なお、参加者から実費相当額程度の利用者負担を求めることができる。
- ② 修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③ 県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ④ 学校教育の一環としてミュージアムを利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑤ 離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を歴文博と連携し実施する。

▲（5）長崎の近代交流史の情報提供に関する業務

レファレンスやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービス

として資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、国内外の博物館情報等の提供を行う。

なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行うこと。

(6) 広報・マーケティング業務

効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ① 積極的にマーケティング活動を行う。
- ② 戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③ 定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ④ ミュージアムの利用促進を図るため、「長崎さるく」などの各種イベントとの連携を図る。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

・県及び長崎市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進

(8) 施設の利用料金に関する業務

ア 利用料金の設定、変更に関する業務

利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。

イ 観覧券の発券及び料金の徴収業務

(9) ミュージアムの附属施設等の維持管理及び修繕に関する業務

- ① 指定管理者は、県の緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって附属施設等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2)②(ウ)による。
- ② ミュージアムの附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③ ミュージアムの附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできない。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④ 原則として、1件あたり20万円未満の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものとする。1件あたり20万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
なお、建物は国指定の重要文化財であるため、何らの異常を発見した場合、速やかに県及び長崎市に報告すること。
- ⑤ 県及び長崎市がミュージアムの管理運営に必要と認めた備品については、県及び長崎市が整備するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥ ミュージアムの附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3の「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(10) 地域づくりと観光振興に資する業務

ミュージアムは、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(11) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実用性のある運用を行う。

(12) その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要となる業務

県及び長崎市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む

以 上

〈資料3〉

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

記念館内の2階・3階の一部とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- イ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- ウ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、じゅうたんの摩耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) ミュージアム特有の事項

所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- イ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。
 - (展示ケース内も同様とする。)

(3) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、ミュージアムとしての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア 建物内清掃
 - ・毎日実施する日常清掃は、できる限りミュージアム運営の妨げにならないように行う。
 - ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
 - ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、ミュージアム内の良好な環境を保つこと。
- イ 外構清掃
 - ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。(ごみ拾いや簡単な草むしり程度)
- ウ ごみの収集
 - ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
 - ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(4) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県及び長崎市と協議すること。

(5) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

・点検記録 ・補修記録 ・事故記録 ・営繕工事完成図書

(6) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、ミュージアム職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県及び長崎市と協議を行うこと。また、定期報告及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に挙げているので参考にと（追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること）。

(1) 保守管理運営業務

ア 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 施設内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃（床1回/月）
（常設展示室：6回/年）
ガラス清掃6回/年（外部4回/年、内部1回/年）

イ 電気設備点検保守業務

- ・受変電設備（年次・月次） 通常点検：隔月に1回
年次点検：年に1回
臨時点検：必要に応じて実施

キ 空調設備保守点検業務

【参考】現在、長崎市で行っている点検内容

- ・室内機8台 定期点検：1回/年
- ・室外機8台 定期点検：1回/年
- ・フィルター清掃 定期点検：1回/年
- ク 消防設備保守点検業務 法定点検：2回/年（機器点検・総合点検）
 - ・消火器、自動火災警報機

(2) 光熱水道等に係る業務

電気料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(3) その他該当施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

[資料1、2は長崎歴史文化博物館と同様であるため省略]

(別紙3)

事業経費区分表

ミュージアムにおける指定管理者業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費
- 2 施設維持管理業務費
 - (1) 光熱水費
 - (2) 施設維持管理費
 - ① 施設設備保守点検費等
 - ② 清掃、警備等、
 - ③ 施設の修繕費・消耗品費
 - ④ 受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1) 調査研究業務費
 - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1) 展覧会及び展示事業費
 - ① 常設展示、展示替えに係る経費
 - ② 企画展示に係る経費
 - ③ 図録等の作成費
 - (2) 業務経費
 - ① 広報、マーケティング費用
 - ② イベント等自主事業費
 - (3) ボランティア経費
- 2 その他
博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館

1F

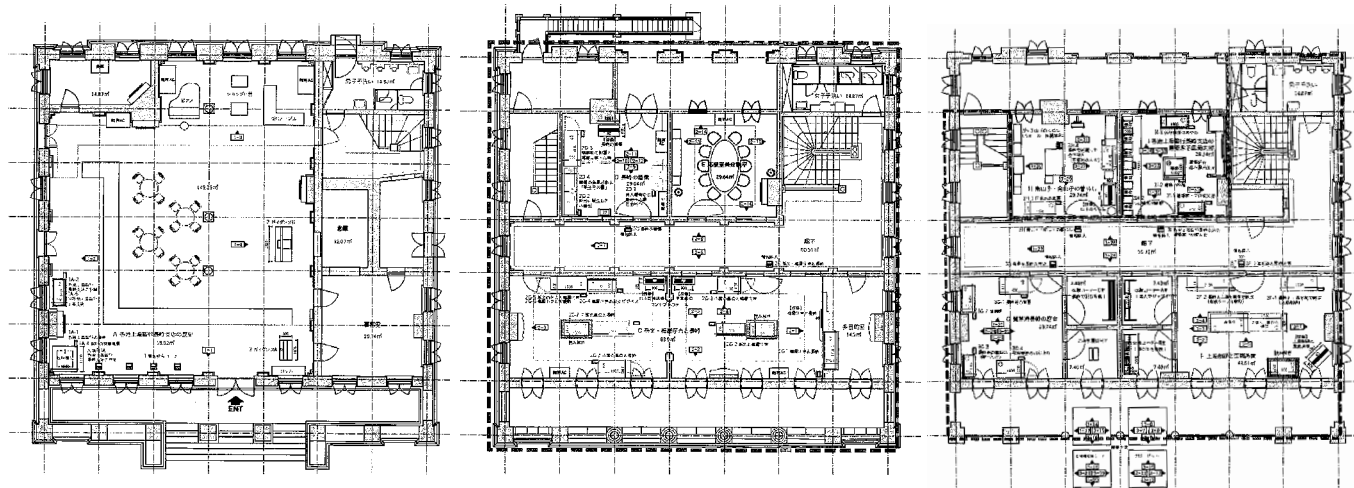
(施設名：長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館)

2F

(施設名：長崎近代交流史孫文・梅屋庄吉ミュージアム [枠内])

3F

(施設名：長崎近代交流史孫文・梅屋庄吉ミュージアム [枠内])



長崎近代史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム各室説明

	記念館または ミュージアムの別	室名	用途	床面積 (㎡)	天井高 (cm)	床	壁	天井
1F	記	ホール	展示	58.92	470	石・木板	漆喰	漆喰
	記	ホール	ホール	149.29	470	木板	漆喰	漆喰
	記	事務室	事務室	29.74	470	木板	漆喰	漆喰
	記	支店長室	応接室	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	男子手洗い	トイレ	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	階段室	階段室	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	倉庫	倉庫	12.07	470	木板	漆喰	漆喰
	記	エントランス（裏口）	エントランス（裏口）	12.09	470	木板	漆喰	漆喰
2F	ミュ	多目的室	多目的室	14.9	380	木板（絨毯張）	漆喰	漆喰
	ミュ	孫文・梅屋庄吉と長崎	展示	88.9	380	木板（絨毯張）	漆喰	漆喰
	ミュ	応接室兼会議室	展示	29.64	380	木板（絨毯張）	漆喰	漆喰
	ミュ	長崎の華僑（華人）	展示	29.64	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	廊下	廊下	60.53	380	木板（絨毯張）	漆喰	漆喰
	ミュ	女子手洗い	トイレ	14.87	380	石	漆喰	漆喰
	ミュ	ボランティア室	ボランティアスタッフ控え室	14.87	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	階段室	階段	14.58	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	ベランダ（国道側）		52.05	380	塗膜舗装	石	漆喰
	ミュ	ベランダ（裏側）		22.3	380	塗膜舗装	石	漆喰
3F	ミュ	上海航路と国際通信	展示	44.61	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	貿易港長崎の歴史	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー1	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー2	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー3	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	クローゼット	クローゼット	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	廊下	廊下	56.72	380	木板（絨毯張）	漆喰	漆喰
	ミュ	男子手洗い	トイレ	14.87	380	石	漆喰	漆喰
	ミュ	階段室	階段	14.58	380	木板（絨毯張）	漆喰	漆喰
	ミュ	ベランダ（国道側）		52.05	380	塗膜舗装	石	漆喰
	記	香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	記	東山手・南山手の暮らし	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	記	ベランダ（裏側）		29.74	380	塗膜舗装	漆喰	漆喰
	記	倉庫	倉庫	7.43	380	木版	漆喰	漆喰

※参考までに「記念館」の部分も記載

14 利用案内

【長崎歴史文化博物館】

1) 開館時間

展示室	8:30~19:00 (最終入館 30 分前)
資料閲覧室	9:30~18:00 (12/30 ~ 1/3 は閉室)
ショップ	8:30~19:00
レストラン「銀嶺」	10:30~21:00 (オーダーストップ 1 時間前)
伝統工芸体験工房・貸工房	9:00~18:00
施設貸出	9:00~21:00
駐車場	8:30~22:00

※ 12/30 ~ 1/3 は駐車場を除き、10:00~18:00

2) 休館日

毎月第 3 火曜日 (祝日の場合は翌日) ※その他メンテナンスの為休館する場合あり。

3) 観覧料

●常設展示

大人 600 円〔480 円〕 小中高生 300 円〔240 円〕

※〔 〕内は 15 名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳 (身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳) 保持者及び介護者 1 名は 5 割減。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

●企画展示 別料金

4) 交通案内

アクセス・駐車場台数

- 路面電車「桜町」電停下車、徒歩 5 分。
- 路面電車「公会堂前」電停下車、徒歩 7 分。
- 路線バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩 3 分。
- 県営バス (風頭町~夢彩都線)「歴史文化博物館」バス停下車。
- 長崎自動車道 (長崎芒塚 I C) より、諏訪神社方面へ 10 分。
- 一般車 62 台、大型バス 5 台

5) お問い合わせ

〒850-0007 長崎県長崎市立山 1 丁目 1 番 1 号

TEL. 095-818-8366 FAX. 095-818-8407

<http://www/nmhc.jp>

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

1) 開館時間

ミュージアム 9:00~17:00
多目的ホール 9:00~17:00 (日中)
18:00~21:00 (夜間)

2) 休館日

毎月第3火曜日 (祝日の場合は翌日) ※その他メンテナンスの為休館する場合あり。

3) 観覧料

高・大・一般 300円〔240円〕 小・中学生 150円〔90円〕

※〔 〕内は15名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳)保持者及び介護者1名は5割限。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館者は無料。

4) 交通案内

アクセス

- 路面電車「大浦天主堂下」電停下車、徒歩3分。
- 路面バス「グラバー園入口」バス停下車、徒歩1分。
- 長崎自動車道(長崎IC・ながさき出島道路)より、グラバー園方面へ3分。
- 駐車場なし。

5) お問い合わせ

〒850-0921 長崎県長崎市松が枝町4番27号
TEL / FAX. 095-827-8746
<http://www/nmh.c.jp>

平成 26 年度
長崎歴史文化博物館年報

2015 年 9 月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館
〒 850-0007 長崎県長崎市立山 1-1-1
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
印刷 日本紙工印刷株式会社

